

**IBM Content Manager for
Multiplatforms
IBM Information
Integrator for Content**



メッセージとコード

バージョン 8 リリース 2

**IBM Content Manager for
Multiplatforms
IBM Information
Integrator for Content**



メッセージとコード

バージョン 8 リリース 2

お願い

本書、および本書で記述されている製品をご使用になる前に、257 ページの『特記事項』をお読みください。

本書は、IBM Content Manager for Multiplatforms のバージョン 8 リリース 2 (プロダクト番号 5724-B19) および IBM Enterprise Information Portal for Multiplatforms のバージョン 8 リリース 2 (プロダクト番号 5724-B43) に適用されます。また、改訂版で特に断りがない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

本マニュアルに関するご意見やご感想は、次の URL からお送りください。今後の参考にさせていただきます。

<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは

<http://www.ibm.com/jp/manuals/> の「ご注文について」をご覧ください。

(URL は、変更になる場合があります)

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原 典： SC27-1349-01
IBM Content Manager for Multiplatforms
IBM Information Integrator for Content
Messages and Codes
Version 8 Release 2

発 行： 日本アイ・ピー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2003.2

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 1993, 2003. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2003

目次

本書について	v	第 5 章 API メッセージ、DGL3600 ～ DGL3999	81
本書の対象読者	v	第 6 章 API メッセージ、DGL4000 ～ DGL5386	119
本書の使用法	v	第 7 章 API メッセージ、DGL7087 ～ DGL7188	159
メッセージの説明の使い方	v	第 8 章 EIP ワークフロー・ビルダー・ メッセージ、EHLE045 ～ EHLE081	171
本書の詳細情報の入手先	vi	第 9 章 EIP 情報マイニング・メッセー ジ、9001 ～ 9976	175
製品パッケージに含まれている情報	vi	第 10 章 Content Manager ライブラリ ー・サーバーの戻りコード、ICM4751 ～ ICM8012	197
Web から入手可能なサポート	vii	第 11 章 Content Manager リソース・ マネージャーのメッセージ、ICM9701 ～ ICM9936	233
Content Manager バージョン 8 の新機能	vii	特記事項	257
Enterprise Information Portal バージョン 8 の新機能	x	商標	259
		参考文献	261
		索引	263
第 1 章 ログインおよびトレース	1		
Content Manager および Enterprise Information Portal のログ・ファイル	1		
インストール・ログイン	3		
Content Manager ライブラリー・サーバーのログイン およびトレース	3		
DB2® SQL 戻りコード	4		
Content Manager リソース・マネージャーのログイン ログ構成ファイルでの作業	4		
システム管理クライアントのログイン	7		
Content Manager のイベント・ログイン	7		
Content Manager および EIP のエラー・ログイン	7		
EIP API ログイン	7		
コネクター・ログインの活動化	8		
ログおよびトレース出力の例	10		
第 2 章 EIP のトラブルシューティング	15		
システム管理クライアントのメッセージ	15		
エラー検出と処理	15		
第 3 章 API メッセージ、DGL0300 ～ DGL1620	17		
第 4 章 API メッセージ、DGL2401 ～ DGL2801	51		

本書について

本書では、Content Manager および Enterprise Information Portal のメッセージ・ロギングとトレース機能について説明し、それぞれの製品のメッセージを記載しています。

本書の対象読者

本書は、システム管理者、アプリケーション・プログラマーまたはシステム・プログラマーの方を対象としています。

Enterprise Information Portal は、Content Manager を含む接続先へコンテンツ・サーバーからのメッセージを転送します。本書に記載されていないメッセージの詳細については、該当するコンテンツ・サーバーの資料を参照してください。

本書の使用方法

本書は、表示されたメッセージに関する追加情報を見つけるための解説書としてご使用ください。メッセージは、最初に接頭部、次に番号の順で編成されています。

メッセージの説明の使い方

本書の各メッセージの説明には次の情報が含まれています。

重大度によるメッセージ番号

メッセージは以下の 3 つの重大度カテゴリーに分けられています。

通知 文字 **I** で終わるメッセージ番号は通知メッセージです。これらのメッセージは、あるアクションがとられたことをユーザーに通知するものです。

警告 文字 **W** で終わるメッセージ番号は警告メッセージです。これらのメッセージは、好ましくない状態が起こったが、処理は続行できることをユーザーに伝えます。

アクション

文字 **A** で終わるメッセージ番号はアクション・メッセージです。これらのメッセージは、好ましくない状態が発生し、処理も継続できないことをユーザーに通知します。問題を訂正するには、何らかのアクションが必要です。

説明 問題の原因。

コンポーネント

メッセージを発行したコンポーネント。

アクション

問題を訂正するために取るべきアクションまたは応答。

本書の詳細情報の入手先

製品パッケージには、完全セットの情報が含まれており、システムの計画、インストール、管理、および使用の際に役立ちます。製品の資料およびサポートは、Web 上からでも入手可能です。

製品パッケージに含まれている情報

製品パッケージには、Information Center および PDF 形式の各資料が入っています。

Information Center

製品パッケージには、Information Center が入っており、製品のインストール時にインストールできます。Information Center のインストールについては、「*Content Management System* の計画とインストール」を参照してください。

Information Center には、Content Manager、Enterprise Information Portal、および VideoCharger の資料が入っています。トピックごとの情報は、製品別およびタスク別（たとえば、管理）に編成されています。提供されているナビゲーション機構および索引の他に、検索機能も検索の助けとなります。

PDF 資料

オペレーティング・システムに合った Adobe Acrobat Reader を使用して、PDF ファイルをオンラインで表示できます。Acrobat Reader がインストールされていない場合は、www.adobe.com の Adobe Web サイトからダウンロードできます。

表 1 は、IBM Content Manager for Multiplatforms に付属している Content Manager 資料を示しています。

表 1. Content Manager 資料

ファイル名	資料タイトル	資料番号
install	<i>Content Management System</i> の計画とインストール ¹	GC88-9200-01
migrate	<i>Content Manager V8</i> へのマイグレーション	SC88-9202-01
sysadmin	システム管理の手引き	SC88-9201-01

IBM Content Manager for Multiplatforms には、IBM Enterprise Information Portal for Multiplatforms が同梱されています。また、IBM Enterprise Information Portal for Multiplatforms を単独で注文することもできます。表 2 は、製品に付属している Enterprise Information Portal 資料を示しています。

表 2. Enterprise Information Portal 資料

ファイル名	資料タイトル	資料番号
apgwork	ワークステーション・アプリケーション・プログラミング・ガイド ¹	SC88-9205-01
ecliinst	<i>eClient</i> のインストール、構成と管理	SC88-9207-02
eipinst	<i>Information Integrator for Content</i> の計画とインストール	GC88-9203-01
eipmanag	<i>Information Integrator for Content</i> の管理	SC88-9204-01

表 2. Enterprise Information Portal 資料 (続き)

ファイル名	資料タイトル	資料番号
messcode	メッセージとコード ²	SC88-9206-01

注:

1. 「ワークステーション・アプリケーション・プログラミング・ガイド」には、Content Manager と Enterprise Information Portal の両方のアプリケーションのプログラミングに関する情報が記載されています。
2. 「メッセージとコード」には、Content Manager と Enterprise Information Portal のメッセージとコードが記載されています。

Web から入手可能なサポート

製品サポートは、Web から入手可能です。以下の製品 Web サイトで「サポート (Support)」をクリックします。

www.ibm.com/software/data/cm/

www.ibm.com/software/data/eip/

この資料は、ソフトコピー形式で製品に付属されるものです。Web 上の製品資料にアクセスするには、製品の Web サイトの「ライブラリー (Library)」をクリックします。

HTML ベースのドキュメンテーション・インターフェースは、Enterprise Documentation Online (EDO) と呼ばれ、Web から入手可能です。ここには、現在、API 参照情報が記載されています。EDO へのアクセス方法については、Enterprise Information Portal ライブラリーの Web ページを参照してください。

Content Manager バージョン 8 の新機能

バージョン 8.2: バージョン 8.2 では、バージョン 8.1 からさまざまな機能が拡張されています。バージョン 8.2 では、eClient にさらに多くのワークフロー機能が追加され、リソース管理機能が増えています。また、DB2 Universal Database バージョン 8.1、Oracle バージョン 8.1.7.4 とバージョン 9.2.0.1、および WebSphere バージョン 5 など、最新のデータベースおよびクライアント・テクノロジーがサポートされます。これらの主な拡張とバージョン 8.2 製品のその他の拡張を、以下に要約します。

Enterprise Information Portal という名前が、IBM Information Integrator for Content に変更されました

Enterprise Information Portal が Information Integrator for Content という名前に変更されました。資料名はバージョン 8.2 に変更されていますが、資料の本文では引き続き Enterprise Information Portal という名前が使用されています。Web で詳細を検索するときは、新規の名前への移行が完了するまで、これまでどおり、Enterprise Information Portal または EIP を使用できます。

Oracle バージョン 8.1.7.4 またはバージョン 9.2.0.1 以降のサポート

Content Manager V8.2 では、ライブラリー・サーバーとリソース・マネージャーに保管されているメタデータを管理する Oracle データベースのサポートが追加されています。Content Manager バージョン 7 の Oracle ユーザー向けのマイグレーション・ツールが含まれています。**注:** Oracle では、Enterprise Information Portal データベース・サーバーのコンテンツは管理されません。

複製 Content Manager V8.2 には、リソース・マネージャー複製が含まれています。これは、複数の場所にオブジェクトを保管するための機能で、複製リソース・マネージャーによって管理されます。オブジェクトのレプリカは、ロード・バランシングを改善するための LAN キャッシュ・オブジェクトのように動作します。

LAN キャッシュ

Content Manager V8.2 の LAN キャッシュ・サポートでは、システム管理者によって定義されたローカル・サーバーを使用する、アプリケーションに透過なキャッシュが提供されます。

DB2 UDB V8.1 のサポート

Content Manager V8.2 および Enterprise Information Portal V8.2 は DB2/UDB V8.1 をサポートします。DB2 V8.1 の接続集中機能が、2 層アプリケーションおよびクライアント (Content Manager V8 Client for Windows など) のスケーラビリティを向上させます。DB2/UDB V8.1 では DB2 Universal Database Text Information Extender (TIE) が Net Search Extender (NSE) に置き換えられました。

WebSphere Application Server バージョン 4 およびバージョン 5 のサポート

WebSphere Application Server バージョン 5 では、任意の Web ブラウザーからサーバーの配置とデータ・アクセスおよびデータ管理ができます。

統合フォルダー

eClient には、複数のリポジトリからの文書とネイティブ・フォルダーを 1 つの統合フォルダーに編成し、ワークフロー上でそのフォルダーを開始する機能が備わりました。また、統合フォルダーではユーザーが EIP 統合データベースに検索結果を永続的に保管し、いつでもそのデータベースから検索結果を検索できます。これらの統合フォルダーに対しては、再索引付けを行わなくても CRUD (作成、検索、更新、および削除) 操作をすべて実行できます。

ワークフロー・コレクション・ポイントの拡張

ワークフローは、AIX および Solaris で完全にサポートされるようになりました。ワークフロー、API、コレクション・ポイント・モニター、および JavaBeans により、ワークフローの機能と使用可能度が向上しました。

アプリケーション作成用の Microsoft Visual Studio .NET

Content Manager および Enterprise Information Portal 8.1 以降の API が、コンテンツ管理アプリケーションの作成、または Microsoft Visual Studio .NET を使用して作成されたアプリケーションの統合用に、Microsoft Visual Studio .NET をサポートするようになりました。

バージョン 8.1: バージョン 8.1 から、統合と多機能性というレガシーが始まりました。多数のハイライトおよび、従来の Content Manager 製品からの改善点の 1 つは、新しいデータ・モデル構造で、これによって、文書のカスタマイズが強化されます。バージョン 8.1 での Content Manager 製品の変更を、以下に要約します。

パフォーマンスの向上

ライブラリー・サーバーおよびリソース・マネージャーでは、DB2 ストアード・プロシージャを使用し、DB2 テクノロジーを活用することで、ネットワーク・トラフィックを大幅に削減し、パフォーマンスおよびスケーラビリティを向上させます。

Sun Solaris のサポート

Sun Solaris にライブラリー・サーバーおよびリソース・マネージャーの両方をインストールできます。

拡張データ・モデル

新規階層データ・モデルは、カスタマイズされた複合文書の管理ソリューションの基礎を提供します。

ワークフローの改良

統合された文書ルーティングにより、順次ルーティング、動的ルーティング、およびコレクション・ポイントを使用することでワークフロー機能が改良されました。

統合テキスト検索

属性を基にした検索のほかに、クライアント・ユーザーはテキスト・ベースの文書情報に関して、全文検索ができるようになりました。テキスト検索機能は、テキスト検索の設定に関するストリーム・ライン・プロセスに貢献する、DB2 Universal Database Text Information Extender を使用するようになりました。

共通システム管理

単一のクライアント・アプリケーションは、Content Manager および Enterprise Information Portal に対して、別々にアクセスできます。Content Manager 内の管理可能ドメインには、ライブラリー・サーバーのサブセクションへの管理アクセスを制限する方法が用意されています。

全機能搭載のデスクトップ・クライアントおよび拡張 eClient

Client の機能強化により、迅速な展開または基幹業務アプリケーション統合のための創造的アプリケーションが提供されるようになりました。Client for Windows は、統合テキスト検索、文書ルーティング、階層データ・モデル (単一の子コンポーネント・レベルへの)、バージョン管理、およびインポート時の索引作成をサポートします。eClient には、統合テキスト検索、EIP 拡張ワークフロー、バージョン管理、および複数値属性が組み込まれています。

簡単なインストール

インストールは、サポートされているオペレーティング・システム間で一貫性があり、Start Here CD の Planning Assistant により、カスタマイズされたインストール情報が提供されます。サイレント・インストールおよびコンソール・インストールも用意されています。

Information Center

ブラウザー・ベースの Information Center には、Content Manager、Enterprise Information Portal、および VideoCharger の資料が掲載されています。トピックごとの情報は、製品別およびタスク別（たとえば、管理）に編成されています。提供されているナビゲーション機構および索引の他に、検索機能も検索の助けとなります。

アクセス支援

アクセス支援機能は、運動機能に障害がある方や目が不自由な方など、身体に障害がある方にソフトウェア製品を支障なく使っていただくことを目的としたものです。本製品の主なアクセス支援機能には、以下が含まれます。

- マウスの代わりにキーボードを使用してすべての機能を操作できる機能
- 拡張表示プロパティのサポート
- ビデオおよびオーディオの警報キューのオプション
- 支援テクノロジーとの互換性
- オペレーティング・システムのアクセス支援機能との互換性
- アクセス支援文書形式

PeopleSoft および Siebel の統合

PeopleSoft と Siebel アプリケーションのユーザーが、これらのアプリケーションを構成して、eClient を使用するさまざまなコンテンツ・サーバーに保管されているコンテンツにアクセスできるようになりました。

Enterprise Information Portal バージョン 8 の新機能

バージョン 8.2: バージョン 8.2 では、さまざまな機能が拡張されています。バージョン 8.2 では、システム管理ワークフローにさらに多くの機能が追加され、最新のデータベース・テクノロジーである DB2 Universal Database バージョン 8.1 をサポートします。これらの主な拡張とバージョン 8.2 製品のその他の拡張を以下に要約します。

Enterprise Information Portal が IBM Information Integrator for Content という名前に変更されました

Enterprise Information Portal が Information Integrator for Content という名前に変更されました。資料名はバージョン 8.2 に変更されていますが、資料の本文では引き続き Enterprise Information Portal という名前が使用されています。Web で詳細を検索するときは、新規の名前への移行が完了するまで、これまでどおり、Enterprise Information Portal または EIP を使用できます。

DB2 UDB V8.1 のサポート

Enterprise Information Portal V8.2 のサポート。DB2 V8.1 の接続集中機能が、2 層アプリケーションおよびクライアントのスケラビリティを向上させます。

統合フォルダー

eClient には、複数のリポジトリからの文書とネイティブ・フォルダー

を 1 つの統合フォルダーに編成し、ワークフロー上でそのフォルダーを開始する機能が備わりました。また、統合フォルダーではユーザーが EIP 統合データベースに検索結果を永続的に保管し、いつでもそのデータベースから検索結果を検索できます。これらの統合フォルダーに対しては、再索引付けを行わなくても CRUD (作成、検索、更新、および削除) 操作をすべて実行できます。

ワークフロー・コレクション・ポイントの拡張

ワークフローは、AIX および Solaris で完全にサポートされるようになりました。ワークフロー、API、コレクション・ポイント・モニター、および JavaBeans により、ワークフローの機能と使用可能度が向上しました。

アプリケーション作成用の Microsoft Visual Studio .NET

Enterprise Information Portal 8.1 以降の API が、コンテンツ管理アプリケーションの作成、または Microsoft Visual Studio .NET を使用して作成されたアプリケーションの統合用に、Microsoft Visual Studio .NET をサポートするようになりました。

バージョン 8.1: バージョン 8.1 から、統合と多機能性というレガシーが始まりました。このバージョンの数多くの特筆点および前の Content Manager 製品からの改良点の 1 つに、新規のデータ・モデル構造があります。これが文書のカスタマイズ機能を向上させました。バージョン 8.1 での Content Manager 製品の変更を、以下に要約します。

Sun Solaris のサポート

Solaris システムに、Java コネクター、フィーチャー、およびデータベースをインストールできます。

共通システム管理

単一のクライアント・アプリケーションは、Content Manager および Enterprise Information Portal の管理に対して、別々にアクセスできます。

新規コネクター

- Content Manager バージョン 8 リリース 1 用 ICM コネクターを使用すれば、Content Manager バージョン 8 の強力な文書ストレージ機能を利用できます。
- 新規の C++ 拡張検索コネクター バージョン 3.7 は、AIX® 上で実行します。

コネクターの改良

- パラメトリック・テキスト検索は、統合レイヤーから、および直接拡張検索接続を介してサポートされます。
- OnDemand コネクターに対する機能拡張およびパフォーマンスの改良には、以下が含まれます。
 - OnDemand DDO の構造に対する変更。
 - 非同期検索がサポートされるようになりました。

IBM® Web Crawler

IBM Web Crawler は、ユーザーに、Web および Lotus Notes® データベース上の情報の検索および要約を許可するフィーチャーです。

ワークフローの拡張

ワークフローは、AIX および Solaris で完全にサポートされるようになりました。ワークフロー・ビルダー、API、および JavaBeans™ が、ワークフロー機能および使用可能度を改良します。

Information Center

ブラウザー・ベースの Information Center には、Content Manager、Enterprise Information Portal、および VideoCharger™ の資料が掲載されています。トピックごとの情報は、製品別およびタスク別（たとえば、管理）に編成されています。提供されているナビゲーション機構および索引の他に、検索機能も検索の助けとなります。

アクセス支援

アクセス支援機能は、運動機能に障害がある方や目が不自由な方など、身体に障害がある方にソフトウェア製品を支障なく使っていただくことを目的としたものです。本製品の主なアクセス支援機能には、以下が含まれます。

- マウスの代わりにキーボードを使用してすべての機能を操作できる機能
- 拡張表示プロパティのサポート
- ビデオおよびオーディオの警報キューのオプション
- 支援テクノロジーとの互換性
- オペレーティング・システムのアクセス支援機能との互換性
- アクセス支援文書形式

第 1 章 ロギングおよびトレース

このセクションでは、Content Manager ライブラリー・サーバー、Content Manager リソース・マネージャー、システム管理クライアント、および Enterprise Information Portal アプリケーション・プログラミング・インターフェース (API) のロギング機能およびトレース機能を構成する方法について説明します。

ログ・ファイルは、IBM サービス技術員による問題診断および訂正アクションのための情報を提供します。

重要: ログ・ファイルへの記録を選択した情報の量が、システムのパフォーマンスに影響を与えることがあります。

Content Manager および Enterprise Information Portal のログ・ファイル

表 3 では、Content Manager のログの情報および構成ファイルについて説明しています。2 ページの表 4 では、Enterprise Information Portal のログの情報および構成ファイルについて説明しています。

表 3. Content Manager のログおよび構成ファイル

デフォルト名	Windows® デフォルト・パス	AIX デフォルト・パス	Sun Solaris デフォルト・パス	注
icm81inst.log		/tmp/ icm81inst .log	/tmp/ icm81inst .log	AIX および Solaris のイン ストール・ロ グ・ファイル
icmcr1sdb.log	c:¥ICMROOT¥config¥ icmcr1sdb.log	/usr/lpp/ icm/config/ icmcr1sdb.log	/opt/IBMicm/ config/ icmcr1sdb.log	ライブラリ ー・サーバー のデータベー ス・ロギング 情報
icmcrrmdb.log	c:¥ICMROOT¥config¥ icmcrrmdb.log	/usr/lpp/ icm/config/ icmcrrmdb.log	config/ icmcrrmdb.log	リソース・マ ネージャーの データベー ス・ロギング 情報
• icmr_logging.xml	x:¥WebSphere®¥ AppServer¥ InstalledApps¥ icrmr.ear¥ icrmr.war¥	/usr/ WebSphere/ AppServer/ Installed Apps/ icrmr.ear/ icrmr.war/ WEB-INF/lib	/opt/ WebSphere/ AppServer/ Installed Apps/ icrmr.ear/ icrmr.war/ WEB-INF/lib	一般的なリソ ース・マネー ジャーのロギ ング情報

表 3. Content Manager のログおよび構成ファイル (続き)

デフォルト名	Windows® デフォルト・パス	AIX デフォル ト・パス	Sun Solaris	
			デフォルト・ パス	注
ICMSERVER.LOG	c:\%ICMSERVER.LOG	/tmp/ ICMSERVER.LOG	/tmp/ ICMSERVER.LOG	一般的なライ ブラリー・サ ーバーのログ ング情報
cmbadmerr.log (EIP)	%CMSYSADMIN% またはデフォルトでは c:\%program files\%ibm\%cmgmt\admin\%common	N/A	N/A	共通システム 管理クライア ントのログイン グ情報 (Content Manager およ び EIP)
log.txt	c:\%ICMROOT%\log.txt		/opt/ IBMicm/ log.txt	Windows お よび Sun Solaris のイン ストール・ロ グ・ファイル

表 4. EIP のログおよび構成ファイル

デフォルト名	Windows デフォルト・パス	AIX デフォル ト・パス	Sun Solaris	
			デフォルト・ パス	注
cmbinst.log	c:\%winnt%\cmbinst.log		/tmp/cmb/ cmbinst.log	Windows® お よび Solaris のインストール ・ログ・フ ァイル
cmblogconfig. properties	c:\%Program Files\IBM\Cmgmt	/opt/ IBMicm/ cmgmt	/opt/ IBMicm/ cmgmt	EIP API に関 するログ・フ ァイルの構成 設定値
dklog.log	EIP コネクターを使用 できるアプリケーション を実行している現行 ディレクトリー	EIP コネクタ ーを使用でき るアプリケー ションを実行 している現行 ディレクトリ ー	EIP コネクタ ーを使用でき るアプリケー ションを実行 している現行 ディレクトリ ー	API およびシ ステム管理ク ライアントの ログ・ファイ ル
frnxinst.log		/tmp/frn/ frnxinst.log	/tmp/frn/ frnxinst.log	AIX および Solaris のイン ストール・ロ グ・ファイル
icmcrlsdb.log	c:\%CMBROOT%\icmcrlsdb.log			Windows の インストー ル・ログ・フ ァイル

インストール・ロギング

テキスト・エディターを使用して、1 ページの表 3 に示されるログ・ファイルの、Content Manager および Enterprise Information Portal インストール・プログラムのエラー情報を表示できます。

Content Manager ライブラリー・サーバーのロギングおよびトレース

ご自分でアプリケーションを作成している場合は、パフォーマンス・トレースをオンにすると有効な場合があります。**重要:** トレースをオンにすると、システムのパフォーマンスに影響を与えることがあります。

ライブラリー・サーバーのエラー情報は ICMSEVER.LOG ファイルに記録されます。ICMSEVER.LOG のデフォルト設定は、以下のように Content Manager システム管理クライアントから変更することができます。

1. Content Manager システム管理クライアントにログオンします。
2. 選択したライブラリー・サーバーのリストを展開します。
3. 「ライブラリー・サーバーのパラメーター (Library Server Parameters)」リストを展開します。
4. 「構成 (Configuration)」を選択して、「ライブラリー・サーバーの構成 (Library Server Configuration)」をダブルクリックします。ライブラリー・サーバーの「構成 (Configuration)」ウィンドウがオープンします。
5. 「ログとトレース (Log and Trace)」タブをクリックします。
6. 必要に応じて、ICMSEVER.LOG ファイルのデフォルト・ディレクトリーを変更します。
7. ログ・ファイルに記録したいトレース情報のレベルに応じてチェック・ボックスを選択します。
8. 「了解 (OK)」をクリックします。

ライブラリー・サーバーのログ・ファイル ICMSEVER.LOG への記録には、4 つのレベルのトレース情報を選択できます。

- 基本** Content Manager ストアード・プロシージャーへの入り口および出口情報と、低レベルのライブラリー・サーバー機能 (たとえば、NLS キーワードのリスト)。
- 詳細** 基本トレース情報に加えて、ライブラリー・サーバーのプログラミング・ロジックを介する低レベルの制御についての情報。このトレース・レベルは、プログラム・ロジックが稼働する方法についての情報を提供します。
- データ** Content Manager ストアード・プロシージャーに渡された入力パラメーターについてと、ストアード・プロシージャーが実行しているときの中間データの情報。
- パフォーマンス** Content Manager ストアード・プロシージャーが実行する速度についての情

報。このトレースは、各ストアード・プロシージャーごとに、ストアード・プロシージャーの実行にかかった経過時間をミリ秒単位で 1 行に表示します。

ICMSERVER.LOG ファイルは、IBM サービス技術員による問題診断および訂正アクションのための情報を提供します。

トレースがクライアント・アプリケーションから要求された場合、管理者が設定するトレース・レベルは、許可されている最高レベルです。管理者がトレース・レベルを 0 に設定すると、アプリケーションの要求に関係なく、トレース情報は提供されません。トレースが要求されない場合でも、重要なエラーは記録されます。

DB2® SQL 戻りコード

ライブラリー・サーバーで SQL 操作を実行中に予期しないエラーが発生した場合、ライブラリーの戻りコード ICM7015 とともに、DB2 SQL 戻りコードが戻されます。DB2 SQL 戻りコードは、SQL メッセージとともにライブラリー・サーバーのログ・ファイルにも記録されます。これらは常に負の番号（たとえば、-818）です。

DB2 SQL 戻りコードの詳細については、「*IBM DB2 Universal Database™* メッセージ解説書」を参照するか、db2cmd を実行して DB2 コマンド・ウィンドウを起動するか、コマンド・プロンプト **db2?sql0nnn** から入力します。ここで、**nnn** は負符号を除去した後の戻りコードです。以下に、DB2 SQL 戻りコード -818 の完全な説明の検索例を示します。

```
C:\temp>db2 ? sql0818
SQL0818N A timestamp conflict occurred.
Explanation: The timestamp generated by the precompiler at
precompile time is not the same as the timestamp stored with the
package at bind time.
```

ライブラリー・サーバーの戻りコードの場合と同様に、DB2 SQL 戻りコードは、通常、システム管理者、データベース管理者、および IBM サービス技術員が問題を診断するために使用します。ユーザー単独ではアクションを実行しないでください。

制約事項: DB2 戻りコードの照会は、DB2 コマンド・ウィンドウから実行する必要があります。この照会を DOS コマンド・ウィンドウで実行すると、以下のエラー・メッセージが表示されます。DB21061E コマンド行環境が初期化されていません。(DB21061E Command line environment not initialized.)

Content Manager リソース・マネージャーのロギング

Content Manager リソース・マネージャーの icrmr.war ファイルをユーザーのアプリケーション・サーバーにインストールする場合には、リソース・マネージャーのロギング構成ファイル icrmr_logging.xml もインストールしてください。構成ファイルには、リソース・マネージャーのロギングおよびトレースを制御する、カテゴリ、appender、レイアウト、および他の値の設定が含まれています。このファイルは、LOG4J 構成ファイルをベースにしています。

icmrm_logging.xml ファイルのデフォルト値は、カスタマイズしてユーザー・アプリケーション要件に適合させることができます。icmrm_logging.xml のロケーションは、アプリケーション・サーバーのディレクトリー構造によって異なります。文書タイプ定義ファイル (DTD) は icmrm_logging.xml ファイルとともにインストールされます。

リソース・マネージャーのマイグレーター、パージャー、およびステージャーの各コンポーネントにも構成ファイルがあり、これを変更してログに記録したい情報のタイプおよび量を制御することができます。これらの構成ファイルは、icmrm_Migrator_logging.xml、icmrm_Purger_logging.xml、および icmrm_Stager_logging.xml です。

リソース・マネージャー・サブレットの icmrm_logging.xml ファイルは、アプリケーション・サーバーの実行中に変更できます。icmrm_logging.xml への変更は、このファイルの変更後、約 3 分で有効になります。変更を有効にするために、アプリケーション・サーバーを再始動する必要はありません。ただし、リソース・マネージャー・サービスのログ・ファイルを変更した場合は、そのサービスを停止して再始動しないと変更を有効にできません。

XML 構成ファイルにはすべて、構成可能な共通の LOG4J appender のサンプルと、1 つのカテゴリまたはクラスのロギングを独立して構成する例が含まれています。

XML 構成ファイルには新規の BEGINEND 優先順位も組み込まれています。この優先順位を設定すると、リソース・マネージャー・サブレットの開始、順序、および終了情報のみが戻されます。この優先順位を使用して、サブレットが認識する応答メジャーを追跡し、受信される要求のタイプに関する情報を収集できます。

ロギング構成ファイルでの作業

インストール・シールド・プログラムには、ダイアログのプロンプトに回答しなくてもインストールできるようにデフォルト値が用意されています。環境を変更したい場合は、インストールが完了してからデフォルト値を変更できます。デフォルトのロギング優先順位は、「**情報 (Info)**」です。構成ファイルの設定を変更するには次のようにします。

1. リソース・マネージャーのロギング構成ファイルをテキスト・エディターで開きます。
2. 変更を行ってからファイルを保管します。

インストール・ログ・ファイルの設定を変更することもできます。デフォルト設定では、Content Manager の全コンポーネントのロギング情報が単一のファイルに書き込まれています。リソース・マネージャーの構成ファイルを開いて、これを制御する appender を変更できます。appender はロギング情報のあるべきロケーションに送信します。appender は、標準のデフォルト全包含ログ・ファイル、コンソール、別々のログ・ファイル、またはその他のロケーションに情報を送信できます。

重要: appender には、ログ・ファイルに表示したいすべての情報を提供しないものもあります。詳しくは icmrm_logging.xml ファイルを参照してください。

リソース・マネージャーの構成ファイル内の別の制御設定が、各ログ・ファイルに送信されるテキストの量を制御します。ソフトウェアは常にアクションをログに記録しますが、優先順位の値を異なるレベルに設定すれば、ログに記録されるアクションの量とタイプを変更できます。

構成ファイルの変更

ログ・ファイルが記録する情報の量を変更するには、`icmr_logging.xml`、`icmr_Migrator_logging.xml`、`icmr_Purger_logging.xml`、および `icmr_Stager_logging.xml` ファイルの優先順位の値を変更する必要があります。デフォルトのロギング優先順位は、「**情報 (Info)**」です。ロギング・レベルまたは設定は 9 つあり、それぞれが異なるタイプおよび量の情報を戻します。

致命的 (Fatal)

サーブレットが予期せずに終了する場合にのみログに記録します。

アクション (Action)

システム管理者が取る必要があるアクションをログに記録します。この情報は、「[ディスク] スペースが足りません (short on [disk] space)」のように、エラーではなく状態を説明します。

エラー (Error)

要求を満たすことができなかった、または内部エラーが発生したことを示すために情報をログに記録します。

警告 (Warn)

予期しない動作をログに記録します。

情報 (Info)

開始または停止メッセージをログに記録します。

要求 (Request)

着信する要求について詳細な情報を提供します。

応答 (Response)

発信する応答について詳細な情報を提供します。

トレース (Trace)

一般的なフロー・メッセージをログに記録します。

デバッグ (Debug)

他のすべての優先順位についての情報とともに、詳細なデバッグ情報を提供します。

リソース・マネージャーのログ・ファイルも、アクション・メッセージを記録できます。これらのメッセージは、回避処置で予防できる潜在的なソフトウェアの問題について警告できます。たとえば、アクション・メッセージが、リソース・マネージャーに割り当てられたメッセージの総数に到達しそうであることを通知することがあります。ログ・ファイルから古くなった情報を除去することによって、ソフトウェアの障害を避けることができます。リソース・マネージャーは、これらのアクション・メッセージを生成してログ・ファイルに付加します。

デフォルトと異なるファイルへのロギング情報の送信を選択する場合は、ログ・ファイルについて、独自の命名規則に従うことができます。また、これらのファイルの有効期限を決定することもできます。有効期限は、日付ではなくデータ・サイズによって決定されます。

重要: リソース・マネージャーのロギング・マネージャーは、既存のログ・ファイルにログ出力を付加し続けます。ログ・ファイルから不要なログ出力を定期的に削除して、大きくなりすぎないようにしてください。

LOG4J 構成ファイルについて詳しくは、<http://www.apache.org/> を参照してください。

システム管理クライアントのロギング

Enterprise Information Portal システム管理クライアントがエラー情報しかログに記録しないのに対し、Content Manager システム管理クライアントはイベント情報とエラー情報の両方をログに記録できます。

Content Manager のイベント・ロギング

Content Manager システム管理クライアントのイベント・ロギングをアクティブにするには、次のようにします。

1. Content Manager システム管理クライアントにログインします。
2. 選択したライブラリー・サーバーのリストを展開します。
3. 「ライブラリー・サーバーのパラメーター (Library Server Parameters)」リストを展開します。
4. 「構成 (Configuration)」を選択して、「ライブラリー・サーバーの構成 (Library Server Configuration)」をダブルクリックします。ライブラリー・サーバーの「構成 (Configuration)」ウィンドウがオープンします。
5. 「ログとトレース (Log and Trace)」タブをクリックします。「システム管理者にイベント・ロギングを許可する (Allow system administrator event logging)」をクリックします。
6. 「了解 (OK)」をクリックします。
7. Content Manager システム管理クライアントのイベントが DB2 テーブル ICMSTSYADMEVENT に記録されます。DB2 Universal Database Control Center を使用して、このテーブルの内容を表示します。

Content Manager および EIP のエラー・ロギング

Content Manager および Enterprise Information Portal のシステム管理クライアントは、エラー・データを %CMSYADMIN% ファイル、または EIP では c:\Program Files\IBM\Cmgmt\admin\common に送信します。システム管理クライアントは、構成オプションを cmbadmerr.log に提供しません。

Enterprise Information Portal システム管理クライアントは、EIP API によって使用される dklog.log ログ・ファイルにも記録します。

EIP API ロギング

このセクションでは、EIP API およびコネクターで利用できるロギングの構成オプションについて説明します。

コネクター・ロギングの活動化

このセクションでは、EIP API またはコネクター・ロギングをアクティブにする方法について説明します。EIP コネクターのロギング・ユーティリティは、エラーでない例外を含め、すべての例外をログに記録します。場合により、エラー・メッセージが、エンド・ユーザーに伝搬されていないログ・ファイルに表示されることがあります。一部の状況では、警告が出されても API またはユーザー・アプリケーションがリカバリーまたは続行できます。

重要: ログ・ファイルを読み取っているときは、例外およびメッセージがログに記録されるコンテキストを忘れないでください。

Java™

Java にはデフォルトおよび LOG4J の 2 つのロギング・マネージャーがあります。一度に 1 つのロギング・マネージャーしか構成および使用できません。使用するロギング・マネージャーのタイプおよびロギング・マネージャーの個々のタイプに固有の構成を制御するためには、同じ構成ファイル `cmblogconfig.properties` を使用します。使用したいロギング・マネージャーについての詳細は、対象のロギング・マネージャーに関連する構成ファイル `cmblogconfig.properties` のセクションを参照してください。

コネクター・ロギング・ユーティリティは、最初にインスタンス化される際、Java 仮想マシンのインスタンスの `CLASSPATH` を調べ、ロギング構成ファイル `cmblogconfig.properties` を検出します。この構成ファイルが見つからない場合は、デフォルトのロギング設定が使用されます。

C++

C++ には 1 つのロギング・マネージャーがあります。これがデフォルトです。C++ は、Java が参照するものと同じログ構成ファイルを参照しますが、EIP C++ コネクターはデフォルトのロギング・マネージャーのロギング設定しか調べません。

Windows: C++ コネクター・ロギング・ユーティリティは、最初にインスタンス化される際、`%CMCOMMON%` がポインティングしているディレクトリーから、構成ファイル `cmblogconfig.properties` を読み取ります。デフォルトにより、`%CMCOMMON%` は、`c:\Program Files\IBM\CMGMT` をポインティングします。構成ファイルが見つからない場合は、デフォルトのロギング設定が使用されます。

AIX: C++ コネクター・ロギング・ユーティリティは、最初にインスタンス化される際、`/usr/lpp/cmb/cmgmt` がポインティングしているディレクトリーから、構成ファイル `cmblogconfig.properties` を読み取ります。構成ファイルが検出されない場合は、デフォルトのロギング設定が使用されます。

ロギング構成ファイルでの作業

このセクションでは、EIP コネクターのロギング構成ファイル、`cmblogconfig.properties` の設定を使用する作業の方法について説明します。

デフォルト設定: `cmblogconfig.properties` ファイルには、以下のデフォルト設定が含まれています。構成ファイルが検出できない、またはユーザー定義の設定を使用するとその他のエラーが発生する場合に備えて、これらのデフォルト設定を変更しないことが重要です。

1. デフォルトのロギング・マネージャーを使用する
2. デフォルトのログ・ファイル名は、`dklog.log` である
3. `dklog.log` が、EIP 対応アプリケーションが実行されている現行作業ディレクトリーに置かれている。
4. ロギング優先順位は、「エラー (Error)」に設定されている
5. 同一のエラー・メッセージ ID を持つことが許可されている例外の最大数は 5 である

cmblogconfig.properties の変更: `cmblogconfig.properties` ファイルの設定を更新するには、次のようにします。

1. デフォルトのインストール・ディレクトリーを使用している場合は、ディレクトリーを `c:\Program Files\IBM\Cmgmt` または `/usr/lpp/cmb/cmgmt` に変更します。デフォルトのインストール・ディレクトリーをすでに変更している場合は、`CMCOMMON` 環境変数でこのファイルの現行位置を確認してください。
2. テキスト・エディターで `cmblogconfig.properties` を開く。
3. デフォルト・ロギング・マネージャーが使用する設定を変更する。

セクション 0 - グローバル設定

最大例外カウントを決定します。

セクション 1 - ロギング・マネージャーのファクトリー設定

デフォルト・ロギング・マネージャーと LOG4J のどちらを使用するかを決定します。

セクション 2 - デフォルト・ロギング・マネージャーのセットアップ

セクション 2 には、以下の 3 つのサブセクションがあります。

- a. セクション 2.1 - ログ優先順位の指定。8 つの優先順位設定が選択可能です。デフォルトの優先順位設定は、「エラー (Error)」です。
- b. セクション 2.2 - ログ出力先設定。以下の 3 つの設定が選択可能です。
 - 1) ファイルに記録する
 - 2) 標準エラーに記録する
 - 3) 標準コンソールに記録する

デフォルト設定は、「ファイルに記録する」です。

- c. セクション 2.3 - ログ・ファイル名設定。セクション 2.2 のオプションが「ファイルに記録する」に設定されている場合にのみ使用します。デフォルト・ログ・ファイル名は、`dklog.log` です。ログ・ファイル・パスに 1 つの円記号 (¥) が使用されている場合、代わりに 2 つの円記号 (¥¥) または 1 つのスラッシュ (/) を挿入する必要があります。パスを指定しないと、ログは必ず問題が実行されている現行作業ディレクトリーに置かれます。

4. ファイルを保管する。

注:

以下の優先順位を構成ファイル `cmblogconfig.properties` で変更できます。

DISABLE

ロギングを使用不可にします。

FATAL

プログラムにリカバリー不能エラーが検出され、即時に操作を中止しなければならないという情報を提供します。(プログラムの停止は、ロギング機能からではなく、個別に行われます。)

ERROR

プログラムにリカバリー可能またはリカバリー不能エラーが検出されましたが、操作は継続できるという情報を提供します。

PERF パフォーマンスを測定するための出力情報の収集に使用されます。

INFO ログオンの成功などの、有効なイベント・メッセージを提供します。

TRACE_NATIVE_API

ネイティブ呼び出しの前後のロギングに使用されます。パラメーターおよび戻りデータ情報を提供します。

TRACE_ENTRY_EXIT

プログラム・モジュール (またはコードのブロック) の入り口と出口を示すために使用されます。

TRACE

プログラム状態の変更などの、追加の診断情報の出力に使用されます。

DEBUG

エラーをデバッグするための情報の出力に使用されます。

以下に、これらの優先順位の使用方法を例示します。

DKLogPriority = FATAL (Use this to log FATAL messages)

DKLogPriority = ERROR (Use this to log FATAL + ERROR messages)

重要: ロギング・マネージャーは、既存のログ・ファイルにログ出力を付加し続けます。ログ・ファイルから不要なログ出力を定期的に削除して、大きくなりすぎないようにしてください。

ログおよびトレース出力の例

このセクションでは、ログ・ファイルに提供される出力タイプの例を示します。

Java ログ出力ファイルの例

ログ・ファイルでは、エラー・メッセージはユーザー環境の各国語で記録されます。他のすべての診断情報は、英語で記録されます。デフォルト・ログ・ファイルは、`dklog.log` です。

以下の例は、ログ・ファイルの先頭にある **INFO** セクションを示しています。プログラムが始動するたびに、新規の **INFO** 項目がログ・ファイルに追加されます。

```
[INFO]
>>>>> Java connector logging started 02/02/2002 at 20:40:41.321 PST
OS version      : Windows 2000 5.0
java.vm.name    : Classic VM, java.version    : 1.3.0
java.home       : C:\CMBROOT\jdk\jre
java.ext.dir    : null
java.classpath  : .;C:\Program Files\IBM\CMGMT;
C:\CMBROOT\lib\cmbview81.jar;
```



```

C:\CMBROOT\lib\cmb81.jar;
C:\CMBROOT\lib\cmbcm81.jar;C:\CMBROOT\lib\cmbd181.jar;
C:\CMBROOT\lib\cmbjdbc81.jar;C:\CMBROOT\lib\cmbip81.jar;
C:\CMBROOT\lib\cmbv481.jar;C:\CMBROOT\lib\cmbdd81.jar;
C:\CMBROOT\lib\cmbfed81.jar;C:\CMBROOT\lib\cmbdes81.jar;
C:\CMBROOT\lib\cmbdb281.jar;C:\CMBROOT\lib\cmbdj81.jar;
C:\CMBROOT\lib\cmbic81.jar;C:\CMBROOT\lib\cmbod81.jar;
C:\CMBROOT\lib\swingall.jar;C:\CMBROOT\lib\ics.jar;
C:\CMBROOT\lib\cmbicm81.jar;C:\CMBROOT\lib\cmbfn81.jar;
C:\Program Files\SQLLIB\JAVA\DB2JAVA.ZIP;
C:\CMBROOT\lib\xerces.jar;
C:\CMBROOT\lib\essrv.jar;C:\CMBROOT\lib\esclisrv.jar;
C:\CMBROOT\lib\jaas.jar;C:\java\ibmjndi.jar;
C:\CMBROOT\lib\cmblog4j81.jar;
C:\CMBROOT\lib\log4j.jar;C:\CMBROOT\lib\cmbsdk81.jar

[EXC]: 02/02/2002 at 20:40:41.351 PST @ PINEAPPLE
(9.xxx.xx.xxx); com.ibm.mm.sdk.common.DKLogonFailure1 #
com.ibm.mm.sdk.logtool.DKLogManagerFactory_default2
[USR]: ypchen (C:\Documents and Settings\Administrator)3 @
C:\CMBROOT\SAMPLES\java\ICM4
[THD]5: main ( 3caecd )
[THG]6: main = { main }
[LOC]7: com.ibm.mm.sdk.server.DKDatastoreICM:logon
[MSG]: DGL0394A: Error in ::DKDatastoreICM.connect
[SERVER=icmn1sdb:USERID=install] [RC8=7127] [ReasonCode=0]
[ExtRC=0] [ExtReasonCode=0]
at com.ibm.mm.sdk.server.DKDatastoreICM.logon(DKDatastoreICM.java:1190)
at com.ibm.mm.sdk.server.DKDatastoreICM.connect(DKDatastoreICM.java:1046)
at TConnectICM.main(TConnectICM.java:72)

```

以下のセクションでは、例における注 1 ～ 8 について説明します。

1. 例外タイプ (該当する場合)
2. ログイン・マネージャー名 (カテゴリー名)
3. ログイン・ユーザーのホーム・ディレクトリー
4. 現行作業ディレクトリー
5. エラーを報告するスレッドの名前 (ハッシュコード)
6. スレッド・グループ:= {このスレッド・グループ内のスレッドおよびサブスレッド・グループ}
7. クラス名: エラーが発生するメソッド名
8. コンテンツ・サーバーの戻りコードの例外タイプ (該当する場合)

重要: ログイン・マネージャーは、既存のログ・ファイルにログ出力を付加し続けます。ログ・ファイルから不要なログ出力を定期的に削除して、大きくなりすぎないようにしてください。

C++ ログ出力例

ログ・ファイルでは、エラー・メッセージはユーザー環境の各国語で記録されます。他のすべての診断情報は、英語で記録されます。デフォルト・ログ・ファイルは、dklog.log です。

以下の例は、ログ・ファイルの先頭にある INFO セクションを示しています。プログラムが始動するたびに、新規の INFO 項目がログ・ファイルに追加されます。

```

[INFO]
>>>>> C++ connector logging started 02/02/2002 at 21:17:15
Pacific Standard Time
OS version      : Windows version 5.0, build 0 2195, CSDVersion

```

```

Service Pack 2
CMCOMMON      : C:\Program Files\IBM\CMGMT
ICMROOT       : C:\Program Files\IBM\CM81
PATH          : C:\progra~1\MQSeries\bin\MQServer;.
C:\Program Files\IBM\CMGMT;C:\CMBROOT\DLL;C:\CMBROOT;C:\CMBROOT\jdk\bin;
C:\CMBROOT\jdk\jre\bin;C:\CMBROOT;C:\CMBROOT\DLL;
C:\Program Files\ibm\gsk5\lib;C:\BATCH;CMAPI\HELP;C:\WINNT\system32;C:\WINNT;
C:\WINNT\System32\wbem;C:\Utilities;C:\Program Files\IBM\Trace
Facility;C:\Program Files\Personal
Communications;C:\Notes;C:\WINNTAPPS\PFE;
c:\program\bin;C:\Program Files\Microsoft Visual
Studio\Common\Tools\WinNT;C:\Program Files\Microsoft Visual
Studio\Common\MSDev98\Bin;C:\Program Files\Microsoft Visual
Studio\Common\Tools;C:\Program Files\Microsoft Visual
Studio\VC98\bin;C:\WINNTAPPS\MSSQL7\BINN;
c:\projects\cprojects\prism_dk\dbg_dll;C:\WINNTA~1\ULTRAE~2;
C:\CMVC;C:\Program Files\SQLLIB\BIN;
C:\Program Files\SQLLIB\FUNCTION;C:\Program
Files\SQLLIB\SAMPLES\REPL;C:\Program
Files\SQLLIB\HELP;C:\PROGRA~1\IBM\IMNNQ\;ikf\bin;
C:\WebSphere\AppServer\bin;;.MFC;C:\CMBROOT\CMAPI;
C:\CMBROOT\CMAPI\DLL;C:\Ars32;C:\Ars32\MFC
[EXC]: 02/02/2002 at 21:17:15 Pacific
Standard Time @ PINEAPPLE (xxx.x.x.x);
DKDatastoreAccessError1 # 2
[USR]: ypchcn (C:\Documents and Settings\Administrator)3 @
C:\CMBROOT\SAMPLES\cpp\ICM\bin4
[THD]5: 1184
[PRS]6: 948
[LOC]7: (DKDatastoreICM.cpp):4773
[MSG]: DGL0394A: Error in ::DKDatastoreICM.connect
[SERVER=icmn1sdb:USERID=install] [RC8=7127] [ReasonCode=0]
[ExtRC=0] [ExtReasonCode=0] ; (SERVER RC) : 0, (STATE) :

```

以下のセクションでは、C++ エラー・メッセージの例における注 1 ～ 8 について説明します。

1. 例外タイプ (該当する場合)
2. ログイン・マネージャー名 (該当する場合。デフォルト・ログイン・マネージャーが使用される場合は、このフィールドは空になる)
3. ログイン・ユーザーのホーム・ディレクトリー
4. 現行作業ディレクトリー
5. エラーを報告するスレッドの ID
6. プロセス ID
7. ファイル名: 行番号
8. コンテンツ・サーバーの戻りコード

重要: ログイン・マネージャーは、既存のログ・ファイルにログ出力を付加し続けます。ログ・ファイルから不要なログ出力を定期的に削除して、大きくなりすぎないようにしてください。

トレース・ログ出力例

以下にトレース・ログの例を示します。

```

[03/14/2002 11:22:47.046 PST] 3caecd T: + listXD00object()
[03/14/2002 11:22:47.547 PST] 3caecd T: + listAttrByCaller() caller:
[03/14/2002 11:22:47.717 PST] 3caecd T: - listAttrBycaller()
[03/14/2002 11:22:47.717 PST] 3caecd T: + listAttrGroupByCaller() caller:
[03/14/2002 11:22:47.757 PST] 3caecd T: - listAttrGroupByCaller()

```

```
[Time Stamp] = [03/14/2002 11:22:47.046 PST]
Thread_Id = 3caecd
Trace_Level = T
Trace Message = + listXD00object()
```

トレース出力ログのフォーマットは、以下のとおりです。

- タイム・スタンプ
- スレッド ID
- 以下を表すトレース・レベル:

```
F = FATAL
E = ERROR
P = PERF
I = INFO
N = TRACE_NATIVE_API
X = TRACE_ENTRY_EXIT
T = TRACE
D = DEBUG
```

- トレース・メッセージ

第 2 章 EIP のトラブルシューティング

このセクションでは、共通の Enterprise Information Portal エラーの解決方法を説明します。

システム管理クライアントのメッセージ

このセクションに記載されているエラー・メッセージは、システム管理クライアントで提供されているメッセージです。メッセージに番号は付いていません。

サーバー [データベース名] に接続できません。システム管理者に連絡してください。 クライアント・ワークステーションの `cmbclient.ini` ファイルに RMI サーバー・ポート番号が正しく設定されていることを確認してください。

Java 例外: `java.net.ConnectException`

RMI サーバーをシャットダウンしてください。マスター RMI サーバーが実行されているかどうかを確認してください。RMI サーバーを再始動します。

Java 例外: `java.net.UnknownHostException`

RMI サーバーの `cmbregist81.bat` ファイルでホスト名が正しいかどうかを確認してください。

エラー検出と処理

説明、デモンストレーション、および例外印刷ツールについては、
%CMBROOT%\Samples\java(or cpp)\icm ディレクトリーにある、EIP と共にインストールされた `SConnectDisconnectICM` API 教育用サンプルを参照してください。詳しくは、「ワークステーション・アプリケーション・プログラミング・ガイド」の Content Manager の使用に関するセクションを参照してください。

第 3 章 API メッセージ、DGL0300 ～ DGL1620

以下に挙げるのは、Enterprise Information Portal アプリケーション・プログラミング・インターフェース (API) から受け取る可能性のあるメッセージです。Content Management Information Center 検索ではフルワードを探します。検索したいワード全体を入力する必要があります。メッセージを検索するときは、接頭部を含む完全なメッセージ番号を入力してください。たとえば、DGL1234A についての情報を検索するには、DGL1234A と入力します。番号しかないメッセージについての情報を検索するには、その番号を入力します。

DGL0300A メッセージ ID を検出できません。

説明: メッセージ ID を検出できなかったため、システムはメッセージを生成できません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 残りのエラー情報を調べて正しいメッセージを確認します。正しいメッセージは本書に記載されています。例外オブジェクトで戻された EIP エラー ID を調べます。EIP エラー ID は、本書に記載されている正しいメッセージに対応しています。エラー ID を本書のメッセージにマップしてみてください。その際の形式は DGL<4 桁の EIP エラー ID>A です。さらに、ICM<4 桁のエラー・コード> の形式の Content Manager ライブラリー・サーバーの戻りコードに対応するエラー・コードを調べます。例外オブジェクトで戻された EIP エラー ID の調査例については、「ワークステーション・アプリケーション・プログラミング・ガイド」の SConnectDisconnectICM API 教育用サンプルを参照してください。上記の情報を収集したら、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL0301A ライブラリーをロード中に、エラーが発生しました。

説明: 共用ライブラリー・ファイル (Windows の場合は icmnlssp.dll ファイル、AIX および Solaris の場合は ICMNLSSP ファイル) のロード中にエラーが発生しました。ライブラリー・ファイルの間違ったパスが指定されている可能性があります。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: ライブラリー・パス環境変数を現行ライブラリー位置で更新してください。パス名は、Windows の場合は x:%sqllib%function、AIX および Solaris の場合は <db2instance_home>/sqllib/function です。

DGL0302A ライブラリーのアンロード中に、エラーが発生しました。

説明: 共用ライブラリー (Windows の場合は icmnlssp.dll ファイル、AIX および Solaris の場合は ICMNLSSP ファイル) のアンロード中にエラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL0303A パラメーターが無効です。

説明: 現行メソッドを呼び出すための入力パラメーターが無効でした。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「ワークステーション・アプリケーション・プログラミング・ガイド」を参照して、呼び出そうとしているメソッドの正しいパラメーター指定を調べて、入力パラメーターにヌル値のデータ・オブジェクトがあるかどうかを確認してください。

DGL0304A カーソルが無効です。

説明: カーソルが無効な状態です。これは、コレクション内に項目がないか、カーソルの境界の前後であるか、あるいはカーソルに項目を追加したりカーソルから項目を削除したことが原因である可能性があります。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 新規のカーソルを作成するか、現行のカーソルを最初のコレクション項目に設定するか、または空のコレクションに項目を追加してください。

DGL0305A コレクションがフルです。

説明: コレクションが、許可されている最大項目数に達しました。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: コレクションから項目を除去してください。

DGL0306A オブジェクトが固有ではありません。

説明: コレクションに追加された項目のキーが固有ではありません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 項目またはオブジェクトを変更して、コレクション内で固有な新規キーを作成してください。

DGL0307A 接続エラー。[Prefix=xxxx, MoreInfo=yyyy]

説明: データ・ストアで接続エラーが発生しました。

Prefix はコンポーネント ID です。フォルダー・マネージャーの場合 FRN で、テキスト検索エンジンの場合は IML です。MoreInfo は、追加エラー情報です。フォルダー・マネージャーの場合は ExtRC、テキスト検索エンジンの場合は DiagnosisInfo です。xxxx および yyyy はそのコンポーネントから戻されたメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 当該コンポーネントのメッセージ解説書でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0308A 切断エラー。[Prefix=xxxx, MoreInfo=yyyy]

説明: データ・ストアで切断エラーが発生しました。

Prefix はコンポーネント ID です。フォルダー・マネージャーの場合 FRN で、テキスト検索エンジンの場合は IML です。MoreInfo は、追加エラー情報です。フォルダー・マネージャーの場合は ExtRC、テキスト検索エンジンの場合は DiagnosisInfo です。xxxx および yyyy はそのコンポーネントから戻されたメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 当該コンポーネントのメッセージ解説書でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0309A 接続はすでに使用中です。

説明: すでに別のユーザーがそのデータ・ストアに接続されています。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: データ・ストアから切断してください。

DGL0310A 接続が見つかりません。

説明: データ・ストア用の接続が確立されませんでした。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: データ・ストアへの再接続をやり直してください。問題が解決しない場合は、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL0311A オプションが設定されていません。

説明: 指定されたオプションが設定されませんでした。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 指定されたオプションを設定してください。

DGL0312A 予期しないオプションです。

説明: 無効なまたは不明のオプションがデータ・ストアに渡されました。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 有効なオプションを設定してください。

DGL0313A オプションには予期しないタイプです。

説明: 実行依頼されたオプション値に、無効なタイプが含まれています。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 有効なオプション・タイプを指定してください。

DGL0314A オプションには予期しない値です。

説明: 実行依頼されたオプション値が無効です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 有効なオプション値を指定してください。

DGL0315A 索引をオープン中に、エラーが発生しました。[IML=xxxx, DiagnosisInfo=yyyy]

説明: テキスト検索索引のオープン中にエラーが発生しました。

エラーはテキスト検索エンジンによって生成されました。

xxxx および yyyy は テキスト検索エンジン API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「テキスト検索エンジン アプリケーショ

ン・プログラミング・リファレンス」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0316A 検索中に、エラーが発生しました。

[*Prefix*=xxxx, *MoreInfo*=yyyy]

説明: データ・ストアに対して照会を実行中に、エラーが発生しました。

Prefix はコンポーネント ID です。フォルダー・マネージャーの場合 FRN で、テキスト検索エンジンの場合は IML です。*MoreInfo* は、追加エラー情報です。フォルダー・マネージャーの場合は ExtRC、テキスト検索エンジンの場合は *DiagnosisInfo* です。xxxx および yyyy はそのコンポーネントから戻されたメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「Content Manager メッセージとコード」で該当コンポーネントのメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨される処置を取ってください。

DGL0317A ランキング情報を読み取り中に、エラーが発生しました。[*IML*=xxxx, *DiagnosisInfo*=yyyy]

説明: テキスト検索ランキング情報の検索中に、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は テキスト検索エンジン API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「テキスト検索エンジン アプリケーション・プログラミング・リファレンス」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0318A 新しい結果一覧を作成中に、エラーが発生しました。[*IML*=xxxx, *DiagnosisInfo*=yyyy]

説明: テキスト検索結果一覧ビューを作成中に、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は テキスト検索エンジン API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「テキスト検索エンジン アプリケーション・プログラミング・リファレンス」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0319A 結果一覧をソート中に、エラーが発生しました。[*IML*=xxxx, *DiagnosisInfo*=yyyy]

説明: テキスト検索結果一覧ビューをソート中に、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は テキスト検索エンジン API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「テキスト検索エンジン アプリケーション・プログラミング・リファレンス」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0320A 結果一覧をリスト中に、エラーが発生しました。[*IML*=xxxx, *DiagnosisInfo*=yyyy]

説明: テキスト検索結果一覧ビューをリスト中に、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は テキスト検索エンジン API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「テキスト検索エンジン アプリケーション・プログラミング・リファレンス」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0321A 結果一覧を取得中に、エラーが発生しました。[*IML*=xxxx, *DiagnosisInfo*=yyyy]

説明: テキスト検索結果一覧ビューを取得中に、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は テキスト検索エンジン API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「テキスト検索エンジン アプリケーション・プログラミング・リファレンス」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0323A サーバーをリスト中に、エラーが発生しました。[*Prefix*=xxxx, *MoreInfo*=yyyy]

説明: データ・ストアのサーバーをリスト中に、エラーが発生しました。

Prefix はコンポーネント ID です。フォルダー・マネージャーの場合 FRN で、テキスト検索エンジンの場合は IML です。*MoreInfo* は、追加エラー情報です。フォルダー・マネージャーの場合は ExtRC、テキスト検索エンジンの場合は *DiagnosisInfo* です。xxxx および yyyy は

そのコンポーネントから戻されたメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「Content Manager メッセージとコード」で該当コンポーネントのメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨される処置を取ってください。

DGL0324A 項目の情報を読み取り中に、エラーが発生しました。[FRN=xxxx, ExtRC=yyyy]

説明: 項目に関する情報を検索中に、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は、フォルダー・マネージャー API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「Content Manager メッセージとコード」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0325A 項目属性をオープン中に、エラーが発生しました。[FRN=xxxx, ExtRC=yyyy]

説明: 項目属性をオープン中に、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は、フォルダー・マネージャー API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「Content Manager メッセージとコード」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0326A 属性を読み取り中に、エラーが発生しました。[FRN=xxxx, ExtRC=yyyy]

説明: 項目属性を読み取り中に、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は、フォルダー・マネージャー API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「Content Manager メッセージとコード」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0327A 属性をクローズ中に、エラーが発生しました。[FRN=xxxx, ExtRC=yyyy]

説明: 項目属性をクローズ中に、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は、フォルダー・マネージャー API

からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「Content Manager メッセージとコード」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0328A 目次に関係する項目を読み取り中に、エラーが発生しました。[FRN=xxxx, ExtRC=yyyy]

説明: 目次に関係する項目を検索中に、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は、フォルダー・マネージャー API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「Content Manager メッセージとコード」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0329A フォルダーまたはワークバケットの目次を読み取り中に、エラーが発生しました。[FRN=xxxx, ExtRC=yyyy]

説明: フォルダーまたはワークバケットの目次を検索中に、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は、フォルダー・マネージャー API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「Content Manager メッセージとコード」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0330A フォルダーまたはワークバケットの目次をクローズ中に、エラーが発生しました。[FRN=xxxx, ExtRC=yyyy]

説明: フォルダーまたはワークバケットの目次をクローズ中に、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は、フォルダー・マネージャー API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「Content Manager メッセージとコード」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0331A 無効な照会であるか、照会が指定されていません。

説明: 照会ストリングが無効であるか、または指定されていません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 指定した照会ストリングの妥当性を検査するか、または照会ストリングが存在しているかどうかを調べてください。

DGL0332A 索引グループを作成中に、エラーが発生しました。[IML=xxxx, DiagnosisInfo=yyyy]

説明: テキスト検索索引グループを作成中に、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は テキスト検索エンジン API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「テキスト検索エンジン アプリケーション・プログラミング・リファレンス」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0333A 索引グループを削除中に、エラーが発生しました。[IML=xxxx, DiagnosisInfo=yyyy]

説明: テキスト検索索引グループを削除中に、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は テキスト検索エンジン API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「テキスト検索エンジン アプリケーション・プログラミング・リファレンス」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0334A 索引グループをクローズ中に、エラーが発生しました。[IML=xxxx, DiagnosisInfo=yyyy]

説明: テキスト検索索引グループをクローズ中に、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は テキスト検索エンジン API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「テキスト検索エンジン アプリケーション・プログラミング・リファレンス」でメッセージ番号

xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0335A 照会有効範囲を追加中に、エラーが発生しました。[IML=xxxx, DiagnosisInfo=yyyy]

説明: テキスト検索照会有効範囲を追加中に、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は テキスト検索エンジン API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「テキスト検索エンジン アプリケーション・プログラミング・リファレンス」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0336A データ・アクセス・カーソルが無効です。

説明: resultSet カーソルが無効な状態です。これは、カーソルの境界を超えたことが原因です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: カーソルをクローズし、その後で再オープンしてください。

DGL0337A データ・アクセス位置が無効です。

説明: resultSet カーソルの setToNext または setPosition メソッドに、無効な位置が指定されています。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: データ・アクセス位置を resultSet カーソルに対して有効な位置にリセットしてください。

DGL0338A データ・アクセス述部が無効です。

説明: resultSet カーソルの findObject メソッドに、無効な述部が指定されています。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 有効な述部を findObject メソッドに指定してください。

DGL0340A データ・アクセス・カーソルは更新できません。

説明: 更新不能なカーソルに対して更新または追加操作が試みられました。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: ファイルへの書き込みを許可するようにデ

ータ・ストア読み取り / 書き込みオプションを設定し、照会を再実行してください。

DGL0341A 関数は使用可能ではありません。

説明: この関数は使用できません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: この関数を起動しないでください。

DGL0342A このオブジェクト・タイプには無効なデータ・ストアです。

説明: 渡されたデータ・ストアは、このオブジェクト・タイプには無効です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 渡すのに正しいデータ・ストアを調べ、やり直してください。

DGL0343A 異なるオブジェクト・タイプの比較が試行されました。

説明: 2 つの異なったタイプのオブジェクトの比較は許可されません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 比較されるオブジェクトのオブジェクト・タイプが同じであることを確認して、やり直してください。

DGL0344A このオブジェクトのための永続 ID はありません。

説明: このオブジェクトには永続 ID が設定されていません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: オブジェクトに永続 ID を設定して、やり直してください。

DGL0345A 永続 ID をヌルに設定することはできません。

説明: 永続 ID をヌルに設定することはできません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: データ・ストアからアクセスされるオブジェクトはすべて、永続 ID を持っている必要があります。ヌルは無効です。永続 ID を設定するときには、永続 ID がヌルでないことを確認してください。

DGL0346A API パラメーター・オブジェクトをヌルに設定することはできません。

説明: DL API パラメーター・オブジェクトはデータ・ストアからオブジェクト内容にアクセスする必要があります。これをヌルに設定することはできません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: データ・ストアからアクセスされるすべてのオブジェクトは永続 ID が必要です。ヌル文字の使用は許可されません。API パラメーター・オブジェクトを設定するときには、永続 ID がヌルでないことを確認してください。

DGL0347A このオブジェクトに API パラメーターはありません。

説明: このオブジェクトには API パラメーターが設定されていません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: このオブジェクトの API パラメーターが設定されているか確認してください。

DGL0348A 異なるオブジェクト・タイプの割り当てが試行されました。

説明: 1 つのオブジェクトに異なる複数のオブジェクト・タイプを割り当てることは、許可されない操作です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: オブジェクト・タイプが変わっていないことを確認して、やり直してください。

DGL0349A パーツを削除中に、エラーが発生しました。API: [FRN=xxxx, ExtRC=yyyy]

説明: データ・ストアからパーツを削除中に、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は、フォルダー・マネージャー API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「Content Manager メッセージとコード」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0350A 追加できません。オブジェクト内容が設定されていません。

説明: 追加機能では、データ・ストアにオブジェクト内容を追加する前に、それが設定されていなければなりません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: メソッド `setContentFromClientFile()` または `setContent()` を使用して、オブジェクト内容を先に設定してください。

DGL0351A 別のタイプにオブジェクト内容の設定が試行されました。

説明: 現行オブジェクトの内容を、異なるタイプの内容に設定しようとしてしました。たとえば、DKClobDB2 のオブジェクト内容を DKBlobDB2 のオブジェクト内容に設定しようとしてしました。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 操作をやり直さないでください。現行オブジェクトの内容が、同じタイプの内容で設定されていることを確認してください。

DGL0352A ファイルのオープン中に、エラーが発生しました。[nnn]

説明: 現行ファイルをオープンしようとしたときに、エラーが発生しました。このエラーが起こるのは、対象ファイルがすでに別のプロセスによってオープンされているとき、ファイルがアクセス禁止になっているとき、またはファイルが存在していないときです。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 問題を訂正し、操作をやり直してください。

DGL0353A ファイルのクローズ中に、エラーが発生しました。[nnn]

説明: 現行ファイルをクローズしようとしたときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 不要なプロセスをすべてクローズし、操作をやり直してください。

DGL0354A ファイルの長さを判別できません。[nnn]

説明: 現行ファイルの EOF (ファイル終わり) が見つかりません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 現行ファイルが有効で、しかも破壊されていないことを確認した上で、操作をやり直してください。

DGL0355A 異なる 2 つのオブジェクト・タイプの連結を試行しました。

説明: タイプの異なる 2 つのオブジェクトを不当に連結しようとしてしました。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: オブジェクト・タイプが同じであることを確認して、操作をやり直してください。

DGL0356A 異なるオブジェクト・タイプでは索引付けできません。

説明: 現行オブジェクトの内容にタイプの異なる内容を不当に索引付けしようとしてしました。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: オブジェクト・タイプが同じであることを確認して、操作をやり直してください。

DGL0357A 異なるオブジェクト・タイプでは挿入できません。

説明: オブジェクト・タイプの異なる内容を現行オブジェクトの内容に不当に挿入しようとしてしました。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: オブジェクト・タイプが同じであることを確認して、操作をやり直してください。

DGL0358A 読み取り用にファイルをオープンできません。

説明: 現行ファイルを読み取り専用オープンしようとしたときに、エラーが発生しました。このエラーが起こるのは、対象ファイルがすでに別のプロセスによってオープンされているとき、ファイルがアクセス禁止になっているとき、またはファイルが存在していないときです。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 問題を訂正し、操作をやり直してください。

DGL0359A ファイルがすでに存在します。上書き禁止のオプションが選択されています。

説明: `fileOption "2"` (既存のファイルに上書きしない) が指定されています。このファイルはすでに存在しており、上書きされません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 固有のファイル名を使用するか、またはファイル・オプションを `fileOption "1"` (同じ名前を持つ既

存のファイルに上書きする)に変更して、操作をやり直してください。

DGL0360A 書き込み用にファイルをオープンできません。

説明: 書き込みまたは上書き用に現行ファイルをオープンしようとしたときに、エラーが発生しました。このエラーが起こるのは、対象ファイルがすでに別のプロセスによってオープンされているとき、ファイルがアクセス禁止になっているとき、またはファイル・パスが存在していないときです。また、ファイルがライト・プロテクト・モードになっていたり、ファイルの常駐ディスクがアクセス禁止になっていたりすることもあります。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 問題を訂正して、現行ファイルのオープンを再度試行してください。

DGL0361A 付加用にファイルをオープンできません。

説明: 指定されたファイルを付加用にオープンしようとしたときに、エラーが発生しました。このエラーが起こるのは、対象ファイルがすでに別のプロセスによってオープンされているとき、ファイルがアクセス禁止になっているとき、またはファイル・パスが存在していないときです。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 問題を訂正し、操作をやり直してください。

DGL0362A ファイルの長さと書き込みの長さが一致しません。

説明: このエラーが起こるのは、実際のファイル長と他のファイルに書き込まれる長さ情報が一致しないときです。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: フリー・ディスク・スペースとマシン・メモリーの容量を調べ、操作をやり直してください。

DGL0363A 無効なファイル・オプション。

説明: 正しくないファイル・オプションが操作に使用されています。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 以下のファイル・オプションのうち 1 つを使用して、操作をやり直してください。

- オプション "1": ファイルを作成または上書きする
- オプション "2": ファイルを作成するが上書きしない
- オプション "3": 既存のファイルに付加する

DGL0364A パーツ・オブジェクト・ハンドルが設定されていません。

説明: データ・ストアのパーツ・オブジェクトにアクセスするためには、オブジェクト・データ構造にパーツ・オブジェクト・ハンドルが必要です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: このパーツ・オブジェクト・ハンドルが設定されていることを確認して、操作をやり直してください。

DGL0365A 注釈パーツ・オブジェクトのための関連データが設定されていません。

説明: このオブジェクトの関連タイプは DK_ANNOTATION に設定されていますが、このオブジェクトの関連データはまだ設定されていません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: DKAnnotation クラス・メソッドを使用してまず注釈オブジェクトを設定し、次に setAffiliatedData(DKAnnotation&) を使用して関連データを設定してください。

DGL0366A 必要な検索エンジン項目情報が設定されていません。

説明: このエラーは、このオブジェクトの内容が検索索引付けされるように指示されたが、情報の searchEngine、searchIndex、および searchInfo 項目が指定されていないときに生成されます。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: setSearchEngine()、setSearchIndex() および setSearchInfo() を使用して検索情報を設定してください。

DGL0367A パーツを追加中に、エラーが発生しました。API: [FRN=xxxx, ExtRC=yyyy]

説明: データ・ストアにパーツを追加中に、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は、フォルダー・マネージャー API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「Content Manager メッセージとコード」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0368A パーツを検索中に、エラーが発生しました。API: [FRN=xxxx, ExtRC=yyyy]

説明: データ・ストアからパーツを検索中に、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は、フォルダー・マネージャー API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「Content Manager メッセージとコード」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0369A パーツを更新中に、エラーが発生しました。API: [FRN=xxxx, ExtRC=yyyy]

説明: データ・ストアのパーツを更新中に、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は、フォルダー・マネージャー API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「Content Manager メッセージとコード」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0370A 指定されたファイルが存在しません。
[nnn]

説明: パス、ディレクトリー、またはファイル名が破壊されているか、あるいは存在していないために、指定されたファイル名を見つけることができません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: パス、ディレクトリー、およびファイル名をチェックして、やり直してください。

DGL0371A オブジェクトのクローズ・エラー。
[FRN=xxxx, ExtRC=yyyy]

説明: データ・ストアのパーツ・オブジェクトをクローズしようとしたときに、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は、フォルダー・マネージャー API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「Content Manager メッセージとコード」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0372A オブジェクト内容が変更されていないのでオブジェクトは更新されません。

説明: これは状況を述べたものです。変更が行われていなければ、オブジェクト内容を更新する必要はありません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: アクションは不要です。

DGL0373A 読み取り専用オブジェクトはオブジェクトの一部分しか読み取りません。

説明: オブジェクト内容の読み取りが部分的に成功しました。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: ディスク・スペースとメモリー・リソースが十分であることを確認し、操作をやり直してください。

DGL0374A ファイル名のためにメモリーを割り振れません。

説明: 現行のファイル名に割り振るシステム・リソースが十分ではありません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: ディスク・スペースとメモリー・リソースが十分であることを確認し、操作をやり直してください。

DGL0375A この言語の項目タイプが定義されていません。

説明: 現在の言語の設定には、定義されている項目タイプがありません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 正しい言語を設定してください。あるいは、現在の言語に、新しい項目タイプを定義してください。または、英語を使用してください。その後で、もう一度やり直してください。

DGL0376A データ項目が見つかりません。

説明: 指定されたデータ項目は現行 DDO (ダイナミック・データ・オブジェクト) には見つかりません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: データ項目名が現行 DDO に属することを確認してください。現行の DDO 内にあるすべてのデータ項目名を取得するには、getDataName(i) を呼び出

スループを使用することができます (ただし、 $1 \leq i \leq \text{dataCount}()$)。

DGL0377A プロパティが見つかりません。

説明: 指定されたプロパティが現行 DDO 内にありません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: プロパティ名が現行の DDO に属することを確認してください。現行の DDO 内にあるすべてのプロパティ名を取得するには、`getPropertyName(i)` を呼び出すループを使用することができます (ただし、 $1 \leq i \leq \text{propertyCount}()$)。

DGL0378A データ名はすでに存在します。

説明: 指定されたデータ項目名がすでにこの DDO 内に存在しています。この DDO 内の別のデータ項目名と重複するデータ項目名の追加は、許可されていません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 固有のデータ名に変更して、操作をやり直してください。

DGL0379A プロパティ名はすでに存在します。

説明: 指定されたプロパティ名がすでに現行のデータ項目または DDO 内に存在しています。別のプロパティ名と重複するプロパティ名は、追加できません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 固有のプロパティ名に変更して、操作をやり直してください。

DGL0380A データ項目プロパティが見つかりません。

説明: 指定されたプロパティが現行データ項目内にありません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: プロパティ名がこのデータ項目に属することを確認してください。このデータ項目 (`data_id` 位置にある) 内にあるすべてのプロパティ名を取得するには、`getDataPropertyName(data_id, i)` を呼び出すループを使用することができます (ただし、 $1 \leq i \leq \text{dataPropertyCount}(\text{data_id})$)。

DGL0381A いくつかのプロパティがまだ設定されていません。

説明: データ項目値の設定は、このデータ項目に定義されたすべてのプロパティが先に設定されてからでなければ許可されません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: データ項目値を設定する前に、データ項目プロパティの値を設定してください。

DGL0382A イテレーターが無効です。

説明: 指定されたイテレーターは、この操作には正しくありません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 指定されたコレクションに属する正しいイテレーター・タイプおよびインスタンスを使用してください。

DGL0383A 位置が無効です。

説明: 現在のイテレーター位置は無効です。許容される境界を超えているか、または削除されたメンバーの位置を指しているかのどちらかが原因だと考えられます。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: プログラミングを訂正してください。

DGL0384A カタログ情報を読み取り中に、エラーが発生しました。[FRN=xxxx, ExtRC=yyyy]

説明: カタログ機能の呼び出し中に、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は、フォルダー・マネージャー API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「Content Manager メッセージとコード」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0385A データ・オブジェクトがヌルです。

説明: 現行メソッドは、ヌルのデータ・オブジェクトをパラメーターとして受け入れません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 現行メソッドの呼び出しについて正しいパラメーター指定を提供してください。

DGL0386A プロトコルがサポートされていません。

説明: 指定されたプロトコルは、データ・ストアによってサポートされません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: メソッド呼び出しのためのパラメーターとして、適切なタイプおよびプロトコルを持つオブジェクトを使用してください。

DGL0387A オブジェクトのデータ・ストア・タイプは矛盾しています。

説明: DDO 永続 ID 内のデータ・ストア・タイプが、現行操作を実行するために呼び出されるデータ・ストア・タイプと一致しません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: プログラムを訂正し、操作をやり直してください。

DGL0388A オブジェクトのデータ・ストア名が矛盾しています。

説明: DDO 永続 ID 内のデータ・ストア名が、現行操作を実行するために呼び出されるデータ・ストアの名前と一致しません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: ソース・データ・ストアから発生する DDO を宛先データ・ストアに送信するときに、そのデータ・ストア名を、宛先データ・ストアの名前と一致するように設定してください。

DGL0389A オブジェクト・タイプが設定されていません。

説明: この DDO 内のオブジェクト・タイプが設定されていません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: オブジェクト・タイプは、それが属する索引クラスの名前に設定されます。

DGL0390A 項目 ID が設定されていません。

説明: 現行の DDO 内の項目 ID が設定されていません。項目 ID は、DDO に対する retrieve()、delete()、および update() 操作に必要です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 項目 ID を必要とするメソッドを呼び出す前に、項目 ID を設定してください。

DGL0391A データ・ストアに接続がありません。

説明: 現在のデータ・ストアとの接続が確立されていません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: connect() メソッドを呼び出して、データ・ストアへの接続を確立してください。

DGL0392A 索引が境界外です。

説明: データ項目にアクセスするために使用される指定された data_id が境界外です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: プログラミングを訂正してください。範囲は $1 \leq \text{data_id} \leq \text{dataCount}()$ です。

DGL0393A ストレージを解放中に、エラーが発生しました。API_name、[Prefix=xxxx, MoreInfo=yyyy]

説明: API_name の呼び出しで使用されるシステム・メモリーの解放中に、エラーが発生しました。

Prefix はコンポーネント ID です。フォルダー・マネージャーの場合 FRN で、テキスト検索エンジンの場合は IML です。MoreInfo は、追加エラー情報です。フォルダー・マネージャーの場合は ExtRC、テキスト検索エンジンの場合は DiagnosisInfo です。xxxx および yyyy はそのコンポーネントから戻されたメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「Content Manager メッセージとコード」で該当コンポーネントのメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨される処置を取ってください。

DGL0394A API_name でエラーが発生しました。
[Prefix=xxxx, MoreInfo=yyyy]

説明: API_name の呼び出しでエラーが発生しました。

Prefix はコンポーネント ID です。フォルダー・マネージャーの場合 FRN で、テキスト検索エンジンの場合は IML です。MoreInfo は、追加エラー情報です。フォルダー・マネージャーの場合は ExtRC、テキスト検索エンジンの場合は DiagnosisInfo です。xxxx および yyyy はそのコンポーネントから戻されたメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「Content Manager メッセージとコード」で該当コンポーネントのメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨される処置を取ってください。

DGL0395A データ・タイプが定義されていません。

説明: 指定されたデータ・タイプは定義されていません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 定義されたデータ・タイプを使用するようにプログラミングを訂正してください。

DGL0396A サポートされていないデータ・タイプです。

説明: 指定されたデータ・タイプはサポートされていません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: サポートされているデータ・タイプを使用するようにプログラミングを訂正してください。

DGL0397A 日付が無効です。

説明: 日付の形式が無効です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 日付を yyyy-mm-dd 形式に変更してください。

DGL0398A 追加のために項目 ID は空白でなければいけません。

説明: 文書またはフォルダーをデータ・ストアに追加する際、項目 ID フィールドを指定することはできません。これは、データ・ストアによって自動的に割り当てられます。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 項目 ID フィールドをクリアしてください。

DGL0399A 項目タイプが不明です。

説明: 項目が不明のタイプです。現在のところ、データ・ストアは文書およびフォルダーのみをサポートしています。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 項目タイプ は、DK_DOCUMENT または DK_FOLDER のいずれかに設定する必要があります。

DGL0400A オブジェクト・タイプが無効です。

説明: コンポーネント・メソッドに提供されるか、あるいはコンポーネント・メソッドによって使用されるオブジェクトのタイプが無効です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: メソッドの正しい使用法については、「オンライン API 解説書」を参照してください。

DGL0401A トランザクション中には、切断はできません。

説明: データ・ストアの切断は、トランザクションの保留中には行えません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: データ・ストアから切断する前に、トランザクションをコミット (またはロールバック) してください。

DGL0402A トランザクションの開始中に、エラーが発生しました。[FRN=xxxx, ExtRC=yyyy]

説明: 新規のトランザクション・セッションを開始しているときに、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は、フォルダー・マネージャー API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「Content Manager メッセージとコード」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0403A トランザクションをコミット中に、エラーが発生しました。[FRN=xxxx, ExtRC=yyyy]

説明: トランザクション・セッションのコミット中に、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は、フォルダー・マネージャー API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「Content Manager メッセージとコード」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0404A トランザクションをロールバック中に、エラーが発生しました。[FRN=xxxx, ExtRC=yyyy]

説明: トランザクション・ロールバックの実行中に、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は、フォルダー・マネージャー API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「Content Manager メッセージとコード」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0405A 照会が無効です。括弧がありません。

説明: 指定された照会ストリングは、括弧が欠落しているために無効です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 照会ストリング構文を訂正してください。

DGL0406A 照会が無効です。キーワードがありません。

説明: 指定された照会ストリングは、キーワードが欠落しているために無効です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 照会ストリング構文を訂正してください。

DGL0407A 照会が無効です。オプションが指定されていません。

説明: 指定された照会ストリングは、オプションが欠落しているために無効です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 照会ストリング構文を訂正してください。

DGL0408A 照会が無効です。指定した検索またはオプション値が無効です。

説明: 指定された照会ストリングは、検索値またはオプション値が無効なために無効です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 照会ストリング構文を訂正してください。

DGL0409A 照会が無効です。指定した索引クラスが無効です。

説明: 指定された照会ストリングは、索引クラスが無効なために無効です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 照会ストリング構文を訂正してください。

DGL0410A 照会が無効です。指定した属性が無効です。

説明: 指定された照会ストリングは、属性が無効なために無効です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 照会ストリング構文を訂正してください。

DGL0411A 検索索引をリスト中に、エラーが発生しました。[IML=xxxx, DiagnosisInfo=yyyy]

説明: テキスト検索索引をリスト中に、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は テキスト検索エンジン API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「テキスト検索エンジン アプリケーション・プログラミング・リファレンス」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0412A エラーです。開始トランザクションは実行されていません。

説明: データ・ストアに対するコミットまたはロールバック操作が、トランザクションを開始する前に開始されました。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 必ずコミットまたはロールバック操作より前にトランザクションを開始してください。

DGL0413A エラーです。トランザクションはすでに開始されています。

説明: データ・ストアに対する新規トランザクションが、トランザクションの進行中に開始されました。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 新規のデータ・ストア・トランザクションを開始する前に、現行のデータ・ストア・トランザクションに対してコミットまたはロールバック操作を実行してください。

DGL0414A 索引付け作業を行うために検索プログラムを起動中に、エラーが発生しました。[FRN=xxxx, ExtRC=yyyy]

説明: 索引付け作業を行うために検索プログラムを起動中に、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は、フォルダー・マネージャー API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「Content Manager メッセージとコード」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0415A 項目がチェックアウトされているため、削除は失敗しました。

説明: すでにチェックアウトされている項目の削除は、正しくない操作です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 削除に先立って、削除する項目をチェックインしてください。

DGL0416A ソート機能は指定または設定されていません。

説明: ソート機能がメソッドのデフォルト・パラメーターとして提供されておらず、コレクションにソート機能が定義されていません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: ソート機能オブジェクトをパラメーターとして提供するか、あるいはコレクション内にソート機能を設定してください。

DGL0417A このフォルダー・オブジェクトは入力された DDO の属性ではありません。

説明: DDO に DKConstant.DK_CM_DKFOLDER 属性がありません。これは、有効なフォルダーではない可能性があります。この項目は、適切な検索オプションが指定されずに検索された可能性があります。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: DK_CM_DKFOLDER 属性を持つ有効なフォルダーを使用するか、または必要なすべての検索オプションを指定して項目を検索してください。

DGL0418A タイプ変換が無効です。予期されるタイプは [DKAny_type_code] です。

説明: DKAny オブジェクトに対する操作に正しくないタイプ変換が入っていました。DKAny は DKAny_type-code を求めています。

コンポーネント: C++ API

アクション: DKAny 内部のオブジェクトのタイプを調べ、そのタイプにふさわしい操作を使用してください。

DGL0419A メンバーが見つかりません。

説明: 指定されたコレクション・メンバーが現行コレクション内にありません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: プログラミングを訂正してください。

DGL0420A このパーツ・オブジェクトは入力された DDO の属性ではありません。

説明: この DKParts オブジェクトは、入力 DDO に属していません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: プログラミングを訂正してください。

DGL0421A 項目がチェックアウトされていません。

説明: チェックアウトされていない項目はチェックインできません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: プログラミングを訂正してください。

DGL0422A DDO はどのデータ・ストアとも関連付けられていません。

説明: この DDO は現在どのデータ・ストアとも関連付けられていません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: setDatastore() メソッドを使用して、既存のデータ・ストア・インスタンスとの関連を確立してください。

DGL0423A 指定したパーツ・オブジェクトは存在しません。

説明: 指定されたパーツ・オブジェクトはデータ・ストア内に見つかりません。パーツ・オブジェクトは、その itemID、partID、および repType によって識別されます。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: itemID、partID、および repType がすべて正しいことを確認して、操作をやり直してください。

DGL0424A パーツ ID が設定されていません。

説明: データ・ストアからオブジェクト内容にアクセスするために必要なパーツ ID が、現在設定されていません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: プログラミングを訂正してください。パーツ ID を設定してください。

DGL0425A 項目のスナップショットの取得中に、エラーが発生しました。[FRN=xxxx, ExtRC=yyyy]

説明: 項目スナップショットを取得中に、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は、フォルダー・マネージャー API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「Content Manager メッセージとコード」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0426A 索引クラスが見つかりません。

説明: 指定された索引クラスが現行のサーバー内で見つかりません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 現行メソッドの呼び出し時に、既存の索引クラス名を指定してください。データ・ストア内で listSchema() メソッドを使用するのは、既存の索引クラス名のリストを取得するための手段です。

DGL0427A メモリーがありません。

説明: 現行プロセスを続行するためにメモリーを割り振ることができません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: マシン・メモリー・リソースを検査してください。

DGL0428A プロシージャー・アドレスの取得中に、エラーが発生しました。

説明: プロシージャー・アドレスの取得中に、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL0429A 結果を削除中に、エラーが発生しました。
[IML=xxxx, DiagnosisInfo=yyyy]

説明: テキスト検索結果の削除中に、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は テキスト検索エンジン API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「テキスト検索エンジン アプリケーション・プログラミング・リファレンス」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0430A 結果ビューを削除中に、エラーが発生しました。[IML=xxxx, DiagnosisInfo=yyyy]

説明: テキスト検索結果ビューを削除中に、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は テキスト検索エンジン API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「テキスト検索エンジン アプリケーション・プログラミング・リファレンス」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0431A 結果ビューをクラスター中に、エラーが発生しました。[IML=xxxx, DiagnosisInfo=yyyy]

説明: テキスト検索結果ビューのクラスター中に、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は テキスト検索エンジン API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「テキスト検索エンジン アプリケーション・プログラミング・リファレンス」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0432A 類似文書を読み取り中に、エラーが発生しました。[IML=xxxx, DiagnosisInfo=yyyy]

説明: 類似のテキスト検索文書を検索中に、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は テキスト検索エンジン API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「テキスト検索エンジン アプリケーション・プログラミング・リファレンス」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0433A 属性を追加中に、エラーが発生しました。
[FRN=xxxx, ExtRC=xxxx]

説明: データ・ストアにキー・フィールド属性を追加しているとき、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は、フォルダー・マネージャー API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「Content Manager メッセージとコード」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0434A 属性を削除中に、エラーが発生しました。
[FRN=xxxx, ExtRC=xxxx]

説明: データ・ストアからキー・フィールド属性を削除しているときに、エラーが発生しました。これは、この属性が索引クラスによって使用されていることが原因である可能性があります。

xxxx および yyyy は、フォルダー・マネージャー API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「Content Manager メッセージとコード」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0435A 属性を更新中に、エラーが発生しました。
[FRN=xxxx, ExtRC=xxxx]

説明: データ・ストアのキー・フィールド属性を更新しているときに、エラーが発生しました。これは、この属性が索引クラスによって使用されていることが原因である可能性があります。

xxxx および yyyy は、フォルダー・マネージャー API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「Content Manager メッセージとコード」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0436A 索引クラスを追加中に、エラーが発生しました。[FRN=xxxx, ExtRC=xxxx]

説明: データ・ストアに新規索引クラスを追加しているときに、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は、フォルダー・マネージャー API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「Content Manager メッセージとコード」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0437A 属性が見つかりません。

説明: データ・ストアから属性 ID または属性名を検索しようとしたところ、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 属性名のつづりが正しいか、また ID 番号が正しいかを確認してください。

DGL0438A 索引クラスを削除中に、エラーが発生しました。[FRN=xxxx, ExtRC=yyyy]

説明: データ・ストアから索引クラスを削除しているときに、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は、フォルダー・マネージャー API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「Content Manager メッセージとコード」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0439A 属性 ID も属性名も設定されていません。

説明: 索引クラスの属性を定義しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: DKClassAttribute オブジェクトのデータ・メンバーである、属性名 (attrName) または属性 ID (attrId) を設定してください。

DGL0440A 索引を更新するサーバー・タスクの開始中に、エラーが発生しました。[IML=xxxx, DiagnosisInfo=yyyy]

説明: 索引を更新するサーバー・タスクが開始されたときに、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は テキスト検索エンジン API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「テキスト検索エンジン アプリケーション・プログラミング・リファレンス」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0441A エラー。オブジェクトはすでに削除されています。

説明: オブジェクトはもはや存在していません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 正しいオブジェクトを指定しているか確認してください。指定が正しい場合には、削除操作を繰り返さないでください。

DGL0442A リモート・クラスの作成時のエラーです。

説明: リモート・クラスを作成しているときに、エラーが発生しました。クラスは作成されていません。

このエラーの原因としては次のいずれかが考えられます。

- ネットワークに問題がある。
- 通信エラーがあった。
- サーバーがアクティブでない。
- デーモンがアクティブでない。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: ネットワークが正しく稼働しているか確認してください。操作をやり直す前に、他のコンポーネントからのメッセージをエラー・ロギング機能で調べ、報告されている条件を訂正してください。

DGL0443A 項目 ID を検出できません。

説明: 指定された項目 ID がサーバー内に見つかりません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 項目 ID のスペルが正しいことを確認してください。

DGL0444A パーツ・オブジェクトはすでに存在します。

説明: パーツ・オブジェクトは、その項目 ID、パーツ ID、および表示タイプによって識別されます。各パーツ・オブジェクトは固有でなければなりません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 項目 ID (itemId)、パーツ ID (partId)、および表示タイプ (repType) の固有な組み合わせを使用してください。

DGL0445A 項目タイプを取得中に、エラーが発生しました。[FRN=xxxx, ExtRC=yyyy]

説明: メッセージ・タイプを取得中に、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は、フォルダー・マネージャー API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「Content Manager メッセージとコード」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0446A 索引をクリア中に、エラーが発生しました。[IML=xxxx, DiagnosisInfo=yyyy]

説明: 索引をクリア中に、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は テキスト検索エンジン API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「テキスト検索エンジン アプリケーション・プログラミング・リファレンス」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0447A 索引を作成中に、エラーが発生しました。[IML=xxxx, DiagnosisInfo=yyyy]

説明: 索引を作成中に、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は テキスト検索エンジン API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「テキスト検索エンジン アプリケーション・プログラミング・リファレンス」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0448A 索引を削除中に、エラーが発生しました。[IML=xxxx, DiagnosisInfo=yyyy]

説明: 索引を削除中に、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は テキスト検索エンジン API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「テキスト検索エンジン アプリケーション・プログラミング・リファレンス」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0449A 索引情報を取得中に、エラーが発生しました。[IML=xxxx, DiagnosisInfo=yyyy]

説明: 索引情報を取得中に、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は テキスト検索エンジン API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「テキスト検索エンジン アプリケーション・プログラミング・リファレンス」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0450A 索引機能状況を取得中にエラーが発生しました。[IML=xxxx, DiagnosisInfo=yyyy]

説明: 索引機能状況を取得中に、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は テキスト検索エンジン API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「テキスト検索エンジン アプリケーション・プログラミング・リファレンス」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0451A 検索エンジンを起動中に、エラーが発生しました。[FRN=xxxx, ExtRC=yyyy]

説明: 検索エンジンのユーザー出口ルーチンを起動中に、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は、フォルダー・マネージャー API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「Content Manager メッセージとコード」でメッセージ番号 xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0452A 索引機能状況を設定中に、エラーが発生しました。[IML=xxxx, DiagnosisInfo=yyyy]

説明: 索引機能状況を設定中に、エラーが発生しました。

xxxx および yyyy は テキスト検索エンジン API からのメッセージ番号です。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: 「テキスト検索エンジン アプリケーション・プログラミング・リファレンス」でメッセージ番号

xxxx および yyyy を調べ、推奨処置を取ってください。

DGL0453A ホスト名、ユーザー ID、またはパスワードがメディア・サーバーに設定されていません。

説明: メディア・ストリーム・データに正しい情報 (たとえば、ホスト名、ユーザー ID、およびパスワード) を設定していないため、ストリーミング・ビデオ・オブジェクトをメディア・サーバーに追加できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: メディア・ストリーム・データ・オブジェクトに、ホスト名、ユーザー ID、およびパスワードを設定してください。

DGL0454A 完全パス・ファイル名かオブジェクト・オブションがメディア・オブジェクトに設定されていません。

説明: メディア・ストリーム・データにソース・ファイル名情報を設定していないため、ストリーミング・ビデオ・オブジェクトをメディア・サーバーに追加できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: メディア・ストリーム・データにファイル名を設定してください。

DGL0455A 必要なメディア・ユーザー・データがメディア・オブジェクトに設定されていません。

説明: 必要なメディア・ストリーム・データを設定していないため、ストリーミング・ビデオ・オブジェクトをメディア・サーバーに追加できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: BLOB を追加する前に、メディア・ストリーム・データを BLOB オブジェクトの拡張になるように設定してください。

DGL0456A システムはメディア・オブジェクトの更新をサポートしていません。

説明: メディア・オブジェクトの更新はサポートされていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: プログラムを訂正してください。

DGL0457A タイプ変換が無効です。DKAny がヌルのオブジェクト・ポインターを持っています。

説明: DKAny オブジェクトにヌルのオブジェクト・ポインターが含まれているため、無効なデータ・タイプ変換が発生しました。

コンポーネント: C++ API

アクション: オブジェクト・ポインターを使用する前に、ヌル・ポインターの状態を調べてください。そのポインターが本来ヌルであってはならない場合、プログラムのどこかでエラーが発生しています。プログラムを訂正してください。

DGL0458A データ・ストアが設定されていません。

説明: このオブジェクトにデータ・ストア値が設定されていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: データ・ストアを設定して、プログラムを訂正してください。

DGL0459A 拡張子がサポートされていません。[nnn]

説明: その拡張子名はサポートされていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 関数を呼び出す前に、その拡張子がサポートされているか検査してください。これを検査するには、dkDatastoreExt オブジェクトでメソッド `isSupported(extName)` または `listFunctions()` を使用します。

DGL0460A このメソッドはマルチ・ストリーム BLOB をサポートしていません。

説明: DKBlobDL メソッドは、設計上、オブジェクトがマルチ・ストリーム BLOB の場合には動作しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: プログラムを訂正してください。

DGL0461A ストリームが存在しません。

説明: 存在しないストリームに関する情報を要求しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: `listStreamName` メソッドを使用して、既存のストリーム名のリストを入手してください。

DGL0462A ユーザー ID が必要です。

説明: ユーザー ID パラメーターがヌルです。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: プログラムを訂正してください。ユーザー ID パラメーターは必ず非ヌルにしてください。

DGL0463A 旧パスワードが必要です。

説明: 旧パスワード・パラメーターがヌルです。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 旧パスワード・パラメーターは必ず非ヌルにしてください。

DGL0464A パスワードが無効です。

説明: パスワード・パラメーターがヌルか、パスワード要件を満たしていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: プログラムを訂正するか、例外をキャッチしてください。

DGL0465A ユーザー ID が見つかりません。

説明: ユーザー・データベースでユーザー ID が見つかりませんでした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: プログラムを訂正するか、例外をキャッチしてください。

DGL0466A パスワードが間違っています。

説明: パスワードがユーザー・データベースのパスワードと一致しませんでした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: プログラムを訂正するか、例外をキャッチしてください。

DGL0467A スキーマ・マッピング名が無効です。
[nnn]

説明: 指定したスキーマ・マッピング名が無効です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: プログラムを訂正するか、例外をキャッチしてください。

DGL0468A 照会式が無効です。

説明: 照会式が無効です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会式にヌルの条件が含まれている場合、または照会式に複数のパラメトリック照会や複数のテキスト照会が含まれている場合、照会式は無効になります。プログラムを訂正してください。

DGL0469A 照会式が無効です。論理演算子が無効です。

説明: 照会式に AND や OR 以外の論理演算子が指定されています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 論理演算子は AND か OR のみを使用してください。

DGL0470A エンティティが見つかりません。[nnn]

説明: 名前を指定したエンティティが見つかりません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 指定したエンティティ名が間違っているか、存在していません。プログラムを訂正してください。

DGL0471A 照会タイプがサポートされていません。
[number]

説明: 指定した照会タイプはサポートされていません。特定のデータ・ストアは、特定の照会タイプしかサポートしていません。たとえば、統合データ・ストアは、統合照会言語タイプはサポートしていますが、SQL 照会言語タイプはサポートしていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 使おうとしている照会タイプが、アクセスしようとしているデータ・ストアでサポートされているか検査してください。サポートされている照会タイプを使用してください。

DGL0472A 項目 ID が設定されていません。

説明: 項目 ID が設定されていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この関数を呼び出す前に項目 ID を設定してください。

DGL0473A オブジェクト・タイプが設定されていません。

説明: オブジェクト・タイプが設定されていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この関数を呼び出す前にオブジェクト・タイプを設定してください。

DGL0474A データ・ストア名が設定されていません。

説明: データ・ストア名が設定されていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この関数を呼び出す前にデータ・ストア名を設定してください。

DGL0475A データ・ストア・タイプが無効です。
[nnn]

説明: データ・ストア・タイプが無効です。有効なデータ・ストア・タイプは DL、V4、IP、OD、DES、DD、FED、ICM、DJ、DB2、ODBC、および JDBC などです。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: プログラムかマッピング情報を訂正してください。

DGL0476A スキーマ・マッピングが見つかりません。
[nnn]

説明: スキーマ・マッピングが見つかりませんでした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: プログラムを訂正するか、スキーマ・マッピングを定義してください。

DGL0477A スキーマ・マッピングが矛盾しています。
[nnn]

説明: スキーマ・マッピングが矛盾しています。たとえば、照会式のエンティティ名が、マッピングされているエンティティ名と同じではありません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: プログラムか、スキーマ・マッピング定義を訂正してください。

DGL0478A スキーマ・マッピングのエラー。エンティティが見つかりません。[nnn]

説明: スキーマ・マッピングで指定されているエンティティが、データ・ストアで見つかりません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: プログラムか、スキーマ・マッピング定義を訂正してください。

DGL0479A オブジェクト・タイプが見つかりません。
[nnn]

説明: 指定したオブジェクト・タイプが見つかりません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 指定したオブジェクト・タイプが誤っているか、存在していません。有効なオブジェクト・タイプを取得するには、通常データ・ストアの場合は `listEntities()` を、統合データ・ストアの場合は `listSchemaMapping()` を使用してください。必要に応じてプログラムを訂正してください。

DGL0480A 照会式がヌルです。

説明:ヌルの照会式を実行依頼することはできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: プログラムを訂正してください。

DGL0481A 表示属性が見つかりません。[nnn]

説明: 指定した表示属性がデータ・ストアにありませんでした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: プログラムか、検索テンプレート定義を訂正してください。

DGL0482A 関数がサポートされていません。[nnn]

説明: 指定した関数は、このリリースではサポートされていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この関数を使用しないか、あるいは例外をキャッチしてください。

DGL0483A サーバー用のユーザー ID とパスワードのためのプロンプト。[nnn]

説明: ユーザーがログオンする際にユーザー ID とパスワードを入力するよう求めるオプションを設定するための例外がスローされています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: プログラム内で、例外をキャッチして、選択した入力メディアからユーザー ID とパスワードを取得するコードを提供してください。

DGL0484A 照会プログラムの実行でエラーが発生しました。

説明: 照会を実行しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 以下の考えられるエラー原因について照会を訂正してください。考えられる原因としては、指定した照会でのエラー、スキーマ・マッピング (使用している場合) でのエラー、またはサーバーでのエラー (たとえば、サーバー・ダウン) があります。

DGL0485A パーツはすでに存在します。

説明:すでに存在しているバイナリー・データ・ファイルを作成しようとしてしました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 追加する別のバイナリー・データ・ファイルを指定してください。

DGL0486A ファイル名が設定されていません。

説明: オブジェクトを作成しようとしたときに、無効なファイル名が指定されました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 有効なファイル名を指定して、もう一度オブジェクトの作成を試行してください。

DGL0487A 永続 ID が設定されていません。

説明: XDO または DDO に永続 ID (PID) が設定されていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: XDO または DDO に PID を設定してください。

DGL0488A 1 次キーが定義されていません。

説明: 1 次キーが DDO または XDO の永続 ID (PID) に定義されていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: XDO または DDO の PID に 1 次キーを定義してください。

DGL0489A 1 次 ID が設定されていません。

説明: アクセしたテーブルに 1 次 ID が定義されていません。1 次 ID の定義されていないテーブルを操作した場合、行の検索、追加、更新、または削除ができません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 操作中のテーブルに 1 次 ID が定義されているか確認してください。

DGL0490A テーブル列が定義されていません。

説明: 検索されたテーブルには列が含まれていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: テーブルの列が定義されていることを確認してください。

DGL0491A 無効な PID オブジェクトは検出されませんでした。

説明: 指定された永続 ID (PID) が無効であったため、オブジェクトが見つかりませんでした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 有効な PID を指定してください。

DGL0492A MIME タイプが定義されていません。

説明: 指定された MIME タイプは無効です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 有効な MIME タイプを指定してください。

DGL0493A コンテンツ・タイプが定義されていません。

説明: Content Manager のバージョン 6 およびバージョン 7 から、無効なコンテンツ・クラス定義を削除しようとした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 有効なコンテンツ・クラス定義を指定してください。

DGL0494A コンテンツ定義 ID が見つかりません。

説明: コンテンツ・クラス定義を取得しようとしたが、指定したコンテンツ定義 ID は無効です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 有効なコンテンツ定義 ID を指定してください。

DGL0495A サブエンティティが見つかりません。

説明: DDO の現行状態またはデータ・モデル定義から判断すると、無効なサブエンティティが要求されました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: サブエンティティを再定義するようにプログラミングを訂正してください。サブエンティティを組み込むには、検索オプションを指定して DDO を検索することを検討してください。

DGL0496A コンポーネント・タイプ名が指定されていません。

説明: 原因の 1 つとして、コンポーネント・タイプ名が DDO の PID に指定されていなかったことが考えられます。別の原因としては、操作の中でコンポーネント・タイプ名を要求するパラメーターが渡されたが、コンポーネント・タイプ名がブランクのままであったことが考えられます。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: DDO PID オブジェクト・タイプまたは適切な関数パラメーターにコンポーネント・タイプ名を指定するように、プログラミングを訂正してください。

DGL0501A MIME2app が存在しません。

説明: 検索したオブジェクトを表示しようとしたが、システムは MIME2app オブジェクトを検出できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: データベース内のすべての MIME2app オブジェクトをリストして、このオブジェクトが存在しているかどうかを確認してください。存在していない場合には、新規 MIME2app オブジェクトをデータベースに追加できます。

DGL0502A MIME2app オブジェクトを新規に作成できませんでした。

説明: 新規 MIME2app オブジェクトは、アプリケーションで作成後はデータベースに保管することはできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL0503A MIME2app オブジェクトを削除できません。

説明: MIME2app オブジェクトは、アプリケーションで削除後はデータベースから削除することはできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: データベース内のすべての MIME2app オ

ブジェクトをリストして、このオブジェクトが存在しているかどうかを確認してください。オブジェクトが存在する場合には、その戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL0504A MIME2app オブジェクトを更新できません。

説明: データベース内の MIME2app オブジェクトは、アプリケーションで更新後は更新できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: データベース内のすべての MIME2app オブジェクトをリストして、このオブジェクトが存在しているかどうかを確認してください。オブジェクトが存在する場合には、その戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL0505A MIME2app オブジェクトを検索できません。

説明: MIME2app オブジェクトは、データベースから検索できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: データベース内のすべての MIME2app オブジェクトをリストして、このオブジェクトが存在しているかどうかを確認してください。オブジェクトが存在する場合には、その戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL0506A すべての MIME2app オブジェクトを検索できません。

説明: システムはすべての MIME2app オブジェクトをデータベースから検索できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL0507A 同じ名前の MIME2app オブジェクトがすでに存在しています。

説明: システムにすでに存在する MIME2app オブジェクトを追加しようとしてしました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL0508A MIME2app オブジェクトをすべて削除できません。

説明: システムはすべての MIME2app オブジェクトをデータベースから削除できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL0511A 要求された cc2MIME オブジェクトは存在しません。

説明: システムは、データベース内で要求された cc2MIME オブジェクトの名前を検出することができません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 要求された cc2MIME オブジェクトの名前が正しいことを確認してください。戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL0512A cc2MIME オブジェクトを新規に作成できませんでした。

説明: 新規 cc2MIME オブジェクトは、アプリケーションで作成後はデータベースに保管することはできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL0513A cc2MIME オブジェクトを削除できません。

説明: cc2MIME オブジェクトは、アプリケーションで削除後はデータベースから削除することはできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: データベース内のすべての cc2MIME オブジェクトをリストして、このオブジェクトが存在しているかどうかを確認してください。オブジェクトが存在する場合には、その戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL0514A cc2MIME オブジェクトを更新できません。

説明: データベース内の cc2MIME オブジェクトは、更新できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: すべての cc2MIME オブジェクトをリストして、このオブジェクトが存在しているかどうかを確認してください。オブジェクトが存在する場合には、その戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL0515A cc2MIME オブジェクトを検索できません。

説明: cc2MIME オブジェクトは、データベースから検索できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: すべての cc2MIME オブジェクトをリストして、このオブジェクトが存在しているかどうかを確認してください。オブジェクトが存在する場合には、その戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL0516A すべての cc2MIME オブジェクトをリストできません。

説明: システムは、データベース内のすべての cc2MIME オブジェクトをリストできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL0517A 同じ名前の cc2MIME オブジェクトが、すでに存在しています。

説明: データベースに新規 cc2MIME オブジェクトを追加しようとしたが、同じ名前の cc2MIME オブジェクトがすでに存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL0518A cc2MIME オブジェクトをすべて削除できません。

説明: システムは、すべての cc2MIME オブジェクトをデータベースから削除できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL0521A 要求された特権セットは存在しません。

説明: 項目を表示または更新するために特権セットを要求しましたが、要求した特権セット・オブジェクトが存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL0522A 新規特権セット・オブジェクトを作成することができません。

説明: 新規特権セット・オブジェクトは、アプリケーションで作成後はデータベースに保管することはできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL0523A 要求された特権セット・オブジェクトを削除できません。

説明: 要求された特権セット・オブジェクトは、データベースから削除できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: データベース内のすべての特権セット・オブジェクトをリストして、このオブジェクトが存在しているかどうかを確認してください。オブジェクトが存在する場合には、その戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL0524A 特権セット・オブジェクトを更新できません。

説明: データベース内の特権セット・オブジェクトは、アプリケーションで更新後は更新できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: すべての特権セット・オブジェクトをリストして、このオブジェクトが存在しているかどうかを確認してください。オブジェクトが存在する場合には、その戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL0525A 同じ名前の特権セット・オブジェクトがすでに存在しています。

説明: データベースに新規特権セット・オブジェクトを追加しようとしたが、同じ名前の特権セット・オブジェクトがすでに存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: すべての特権セット・オブジェクトをリストして、このオブジェクトが存在しているかどうかを確認してください。オブジェクトが存在する場合には、その戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL0526A 要求された特権セット・オブジェクトを検索できません。

説明: 項目を表示または更新するために特権セット・オブジェクトが要求されましたが、要求された特権セット・オブジェクトはデータベースから検索できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: すべての特権セット・オブジェクトをリストして、このオブジェクトが存在しているかどうかを確認してください。オブジェクトが存在する場合には、その戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL0527A ユーザーまたはグループは、要求された特権を許可されていません。

説明: ユーザーまたはユーザー・グループのアクションが、対応する特権セットにリストされていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL0531A 要求されたアクセス制御リストは存在しません。

説明: アクセス制御リストを更新または削除しようとしたが、アクセス制御リストが存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: アクセス制御リストを削除しようとする場合には、アクションは不要です。その他のアクションを実行する場合には、新規アクセス制御リストを追加してください。

DGL0532A アクセス制御リスト・オブジェクトを新規に作成できません。

説明: 新規アクセス制御リスト・オブジェクトは、アプリケーションで作成後はデータベースに保管することはできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL0533A 要求されたアクセス制御リスト・オブジェクトを削除できません。

説明: 要求されたアクセス制御リスト・オブジェクトは、データベースから削除することはできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: データベース内のすべてのアクセス制御リスト・オブジェクトをリストして、このオブジェクトが存在しているかどうかを確認してください。オブジェクトが存在する場合には、その戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL0534A アクセス制御リスト・オブジェクトを更新できません。

説明: データベース内のアクセス制御リスト・オブジェクトを更新できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: すべてのアクセス制御リスト・オブジェクトをリストして、このオブジェクトが存在しているかどうかを確認してください。オブジェクトが存在する場合には、その戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL0535A 同じ名前のアクセス制御リスト・オブジェクトがすでに存在しています。

説明: メモリーに新規アクセス制御リスト・オブジェクトを追加しようとしたが、同じ名前のアクセス制御リスト・オブジェクトがすでに存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: メモリー内のアクセス制御リスト・オブジェクト名を別の名前に変更するか、または新規アクセス制御リスト・オブジェクトを追加してください。

DGL0536A 要求されたアクセス制御リスト・オブジェクトを検索できません。

説明: アクセス制御リスト・オブジェクトを要求しましたが、データベースから検索できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: すべてのアクセス制御リスト・オブジェクトをリストして、このオブジェクトが存在しているかどうかを確認してください。オブジェクトが存在する場合には、その戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL0537A 要求されたユーザー名またはグループ名が、現行アクセス制御リストにすでに存在しています。

説明: 要求されたユーザー名またはユーザー・グループ名が、現行アクセス制御リストにすでに存在しています。アクセス制御リストの 1 つの特定のユーザーだけを 1 つの特権セットに関連付けることができます。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 新規ユーザー名またはユーザー・グループ名を追加しようとする場合には、アクションは不要です。ユーザー名またはユーザー・グループ名を更新しようとする場合には、現在のユーザー・グループ名を除去して、新規のユーザー・グループ名を追加してください。

DGL0538A 要求されたユーザー名またはグループ名は、現行アクセス制御リストに存在しません。

説明: 要求されたユーザー名またはユーザー・グループ名は、現行アクセス制御リストに存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: すべてのアクセス制御リスト・オブジェクトをリストして、このユーザー名またはグループ名が特権セットと一致するかどうかを確認してください。

DGL0540A DDO XML 属性が見つかりません。

説明: DDO XML ドメインの集合の指定された属性は、XML 文書で検索できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 属性を正しく指定する方法について DDO DTD ファイルを参照し、やり直してください。

DGL0541A サービスはすでに登録されています。

説明:すでに登録済みのサービスを登録しようとしたときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: アクションは不要です。サービスはすでに登録済みです。

DGL0542A サービスは利用できません。

説明: 登録されていないサービスを登録解除しようとしたときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 登録解除する前に、サービスを登録してください。

DGL0543A 名前をヌルまたは空にすることはできません。

説明: 入力パラメーターとしてのパス名をヌルまたは空ストリングにすることはできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: プログラムを訂正してパスが有効になるようにし、やり直してください。

DGL0544A 項目をアンロックできません。

説明: 項目がチェックアウトされていないか、別のユーザー ID でチェックアウトされています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: その項目がユーザー自身のユーザー ID でチェックアウトされるようにしてください。

DGL0545A 項目をチェックインできません。

説明: 項目がチェックアウトされていないか、別のユーザー ID でチェックアウトされています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: その項目がユーザー自身のユーザー ID でチェックアウトされるようにしてください。

DGL0546A 項目をチェックアウトできません。

説明: 項目がロックされているか、別のユーザー ID でチェックアウトされています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: その項目をロックされていない状態にするか、別のユーザー ID でチェックアウトされないようにしてください。

DGL0547A 項目は他のユーザー ID によってすでにチェックアウトされています。

説明: 項目は別のユーザー ID によってすでにチェックアウトされています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この項目がアンロックされるようにしてください。

DGL0548A 項目がチェックアウトされていません。

説明: 項目がチェックアウトされていないか、別のユーザー ID でチェックアウトされています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: その項目がユーザー自身のユーザー ID でチェックアウトされるようにしてください。

DGL0549A DDO XML 属性値が無効です。[nnn]

説明: XML 文書で指定されている属性値が無効です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ユーザーの XML 文書を適宜訂正して、やり直してください。DDO XML 属性の作成方法については、ユーザーズ・ガイドを参照してください。

DGL0550A 指定されたパスが存在しません。[nnn]

説明: XML 出力に指定されたパスがシステムに存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: プログラムを訂正し、XML 出力に指定したパスがすでにシステムに存在することを確認してください。

DGL0551A XML パーサーによりエラーが検出されました。[nnn]

説明: パーサーは XML 文書の構文解析中に、エラーを報告しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ユーザーの XML 文書を適宜訂正して、やり直してください。

DGL0552A 値をリセットできません。

説明: 接続が作成されると、接続オブジェクトのプロパティをリセットできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: なし。接続プロパティを変更する場合は、接続オブジェクトを破棄して、再始動しなければなりません。

DGL0553A 最大プール・サイズに到達しました。新規接続を作成できません。

説明: 接続プールが最大プール・サイズに到達し、接続が使用できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 再度接続を試みるか、cmbpooljdbc.ini (Java の場合) または cmbpooldb2.ini (C++ の場合) の MaxPoolSize の値を大きくして、アプリケーションを再開してください。

DGL0554A データ・ストアがそのプールに属していません。

説明: 戻そうとしたデータ・ストア・オブジェクトは、このプールに属していません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: なし。

DGL0555A コレクションがそのプールに属していません。

説明: 戻そうとした接続オブジェクトは、このプールに属していません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: なし。

DGL0556A 管理ドメインの追加に失敗しました。

説明: 管理ドメインを追加しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL0557A 管理ドメインの更新に失敗しました。

説明: 管理ドメインを更新しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL0558A 管理ドメインの削除に失敗しました。

説明: 管理ドメインを削除しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL0559A 管理ドメインのリスト作成または検索に失敗しました。

説明: 管理ドメインをリストまたは検索しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL0560A ソース項目に **DKFolder** 属性がありません。

説明: ソース項目に `DKConstant.DK_CM_DKFOLDER` 属性がありません。これは、有効なフォルダーではない可能性があります。この項目は、適切な検索オプションが指定されずに検索された可能性があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: `DK_CM_DKFOLDER` 属性を持つソース項目に有効なフォルダーを使用するか、または必要なすべての検索オプションを指定して項目を検索してください。

DGL0561A フォルダーがソース項目の **DKFolder** ではありません。

説明: 使用された `DKFolder` コレクションは、指定されたソース項目に属していません。`DKFolder` オブジェクトは、同じリファレンスでなければなりません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ソース項目で検出された適切な同じ `DKFolder` オブジェクト・リファレンスを使用してください。

DGL0562A 内部エラーが発生しました。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL0563A リンク・ソース項目が設定されていません。この操作の前に指定する必要があります。

説明: この操作の前にリンクのソース項目を指定しなければなりません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: リンクのソース項目を設定しなければなりません。

DGL0564A ソース項目に **DKParts** 属性がありません。

説明: ソース項目に `DKConstant.DK_CM_DKPARTS` 属性がありません。これは、有効な文書ではない可能性があります。この項目は、適切な検索オプションが指定されずに検索された可能性があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: `DK_CM_DKPARTS` 属性を持つソース項目に有効な文書を使用するか、または必要なすべての検索オプションを指定して項目を検索してください。

DGL0565A **DKParts** はソース項目の **DKParts** コレクションではありません。

説明: `DKParts` コレクションは、操作で指定されているソース項目 (たとえば、所有者、コンテナ、または文書) に属していません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 有効な `DKParts` コレクションを使用してください。

DGL0566A **DKAuthenticationData** クラス内では、ユーザー名は空白にはできません。

説明: `DKAuthenticationData` オブジェクトのユーザー名のデータ・メンバーが定義されていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: `DKAuthenticationData` オブジェクトのユーザー名を定義してください。

DGL0567A 読み取り中にファイルの終わりが発生しました。

説明: ファイルを読み取り中に予期しない EOF (ファイル終わり) が検出されました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 現行ファイルが有効で、しかも破壊されていないことを確認した上で、操作をやり直してください。

DGL0568A ヘッダー読み取り中に早期にファイルが終了しました。

説明: ファイルを読み取り中に予期しない EOF (ファイル終わり) が検出されました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 現行ファイルが有効で、しかも破壊されて

いないことを確認した上で、操作をやり直してください。

DGL0569A 内部解析テーブル内で無効なアクション番号が検出されました。

説明: 照会ストリングを解析しているときに、予期しない内部処理エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL0570A オブジェクトが無効です。オブジェクトは、`[nnn]` のインスタンスでなければなりません。

説明: このオブジェクトに正しくないサブクラス・タイプが使用されました。サブクラス・タイプは、パラメーター・タイプの指定されたインスタンスまたはサブクラスでなければなりません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この関数により指定されたサブクラスのオブジェクトだけを使用するか、または適切な関数またはオブジェクトを使用して、使用している実際のサブクラスに対してこの操作を処理してください。

DGL0571A 論理演算子が無効です。演算子: `[nnn]`

説明: 誤った論理演算子または無効な論理演算子が使用されました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: プログラム内の演算子を訂正し、操作をやり直してください。

DGL0572A 演算子が無効です。演算子: `[nnn]`

説明: 誤った演算子または無効な演算子を使用されました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: プログラム内の演算子を訂正し、操作をやり直してください。

DGL0573A 演算子 `[nnn]` には少なくとも 1 つの値が必要です。

説明: この単項演算子には 1 つのオペランドが必要です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: プログラム内の入力パラメーターを訂正

し、操作をやり直してください。

DGL0574A 演算子 `[nnn]` には少なくとも 2 つの値が必要です。

説明: この 2 項演算子には 2 つのオペランドが必要です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: プログラム内の入力パラメーターを訂正し、操作をやり直してください。

DGL0575A ヌル配列です。入力が無効です。

説明: ヌル配列は無効な入力です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: プログラム内の入力パラメーターを訂正し、操作をやり直してください。

DGL0576A 配列サイズは 2 以上でなければなりません。

説明: 2 以上の配列サイズが必要です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: プログラム内の入力パラメーターを訂正し、操作をやり直してください。

DGL0577A 内部エラー。1 つ以上の照会が必要です。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL0578A 内部エラー。この状態で照会数はゼロ、つまり照会はありません。照会: `[nnn]`

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL0579A 内部エラー。状態 `[nnn]` は正しくない状態です。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL0580A データベースに接続できません。[nnn]

説明: 指定されたデータベース名、ユーザー ID、およびパスワードとの接続を作成できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 別のデータベース名、ユーザー ID、またはパスワードを試してください。

DGL0581A セッション ID が見つかりません。

説明: プールからデータベース接続を取得しようとしたが、指定されたセッション ID がプールに存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: セッション ID を変更して、接続をやり直してください。

DGL0584A サーバー名が存在しません。

説明: 接続時に指定されたデータ・ストア名が存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 環境を検査して、指定されたサーバーが、そのサーバーのクライアント構成に追加されているか確認してください。

DGL0586A ユーザーのパスワードの有効期限が切れています。

説明: ユーザーのパスワードの有効期限が切れています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このサーバーのパスワードをリセットまたは変更してください。

DGL0587A 指定のサーバーへの接続時に、データベース・スキーマが見つかりませんでした。

説明: 指定のサーバーへの接続時に、データベース・スキーマが見つかりませんでした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: データベース・スキーマは、接続時に指定するか、データ・ストアがデータ・ソースをリストする際に使用する指定のサーバーのサーバー定義で指定する必要があります。

DGL0588A DDO に無効なデータ ID が指定されました。

説明: ユーザーによって、DDO に無効なデータ ID が指定されました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: DDO に有効なプロパティ ID を指定してください。

DGL0589A DDO に無効なプロパティ ID が指定されました。

説明: ユーザーによって、DDO に無効なプロパティ ID が指定されました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: DDO に有効なプロパティ ID を指定してください。

DGL0590A ユーザー名の長さが 32 文字を超えてはなりません。

説明: ユーザー名の長さが 32 文字を超えてはなりません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ユーザー名の長さを 32 文字以下に制限してください。

DGL0591A ユーザー・グループ名の長さが 32 文字を超えてはなりません。

説明: ユーザー・グループ名の長さが 32 文字を超えてはなりません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ユーザー・グループ名の長さを 32 文字以下に制限してください。

DGL0592A そのユーザー ID は現在サーバーとの接続に使用されているため、削除できません。

説明: そのユーザー ID は現在サーバーとの接続に使用されているため、削除できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: いったんログオフし、別のユーザー ID を使用して再度ログオンすると、このユーザー ID を削除できます。

| **DGL0593A** システム定義のユーザー・グループは削除
| できません。

| **説明:** システム定義のユーザー・グループは、削除でき
| ません。

| **コンポーネント:** Java または C++ API

| **アクション:** システム定義のユーザー・グループは削除
| しないでください。

| **DGL0594A** この操作は明示的なトランザクション内では
| 実行できません。

| **説明:** この操作は明示的なトランザクション内では実行
| できません。

| **コンポーネント:** Java または C++ API

| **アクション:** 明示的なトランザクションの範囲外でこの
| 操作を実行してください。

| **DGL0595A** icmnlssp DLL またはライブラリーをロ
| ードできません。それが欠落しているか、
| 環境構成が正しくないか、**SCHEMA** 名が
| 接続時または .ini ファイルの中で誤って
| 指定されたことが考えられます。

| **説明:** icmnlssp DLL またはライブラリーをロードでき
| ません。それが欠落しているか、環境構成が正しくない
| か、SCHEMA 名が接続時または .ini ファイルの中で誤
| って指定されたことが考えられます。

| **コンポーネント:** Java または C++ API

| **アクション:** その DLL またはライブラリーが正しいデ
| イレクトリー (通常、Windows では
| %DB2HOME%\function、UNIX では
| /home/\$DB2INSTANCE/sql/lib/function) に置かれている
| か確認します。また、構成ファイルに正しいスキーマ
| (通常、cmbicmsrsvs.ini ファイルでは
| ICMSHEMA=ICMADMIN、cmbds.ini ファイルでは
| FEDSCHEMA=ICMADMIN) が指定されているか確認します。

DGL1000A メッセージ ID が見つかりません。

説明: 指定されたメッセージ ID が見つかりません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 使用したメッセージ ID 定数が存在して
おり、それがメッセージ・ストリングと関連付けられて
いるかどうか検査してください。

DGL1006A テキスト・マッピングの数が無効です。

説明: テキスト照会式でサポートされるテキスト・エン
ティティー・マッピングの数は 1 つだけです。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: プログラムを訂正してください。

DGL1602A 接続ストリングで、無効な接続パラメータ
ーが指定されました。

説明: 接続ストリングに無効な接続パラメーターがあり
ます。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: DKDatastoreIP.connect() メソッドについ
て文書化されている接続パラメーターだけを使用するよ
うに、接続ストリングを訂正してください。オンライン
API 解説書 を参照してください。

DGL1603A 接続ストリングに必要な接続パラメーター
が指定されていません。

説明: 接続ストリングに必要な接続パラメーターが指定
されていませんでした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: DKDatastoreIP.connect() メソッドについ
て文書化されている、必要なすべての接続パラメーター
を組み込むように接続ストリングを訂正してください。
オンライン API 解説書 を参照してください。

DGL1604A 文書タイプが無効です。

説明: 文書タイプが無効です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会の場合、コマンド・ストリングに
SEARCH の一部として ENTITY=>document type< が含
まれているか検査してください。含まれている場合
は、>document type< が有効な固有のエンティティー
名またはマップされたエンティティー名であることを確
認してください。

DGL1605A FAF 警告を受信しました。
[HostRC][HostReas1] [HostReas2]

説明: フォルダー・アプリケーション機能 (FAF) また
はオブジェクト配布マネージャー・ホスト API が、警
告戻りコードを受け取って終了しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: HostRC、HostReas1、および HostReas2 の
各値を使用して、しかるべきフォルダー・アプリケーシ

ョン機能またはオブジェクト配布マネージャー・ホスト
戻りコードを判別してください。フォルダー・アプリケー
ション機能の戻りコードは「*ImagePlus® FAF*
MVS/ESA™, API System Programmer's Guide」に、オブ
ジェクト配布マネージャー API の戻りコードは
「*Content Manager* メッセージとコード」に記載されて
います。

DGL1606A FAF エラーを受信しました。
[HostRC][HostReas1] [HostReas2]

説明: フォルダー・アプリケーション機能ホスト API
が、エラー戻りコードを受け取って終了しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: HostRC、HostReas1、および HostReas2 の
各値を使用して、しかるべきフォルダー・アプリケー
ション機能ホスト戻りコードを判別してください。フォル
ダー・アプリケーション機能 API の戻りコードは、
「*ImagePlus FAFMVS/ESA WRAPI Application*
Programmer's Guide」に記載されています。

DGL1607A FAF ワークステーション・リモート API
で内部処理エラーが発生しました。
[ulClientRC][ulClientReas1]
[ulClientReas2]

説明: 内部エラーが原因で、IP/390 クライアントへの
呼び出しが正常に完了しませんでした。このエラーは、
メモリーなどのシステム・リソースを使用できない時に
発生します。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 問題を判別するために、ulClientReas1、場
合によっては ulClientReas2 の値を調べて、IBM サー
ビス技術員に連絡してください。詳しくは、エラー・ロ
グ・ファイルを参照してください (ログGINGを行っている
場合)。

DGL1608A IODM 障害を受信しました。
[HostRC][HostReas1][HostReas2]

説明: オブジェクト配布マネージャーに接続しようと
しましたが、失敗しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: HostRC、HostReas1、および HostReas2 の
各値を使用して、しかるべきオブジェクト配布マネジ
ャー・ホスト戻りコードを判別してください。オブジェ
クト配布マネージャー API 戻りコードは、「*Content*
Manager メッセージとコード」に記載されています。

**DGL1609A パラメーターが無効です。コードは次のと
おりです。[ulClientRC]
[ulClientReas1][ulClientReas2]**

説明: IP/390 クライアントへの呼び出しが正常に完了
しませんでした。パラメーターの 1 つが正しくありま
せん。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ulClientReas1 値に、正しくないパラメー
ターのフォルダー・アプリケーション機能またはオブジ
ェクト配布マネージャー・ホスト API のパラメータ
ー・データ・タイプ ID が含まれています。これらの
ID の完全なリストについては、「*ImagePlus*
FAFMVS/ESA WRAPI Application Programmer's Guide」
を参照してください。ID は、「*Folder Application*
Facility API Guide」および「*Object Distribution Manager*
API Guide」にも記載されています。パラメーター値が
間違っている原因として、長さが正しくない、数値が正
しくない、または数値の範囲が正しくないなどが考えら
れます。このパラメーターに許可できる値については、
「*オンライン API 解説書*」を参照してください。

DGL1610A ホスト・タイムアウト。
[ulClientRC][ulClientReas1]
[ulClientReas2]

説明: ワークステーションからフォルダー・アプリケー
ション機能またはオブジェクト配布マネージャー・ホス
トへの通信がタイムアウトになっています。何らかのホ
スト・リソースの更新が完了していない可能性があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ホスト・システムでの通信タイムアウトの
原因を判別し、訂正してください。ホスト・システムで
最後に試行された操作が正常に完了しているか検査して
ください。ワークステーションとホストの間のホスト会
話の段階は、ulClientReas1 フィールドに示されていま
す。TCP/IP の場合は、以下のいずれかです。

- TCPIP_SEND_LISTENER = 5405
- TCPIP_RECEIVE_LISTENER = 5406
- TCPIP_SEND_REQUEST_HEADER = 5407
- TCPIP_RECEIVE_REQUEST_HEADER = 5408
- TCPIP_SEND_ICRP = 5409
- TCPIP_RECEIVE_ICRP = 5410
- TCPIP_RECEIVE_RESP_HDR = 5411
- TCPIP_SEND_RESP_HDR_ACK = 5412

TCPIP_SEND_ICRP の前に障害が発生している場合、ホ
ストの更新が実行されていないことを示しています。
TCPIP_SEND_ICRP の後に障害が発生した場合は、ホス
ト・リソースは正常に更新されている場合もあります。

ulClientReas2 値には実際のネットワーク・プロトコル戻りコードが含まれています。

DGL1611A ホスト・ネットワーク・プロトコル・エラー。
[ulClientRC][ulClientReas1]
[ulClientReas2]

説明: ワークステーションからフォルダー・アプリケーション機能またはオブジェクト配布マネージャー・ホストへの通信が、ホストまたはワークステーションのどちらかで失敗しました。何らかのホスト・リソースの更新が完了していない可能性があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 通信の失敗の原因を判別し、訂正してください。ホスト・システムで最後に試行された操作が正常に完了しているか検査してください。ワークステーションとホストの間のホスト会話の段階は、ulClientReas1value に示されています。TCP/IP の場合は、以下のいずれかです。

- TCPIP_STARTUP = 5400
- TCPIP_SOCKET = 5401
- TCPIP_CLOSE = 5402
- TCPIP_SHUTDOWN = 5403
- TCPIP_CONNECT = 5404
- TCPIP_SEND_LISTENER = 5405
- TCPIP_RECEIVE_LISTENER = 5406
- TCPIP_SEND_REQUEST_HEADER = 5407
- TCPIP_RECEIVE_REQUEST_HEADER = 5408
- TCPIP_SEND_ICRP = 5409
- TCPIP_RECEIVE_ICRP = 5410
- TCPIP_RECEIVE_RESP_HDR = 5411
- TCPIP_SEND_RESP_HDR_ACK = 5412

TCPIP_SEND_ICRP の前に障害が発生している場合、ホストの更新が実行されていないことを示しています。

TCPIP_SEND_ICRP の後に障害が発生した場合は、ホスト・リソースは正常に更新されている場合もあります。

ulClientReas2 値には実際のネットワーク・プロトコル戻りコードが含まれています。よくある TCP/IP 通信障害のいくつかを以下にリストします。詳細については、TCP/IP ベンダーの資料を参照してください。

- 100054 - 接続リセット - ホストが接続を途中でクローズしました。
- 100061 - 接続の拒否 - 通常 TCPIP_CONNECT で発生します。

DGL1612A ホスト API プロトコル・エラー。
[HostRC][HostReas1] [HostReas2]

説明: ワークステーションとフォルダー・アプリケーション機能ホストの間の通信中に、ホストがその API 要

求を完了できないと判別しました。その API 要求にフォルダー・アプリケーション機能ホスト・データが含まれていた場合、更新は行われていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: フォルダー・アプリケーション機能ホストがその API 要求を拒否した理由を判別し、訂正して、可能であれば要求を再度発行してください。詳細については、HostRC、HostReas1、および HostReas2 の各値を調べてください。これらの値からは、フォルダー・アプリケーション機能ホストがその要求を拒否した理由をさらに詳細に知ることができます。

DGL1613A IODM 戻り値が無効です。

説明: オブジェクト配布マネージャー・ホストから無効なデータを受け取りました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このエラーは、ワークステーションとオブジェクト配布マネージャー・ホストの間の通信が切断された可能性があることを示しています。コマンドをもう一度送ってみてください。さらに、ログ・ファイルを調べて、発生したオブジェクト配布マネージャー・データの問題を正確に判別してください。

DGL1614A IODM は使用できません。

説明: DKDatastoreIP.connect() メソッドが呼び出されたときに、オブジェクト配布マネージャー接続が確立されませんでした。この要求は処理されませんでした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: オブジェクト配布マネージャー・ホストの問題を訂正して、操作を再試行してください。

DGL1615A FAF からゼロ以外が戻されました。コードは [HostRC][HostReas1] [HostReas2] です。

説明: FAF からゼロ以外が戻されました。コードは [HostRC][HostReas1][HostReas2] です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: HostRC、HostReas1、および HostReas2 の各値を使用して、しかるべきフォルダー・アプリケーション機能またはオブジェクト配布マネージャー・ホスト戻りコードを判別してください。フォルダー・アプリケーション機能 API の戻りコードは「*ImagePlus FAF MVS/ESA, API System Programmer's Guide*」に、オブジェクト配布マネージャー API の戻りコードは「*Content Manager* メッセージとコード」に記載されています。

DGL1616A フォルダを削除するには、まず中を空にしなければなりません。フォルダに文書 (保留中の文書の場合もある) が含まれています。

説明: フォルダを削除するには、まず中を空にしなければなりません。フォルダに文書 (保留中の文書の場合もある) が含まれています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: フォルダからすべての文書 (保留されている文書を含む) を削除してから、フォルダを削除してください。

DGL1617A データ・オブジェクトは、ユーザー [nnn] によってすでにロックされています。

説明: データ・オブジェクトは、別のユーザーによってすでにロックされています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: まず、ユーザーが文書またはフォルダをアンロックしてからでなければ、操作をやり直すことはできません。

DGL1618A **FAF** ワークステーション・リモート API からゼロ以外が戻されました。コードは [ulClientRC][ulClientReas1][ulClientReas2] です。

説明: FAF ワークステーション・リモート API からゼロ以外が戻されました。コードは [ulClientRC][ulClientReas1][ulClientReas2] です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ulClientRC に FAF ワークステーション・リモート API 戻りコードが示されています。FAF WRAPI 戻りコードは、「*ImagePlus FAFMVS/ESA WRAPI Application Programmer's Guide*」に記載されています。

DGL1619A データ・ストア・アクセス・モードが読み取り専用になっています。

説明: データ・ストア・アクセス・モードが読み取り専用になっています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: DKDatastoreIP.setOption() メソッドを使用して、データ・ストア・アクセス・モードを読み取りおよび書き込み可能にしてから、操作をやり直してください。

DGL1620A この操作では、文書 ID を設定する必要があります。

説明: この操作では、文書 ID を設定する必要があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: DKPidXD0IP.setDocId() メソッドを使用して文書 ID を設定してから、操作をやり直してください。

第 4 章 API メッセージ、DGL2401 ～ DGL2801

以下に挙げるのは、Enterprise Information Portal API から受け取る可能性のあるメッセージです。Content Management Information Center 検索ではフルワードを探します。検索したいワード全体を入力する必要があります。メッセージを検索するときは、接頭部を含む完全なメッセージ番号を入力してください。たとえば、DGL1234A についての情報を検索するには、DGL1234A と入力します。番号しかないメッセージについての情報を検索するには、その番号を入力します。

DGL2401A メッセージ ID を検出できません。

説明: 指定されたメッセージ ID が見つかりません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 使用するメッセージ ID 定数が存在しており、それがメッセージ・ストリングと関連付けられているかどうか検査してください。

DGL2402A 管理特権のあるユーザーだけが、この機能にアクセスできます。

説明: 現在のユーザーには管理特権がありません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 管理者としてログオンしてください。

DGL2403A この項目は、システムにすでに存在しています。

説明: この名前の項目は、システムにすでに存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: その項目に別の名前を選択してください。

DGL2404A ユーザーがシステムに存在しません。

説明: システムはそのユーザー ID を認識しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: そのユーザー ID で大文字を使用していないか、およびそのスペルが正しいか検査してください。問題が解決しない場合、システム管理者に連絡してください。

DGL2405A パスワードが一致しません。

説明: パスワードが、入力したユーザー ID と一致しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 正しいパスワードを使用していることを確認してください。パスワードが正しい場合、そのパスワードのスペルが正しいか、および大文字を使用していないか検査してください。問題が解決しない場合、システム管理者に連絡してください。

DGL2406A サーバー名が存在しません。

説明: 指定したサーバーは Enterprise Information Portal データベースに定義されていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: サーバーを定義するか、あるいは Enterprise Information Portal データベースを訂正してください。

DGL2407A ユーザー ID または パスワードが無効です。

説明: 指定したユーザー ID またはパスワードが無効です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 有効なユーザー ID およびパスワードを指定してください。

DGL2408A スキーマ・マッピングが、システムに存在しません。

説明: エンティティ、サーバー、または固有エンティティがあるものの、スキーマ・マッピングが存在しない可能性があります。また、エンティティ、サーバー、または固有エンティティのスペルを間違えた場合も、このエラーが発生します。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ユーザー ID とパスワードのスペルおよび大文字の使用について調べてください。スキーマ・マッピングが存在するエンティティ、サーバー、または固有エンティティを定義してください。

DGL2409A スキーマ・マッピングは、システムにすでに存在しています。

説明: 各エンティティ、サーバー、または固有エンティティは、スキーマ・マッピングを 1 つ持ちます。この場合、エンティティ、サーバー、または固有エンティティがすでにスキーマ・マッピングを持っています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 新しいスキーマ・マッピングを追加する代わりに、既存のスキーマ・マッピングを更新することができます。

DGL2410A スキーマ・マッピング用のデータ・ストアが、システムに存在しません。

説明: 統合データ・ストアがスキーマ・マッピングに接続されていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: setDatastore 関数を使用して、統合データ・ストアをスキーマ・マッピングに接続してください。

DGL2411A エンティティが、システムに存在しません。

説明: システムはそのエンティティ名を認識しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エンティティ名のスペルおよび大文字の使用を検査してください。

DGL2412A 固有エンティティが、システムに存在しません。

説明: システムが認識しない固有エンティティ名を入力しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 固有エンティティ名のスペルおよび大文字の使用を検査してください。

DGL2413A 属性が、システムに存在しません。

説明: システムが認識しない属性名を入力しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 属性名のスペルおよび大文字の使用を検査してください。

DGL2414A サーバー・タイプが、システムに存在しません。

説明: システムが認識しないサーバー・タイプを入力しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: サーバー・タイプのスペルおよび大文字の使用を検査してください。

DGL2415A エンティティは、システムにすでに存在しています。

説明: 作成しようとしているエンティティと同じ名前のエンティティがすでに存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 作成しようとしているエンティティに別の名前を選択してください。

DGL2416A 属性は、システムにすでに存在しています。

説明: 作成しようとしている属性と同じ名前の属性がすでに存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 作成しようとしている属性に別の名前を選択してください。

DGL2417A 検索テンプレートは、システムにすでに存在しています。

説明: 作成しようとしている検索テンプレートと同じ名前の検索テンプレートがすでに存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 作成しようとしている検索テンプレートに別の名前を選択してください。

DGL2418A 検索基準は、システムにすでに存在しています。

説明: このエラーは、作成しようとしている検索基準と同じ名前の検索基準がすでに存在する場合に発生します。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 作成しようとしている検索基準に別の名前を選択してください。

DGL2419A 統合エンティティが、システムに存在しません。

説明: システムが認識しない統合エンティティを入力しました。このエラーは、スペルまたは大文字の使用が、実際の統合エンティティ名と異なる場合に発生します。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 統合エンティティ名のスペルおよび大文字の使用を検査してください。

DGL2420A 統合属性が、システムに存在しません。

説明: システムが認識しない統合属性を入力しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 統合属性名のスペルおよび大文字の使用を検査してください。

DGL2421A エンティティ名が、設定されていません。

説明: 検索テンプレートにエンティティ名が設定されていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エンティティ名を設定してください。

DGL2422A 属性名が、設定されていません。

説明: 検索基準に属性名が設定されていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 属性名を設定してください。

DGL2423A 検索基準名が、設定されていません。

説明: 検索基準名が、設定されていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 検索基準名を設定してください。

DGL2424A 検索テンプレート名が設定されていません。

説明: 検索テンプレート名が設定されていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 検索テンプレート名を設定してください。

DGL2425A サーバー・インベントリにありません。

説明: システムが認識しない名前を入力しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 最初に入力した名前のスペルおよび大文字の使用を検査してから、やり直してください。

DGL2426A テキスト・インベントリにありません。

説明: システムが認識しない名前を入力しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 最初に入力した名前のスペルおよび大文字の使用を検査してから、やり直してください。

DGL2427A サーバーは、システムにすでに存在しています。

説明: 指定したサーバーが Enterprise Information Portal データベースにすでに定義されています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: そのサーバーに別の名前を選択してください。

DGL2428A ユーザーは、システムにすでに存在しています。

説明: この名前のユーザーは、システムにすでに存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 新しいユーザーに別の名前を選択してください。

DGL2429A ユーザー・グループは、システムにすでに存在しています。

説明: この名前のユーザー・グループは、システムにすでに存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 別のユーザー・グループ名を選択してください。

DGL2430A ユーザー・グループが、システムに存在しません。

説明: システムが認識しないユーザー・グループを入力しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ユーザー・グループ名のスペルおよび大文字の使用を検査してから、やり直してください。

DGL2431A この項目は、システムに存在しません。

説明: システムが認識しない項目名を入力しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 項目名のスペルおよび大文字の使用を検査してから、やり直してください。

DGL2432A 関連したエンティティは、システムに存在しません。

説明: システムが認識しない、関連したエンティティ名を入力しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 関連したエンティティ名のスペルおよび大文字の使用を検査してください。

DGL2433A 関連した固有エンティティは、システムに存在しません。

説明: システムが認識しない、関連した固有エンティティ名を入力しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 関連した固有エンティティ名のスペルおよび大文字の使用を検査してから、やり直してください。

DGL2434A サーバー・タイプが不明です。サーバー名: [nnn]

説明: 指定したサーバーのタイプが不明か、そのサーバーが定義されていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: プログラムか、統合スキーマのサーバー定義を訂正してください。

DGL2435A スキーマ・マッピングのエラーです。関連した検索サーバーがありません。[nnn]

説明: テキスト検索に関連した検索サーバーが定義されていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: スキーマ・マッピングを訂正してください。テキスト検索用のテキスト検索サーバーを定義して、それを適切なコンテンツ・サーバーに関連付けてください。

DGL2436A 関連したサーバーが無効です。[nnn]

説明: スキーマ・マッピングで関連したサーバーの定義が間違っています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: プログラムか、スキーマ・マッピング定義を訂正してください。

DGL2437A 論理演算子の混合使用は、検索テンプレートではサポートされていません。

説明: 検索テンプレートがサポートしている演算子は AND または OR だけです。AND と OR の論理演算子を組み合わせての使用はサポートしていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: プログラムを訂正してください。

DGL2438A 検索テンプレートが適切に設定されていません。照会式を生成できません。

説明: 必要なすべての値および演算子を検索テンプレートに正しく設定する必要があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: プログラムを訂正してください。検索基準を正しく設定してください。

DGL2439A 検索基準値が設定されていません。

説明: 検索基準値が設定されていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: プログラムを訂正してください。検索基準値を設定してください。

DGL2440A 検索テンプレートでは、テキスト検索基準を 1 つしか指定できません。

説明: 現在、検索テンプレートでサポートされているテキスト検索基準は 1 つだけです。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: プログラムを訂正してください。テキスト検索基準は 1 つだけ指定してください。

DGL2441A ユーザーは、自分自身を削除することはできません。

説明: 現在使用されているユーザー ID の削除はシステムが許可しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 別のユーザーとしてログオンしてください

い。ユーザー ID を削除できるのは、削除する特権を持っており、なおかつ、削除するユーザー ID でログオンしていない場合だけです。

DGL2442A FDL のインポートに失敗しました。

説明: システムは、ワークフロー・ダイアグラムをワークフロー・ビルダーからワークフロー・サーバーにインポートできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーがインストールされ、接続されていることを確認してください。戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2443A FDL のエクスポートに失敗しました。

説明: システムは、ワークフロー・ダイアグラムをワークフロー・サーバーからワークフロー・ビルダーにエクスポートできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーがインストールされ、接続されていることを確認してください。戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2444A ワークフローの始動に失敗しました。

説明: システムがワークフローを開始できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーがインストールされ、接続されていることを確認してください。戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2445A ワークフローの終了に失敗しました。

説明: システムがワークフローを終了できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーがインストールされて接続されており、ワークフローの状態が以下のいずれかになっていることを確認してください。

- DKConstantFed.DK_FED_FMC_PS_NOTSET
- DKConstantFed.DK_FED_FMC_PS_RUNNING
- DKConstantFed.DK_FED_FMC_PS_SUSPENDED
- DKConstantFed.DK_FED_FMC_PS_SUSPENDED

ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2446A ワークフローの中断に失敗しました。

説明: システムがワークフローを中断できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーがインストールおよび接続され、中断されていないことを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2447A ワークフローの再開に失敗しました。

説明: システムが中断されたワークフローを再開できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーがインストールおよび接続され、すでに中断されていることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2448A ワークフローの作成に失敗しました。

説明: システムが新規にワークフローを作成できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2449A ワークフローの更新に失敗しました。

説明: システムが既存のワークフローを更新できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーがインストールされ、接続されていることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2450A ワークフローの削除に失敗しました。

説明: システムが既存のワークフローを削除できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーがインストールされて接続されており、システムの状態が以下のいずれかになっていることを確認してください。

- DKConstantFed.DK_FED_FMC_PS_READY II

- DKConstantFed.DK_FED_FMC_PS_FINISHED II
- DKConstantFed.DK_FED_FMC_PS_TERMINATING II
- DKConstantFed.DK_FED_FMC_PS_TERMINATED II
- DKConstantFed.DK_FED_FMC_PS_TERMINATED

ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。
システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2451A ワークフローの検索に失敗しました。

説明: システムは、ワークフロー・サーバーから既存のワークフローを検索して、情報を取得できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーがインストールされ、接続されていることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2452A ワークフローを最初に検索する必要があります。

説明: システムは、ワークフロー・サーバーから情報を取得する前に、ワークフローを検索する必要があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーがインストール、接続、および検索されていることを確認してください。

DGL2453A ワーク・リストの作成に失敗しました。

説明: システムが新規にワーク・リストを作成できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーがインストールおよび接続されていることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2454A ワーク・リストの更新に失敗しました。

説明: システムが既存のワーク・リストを更新できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーがインストールされ、接続されていることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2455A ワーク・リストの削除に失敗しました。

説明: システムが既存のワーク・リストを削除できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーがインストールされ、接続されていることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2456A ワーク・リストの検索に失敗しました。

説明: システムは、ワークフロー・サーバーから既存のワークフローを検索できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーがインストールされ、接続されていることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2457A ワーク・リストを最初に検索する必要があります。

説明: 既存のワーク・リストを更新または削除するには、最初にそのワーク・リストを検索する必要があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーがインストール、接続、および検索されていることを確認してください。

DGL2458A 作業項目の開始に失敗しました。

説明: システムが作業項目を開始できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーがインストールされ、接続されていることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2459A 作業項目の終了に失敗しました。

説明: システムが作業項目を終了できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーがインストールされ、接続されていることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム

管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2460A 作業項目のチェックインに失敗しました。

説明: システムが作業項目をワークフロー・サーバーにチェックインできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーがインストールされ、接続されていることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2461A 作業項目のチェックアウトに失敗しました。

説明: システムが作業項目をワークフロー・サーバーからチェックアウトできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーがインストールされ、接続されていることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2462A 作業項目の転送に失敗しました。

説明: システムは、作業項目を現行所有者から指定されたユーザーに転送できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーがインストールされ、接続されていることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2463A 作業項目のキャンセルに失敗しました。

説明: 作業項目をキャンセルできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーがインストールされ、接続されていることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2464A 作業項目の検索に失敗しました。

説明: 作業項目をワークフロー・サーバーから検索できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーがインストールされ、接続されていることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2465A 作業項目は最初に検索する必要があります。

説明: 作業項目は、それに対する操作を実行する前に検索する必要があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーがインストールされ、接続されていることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2466A ワークフロー通知タイプが無効です。

説明: このエラーは、無効なワークフロー通知タイプをシステムに渡しているときに発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーがインストールされ、接続されていることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2467A ワークフロー通知の転送に失敗しました。

説明: システムは、ワークフロー通知を特定のユーザーに転送できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーがインストールされ、接続されていることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2468A ワークフロー通知の取り消しに失敗しました。

説明: システムはワークフロー通知を取り消しできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーがインストールされ、接続されていることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2469A ワークフロー通知の検索に失敗しました。

説明: システムはワークフロー通知を検索できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーがインストールされ、接続されていることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2470A ワークフロー通知を最初に検索する必要があります。

説明: ワークフロー通知は、それに対する操作を実行する前にワークフロー・サーバーから検索する必要があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーがインストールされ、接続されていることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2471A ワークフロー・コンテナの更新に失敗しました。

説明: システムがワークフロー・コンテナを更新できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーがインストールされ、接続されていることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2472A ワークフロー・コンテナの検索に失敗しました。

説明: システムがワークフロー・コンテナを検索できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーがインストールされ、接続されていることを確認してください。ユーザー

の処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2473A ワークフロー・コンテナを最初に検索する必要があります。

説明: ワークフロー・コンテナは、それに対する操作を実行する前にワークフロー・サーバーから検索する必要があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2474A ワークフロー・テンプレートの検索に失敗しました。

説明: システムはワークフロー・テンプレートをワークフロー・サーバーから検索できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーがインストールされ、接続されていることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2475A ワークフロー・テンプレートを最初に検索する必要があります。

説明: 定義ワークフローを使用する前に、ワークフロー・テンプレートをワークフロー・サーバーから検索する必要があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2476A 指定された操作に対して状態が正しくありません。

説明: ワークフロー操作の実行中に、システムが無効な状態になっています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 操作の実行中にシステムが有効な状態であることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2483A 適切な特権のあるユーザーだけが、この機能にアクセスできます。

説明: このアクションを実行するための適切な特権がありません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム管理者に連絡してください。

DGL2484A このワークフロー・ユーザーは存在しません。

説明: ワークフロー・ユーザーは、MQSeries® Workflow に存在していないため、更新または削除することができません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・ユーザーを更新または削除する前に、そのワークフロー・ユーザーが MQSeries Workflow に存在していることを確認してください。

DGL2485A このワークフロー・ユーザーは、すでに存在しています。

説明: MQSeries Workflow にすでに存在しているワークフロー・ユーザーを作成しようとした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 新規ワークフロー・ユーザーを作成する場合は、そのユーザーが MQSeries Workflow に存在していないことを確認してください。

DGL2486A このワークフローの役割は存在しません。

説明: ワークフローの役割は、MQSeries Workflow に存在していないため、更新または削除することができません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフローの役割を更新または削除する前に、そのワークフローの役割が MQSeries Workflow に存在していることを確認してください。

DGL2487A このワークフローの役割はすでに存在しています。

説明: MQSeries Workflow にすでに存在しているワークフローの役割を新規に作成しようとした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 新規のワークフローの役割を作成する場合は、その役割が MQSeries Workflow に存在していないことを確認してください。

DGL2488A このグループ・コーディネーターは存在しません。

説明: このグループ・コーディネーターは、MQSeries Workflow に存在していないため、更新または削除することができません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: グループ・コーディネーターを更新または削除する前に、そのグループ・コーディネーターが MQSeries Workflow に存在していることを確認してください。

DGL2489A このグループ・コーディネーターはすでに存在しています。

説明: MQSeries Workflow にすでに存在しているグループ・コーディネーターを新規に作成しようとした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 新規グループ・コーディネーターを作成する場合は、そのコーディネーターが MQSeries Workflow に存在していないことを確認してください。

DGL2490A このワークフロー・パッケージ項目 ID は存在しません。

説明: このワークフロー・パッケージ項目 ID は、MQSeries Workflow に存在していないため、更新または削除することができません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・パッケージ項目 ID を更新または削除する前に、そのワークフロー・パッケージ項目 ID が MQSeries Workflow に存在していることを確認してください。

DGL2491A このワークフロー・パッケージ・コンポーネント ID は存在しません。

説明: このワークフロー・パッケージ・コンポーネント ID は、MQSeries Workflow に存在していないため、更新または削除することができません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・パッケージ・コンポーネント ID を更新または削除する前に、そのワークフロー・パッケージ・コンポーネント ID が MQSeries Workflow に存在していることを確認してください。

DGL2492A このワークフロー・パッケージ名は設定されていません。

説明: システムにワークフロー・パッケージを作成するためには、ワークフロー・パッケージ名が設定されている必要があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・パッケージを作成する前に、ワークフロー・パッケージ名を設定してください。

DGL2493A このワークフロー・パッケージは存在しません。

説明: ワークフロー・パッケージは、MQSeries Workflow に存在していないため、更新または削除することができません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・パッケージを更新または削除する前に、そのワークフロー・パッケージがMQSeries Workflow に存在していることを確認してください。

DGL2494A このワークフロー・パッケージは、すでに存在しています。

説明: MQSeries Workflow にすでに存在しているワークフロー・パッケージを新規に作成しようとしてしました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 新規のワークフロー・パッケージを作成する場合は、そのパッケージがMQSeries Workflow に存在していないことを確認してください。

DGL2495A このワークフロー・パッケージ内容は存在しません。

説明: このワークフロー・パッケージ内容は、MQSeries Workflow に存在していないため、更新または削除することができません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・パッケージ内容を更新または削除する前に、そのワークフロー・パッケージ内容がMQSeries Workflow に存在していることを確認してください。

DGL2496A このワークフロー・パッケージの追加に失敗しました。

説明: システム内の別のワークフロー・パッケージがすでにこの名前になっているか、またはサーバーに内部的な問題があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・パッケージ名が固有であることを確認し、システム管理者、または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2497A このワークフロー・ダイアグラム項目 ID は存在しません。

説明: このワークフロー・ダイアグラム項目 ID は、MQSeries Workflow に存在していないため、更新または削除することができません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・ダイアグラム項目 ID を更新または削除する前に、そのワークフロー・ダイアグラム項目 ID がMQSeries Workflow に存在していることを確認してください。

DGL2498A このワークフロー・ダイアグラム・コンポーネント ID は存在しません。

説明: このワークフロー・ダイアグラム・コンポーネント ID は、MQSeries Workflow に存在していないため、更新または削除することができません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・ダイアグラム・コンポーネント ID を更新または削除する前に、そのワークフロー・ダイアグラム・コンポーネント ID がMQSeries Workflow に存在していることを確認してください。

DGL2499A このワークフロー・ダイアグラム名は設定されていません。

説明: サーバーにワークフロー・ダイアグラムを作成するためには、ワークフロー・ダイアグラム名が設定されている必要があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・ダイアグラムを作成する前に、ワークフロー・ダイアグラム名を設定してください。

DGL2500A このワークフロー・ダイアグラムは存在しません。

説明: このワークフロー・ダイアグラムは、MQSeries Workflow に存在していないため、更新または削除することができません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・ダイアグラムを更新または削除する前に、そのワークフロー・ダイアグラムが

MQSeries Workflow に存在していることを確認してください。

DGL2501A このワークフロー・ダイアグラムはすでに存在しています。

説明: MQSeries Workflow にすでに存在しているワークフロー・ダイアグラムを作成しようとしてしました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 新規のワークフロー・ダイアグラムを作成する場合は、そのダイアグラムが MQSeries Workflow に存在していないことを確認してください。

DGL2502A このワークフロー・ダイアグラムの追加に失敗しました。

説明: このワークフロー・ダイアグラム名が重複しているか、またはサーバーに内部的な問題があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・ダイアグラム名が固有であることを確認し、システム管理者、または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2503A このワークフロー・アクション項目 ID は存在しません。

説明: このワークフロー・アクション項目 ID は、MQSeries Workflow に存在していないため、更新または削除することができません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・アクション項目 ID を更新または削除する前に、そのワークフロー・アクション項目 ID が MQSeries Workflow に存在していることを確認してください。

DGL2504A このワークフロー・アクション・コンポーネント ID は存在しません。

説明: このワークフロー・アクション・コンポーネント ID は、MQSeries Workflow に存在していないため、更新または削除することができません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・アクション・コンポーネント ID を更新または削除する前に、そのワークフロー・アクション・コンポーネント ID が MQSeries Workflow に存在していることを確認してください。

DGL2505A このワークフロー・アクション名は設定されていません。

説明: サーバーにワークフロー・アクションを作成するためには、ワークフロー・アクション名が設定されている必要があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・アクションを作成する前に、ワークフロー・アクション名を設定してください。

DGL2506A このワークフロー・アクションは存在しません。

説明: このワークフロー・アクションは、MQSeries Workflow に存在していないため、更新または削除することができません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・アクションを更新または削除する前に、そのワークフロー・アクションが MQSeries Workflow に存在していることを確認してください。

DGL2507A このワークフロー・アクションはすでに存在しています。

説明: このワークフロー・アクションはシステムにすでに存在しているため、新規に作成できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 新規ワークフロー・アクションを作成する場合は、そのアクションが存在していないことを確認してください。

DGL2508A このワークフロー・アクションの追加に失敗しました。

説明: このワークフロー・アクション名が重複しているか、またはサーバーに内部的な問題があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・アクション名が固有であることを確認し、システム管理者、または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2509A このワークフロー・アクション・リスト項目 ID は存在しません。

説明: このワークフロー・アクション・リスト項目 ID は、MQSeries Workflow に存在していないため、更新または削除することができません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・アクション・リスト項目 ID を更新または削除する前に、そのワークフロー・アクション・リスト項目 ID が MQSeries Workflow に存在していることを確認してください。

DGL2510A このワークフロー・アクション・リスト・コンポーネント ID は存在しません。

説明: このワークフロー・アクション・リスト・コンポーネント ID は、MQSeries Workflow に存在していないため、更新または削除することができません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・アクション・リスト・コンポーネント ID を更新または削除する前に、そのワークフロー・アクション・リスト・コンポーネント ID が MQSeries Workflow に存在していることを確認してください。

DGL2511A このワークフロー・アクション・リスト名は設定されていません。

説明: システムにワークフロー・アクション・リストを作成するには、ワークフロー・アクション・リスト名が設定されている必要があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・アクション・リストを作成する前に、ワークフロー・アクション・リスト名を設定する必要があります。

DGL2512A このワークフロー・アクション・リストは存在しません。

説明: このワークフロー・アクション・リストは、MQSeries Workflow に存在していないため、更新または削除することができません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・アクション・リストを更新または削除する前に、そのワークフロー・アクション・リストが MQSeries Workflow に存在していることを確認してください。

DGL2513A このワークフロー・アクション・リストはすでに存在しています。

説明: システムにすでに存在しているワークフロー・アクション・リストを新規に作成しようとしてしました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 新規ワークフロー・アクション・リストを作成する場合は、そのアクション・リストが存在していないことを確認してください。

DGL2514A このワークフロー・アクション・リストの追加に失敗しました。

説明: このワークフロー・アクション・リスト名が重複しているか、またはサーバーに内部的な問題があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・アクション・リスト名が固有であることを確認し、システム管理者、または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2515A このワーク・リスト項目 ID は存在しません。

説明: このワーク・リスト項目 ID は、MQSeries Workflow に存在していないため、更新または削除することができません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワーク・リスト項目 ID を更新または削除する前に、そのワーク・リスト項目 ID が MQSeries Workflow に存在していることを確認してください。

DGL2516A このワーク・リスト・コンポーネント ID は存在しません。

説明: このワーク・リスト・コンポーネント ID は、MQSeries Workflow に存在していないため、更新または削除することができません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワーク・リスト・コンポーネント ID を更新または削除する前に、そのワーク・リスト・コンポーネント ID が MQSeries Workflow に存在していることを確認してください。

DGL2517A このワーク・リスト名は設定されていません。

説明: システムにワーク・リストを作成するには、ワーク・リスト名が設定されている必要があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワーク・リストを作成する前に、ワーク・リスト名を設定してください。

DGL2518A このワーク・リストは存在しません。

説明: このワーク・リストは MQSeries Workflow に存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワーク・リストを更新または削除する前

に、そのワーク・リストがシステムに存在していることを確認してください。

DGL2519A このワーク・リストはすでに存在します。

説明: すでに存在しているワーク・リストを新規に作成しようとした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 新規ワーク・リストを作成する場合は、そのリストが存在していないことを確認してください。

DGL2520A このワーク・リストの追加に失敗しました。

説明: このワーク・リスト名が重複しているか、またはサーバーに内部的な問題があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワーク・リスト名が固有であることを確認し、システム管理者、または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2521A ワークフロー・サービスは利用できません。

説明: ワークフロー・サービスが、システム管理者によってインストール、使用可能化、および実行されていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サービスがインストールされ、実行されていることを確認してください。ワークフローを使用可能にするには、「ツール (Tools)」->「サービス (Service)」と選択します。

DGL2522A ワークフロー・サービスは接続されていません。

説明: ワークフロー・サーバーがダウンしているか、またはワークフロー・サーバーにログオンするために指定したユーザー ID がサーバーに存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーが実行されていることを確認し、システム管理者にそのユーザー ID がサーバーに存在していることを確認してください。

DGL2523A そのワークフロー項目はすでにほかのユーザーによってチェックアウトされています。

説明: 他のユーザーによってすでにチェックアウトされているワークフロー項目をチェックアウトしようとした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: そのワークフロー項目が、他のユーザーによってチェックアウトされていないことを確認してください。

DGL2524A このワークフロー項目はチェックアウトされていません。

説明: まだチェックアウトされていないワークフロー項目に対する操作を実行しようとした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー項目をチェックアウトまたはアンロックします。

DGL2525A このワークフロー項目の項目 ID は存在しません。

説明: ワークフロー項目の項目 ID が、ワークフロー・サーバー上に存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 有効な項目 ID を使用するか、または新規項目 ID を作成してください。

DGL2526A このワークフロー項目は存在しません。

説明: このワークフロー項目は、ワークフロー・サーバー上に存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー項目が、ワークフロー・サーバーに存在することを確認してください。

DGL2527A このワークフロー NLS ワードはすでに存在しています。

説明: このワークフローの NLS ワードは、ワークフロー・サーバーにすでに存在します。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このワークフローの NLS ワードが固有であることを確認してください。

DGL2528A このワークフロー NLS ワードは存在しません。

説明: このワークフローの NLS ワードは、ワークフロー・サーバー上に存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフローを更新または削除する前に、このワークフローの NLS ワードがワークフロー・サーバーに存在することを確認してください。

DGL2529A ワークフロー・アクションは、アクション・リストで使用されている場合、削除または更新できません。

説明: ワークフロー・アクションは、アクション・リストで使用されている場合、削除または更新できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・アクションを削除または更新する前に、そのアクションがどのアクション・リストにも存在していないことを確認してください。

DGL2530A ユーザー・グループを定義する場合は、コーディネーターを設定しなければなりません。

説明: それぞれのワークフロー・ユーザー・グループは、ワークフローを使用可能化する場合、グループ・コーディネーターが必要です。ワークフロー・ユーザー・グループを定義する際に、コーディネーターを設定していませんでした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・ユーザー・グループのコーディネーターを設定してください。

DGL2531A ワークフロー・アクション・アイコンは、4096 バイトを超えられません。

説明: このメッセージは、ワークフロー・アクション・アイコンが 4096 バイトを超えるイメージ・ファイルの場合に生成されます。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・アクション・アイコンが 4096 バイト以下であることを確認してください。

DGL2532A ワークフロー・コンポーネント ID が、無効な項目 ID のために検出できません。

説明: ワークフロー・コンポーネント ID が、無効なワークフロー項目 ID のために検出できません。コンポーネント ID および項目 ID により、ワークフロー・オ

ブジェクトは固有になります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 有効な項目 ID を取得するには、ワークフロー項目をシステムから検索するようにしてください。

DGL2533A 項目がチェックアウトされていないか、または項目が存在しないため、ワークフロー項目をアンロックできません。

説明: 項目がチェックアウトされていない、または項目が存在しないため、ワークフロー項目はアンロックできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: そのワークフロー項目が存在していて、チェックアウトされていることを確認してください。

DGL2534A この統合属性は、1 つまたは複数の検索テンプレートによって使用されているため、削除できません。属性名: [nnn]

説明: 統合属性は、1 つまたは複数の検索テンプレートによって使用されているため、システムから削除できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 統合属性がどの検索テンプレートからも使用されていないことを確認してください。

DGL2535A このアクセス制御リストは、システム内の他の場所で使用されているため削除できません。¥nACL: [nnn]

説明: このアクセス制御リストは、システム内の他の場所で使用されているため削除できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: アクセス制御リストがシステム内の他の場所で使用されていないことを確認してください。

DGL2536A サーバーが存在しません。

説明: コンテンツ・サーバーは、定義されていないため更新または削除できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 操作を行う前に、コンテンツ・サーバーが定義されていることを確認してください。

DGL2537A このサーバーはすでに存在しています。

説明: すでに存在しているサーバーを定義しようとした。サーバー名はシステム内で固有でなければなりません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: サーバー名がシステム内で固有であることを確認してください。

DGL2538A データベース形式 *[nm]* が無効です。このアプリケーションを使用する前に、マイグレーション・ユーティリティを実行してください。

説明: 前のバージョンの Enterprise Information Portal データベースを使用しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このアプリケーションを使用する前に、Enterprise Information Portal データベースのマイグレーション・ユーティリティを実行してください。

DGL2539A このユーザー名は、ユーザー・グループ名と同じです。

説明: ユーザー名およびユーザー・グループ名は固有でなければなりません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ユーザー名およびユーザー・グループ名が固有の名前になっていることを確認してください。

DGL2540A このユーザー・グループ名は、ユーザー名と同じです。

説明: ユーザー・グループ名およびユーザー名は固有でなければなりません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ユーザー・グループ名およびユーザー名が固有の名前になっていることを確認してください。

DGL2541A この WebSphere ポータル・サーバーのユーザー・マッピングはすでに存在しています。

説明: WebSphere ポータル・サーバーのユーザー・マッピングはすでに存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: プログラムを訂正するか、または別のユーザー・マッピングを定義してください。

DGL2542A この WebSphere ポータル・サーバーのユーザー・マッピングは存在しません。

説明: この WebSphere ポータル・サーバーのユーザー・マッピングは存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: プログラムを訂正するか、またはユーザー・マッピングを定義してください。

DGL2543A この特権は使用中です。

説明: この特権は、ある特定の特権セットにすでに存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この特権をデータベースから削除しないでください。

DGL2544A 特権の追加に失敗しました。

説明: 特権を追加しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL2545A 特権の削除に失敗しました。

説明: 特権を削除しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL2546A 特権の更新に失敗しました。

説明: 特権を更新しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL2547A 特権の検索に失敗しました。

説明: 特権を検索しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL2548A 特権セットの追加に失敗しました。

説明: 特権セットを追加しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL2549A 特権セットの削除に失敗しました。

説明: 特権セットを削除しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL2550A 特権セットの更新に失敗しました。

説明: 特権セットを更新しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL2551A 特権セットの検索に失敗しました。

説明: 特権セットを検索しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL2552A 特権グループの追加に失敗しました。

説明: 特権グループを追加しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL2553A 特権グループの削除に失敗しました。

説明: 特権グループを削除しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL2554A 特権グループの更新に失敗しました。

説明: 特権グループを更新しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL2555A 特権グループの検索に失敗しました。

説明: 特権グループを検索しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL2556A アクセス制御リストの追加に失敗しました。

説明: アクセス制御リストを追加しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL2557A アクセス制御リストの削除に失敗しました。

説明: アクセス制御リストを削除しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL2558A アクセス制御リストの更新に失敗しました。

説明: アクセス制御リストを更新しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL2559A アクセス制御リストの検索に失敗しました。

説明: アクセス制御リストを検索しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL2560A アクセス制御リストでの規則の追加に失敗しました。

説明: アクセス制御リストに規則を追加しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL2561A アクセス制御リストでの規則の削除に失敗しました。

説明: アクセス制御リストから規則を削除しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL2562A アクセス制御リストでの規則の更新に失敗しました。

説明: アクセス制御リスト規則を更新しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL2563A アクセス制御リストでの規則の検索に失敗しました。

説明: アクセス制御リストから規則を検索しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL2564A この特権は、特権セットにすでに存在しています。

説明: この特権は、データベース内の特権セットにすでに存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この特権をデータベースに追加しないでください。

DGL2565A この特権は、特権セットに存在しません。

説明: この特権は、特権セットに存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この特権を特権セットに追加してください。

DGL2566A この特権は、特権グループにすでに存在しています。

説明: この特権は、データベース内の特権グループにすでに存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この特権をデータベースに追加しないでください。

DGL2567A この特権は、特権グループに存在しません。

説明: この特権は、データベースの特権グループに存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この特権を特権グループに追加してください。

DGL2568A 特権のリスト作成に失敗しました。

説明: 特権をリストしているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL2569A 特権セットのリスト作成に失敗しました。

説明: 特権セットをリストしているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL2570A 特権グループのリスト作成に失敗しました。

説明: 特権グループをリストしているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL2571A アクセス制御リストのリスト作成に失敗しました。

説明: アクセス制御リストをリストしているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL2572A NLS キーワードのリスト作成に失敗しました。

説明: NLS キーワードをリストしているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL2573A アクセス制御リストのユーザーまたはグループ名がヌルです。

説明: アクセス制御リストのユーザー名やグループ名は、ヌル値にすることはできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: アクセス制御リストにユーザーまたはグループ名を定義してください。

DGL2574A システム定義アクセス制御リストは削除できません。

説明: システム定義アクセス制御リストは削除できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このアクセス制御リストは削除しないでください。

DGL2575A システム定義アクセス制御リストは更新できません。

説明: システム定義アクセス制御リストは更新できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このアクセス制御リストは更新しないでください。

DGL2576A システム定義特権は削除できません。

説明: システム定義特権は削除できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この特権は削除しないでください。

DGL2577A システム定義特権は更新できません。

説明: システム定義特権は更新できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この特権は更新しないでください。

DGL2578A システム定義特権セットは削除できません。

説明: システム定義特権セットは削除できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この特権セットは削除しないでください。

DGL2579A システム定義特権セットは更新できません。

説明: システム定義特権セットは更新できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この特権セットは更新しないでください。

DGL2580A システム定義特権グループは削除できません。

説明: システム定義特権グループは削除できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この特権グループは削除しないでください。

DGL2581A システム定義特権グループは更新できません。

説明: システム定義特権は更新できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この特権グループは更新しないでください。

DGL2582A 特権 ID が存在しません。

説明: データベース内にこの特権が存在しない可能性があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この特権をデータベースに追加してください。

DGL2583A 特権セット ID が存在しません。

説明: データベース内にこの特権セットが存在しない可能性があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この特権セットをデータベースに追加してください。

DGL2584A 特権グループ ID が存在しません。

説明: データベース内にこの特権グループが存在しない可能性があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この特権グループをデータベースに追加してください。

DGL2585A アクセス制御リスト ID が存在しません。

説明: データベース内にこのアクセス制御リストが存在しない可能性があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このアクセス制御リストをデータベースに追加してください。

DGL2586A 特権が存在しません。

説明: データベース内にこの特権がありません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この特権をデータベースに追加してください。

DGL2587A 特権セットが存在しません。

説明: データベース内にこの特権セットがありません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この特権セットをデータベースに追加してください。

DGL2588A 特権グループが存在しません。

説明: データベース内にこの特権グループがありません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この特権グループをデータベースに追加してください。

DGL2589A アクセス制御リストが存在しません。

説明: データベース内にこのアクセス制御リストが存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このアクセス制御リストをデータベースに追加してください。

DGL2590A 特権はすでに存在しています。

説明: この特権は、データベースにすでに存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この特権をデータベースに追加しないでください。

DGL2591A 特権セットはすでに存在しています。

説明: この特権セットはすでにデータベース内にあります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この特権セットをデータベースに追加しないでください。

DGL2592A 特権グループはすでに存在しています。

説明: この特権グループは、データベースにすでに存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この特権グループをデータベースに追加しないでください。

DGL2593A アクセス制御リストはすでに存在しています。

説明: このアクセス制御リストは、データベースにすでに存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このアクセス制御リストをデータベースに追加しないでください。

DGL2594A このアクセス制御リストの規則はすでに存在しています。

説明: この規則は、このアクセス制御リストにすでに存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この規則をこのアクセス制御リストに追加しないでください。

DGL2595A このアクセス制御リストのユーザーまたはグループはすでに存在しています。

説明: このユーザーまたはグループは、このアクセス制御リストにすでに存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このユーザーまたはグループをこのアクセス制御リストに追加しないでください。

DGL2596A このアクセス制御リストのユーザーまたはグループは存在しません。

説明: このユーザーまたはグループは、このアクセス制御リストに存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ユーザーまたはグループをこのアクセス制御リストに追加してください。

DGL2597A ユーザー・グループの削除に失敗しました。

説明: このユーザー・グループを削除しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL2598A ユーザー・グループの更新に失敗しました。

説明: このユーザー・グループを更新しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL2599A ユーザー・グループの検索に失敗しました。

説明: このユーザー・グループを検索しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL2600A ユーザー・グループの追加に失敗しました。

説明: このユーザー・グループを追加しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL2601A ユーザーは、ユーザー・グループにすでに存在しています。

説明: このユーザーは、ユーザー・グループにすでに定義されています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このユーザーをユーザー・グループに追加しないでください。

DGL2602A ユーザーがユーザー・グループに存在しません。

説明: このユーザーは、このユーザー・グループに存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このユーザーをこのユーザー・グループに追加してください。

DGL2603A ユーザーのリスト作成に失敗しました。

説明: ユーザーをリストしているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL2604A ユーザー・グループのリスト作成に失敗しました。

説明: ユーザー・グループをリストしているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL2605A ユーザー ID が無効です。

説明: このユーザーは、システムに存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ユーザー ID のスペルおよび大文字の使用を検査するか、またはこのユーザーをシステムに追加してください。

DGL2606A ユーザー・グループ ID が無効です。

説明: このユーザー・グループは、システムに存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ユーザー・グループ ID のスペルおよび大文字の使用を検査するか、またはこのユーザー・グループをシステムに追加してください。

DGL2609A ユーザー ID が存在しません。

説明: ユーザーを削除または更新しようとしたが、そのユーザーがシステムに存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: アクションは不要です。削除または更新できるユーザーは、システムに存在するユーザーのみです。

DGL2610A ユーザー・グループ ID が存在しません。

説明: ユーザー・グループを削除または更新しようとしたが、そのユーザー・グループがシステムに存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: アクションは不要です。削除または更新できるユーザー・グループは、システムに存在するユーザー・グループのみです。

DGL2611A ユーザーが存在しません。

説明: ユーザーを削除または更新しようとしたが、そのユーザーがシステムに存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: アクションは不要です。削除または更新できるユーザーは、システムに存在するユーザーのみです。

DGL2612A ユーザー・グループが存在しません。

説明: ユーザー・グループを削除または更新しようとしたが、そのユーザー・グループがシステムに存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: アクションは不要です。削除または更新できるユーザー・グループは、システムに存在するユーザー・グループのみです。

DGL2613A ユーザーはすでに存在します。

説明: 新規ユーザーを追加しようとしたが、このユーザーはすでにシステムに存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 追加する新規ユーザー名を変更してください。

DGL2614A ユーザー・グループはすでに存在します。

説明: 新規ユーザー・グループを追加しようとしたが、このユーザー・グループはシステムにすでに存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 追加する新規ユーザー・グループ名を変更してください。

DGL2616A ユーザーの追加に失敗しました。

説明: このユーザーを追加しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL2617A ユーザーの削除に失敗しました。

説明: このユーザーを削除しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL2618A ユーザーの検索に失敗しました。

説明: このユーザーを検索しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL2619A ユーザーの更新に失敗しました。

説明: このユーザーを更新しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL2620A ワークフロー・イベント・アクティビティ名が存在しません。

説明: システムがこのワークフロー・イベントの名前を検出できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフローが実行されていることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2621A ワークフロー・イベントが存在しません。

説明: システムがこのワークフロー・イベントの名前を検出できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフローが実行されていることを確認してください。戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2622A ワークフロー・イベントはすでに存在します。

説明: このワークフロー・イベントは、システムにすでに存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2623A ワークフロー・イベントの追加に失敗しました。

説明: システムがこのワークフロー・イベントを追加できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2624A ワークフロー・イベントの削除に失敗しました。

説明: システムが既存のワークフローを削除できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフローが実行されていることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2625A ワークフロー・イベントの更新に失敗しました。

説明: システムが既存のワークフロー・イベントを更新できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフローが実行されていることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録

してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2626A ワークフロー・イベントの検索に失敗しました。

説明: システムが、ワークフロー・サーバーから既存のワークフローを検索して、情報を取得できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーが稼働していることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2627A ワークフロー・イベントのリスト作成に失敗しました。

説明: システムが既存のワークフロー・イベントをリストできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフローが実行されていることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2628A ワークフロー・コレクション・ポイントのリスト作成に失敗しました。

説明: システムが既存のワークフロー・コレクション・ポイントをリストできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフローが実行されていることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2629A ワークフロー・コレクション・ポイント・プロセス ID が設定されていません。

説明: コレクション・ポイント ID が存在しないため、システムは、コレクション・ポイントを削除も更新もできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: コレクション・ポイントを更新または削除する前に、このコレクション・ポイントの ID がワークフロー・サーバーに存在することを確認してください。

DGL2630A ワークフロー・コレクション・ポイントが存在しません。

説明: システムがワークフロー内でこのコレクション・ポイントを検出できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム管理クライアントを使用して、新規コレクション・ポイントを定義してください。

DGL2631A ワークフロー・コレクション・ポイントはすでに存在します。

説明: このコレクション・ポイントは、ワークフロー内にすでに存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム管理クライアントを使用して、新規コレクション・ポイントを定義してください。

DGL2632A ワークフロー・コレクション・ポイントの追加に失敗しました。

説明: システムがこのコレクション・ポイントを追加できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフローが実行されていることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2633A ワークフロー・コレクション・ポイントの削除に失敗しました。

説明: システムが既存のコレクション・ポイントを削除できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフローが実行されていることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2634 ワークフロー・コレクション・ポイントの更新に失敗しました。

説明: システムが既存のコレクション・ポイントを更新できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフローが実行されていることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録

してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2635A ワークフロー・コレクション・ポイントの検索に失敗しました。

説明: システムが既存のコレクション・ポイントを検索できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフローが実行されていることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2636A ワークフロー・アクション・リストのリスト作成に失敗しました。

説明: システムがワークフロー・アクション・リストをリストできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフローが実行されていることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2637A ワークフロー・アクションは、ワークフロー・アクション・リストにすでに存在しています。

説明: このワークフロー・アクションは、このワークフロー・アクション・リストにすでに存在しているため、作成できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 新規ワークフロー・アクションを作成する場合は、そのアクションが存在していないことを確認してください。

DGL2638A ワークフロー・アクションは、ワークフロー・アクション・リストに存在しません。

説明: このワークフロー・アクションは、ワークフロー・サーバーに存在していないため、更新または削除ができません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・アクションを更新または削除する前に、そのワークフロー・アクションがワークフロー・サーバーに存在していることを確認してください。

DGL2639A ワークフロー・アクション・リストの削除に失敗しました。

説明: システムが既存のアクション・リストを削除できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーが稼働していることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2640A ワークフロー・アクション・リストの更新に失敗しました。

説明: システムが既存のアクション・リストを更新できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーが稼働していることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2641A ワークフロー・アクション・リストの検索に失敗しました。

説明: システムが、ワークフロー・サーバーから既存のアクション・リストを検索できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーが稼働していることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2642A ワークフロー・アクションのリスト作成に失敗しました。

説明: システムがこのワークフローの既存のアクションをリストできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーが稼働していることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2643A ワークフロー・アクションの削除に失敗しました。

説明: システムがこのワークフローの既存のアクションを削除できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーが稼働していることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2644A ワークフロー・アクションの更新に失敗しました。

説明: システムがこのワークフローの既存のアクションを更新できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーが稼働していることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2645A ワークフロー・アクションの検索に失敗しました。

説明: システムが、このワークフローのアクションをワークフロー・サーバーから検索できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーが稼働していることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2646A ワークフロー・ダイアグラムのリスト作成に失敗しました。

説明: システムがこのワークフローのワークフロー・ダイアグラムをリストできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーが稼働していることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2647A ワークフロー・ダイアグラムの削除に失敗しました。

説明: システムがこのワークフローのワークフロー・ダイアグラムを削除できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーが稼働していることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2648A ワークフロー・ダイアグラムの更新に失敗しました。

説明: システムがこのワークフローのワークフロー・ダイアグラムを更新できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーが稼働していることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2649A ワークフロー・ダイアグラムの検索に失敗しました。

説明: システムが、このワークフローのワークフロー・ダイアグラムをワークフロー・サーバーから検索できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーが稼働していることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2650A ワーク・リストのリスト作成に失敗しました。

説明: システムがワークフローのワーク・リストをリストできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーが稼働していることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2651A ワーク・リストの削除に失敗しました。

説明: システムがワークフローのワーク・リストを削除できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーが稼働していることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2652A ワーク・リストの更新に失敗しました。

説明: システムがワークフローのワーク・リストを更新できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーが稼働していることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2653A ワーク・リストの検索に失敗しました。

説明: システムが、ワークフローのワーク・リストをワークフロー・サーバーから検索できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーが稼働していることを確認してください。ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2654A コンパイル済みアクセス制御リスト・コードのリストを検索できません。

説明: システムが、ライブラリー・サーバーからアクセス制御リスト・コードを検索できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ユーザーの処置および戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL2655A ドメイン・ネームが存在しません。

説明: このドメイン・ネームは、システムに存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システムにドメイン・ネームを追加してください。

DGL2656A ドメイン特権セットの追加に失敗しました。

説明: このドメインの特権セットを追加しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL2657A ドメイン特権セットの除去に失敗しました。

説明: このドメインの特権セットの除去中に、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL2658A ドメイン・アクセス制御リストの追加に失敗しました。

説明: このドメインのアクセス制御リストを追加しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL2659A ドメイン・アクセス制御リストの除去に失敗しました。

説明: このドメインのアクセス制御リストの除去中に、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL2660A このユーザーは使用中です。

説明: 要求したユーザーは、別のグループまたは別のオブジェクトですすでに使用中です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ユーザーが別のグループまたは別のオブジェクトによって使用中でないことを確認してください。

DGL2661A このユーザー・グループは使用中です。

説明: 要求したユーザー・グループは、別のグループまたは別のオブジェクトですすでに使用中です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ユーザー・グループが別のグループまたは別のオブジェクトによって使用中でないことを確認してください。

DGL2662A システム定義ユーザー・グループは削除できません。

説明: 削除できないシステム定義ユーザー・グループを削除しようとしてしました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム定義ユーザー・グループは削除しようとししないでください。

DGL2664A システム定義ユーザーは削除できません。

説明: 削除できないシステム定義ユーザーを削除しようとしてしました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム定義ユーザーは削除しようとしてしないでください。

DGL2666A オブジェクト・タイプ *[nnn]* の名前は、
';' で区切られた 3 部構成の名前でなければなりません。

説明: DDO には非統合オブジェクト・タイプが含まれます。統合オブジェクト・タイプは、『feName』、『beServerName』、および『neName』を含む 3 部構成の名前を持ちます。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 統合 DDO に統合オブジェクト・タイプを提供します。

DGL2667A *[nnn]* fedEntity から *[nnn]* nativeEntity
へのマッピングが見つかりません。

説明: Enterprise Information Portal システムで、指定された統合エンティティから指定された固有エンティティへのマッピングが見つかりません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: Enterprise Information Portal システム管理クライアントを使用して、指定された統合エンティティから指定された固有エンティティへのマッピングを定義してください。

DGL2668A オブジェクトが無効です。オブジェクト
は、*[nnn]* のインスタンスでなければなりません。

説明: このオブジェクトに正しくないサブクラス・タイプが使用されました。サブクラス・タイプは、そのパラメーター・タイプの、指定されたインスタンスまたはサブクラスでなければなりません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この関数により指定されたサブクラスのオブジェクトだけを使用するか、または適切な関数やオブジェクトを使用して、使用しているサブクラスに対してこの操作を処理してください。

DGL2669A 特権名をヌルにすることはできません。

説明: この特権の名前が指定されていませんでした。特権名をヌルにすることはできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この特権の名前を定義してください。

DGL2670A このドメインは、1 つ以上のオブジェクト
を含んでいるため削除できません。オブジェクトを他のドメインへ移動してください。

説明: 少なくとも 1 つのオブジェクトが含まれているドメインを削除しようとしてしました。オブジェクトを 1 つも含んでいないドメインしか削除できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: オブジェクトを他のドメインへ移動して、操作を再試行してください。

DGL2671A ユーザー名が指定されていません。

説明: ユーザー名が指定されていませんでした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ユーザー名を指定してください。

DGL2672A サーバー用のユーザー ID とパスワードの
ためのプロンプトです。

説明: なし。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ユーザー ID およびパスワードを指定してください。

DGL2673A スーパーユーザー以外は、スーパーユーザー
特権セットと関連付けることができません。

説明: DomainSuperDomainAdmin 特権が含まれている特権セットは、DomainSuperDomainAdmin 特権を自分の特権セットに保持しているユーザーにのみ関連付けることができ、これによってアクセス制御リストの規則が形成されています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: アクセス制御リストからこの規則を除去してください。

DGL2674A ICM のワークフロー構成が正しくないため、ワークフロー ICM コンテナが見つかりません。

説明: ワークフローの Enterprise Information Portal コンテナのデータが正しくありません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システムに正しいコンテナ・データをインポートしてください。

DGL2675A ユーザー ID がシステム・ユーザー ID と統合ユーザー ID の両方であるため、このユーザーのパスワードは手動でしか変更できません。

説明: ユーザー ID がシステム・ユーザー ID と統合ユーザー ID の両方であるため、このユーザーのパスワードは手動でしか変更できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このデータベースのユーザー ID のパスワードを手動で変更してください。(たとえば、Windows ではユーザー マネージャを、AIX では SMIT を使用します。)

DGL2676A このグループは、MQSeries Workflow サーバーの内部エラーのために、Content Manager または Enterprise Information Portal に追加できません。

説明: このグループは、MQSeries Workflow サーバーで発生した内部エラーのために、Content Manager または Enterprise Information Portal に追加できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 追加しようとしているグループ内のユーザー全員が MQSeries Workflow ユーザーであることを確認します。MQSeries Workflow ユーザーの情報を検証するには、MQSeries Workflow の資料を参照してください。

DGL2677A パーツ番号が設定されていません。

説明: パーツ番号が設定されていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: パーツ番号が xdo pid で設定されていることを確認します。

DGL2678A 他のユーザーに所属する専用統合フォルダーにはアクセスできません。

説明: アクセスが可能なのは、公開統合フォルダーか自分自身の統合フォルダーのみです。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: アクセスしようとしている統合フォルダーが、公開されているものか自分に所属しているものであることを確認します。

DGL2679A 統合フォルダーを検索する許可がありません。必要な特権は ItemQuery か ItemSuperAccess です。

説明: 統合フォルダーを検索する許可がありません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 統合フォルダーを検索する許可があることを確認します。必要な特権は ItemQuery か ItemSuperAccess です。

DGL2680A 統合フォルダーを追加する許可がありません。必要な特権は ItemAdd か ItemSuperAccess です。

説明: 統合フォルダーを追加する許可がありません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 統合フォルダーを追加する許可があることを確認します。必要な特権は ItemAdd か ItemSuperAccess です。

DGL2681A 統合フォルダーにコンテンツを追加する許可がありません。必要な特権は ItemAddLink か ItemSuperAccess です。

説明: 統合フォルダーにコンテンツを追加する許可がありません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 統合フォルダーにコンテンツを追加する許可があることを確認します。必要な特権は ItemAddLink か ItemSuperAccess です。

DGL2682A 統合フォルダーにパーツを追加する許可がありません。必要な特権は ItemAddLink か ItemSuperAccess です。

説明: 統合フォルダーにパーツを追加する許可がありません。

コンポーネント: Java または C++ API

| **アクション:** 統合フォルダーにパーツを追加する許可があることを確認します。必要な特権は `ItemAddLink` か `ItemSuperAccess` です。

| **DGL2683A** 統合フォルダーを削除する許可がありません。必要な特権は `ItemDelete` か `ItemSuperAccess` です。

| **説明:** 統合フォルダーを削除する許可がありません。

| **コンポーネント:** Java または C++ API

| **アクション:** 統合フォルダーを削除する許可があることを確認します。必要な特権は `ItemDelete` か `ItemSuperAccess` です。

| **DGL2684A** 統合フォルダーからコンテンツを削除する許可がありません。必要な特権は `ItemRemoveLink` か `ItemSuperAccess` です。

| **説明:** 統合フォルダーからコンテンツを削除する許可がありません。

| **コンポーネント:** Java または C++ API

| **アクション:** 統合フォルダーからコンテンツを削除する許可があることを確認します。必要な特権は `ItemRemoveLink` か `ItemSuperAccess` です。

| **DGL2685A** 統合フォルダーからパーツを削除する許可がありません。必要な特権は `ItemRemoveLink` か `ItemSuperAccess` です。

| **説明:** 統合フォルダーからパーツを削除する許可がありません。

| **コンポーネント:** Java または C++ API

| **アクション:** 統合フォルダーからパーツを削除する許可があることを確認します。必要な特権は `ItemRemoveLink` か `ItemSuperAccess` です。

| **DGL2686A** 統合フォルダー内のパーツを更新する許可がありません。必要な特権は `(ItemSetSysAttr` および `ItemSetUserAttr)` または `ItemSuperAccess` です。

| **説明:** 統合フォルダー内のパーツを更新する許可がありません。

| **コンポーネント:** Java または C++ API

| **アクション:** 統合フォルダー内のパーツを更新する許可があることを確認します。必要な特権は `(ItemSetSysAttr` および `ItemSetUserAttr)` または `ItemSuperAccess` です。

| **DGL2687A** 統合フォルダーを更新する許可がありません。必要な特権は `(ItemSetSysAttr` および `ItemSetUserAttr)` または `ItemSuperAccess` です。

| **説明:** 統合フォルダーを更新する許可がありません。

| **コンポーネント:** Java または C++ API

| **アクション:** 統合フォルダーを更新する許可があることを確認します。必要な特権は `(ItemSetSysAttr` および `ItemSetUserAttr)` または `ItemSuperAccess` です。

| **DGL2688A** 統合フォルダーが存在しないために、その統合フォルダーへのコンテンツの追加に失敗しました。

| **説明:** 統合フォルダーが存在しないために、システムがその統合フォルダーへのコンテンツを追加に失敗しました。

| **コンポーネント:** Java または C++ API

| **アクション:** コンテンツを追加する前に、統合フォルダーが存在することを確認します。

| **DGL2689A** データベース内での統合フォルダーの作成に失敗しました。

| **説明:** システムがデータベースでの統合フォルダーの作成に失敗しました。

| **コンポーネント:** Java または C++ API

| **アクション:** 統合フォルダーの属性の長さが 0 より長いことを確認します。

| **DGL2690A** 関連フォルダーがある統合エンティティの属性は変更、削除、または追加できません。

| **説明:** 関連フォルダーがある統合エンティティの属性は変更、削除、または追加できません。

| **コンポーネント:** Java または C++ API

| **アクション:** 対象となる統合エンティティを削除したうえで、適切に変更された属性を指定して再作成します。

| **DGL2801A** メッセージ ID を検出できません。

| **説明:** 指定されたメッセージ ID が見つかりません。

| **コンポーネント:** Java または C++ API

| **アクション:** 使用するメッセージ ID 定数が存在しており、メッセージ・ストリングと関連付けられているかどうか検査してください。

第 5 章 API メッセージ、DGL3600 ～ DGL3999

以下に挙げるのは、Enterprise Information Portal API から受け取る可能性のあるメッセージです。Content Management Information Center 検索ではフルワードを探します。検索したいワード全体を入力する必要があります。メッセージを検索するときは、接頭部を含む完全なメッセージ番号を入力してください。たとえば、DGL1234A についての情報を検索するには、DGL1234A と入力します。番号しかないメッセージについての情報を検索するには、その番号を入力します。

DGL3601A メッセージ ID を検出できません。

説明: メッセージ ID を検出できなかったため、システムはメッセージを生成できません。

コンポーネント: Java または C++ の API

アクション: システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL3602A 属性は使用中です。

説明: 別のコンポーネント・タイプで使用されている属性を削除または更新しようとしています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 更新または削除する属性がいずれのコンポーネント・タイプにも属していないことを確認してください。

DGL3603A 属性値リストのビルド中にエラーが発生しました。

説明: 属性値リストをビルドしているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3605A データ・ストリームのビルド中に内部エラーが発生しました。

説明: 項目 CLOB をビルドしているときに、エラーが検出されました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3606A データ・ストリームの構文解析中に内部エラーが発生しました。

説明: 項目 CLOB を構文解析しているときに、エラーが検出されました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3607A DLL のロード中にエラーが発生しました。

説明: 共有ライブラリー・ファイルをロードしているときに、エラーが発生しました。ライブラリー・ファイルの間違ったパスが指定されている可能性があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ライブラリー・パス環境変数を現行ライブラリー位置で更新してください。

DGL3608A DLL が作動可能になっていません。

説明: 共有ライブラリーをロードしているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3609A DLL で予期しないエラーが発生しました。

説明: DLL で予期しないエラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3610A 同じ名前の属性がすでに存在しています。

説明: 属性を定義しようとしたますが、同じ名前の属性がシステムにすでに存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 属性名に別の値を指定してください。既存の属性名には何があるかを調べるには、エラー・ログ・ファイルを参照してください。

DGL3611A 同じ名前の属性がこの言語ですでに存在しています。

説明: 属性を定義しようとしたますが、同じ名前の属性がシステムにすでに存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 属性名に別の値を指定してください。既存の属性名には何があるかを調べるには、エラー・ログ・ファイルを参照してください。

DGL3612A ライブラリー・サーバーがロード済み
DLL の関数のメモリー・アドレスの解決
を試行中に、エラーが発生しました。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・ログ・ファイルから戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL3613A 再帰的リンクが検出されました。

説明: 項目がそれ自体にリンクしているか、リンクのソースとターゲットが同じである可能性があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 項目をそれ自体にリンクしないでください。この特定のリンクを作成しないか、リンクを構成する項目のいずれかを変更してください。

DGL3615A 予期しないキャッシュ・エラーが発生しました。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・ログ・ファイルから戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL3616A 予期しない SQL エラーが発生しました。

説明: 予期しない SQL エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 示されたエラー番号に関する情報については、「DB2 DB2 ユニバーサル・データベース メッセージ解説書」を参照してください。さらに詳細については、エラー・ログ・ファイルも参照してください。

DGL3617A 属性値が必要です。

説明: 属性値を項目タイプに指定しなければなりません。属性値をヌルにすることはできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 有効な属性値を項目タイプに指定してください。既存の属性値には何があるかを調べるには、エラー・ログ・ファイルを参照してください。

DGL3618A 属性ペアが検出されませんでした。

説明: 属性または属性グループのペアが ICMSTATTRGROUP テーブルで検出されませんでした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 属性グループに必要な属性をすべて定義してください。

DGL3619A 属性ペアのカウント・エラーが発生しました。

説明: 属性または属性グループのペアが ICMSTATTRGROUP テーブルで見つかりましたが、属性グループの属性が 1 つまたは複数欠落しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 属性グループに必要な属性をすべて定義してください。

DGL3620A ICM root (ICMROOT) 環境変数が検出されませんでした。

説明: システムで ICMROOT 変数を定義する必要があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システムに ICMROOT 変数を定義してください。

DGL3621A ライブラリー・サーバーが **Content Manager** 内部制御システムおよび / または構成パラメーターへのアクセスを試行中に、エラーが発生しました。

説明: ライブラリー・サーバーが構成情報にアクセスできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 操作をやり直してください。問題が解決しない場合は、その戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL3624A 項目が別のユーザーによってチェックアウトされています。

説明: チェックアウトしようとしている項目を別のユーザーがチェックアウトしています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 項目がチェックインされるまで待つて、先に進んでください。

DGL3625A 項目の削除中にエラーが発生しました。

説明: 項目を削除しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3626A 項目 ID が検出されませんでした。

説明: 該当する項目が ICMSTITEMSxxxxxx テーブル内に存在しません。ここで、x は 001001 などの番号を示します。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: Content Manager 照会を使用して項目 ID を検索するか、データベース・テーブル内で項目 ID を検索します。

DGL3627A 項目の挿入中にエラーが発生しました。

説明: 新規項目を追加しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3629A 項目がチェックアウトされていません。

説明: チェックアウトされていない項目をチェックインしようしました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 項目をチェックアウトしてからチェックインしてください。

DGL3632A 項目の選択でエラーが発生しました。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・ログ・ファイルから戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL3635A アクセス・モジュール DLL 名が無効です。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・ログ・ファイルから戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL3636A ライブラリー・サーバーがクライアント要求をサービス中に、無効なコマンド・オプションのエラーが発生しました。

説明: コマンド・オプションを正しくないコンテキスト (コンポーネント・タイプの代わりに項目タイプなど) で使用したか、ライブラリー・サーバーで内部エラーが発生した可能性があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3637A 属性タイプが無効です。

説明: 無効な属性タイプが使用されました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 有効な属性タイプを定義してください。

DGL3638A 属性 ID が無効です。

説明: 無効な属性 ID が使用されました。データベース内に属性が存在しない可能性があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 有効な属性 ID を定義してください。

DGL3639A BLOB 属性定義が無効です。

説明: BLOB の長さは 1 ～ 2 147 483 647 文字の範囲内にする必要があります。長さがこの範囲外である場合は、いずれも無効な BLOB 定義となります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: BLOB の長さを正しい範囲で再定義してください。

DGL3640A 文字属性定義が無効です。

説明: 文字の長さは 1 ～ 254 バイトの範囲にする必要があります。長さがこの範囲外である場合は、いずれも無効な文字定義となります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 文字の長さを正しい範囲で再定義してください。

DGL3641A CLOB 属性定義が無効です。

説明: CLOB の長さは 1 ～ 2 147 483 647 文字の範囲内にする必要があります。長さがこの範囲外である場合は、いずれも無効な CLOB 定義となります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: CLOB 文字の長さを正しい範囲で再定義してください。

DGL3642A コンポーネント・タイプ ID が無効です。

説明: データ・ストアからコンポーネント・タイプ ID を検出できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 新規コンポーネント・タイプ ID を作成してください。

DGL3644A DBCLOB 属性定義が無効です。

説明: DBCLOB の長さは 1 ～ 1 073 741 823 文字の範囲内にする必要があります。長さがこの範囲外である場合は、いずれも無効な DBCLOB 定義となります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: DBCLOB 文字の長さを正しい範囲で再定義してください。

DGL3645A 10 進数属性定義が無効です。

説明: 10 進数の桁は 1 ～ 31 の範囲内にする必要があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 10 進数の桁を正しい範囲で再定義してください。

DGL3650A グループ・ユーザー ID が無効です。

説明: 無効なユーザー・グループ ID が使用されました。データベース内にユーザー・グループが存在しない可能性があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 有効なユーザー・グループ ID を定義してください。

DGL3651A 子は親への索引を持つ必要があります。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・ログ・ファイルから戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL3652A インディケーターが無効です。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・ログ・ファイルから戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL3653A 項目 ID が無効です。

説明: システムがデータ・ストアから項目 ID を検出できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 新規項目 ID を作成してください。

DGL3654A 項目タイプ ID が無効です。

説明: 各項目タイプには、関連付けられた名前と ID コードがあります。このケースでは、無効な ID コードが検出されました。ID コードが以下のようになっている可能性があります。

- システム内のどの項目タイプ ID コードにも一致しない
- 特定の状態に対して無効である

- 制限されている
- ユーザーが使用できない

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム内の使用可能な項目タイプを使用してください。

DGL3655A リンク・タイプ・コードが無効です。

説明: 各リンクには、ソースとターゲットがどのように関連するかを記述するリンク・タイプがあります。2つの項目を、異なるリンク・タイプのもとにリンクすることもできます。これらのリンク・タイプには、関連付けられた名前と ID コードがあります。このケースでは、無効な ID コードが検出されました。ID コードが以下のようにになっている可能性があります。

- システム内のどのリンク・タイプ ID コードにも一致しない
- 特定の状態に対して無効である
- 制限されている
- ユーザーが使用できない

また、無効なリンク・タイプ名が使用された可能性もあります。これは、現在使用されていない ID コードや検出されない ID コードに変換されたリンク・タイプ名です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: リンク・タイプが存在しない場合は、必要なリンク・タイプ用に新規リンク・タイプ名と ID コードを作成するか、異なるリンク・タイプ名またはコードを選択してください。

DGL3656A 新規ユーザー ID が無効です。

説明: すでにシステム内に存在しているユーザー ID を新規に作成しようとしてしました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 異なるユーザー ID を定義してください。

DGL3657A パラメーターが無効です。

説明: 無効なデータが入力として渡されました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 有効なデータを入力として指定してください。

DGL3658A 親コンポーネント・タイプ ID が無効です。

説明: システムで親コンポーネント・タイプ ID を検出できません。親コンポーネント・タイプと子コンポーネント・タイプの関係が確立されていない可能性があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 親コンポーネント・タイプ名を使用して、親エンティティ情報を検索してから、親コンポーネント・タイプと子コンポーネント・タイプの関係を確認してください。

DGL3665A varchar 属性定義が無効です。

説明: varchar 属性の長さを 1252 より大きくまたは -1 より小さく定義しようとしてしました。varchar 属性の最大長は、1252 から項目 ID の間でなければなりません。varchar 属性の最小長は、-1 から 0 の間でなければなりません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: varchar 属性の最小長を -1 から 0 の間で定義し、varchar 属性の最大長を 1252 と項目 ID 番号の間で定義してください。

DGL3673A システム属性の設定を行う特権が不足しています。

説明: システム属性を設定する十分な特権を持っていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このシステム属性を設定できるはずである場合は、システム管理者に連絡して、特権を更新してもらってください。

DGL3674A 項目のチェックアウトを行う特権が不足しています。

説明: この項目をチェックアウトする十分な特権を持っていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この項目にアクセスできるはずである場合は、システム管理者に連絡して、特権を更新してもらってください。

DGL3675A 属性の定義を行う特権が不足しています。

説明: この属性を定義する十分な特権を持っていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この属性を定義できるはずである場合は、システム管理者に連絡して、特権を更新してもらってください。

DGL3676A ユーザー・グループの定義を行う特権が不足しています。

説明: このユーザー・グループを定義する十分な特権を持っていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このユーザー・グループを定義できるはずである場合は、システム管理者に連絡して、特権を更新してもらってください。

DGL3677A ユーザーの定義を行う特権が不足しています。

説明: このユーザーを定義する十分な特権を持っていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このユーザーを定義できるはずである場合は、システム管理者に連絡して、特権を更新してもらってください。

DGL3678A 項目の削除を行う特権が不足しています。

説明: この項目を削除する十分な特権を持っていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この項目を削除できるはずである場合は、システム管理者に連絡して、特権を更新してもらってください。

DGL3679A 属性の取得を行う特権が不足しています。

説明: この属性を取得する十分な特権を持っていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この属性を取得できるはずである場合は、システム管理者に連絡して、特権を更新してもらってください。

DGL3680A 項目タイプ情報へのアクセスを行う特権が不足しています。

説明: この項目タイプにアクセスする十分な特権を持っていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この項目タイプにアクセスできるはずである

場合は、システム管理者に連絡して、特権を更新してもらってください。

DGL3681A 項目情報へのアクセスを行う特権が不足しています。

説明: この項目にアクセスする十分な特権を持っていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この項目にアクセスできるはずである場合は、システム管理者に連絡して、特権を更新してもらってください。

DGL3682A 項目のリンクを行う特権が不足しています。

説明: 作成されるリンク内で参照される項目をリンクする十分な特権を持っていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この項目をリンクできるはずである場合は、システム管理者に連絡して、特権を更新してもらってください。

DGL3683A グループ・ユーザーの照会を行う特権が不足しています。

説明: このグループ・ユーザーを照会する十分な特権を持っていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このグループ・ユーザーを照会できるはずである場合は、システム管理者に連絡して、特権を更新してもらってください。

DGL3684A 項目の照会を行う特権が不足しています。

説明: この項目を照会する十分な特権を持っていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この項目を照会できるはずである場合は、システム管理者に連絡して、特権を更新してもらってください。

DGL3685A ユーザー・グループの照会を行う特権が不足しています。

説明: このユーザー・グループを照会する十分な特権を持っていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このユーザー・グループを照会できるはず

である場合は、システム管理者に連絡して、特権を更新してもらってください。

DGL3686A グループ内のユーザー照会を行う特権が不足しています。

説明: ユーザー・グループ内のこのユーザーを照会する十分な特権を持っていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このグループ内でこのユーザーを照会できるはずである場合は、システム管理者に連絡して、特権を更新してもらってください。

DGL3687A ユーザーの照会を行う特権が不足しています。

説明: このユーザーを照会する十分な特権を持っていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このユーザーを照会できるはずである場合は、システム管理者に連絡して、特権を更新してもらってください。

DGL3688A 特権が不足しています。

説明: このアクションを実行する十分な特権を持っていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム管理者に連絡して、特権を更新してもらってください。

DGL3689A 項目の取得を行う特権が不足しています。

説明: この項目を取得する十分な特権を持っていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この項目を取得することを許可されている場合は、システム管理者に連絡して、特権を更新してもらってください。

DGL3690A コンテンツ・クラスの照会を行う特権が不足しています。

説明: このコンテンツ・クラスを照会する十分な特権を持っていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このコンテンツ・クラスを照会できるはずである場合は、システム管理者に連絡して、特権を更新してもらってください。

DGL3691A アクセス制御の設定を行う特権が不足しています。

説明: アクセス制御を設定する十分な特権を持っていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: アクセス制御を設定できるはずである場合は、システム管理者に連絡して、特権を更新してもらってください。

DGL3692A アクセス制御の照会に特権が不足しています。

説明: アクセス制御を照会する十分な特権を持っていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: アクセス制御を照会できるはずである場合は、システム管理者に連絡して、特権を更新してもらってください。

DGL3693A 項目の更新に特権が不足しています。

説明: この項目を更新する十分な特権を持っていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 項目を更新できるはずである場合は、システム管理者に連絡して、特権を更新してもらってください。

DGL3695A ライブラリー・サーバーにチェックインされた項目の上書きを行う特権が不足しています。

説明: ライブラリー・サーバーへの項目のチェックインを上書きする十分な特権を持っていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この項目をチェックインできるはずである場合は、システム管理者に連絡して、特権を更新してもらってください。

DGL3696A コンポーネント基数エラーです。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・ログ・ファイルから戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL3697A コンポーネント属性が見つかりません。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・ログ・ファイルから戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL3698A コンポーネント挿入エラーです。

説明: 新規コンポーネントを挿入しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3699A ライブラリー・サーバーが内部情報を処理中に、コンポーネント・データのシーケンズ外エラーが発生しました。

説明: ライブラリー・サーバーがコンポーネント・データを処理しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3700A コンポーネント・ビュー名 [nnn] が検出されませんでした。

説明: コンポーネント・ビュー名がライブラリー・サーバーで検出されませんでした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: コンポーネント・ビューがライブラリー・サーバーで定義されていることを確認してください。

DGL3701A ライブラリー・サーバーがコンポーネント・テーブルで内部情報を処理中に、レコードがすでに存在するエラーが発生しました。

説明: コンポーネント・ビュー名がライブラリー・サーバーで検出されませんでした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: コンポーネント・ビューがライブラリー・サーバーで定義されていることを確認してください。

DGL3704A コンポーネント・タイプ属性にエラーが検出されました。

説明: 与えられたコンポーネント・タイプ ID の属性数が、限界の 80 を超えています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このコンポーネント・タイプに定義する属性数は 80 未満にしてください。

DGL3705A コンポーネント・タイプのビルド中にエラーが発生しました。

説明: コンポーネント・タイプのビルド中にエラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3706A コンポーネント・タイプの索引の作成中にエラーが発生しました。

説明: コンポーネント・タイプの索引の作成中にエラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3707A コンポーネント・タイプのテーブルの作成中にエラーが発生しました。

説明: コンポーネント・タイプのテーブルの作成中にエラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3708A コンポーネント・タイプのビューを作成中にエラーが発生しました。

説明: コンポーネント・タイプのビューを作成中にエラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3709A コンポーネント・タイプの準備中にエラーが発生しました。

説明: コンポーネント・タイプの準備中にエラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3710A コンポーネント・タイプのバインド中にエラーが発生しました。

説明: コンポーネント・タイプのバインド中にエラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3711A コンポーネント・タイプのコンパイル中にエラーが発生しました。

説明: コンポーネント・タイプのコンパイル中にエラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3712A コンポーネント・タイプのリンク中にエラーが発生しました。

説明: コンポーネント・タイプのリンク中にエラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3713A 項目タイプの削除中にエラーが発生しました。

説明: 項目タイプの削除中にエラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3714A 項目タイプはすでに存在します。

説明: 項目タイプを追加しようとしたますが、その項目タイプはすでにシステム内に存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 異なる項目タイプ名を使用してください。

DGL3715A 項目タイプの挿入中にエラーが発生しました。

説明: 新規項目タイプの追加中にエラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3716A 項目タイプのキーワードの削除中にエラーが発生しました。

説明: 項目タイプのキーワードの削除中にエラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3717A 項目タイプのキーワードの挿入中にエラーが発生しました。

説明: 項目タイプのキーワードを挿入しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3718A 項目タイプのキーワードの命名中にエラーが発生しました。

説明: 項目タイプのキーワードを命名しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3719A 項目タイプのキーワードの更新中にエラーが発生しました。

説明: 項目タイプのキーワードを更新しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3721A 項目タイプ `[nnn]` が検出されませんでした。

説明: 項目タイプ定義がライブラリー・サーバーで検出されませんでした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 項目タイプ定義が、ライブラリー・サーバーに存在することを確認してください。

DGL3722A 項目タイプの更新中にエラーが発生しました。

説明: 項目タイプを更新しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3723A ユーザーがシステムに存在しません。

説明: データベースでこのユーザーを検出できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このユーザーをデータベースに追加してください。

DGL3724A ユーザー ID は、システムにすでに存在しています。

説明: このユーザー ID は、データベース内にすでに存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ユーザー ID のスペルおよび大文字の使用を検査してください。異なるユーザー ID を選択してください。

DGL3725A ユーザー・グループ ID は、システムにすでに存在しています。

説明: このユーザー・グループ ID は、データベース内にすでに存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ユーザー・グループ ID のスペルおよび大文字の使用を検査してください。異なるユーザー・グループを選択してください。

DGL3726A ユーザー・グループ ID が、システムに存在しません。

説明: データベース内でこのユーザー・グループ ID が検出されませんでした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ユーザー・グループ ID のスペルおよび大文字の使用を検査してください。ユーザー・グループ ID をデータベースに追加してください。

DGL3727A ユーザーは、自分自身を削除することはできません。

説明: 現在使用されているユーザー ID の削除はシステムが許可しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 別のユーザーとしてログオンしてください。ユーザー ID を削除できるのは、削除する特権を持っており、なおかつ、削除するユーザー ID でログオンしていない場合だけです。

DGL3728A コンポーネント ID が無効です。

説明: データ・ストアからコンポーネント ID を検出できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 新規コンポーネント ID を作成するか、既存のコンポーネント ID を検索してください。

DGL3729A 属性 `[nnn]` がシステムに存在しません。

説明: 属性定義がライブラリー・サーバーで検出されませんでした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 属性定義がライブラリー・サーバーに存在することを確認してください。

DGL3730A 属性の作成中にエラーが発生しました。

説明: 属性を作成しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3731A 項目タイプの作成中にエラーが発生しました。

説明: 項目タイプを作成しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3732A 項目の作成中にエラーが発生しました。

説明: 項目を作成しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3733A オブジェクトの削除中にエラーが発生しました。

説明: オブジェクトを削除しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3734A ユーザーの追加中にエラーが発生しました。

説明: システムにユーザーを追加しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3735A ユーザーの更新中にエラーが発生しました。

説明: システム内のユーザーを更新しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3736A ユーザーの削除中にエラーが発生しました。

説明: システムからユーザーを削除しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3737A ユーザー・グループの追加中にエラーが発生しました。

説明: システムにユーザー・グループを追加しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3738A ユーザー・グループの更新中にエラーが発生しました。

説明: ユーザー・グループを更新しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3739A ユーザー・グループの削除中にエラーが発生しました。

説明: システムからユーザー・グループを削除しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3740A ユーザーをグループへ追加中に、エラーが発生しました。

説明: グループにユーザーを追加しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3741A グループからユーザーを削除中に、エラーが発生しました。

説明: グループからユーザーを削除しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3742A エンティティの検索中にエラーが発生しました。

説明: エンティティの検索中にエラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3743A ライブラリー・サーバーがサービス・クライアント要求にメモリーを割り振り中に、エラーが発生しました。

説明: メモリー割り振りエラーが発生しました。システムがメモリー不足である可能性があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 不要なファイルを削除してメモリーを解放してください。

DGL3744A 特権の追加中にエラーが発生しました。

説明: 特権を追加または作成しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3745A 特権の削除中にエラーが発生しました。

説明: 特権を削除しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3746A 特権の更新中にエラーが発生しました。

説明: 特権を更新しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3747A 特権の検索中にエラーが発生しました。

説明: 特権を検索しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3748A 特権セットの追加中にエラーが発生しました。

説明: 特権セットを追加または作成しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3749A 特権セットの削除中にエラーが発生しました。

説明: 特権セットを削除しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3750A 特権セットの更新中にエラーが発生しました。

説明: 特権セットを更新しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻されたエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3751A 特権セットの検索中にエラーが発生しました。

説明: 特権セットを検索しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3752A 特権グループの追加中にエラーが発生しました。

説明: 特権グループを作成しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻されたエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3753A 特権グループの削除中にエラーが発生しました。

説明: 特権グループを削除しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻されたエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3754A 特権セットの更新中にエラーが発生しました。

説明: 特権グループを更新しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻されたエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3755A 特権グループの検索中にエラーが発生しました。

説明: 特権グループを検索しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻されたエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3756A アクセス制御リストの追加中にエラーが発生しました。

説明: アクセス制御リストを追加しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻されたエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3757A アクセス制御リストの削除中にエラーが発生しました。

説明: アクセス制御リストを削除しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻されたエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3758A アクセス制御リストの更新中にエラーが発生しました。

説明: アクセス制御リストを更新しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻されたエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3759A アクセス制御リストの検索中にエラーが発生しました。

説明: アクセス制御リストを検索しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻されたエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3760A アクセス制御リスト規則の追加中にエラーが発生しました。

説明: アクセス制御リスト規則を作成しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻されたエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3761A アクセス制御リスト規則の削除中にエラーが発生しました。

説明: アクセス制御リスト規則を削除しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻されたエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3762A アクセス制御リスト規則の更新中にエラーが発生しました。

説明: アクセス制御リスト規則を更新しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻されたエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3763A アクセス制御リスト規則の検索中にエラーが発生しました。

説明: アクセス制御リスト規則を検索しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻されたエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3764A 特権セットに特権がすでに存在していません。

説明: この特権は、データベース内の特権セットにすでに存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この特権をデータベースに追加しないでください。

DGL3765A 特権セットに特権が存在しません。

説明: この特権は、特権セットに存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 特権を特権セットに追加してください。

DGL3766A 特権グループに特権がすでに存在していません。

説明: この特権は、データベース内の特権グループにすでに存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この特権をデータベースに追加しないでください。

DGL3767A 特権グループに特権が存在しません。

説明: この特権は、特権グループに存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この特権を特権グループに追加してください。

DGL3768A 特権のリスト中にエラーが発生しました。

説明: 特権をリストしているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻されたエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3769A 特権セットのリスト中にエラーが発生しました。

説明: 特権セットをリストしているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻されたエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3770A 特権グループのリスト中にエラーが発生しました。

説明: 特権グループをリストしているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻されたエラー情報に注意して、

問題の原因を判別してください。

DGL3771A アクセス制御リストのリスト中にエラーが発生しました。

説明: アクセス制御リストをリストしているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻されたエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3772A NLS キーワードのリスト中にエラーが発生しました。

説明: NLS キーワードをリストしているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻されたエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3773A アクセス制御リストのユーザー・グループ名がヌルです。

説明: アクセス制御リストのユーザー名やグループ名は、ヌル値にすることはできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: アクセス制御リストにユーザーまたはグループ名を定義してください。

DGL3774A システム定義のアクセス制御リストを削除できません。

説明: システム定義のアクセス制御リストは削除できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このアクセス制御リストは削除しないでください。

DGL3775A システム定義のアクセス制御リストを更新できません。

説明: システム定義のアクセス制御リストは更新できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このアクセス制御リストは更新しないでください。

DGL3776A システム定義の特権を削除できません。

説明: システム定義の特権は削除できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この特権は削除しないでください。

DGL3777A システム定義の特権を更新できません。

説明: システム定義の特権は更新できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この特権は更新しないでください。

DGL3778A システム定義の特権セットを削除できません。

説明: システム定義の特権セットは削除できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この特権セットは削除しないでください。

DGL3779A システム定義の特権セットを更新できません。

説明: システム定義の特権セットは更新できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この特権セットは更新しないでください。

DGL3780A システム定義の特権グループを削除できません。

説明: システム定義の特権グループは削除できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この特権グループは削除しないでください。

DGL3781A システム定義の特権グループを更新できません。

説明: システム定義の特権グループは、更新できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この特権グループは更新しないでください。

DGL3782A 特権 ID が存在しません。

説明: データベース内にこの特権が存在しない可能性があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この特権をデータベースに追加してください。

DGL3783A 特権セット ID が存在しません。

説明: データベース内にこの特権セットが存在しない可能性があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この特権セットをデータベースに追加してください。

DGL3784A 特権グループ ID が存在しません。

説明: データベース内にこの特権グループが存在しない可能性があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この特権グループをデータベースに追加してください。

DGL3785A アクセス制御リスト ID が存在しません。

説明: データベース内にこのアクセス制御リストが存在しない可能性があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このアクセス制御リストをデータベースに追加してください。

DGL3786A 特権が存在しません。

説明: データベース内にこの特権がありません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この特権をデータベースに追加してください。

DGL3787A 特権セットが存在しません。

説明: データベース内にこの特権セットがありません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この特権セットをデータベースに追加してください。

DGL3788A 特権グループが存在しません。

説明: データベース内にこの特権グループがありません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この特権グループをデータベースに追加してください。

DGL3789A アクセス制御リストが存在しません。

説明: データベース内にこのアクセス制御リストが存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このアクセス制御リストをデータベースに追加してください。

DGL3790A 特権はすでに存在します。

説明: この特権は、データベースにすでに存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この特権をデータベースに追加しないでください。

DGL3791A 特権セットはすでに存在します。

説明: この特権セットはすでにデータベース内にあります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この特権セットをデータベースに追加しないでください。

DGL3792A 特権グループはすでに存在します。

説明: この特権グループは、データベースにすでに存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この特権グループをデータベースに追加しないでください。

DGL3793A アクセス制御リストはすでに存在しています。

説明: このアクセス制御リストは、データベースにすでに存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このアクセス制御リストをデータベースに追加しないでください。

DGL3794A アクセス制御リスト規則はすでに存在しています。

説明: このアクセス制御リスト規則はすでにデータベース内にあります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この規則をデータベース内のアクセス制御リストに追加しないでください。

DGL3795A 特権は使用中です。

説明: この特権は、すでに特定の特権セット内にあります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この特権をデータベースから削除しないでください。

DGL3796A 属性は属性グループにすでに存在しています。

説明: 属性を属性グループに追加しようとしたが、その属性はこの属性グループにすでに存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 異なる属性名を使用してください。

DGL3797A この属性グループには属性が定義されていません。

説明: 属性グループを作成しようとしたが、そのグループに属性が存在しません。属性グループには少なくとも 1 つの属性が含まれていなくてはなりません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 少なくとも 1 つの属性を含む属性グループを定義してください。

DGL3798A 属性グループが存在しません。

説明: 属性グループを更新または削除しようとしたが、システム内にその属性グループは存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システムから使用可能な属性グループを確認してください。

DGL3799A 属性グループはすでに存在します。

説明: 属性グループを追加しようとしたが、その属性グループはシステム内にすでに存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この属性グループに異なる名前を使用してください。

DGL3800A システム定義の属性グループを削除できません。

説明: ライブラリー・サーバーによって許可されていない、システム定義の属性グループを削除しようとした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム定義の属性グループは、変更しないようにしてください。属性グループがシステム定義のグループであるかを判別するには、その ID を検査してください。システム定義の属性グループの ID は、1000 より小さな値です。

DGL3801A 属性グループのリスト中にエラーが発生しました。

説明: 属性グループをリストしようとしたときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻されたエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3802A アクセス制御リスト (ACL) にユーザー・グループを追加中にエラーが発生しました。エラーの原因は、そのユーザー・グループがすでに ACL 内にあるためです。

説明: このユーザー・グループは、すでにアクセス制御リスト内にあります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このユーザー・グループをアクセス制御リストに追加しないでください。

DGL3803A アクセス制御リスト (ACL) からユーザー・グループを除去中にエラーが発生しました。エラーの原因は、そのユーザー・グループが ACL 内で見つからないためです。

説明: このユーザーまたはグループは、アクセス制御リスト内にありません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このユーザーまたはグループをアクセス制御リストに追加してください。

DGL3804A ユーザーの更新中にエラーが発生しました。

説明: ユーザーを更新しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・ログ・ファイルから戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL3805A ユーザー・グループの追加中にエラーが発生しました。

説明: ユーザー・グループを追加しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・ログ・ファイルから戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL3806A ユーザー・グループの削除中にエラーが発生しました。

説明: ユーザー・グループを削除しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・ログ・ファイルから戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL3807A ユーザー・グループの更新中にエラーが発生しました。

説明: ユーザー・グループを更新しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・ログ・ファイルから戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL3808A ユーザー・グループの検索中にエラーが発生しました。

説明: ユーザー・グループを検索しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・ログ・ファイルから戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL3809A ユーザーは、グループにすでに存在しています。

説明: ユーザーをグループに追加しようとしたが、そのユーザーはすでにそのグループに存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・ログ・ファイルから戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL3810A ユーザーは、グループに存在していません。

説明: グループからユーザーを更新または削除しようとしたが、そのユーザーはそのグループに存在していません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・ログ・ファイルから戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL3811A ユーザーのリスト中にエラーが発生しました。

説明: ユーザーをリストしようとしたときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・ログ・ファイルから戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL3812A ユーザー・グループのリスト中にエラーが発生しました。

説明: ユーザー・グループをリストしようとしたときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・ログ・ファイルから戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL3813A システム定義のユーザーを削除できません。

説明: システム定義のユーザーを削除しようとした。一部のユーザーはシステムによって定義されており(たとえば、ICM admin)、これらのシステム定義のユーザーを削除することはできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム定義のユーザーは削除しようとしてください。

DGL3814A システム定義のユーザーを更新できません。

説明: システム定義のユーザーを更新しようとした。一部のユーザーはシステムによって定義されており(たとえば、ICM admin)、これらのシステム定義のユーザーを削除することはできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム定義のユーザーは、更新しないようにしてください。

DGL3815A システム定義のユーザー・グループを削除できません。

説明: システム定義のユーザー・グループを削除しようとした。一部のユーザー・グループはシステムによって定義されており、これらのシステム定義のユーザー・グループを削除することはできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム定義のユーザー・グループは削除しようとししないでください。

DGL3816A システム定義のユーザー・グループを更新できません。

説明: システム定義のユーザー・グループを更新しようとした。一部のユーザー・グループはシステムによって定義されており、これらのシステム定義のユーザー・グループを更新することはできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム定義のユーザー・グループは、更新しないようにしてください。

DGL3817A ユーザー ID が存在しません。

説明: ユーザーを削除または更新しようとしたが、そのユーザーがシステムに存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: なし。削除または更新できるユーザーは、システムに存在するユーザーのみです。

DGL3818A ユーザー・グループ ID が存在しません。

説明: ユーザー・グループを削除または更新しようとしたが、そのユーザー・グループがシステムに存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: なし。削除または更新できるユーザー・グループは、システムに存在するユーザー・グループのみです。

DGL3819A ユーザーが存在しません。

説明: ユーザーを削除または更新しようとしたが、そのユーザーがシステムに存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: なし。削除または更新できるユーザーは、

システムに存在するユーザーのみです。

DGL3820A ユーザー・グループが存在しません。

説明: ユーザー・グループを削除または更新しようとしたが、そのユーザー・グループがシステムに存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: なし。削除または更新できるユーザー・グループは、システムに存在するユーザー・グループのみです。

DGL3821A ユーザーはすでに存在します。

説明: 新規ユーザーを追加しようとしたが、このユーザーはすでにシステムに存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 追加する新規ユーザー名を変更してください。

DGL3822A ユーザー・グループはすでに存在します。

説明: 新規ユーザー・グループを追加しようとしたが、このユーザー・グループはシステムにすでに存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 追加する新規ユーザー・グループ名を変更してください。

DGL3823A ユーザーは使用中です。

説明: 要求したユーザーは、別のグループまたは別のオブジェクトですでに使用中です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 要求したユーザーが、他のグループまたは他のオブジェクトによって使用されていないことを確認してください。

DGL3824A ユーザーの追加中にエラーが発生しました。

説明: 新規ユーザーを追加しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻されたエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3825A ユーザーの削除中にエラーが発生しました。

説明: ユーザーを削除しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻されたエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3826A ユーザーの検索中にエラーが発生しました。

説明: ユーザーを検索しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻されたエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3827A 属性のリスト中にエラーが発生しました。

説明: 属性をリストしようとしたときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻されたエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3828A NLS 言語の追加中にエラーが発生しました。

説明: NLS 言語を追加しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻されたエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3829A NLS 言語の更新中にエラーが発生しました。

説明: NLS 言語を更新しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻されたエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3830A NLS 言語の削除中にエラーが発生しました。

説明: NLS 言語を削除しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻されたエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3831A NLS 言語のリスト中にエラーが発生しました。

説明: NLS 言語をリストしているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻されたエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3832A NLS 言語の検索中にエラーが発生しました。

説明: NLS 言語を検索しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻されたエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3833A サポートされている NLS 言語ではありません。

説明: これはサポートされている言語ではありません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻されたエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3834A NLS キーワードの追加中にエラーが発生しました。

説明: NLS キーワードを追加しようとしたときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻されたエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3835A NLS キーワードの更新中にエラーが発生しました。

説明: NLS キーワードを更新しようとしたときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻されたエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3836A NLS キーワードの削除中にエラーが発生しました。

説明: NLS キーワードを削除しようとしたときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻されたエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3837A NLS キーワードのリスト中にエラーが発生しました。

説明: NLS キーワードをリストしようとしたときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻されたエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3838A デフォルトの言語のリスト中にエラーが発生しました。

説明: デフォルトの NLS 言語をリストしようとしたときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻されたエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3839A 属性はエンティティにすでに存在しています。エンティティは、項目タイプまたはコンポーネント・タイプのいずれかである可能性があります。

説明: 新規属性をエンティティに追加しようとしたが、その属性はエンティティにすでに存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 追加する新規属性の名前を変更してください。

DGL3840A 属性グループはエンティティにすでに存在しています。

説明: 新規属性グループを追加しようとしたが、その属性グループはシステム内にすでに存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 追加する属性グループの名前を変更してください。

DGL3841A 属性がエンティティに存在しません。

説明: 属性を削除または更新しようとしたが、その属性はシステムに存在していません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システムに存在しない属性の削除や更新は、避けるようにしてください。

DGL3842A 属性グループがエンティティに存在しません。

説明: 属性グループを削除または更新しようとしたが、その属性グループはシステムに存在していません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム内に存在しない属性グループの削除や更新は、避けるようにしてください。

DGL3843A サブエンティティ (子コンポーネント・タイプ) は、この項目タイプにすでに存在しています。

説明: 新規子コンポーネント・タイプを追加しようとしたが、そのコンポーネント・タイプがすでにシステムに存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 追加するこの子コンポーネント・タイプの名前を変更してください。

DGL3844A サブエンティティがこのエンティティに存在しません。

説明: 子コンポーネント・タイプを削除または更新しようとしたが、そのコンポーネント・タイプがシステムに存在していません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システムに存在しない子コンポーネント・タイプの削除や更新は、避けるようにしてください。

DGL3845A 射影リストに指定された親コンポーネント・タイプ名 *[nnn]* が、部分修飾名でリストされている対応する親コンポーネント名 *[nnn]* に一致しません。

説明: 射影リストに指定された親コンポーネント名が、部分修飾名でリストされている親コンポーネント名に一致しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ライブラリー・サーバー内の親コンポーネントに一致しない親コンポーネントを指定しました。正しい子コンポーネントを使用していることを確認してください。

DGL3846A 有効なリンク・タイプ名が検出されませんでした。

説明: 各リンクには、ソースとターゲットがどのように関連するかを記述するリンク・タイプがあります。2つの項目を、異なるリンク・タイプのもとにリンクすることもできます。これらのリンク・タイプには、関連付けられた名前と ID コードがあります。このケースでは、無効な ID コードが検出されました。ID コードが以下のようにになっている可能性があります。

- システム内のどのリンク・タイプ ID コードにも一致しない
- 特定の状態に対して無効である
- 制限されている
- ユーザーが使用できない

また、無効なリンク・タイプ名が使用された可能性もあります。これは、現在使用されていない ID コードや検出されない ID コードに変換されたリンク・タイプ名です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: リンク・タイプが存在しない場合は、必要なリンク・タイプ用に新規リンク・タイプ名と ID コードを作成するか、異なるリンク・タイプ名またはコードを選択してください。

DGL3849A 指定されたリンク・タイプは DDO セマンティック・タイプにおいて無効です。

説明: 各リンクには、ソースとターゲットがどのように関連するかを記述するリンク・タイプがあります。使用された特定のリンク・タイプが無効であるか、リンク内で参照される項目のセマンティック・タイプの 1 つとともに使用することを許可されていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: リンク内で参照される項目のセマンティック・タイプに、別の有効なリンク・タイプを使用してください。あるいは、競合するセマンティック・タイプを伴う項目を、別のセマンティック・タイプに置換または変更することができます。

DGL3851A リンク方向が無効です。

説明: リンクは、特定の項目を参照する際のインバウンドまたはアウトバウンドであると考えられます。ソース A がターゲット B にリンクしている場合、A は、A -> B というリンクのアウトバウンドであると考えられます。一方、B は、同じリンクのインバウンドであると考えられます。このケースでは、無効または現存しないリンク方向が参照または使用され、そのリンク方向が、リンクの特定のインスタンス、集合、または与えられた現行の特権に対して許可されていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 可能であれば他の方向を使用するか、異なる手段を使用してこのリンク方向にアクセスしてみてください。

DGL3852A DDO にリンクの集合が存在しません。

説明: DDO に、要求されたリンクの集合が含まれていません。DDO にリンクの集合がないか、あるいは、検索リンク・オプションを指定せずに DDO が永続データ・ストアから検索されました。リンクの集合は、空である場合には永続状態を維持できません。項目に空のリンクの集合が追加された場合、リンクが追加されず、DDO が追加または更新されると、その集合は永続的には保管されません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: DDO のリンクの集合が空でない場合は、リンク検索オプションを指定して、DDO を検索してください。リンクの集合が空である場合は、集合を再度追加する必要があります。

DGL3853A リンクの検索が失敗しました。

説明: 特定の項目に対するリンクの検索が失敗しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻されたエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3854A 内部エラーが発生しました。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL3855A リンクの削除または追加が失敗しました。

説明: 特定の項目に対するリンクの追加または除去が失敗しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻されたエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3856A PID が DDO に設定されていません。

説明: DDO に永続 ID (PID) が設定されていません。このエラーの原因は、PID 情報の使用を必要とする操作が行われたためです。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この操作を使用する前に、PID 情報を設定してください。

DGL3857A システム定義のキーワードを削除できません。

説明: システム定義のキーワードを削除しようとした。一部のキーワードはシステムにより定義されており(システム定義のキーワード・コードは 1000 より小さな値です)、これらのシステム定義のキーワードは削除できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム定義のキーワードは、削除しないようにしてください。

DGL3858A システム定義のキーワードを更新できません。

説明: システム定義のキーワードを更新しようとした。一部のキーワードはシステムにより定義されており(システム定義のキーワード・コードは 1000 より小さな値です)、これらのシステム定義のキーワードは更新できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム定義のキーワードは、更新しないようにしてください。

DGL3859A キーワードが、システムに存在しません。

説明: キーワードを削除または更新しようとしたが、そのキーワードはシステムに存在していません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システムに存在しないキーワードは、削除または更新しないようにしてください。

DGL3860A キーワードは、システムにすでに存在しています。

説明: 新規キーワードを追加しようとしたが、そのキーワードはすでにシステムに存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 追加するキーワードの名前を変更してください。

DGL3861A キーワードは使用中です。

説明: 更新または削除しようとしたキーワードは、別のコンポーネントによって使用されています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 別のコンポーネントが使用中であるこのキーワードの情報は、変更しないようにしてください。

DGL3862A リンク・タイプの追加中にエラーが発生しました。

説明: リンク・タイプの追加中にエラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻されたエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3863A リンク・タイプの削除中にエラーが発生しました。

説明: リンク・タイプを削除しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻されたエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3864A リンク・タイプの更新中にエラーが発生しました。

説明: リンク・タイプの更新中にエラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻されたエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3865A セマンティック・タイプの追加中にエラーが発生しました。

説明: セマンティック・タイプの追加中にエラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻されたエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3866A セマンティック・タイプの削除中にエラーが発生しました。

説明: セマンティック・タイプの削除中にエラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻されたエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3867A セマンティック・タイプの更新中にエラーが発生しました。

説明: セマンティック・タイプを更新しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻されたエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3868A システム定義のリンク・タイプを削除できません。

説明: システム定義のリンク・タイプは、削除できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム定義のリンク・タイプは、削除しないようにしてください。

DGL3869A システム定義のリンク・タイプを更新できません。

説明: システム定義のリンク・タイプは、更新できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム定義のリンク・タイプは、更新しないようにしてください。

DGL3870A システム定義のセマンティック・タイプを削除できません。

説明: システム定義のセマンティック・タイプは、削除できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム定義のセマンティック・タイプは、削除しないようにしてください。

DGL3871A システム定義のセマンティック・タイプを更新できません。

説明: システム定義のセマンティック・タイプは、更新できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム定義のセマンティック・タイプは、更新しないようにしてください。

DGL3872A リンク ID が存在しません。

説明: 各リンクには、ソースとターゲットがどのように関連するかを記述するリンク・タイプがあります。2つの項目を、異なるリンク・タイプのもとにリンクすることもできます。これらのリンク・タイプには、関連付けられた名前と ID コードがあります。このケースでは、無効な ID コードが検出されました。ID コードが以下のようにになっている可能性があります。

- システム内のどのリンク・タイプ ID コードにも一致しない
- 特定の状態に対して無効である
- 制限されている
- ユーザーが使用できない

また、無効なリンク・タイプ名が使用された可能性もあります。これは、現在使用されていない ID コードや検出されない ID コードに変換されたリンク・タイプ名です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: リンク・タイプが存在しない場合は、必要なリンク・タイプ用に新規リンク・タイプ名と ID コー

ドを作成するか、異なるリンク・タイプ名またはコードを選択してください。

DGL3873A セマンティック ID が存在しません。

説明: 各セマンティックには、項目タイプの基本種別を記述するセマンティック・タイプがあります。これらのセマンティック・タイプには、関連付けられた名前と ID コードがあります。このケースでは、無効なセマンティック・タイプの ID コードが検出されました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 既存のセマンティック・タイプの ID コードを使用してください。

DGL3874A 属性の追加中にエラーが発生しました。

説明: 属性を追加しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3875A 属性の削除中にエラーが発生しました。

説明: 属性を削除しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3876A 属性の更新中にエラーが発生しました。

説明: 属性を更新しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3877A 属性グループの追加中にエラーが発生しました。

説明: 属性グループを追加しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意

して、問題の原因を判別してください。

DGL3878A 属性グループの削除中にエラーが発生しました。

説明: 属性グループを削除しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3879A 属性グループの更新中にエラーが発生しました。

説明: 属性グループを更新しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3880A システム定義の属性を削除できません。

説明: システム定義の属性を削除しようとしてしました。一部の属性はシステムによって定義されており、これらのシステム定義の属性を削除することはできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム定義の属性は、削除しないようにしてください。

DGL3881A システム定義の属性を更新できません。

説明: システム定義の属性を更新しようとしてしました。一部の属性はシステムによって定義されており、これらのシステム定義の属性を更新することはできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム定義の属性は、更新しないようにしてください。

DGL3882A システム定義の属性グループを削除できません。

説明: システム定義の属性グループを削除しようとしてしました。一部の属性グループはシステムによって定義されており、これらのシステム定義の属性グループを削除することはできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム定義の属性グループは、削除しないようにしてください。

DGL3883A システム定義の属性グループを更新できません。

説明: この属性グループは、システムによって定義されているため更新できません。属性グループがシステムによって定義されている場合には、その属性グループ ID は 1000 以下です。属性グループがユーザーによって定義されている場合には、その属性グループ ID は 1000 より大きな値です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム定義の属性グループは、削除しないようにしてください。

DGL3884A 属性 ID が存在しません。

説明: システムに存在しない属性 ID を検索しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 検索中の属性 ID が存在していることを確認してください。属性名およびクラスを使用して属性番号を検索します。属性番号が -1 の場合には、その属性 ID はシステムに存在していません。

DGL3885A 属性グループ ID が存在しません。

説明: システムに存在しない属性グループ ID を検索しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 検索中の属性グループ ID が存在していることを確認してください。属性グループ名およびクラスを使用して属性グループ番号を検索します。属性グループ番号が -1 の場合には、その属性グループ ID はシステムに存在していません。

DGL3886A 項目タイプ ID が存在しません。

説明: 項目タイプ ID がキーワード・テーブルに存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 項目タイプ ID が、キーワード・テーブルに存在していることを確認してください。

DGL3887A 項目タイプの追加中にエラーが発生しました。

説明: 項目タイプをライブラリー・サーバーに追加しようとしたときに、エラーが発生しました。この場合に

は、システムは正の戻りコードをエラー・ログ・ファイルに戻します。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・ログ・ファイルから戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL3888A 項目タイプの削除中にエラーが発生しました。

説明: 項目タイプをライブラリー・サーバーから削除しようとしたときに、エラーが発生しました。この場合には、システムは正の戻りコードをエラー・ログ・ファイルに戻します。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・ログ・ファイルから戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL3889A 項目タイプの更新中にエラーが発生しました。

説明: ライブラリー・サーバーの項目タイプを更新しようとしたときに、エラーが発生しました。この場合には、システムは正の戻りコードをエラー・ログ・ファイルに戻します。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・ログ・ファイルから戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL3890A システム定義の項目タイプを削除できません。

説明: この項目タイプは、システムによって定義されているため削除できません。項目タイプがシステムによって定義されている場合には、その項目タイプ ID は 1000 以下です。項目タイプがユーザーによって定義されている場合には、その項目タイプ ID は 1000 より大きな値です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム定義の項目タイプは、削除しないようにしてください。

DGL3891A システム定義の項目タイプを更新できません。

説明: この項目タイプは、システムによって定義されているため更新できません。項目タイプがシステムによって定義されている場合には、その項目タイプ ID は

1000 以下です。項目タイプがユーザーによって定義されている場合には、その項目タイプ ID は 1000 より大きな値です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム定義の項目タイプは、更新しないようにしてください。

DGL3892A コンポーネント・タイプの追加中にエラーが発生しました。

説明: コンポーネント・タイプをライブラリー・サーバーに追加しようとしたときに、エラーが発生しました。この場合には、システムは正の戻りコードをエラー・ログ・ファイルに戻します。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・ログ・ファイルから戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL3893A コンポーネント・タイプの削除中にエラーが発生しました。

説明: コンポーネント・タイプをライブラリー・サーバーから削除しようとしたときに、エラーが発生しました。この場合には、システムは正の戻りコードをエラー・ログ・ファイルに戻します。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・ログ・ファイルから戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL3894A コンポーネント・タイプの更新中にエラーが発生しました。

説明: コンポーネント・タイプをライブラリー・サーバーから更新しようとしたときに、エラーが発生しました。この場合には、システムは正の戻りコードをエラー・ログ・ファイルに戻します。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・ログ・ファイルから戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL3895A システム定義のコンポーネント・タイプを削除できません。

説明: このコンポーネント・タイプは、システムによって定義されているため削除できません。コンポーネント・タイプがシステムによって定義されている場合には、そのコンポーネント・タイプ ID は 1000 以下で

す。コンポーネント・タイプがユーザーによって定義されている場合には、そのコンポーネント・タイプ ID は 1000 より大きな値です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム定義のコンポーネント・タイプは、削除しないようにしてください。

DGL3896A システム定義のコンポーネント・タイプを更新できません。

説明: このコンポーネント・タイプは、システムによって定義されているため更新できません。コンポーネント・タイプがシステムによって定義されている場合には、そのコンポーネント・タイプ ID は 1000 以下です。コンポーネント・タイプがユーザーによって定義されている場合には、そのコンポーネント・タイプ ID は 1000 より大きな値です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム定義のコンポーネント・タイプは、更新しないようにしてください。

DGL3897A 項目タイプ ID が存在しません。

説明: 項目タイプ ID がライブラリー・サーバーに存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 項目タイプ ID が、ライブラリー・サーバーに存在することを確認してください。

DGL3898A コンポーネント・タイプ ID が存在しません。

説明: コンポーネント・タイプ ID がライブラリー・サーバーに存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: コンポーネント・タイプ ID が、ライブラリー・サーバーに存在することを確認してください。

DGL3900A リソース・マネージャーはすでに存在しています。

説明: リソース・マネージャーを定義しようとしたましたが、この名前のリソース・マネージャーはデータベースにすでに存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 新規リソース・マネージャーに別の名前を指定してください。

DGL3901A リソース・マネージャーは存在しません。

説明: リソース・マネージャーを更新しようとしたですが、そのリソース・マネージャーはデータベースに存在していません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: なし。リソース・マネージャーは、データベースに存在するもののみ更新できます。

DGL3902A 現在、要求されたリソース・マネージャーは使用中です。

説明: リソース・マネージャーを更新または削除しようとしたが、そのリソース・マネージャーは他のオブジェクトによって使用されています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: なし。リソース・マネージャーを更新または削除する前に、そのリソース・マネージャーが他のオブジェクトによって使用されていないことを確認してください。

DGL3903A リソース・マネージャーの追加中にエラーが発生しました。

説明: リソース・マネージャーを追加しようとしたときに、エラーが発生しました。この場合には、エラー・ログの戻りコードは正の値です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・ログ・ファイルから戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL3904A リソース・マネージャーの更新中にエラーが発生しました。

説明: リソース・マネージャーを更新しようとしたときに、エラーが発生しました。この場合には、エラー・ログの戻りコードは正の値です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・ログ・ファイルから戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL3905A リソース・マネージャーのリスト中にエラーが発生しました。

説明: 新規リソース・マネージャーをこのライブラリー・サーバーにリストしようとしたときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・ログ・ファイルから戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL3906A リソース・マネージャーの検索中にエラーが発生しました。

説明: システムからリソース・マネージャーを検索しようとしたときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・ログ・ファイルから戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL3907A リソース・マネージャーの削除中にエラーが発生しました。

説明: システムからリソース・マネージャーを削除しようとしたときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・ログ・ファイルから戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL3910A リソース・マネージャーの集合はすでに存在しています。

説明: リソース・マネージャーの集合をこのライブラリー・サーバーに定義しようとしたが、このリソース・マネージャーの集合は、このライブラリー・サーバーですでに定義されています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このライブラリー・サーバーに、別のリソース・マネージャーの集合を定義してください。

DGL3911A リソース・マネージャーの集合は存在しません。

説明: リソース・マネージャーの集合をライブラリー・サーバーに定義しようとしたが、リソース・マネージャーの集合は未定義でした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: リソース・マネージャーの集合が、ライブラリー・サーバーに定義されていることを確認してください。定義されていない場合は、システム管理クライアントを使用して、リソース・マネージャーの集合を定義してください。

DGL3912A リソース・マネージャーの集合は現在使用中です。

説明: リソース・マネージャーの集合をこのライブラリー・サーバーから削除しようとしたが、そのリソース・マネージャーの集合は現在使用中です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: リソース・マネージャーの集合が、すでに使用されていないことを確認してください。

DGL3913A リソース・マネージャーの集合の追加中にエラーが発生しました。

説明: 新規リソース・マネージャーの集合をこのライブラリー・サーバーに追加しようとしたときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・ログ・ファイルから戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL3914A リソース・マネージャーの集合の更新中にエラーが発生しました。

説明: リソース・マネージャーの集合をこのライブラリー・サーバーに更新しようとしたときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・ログ・ファイルから戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL3915A リソース・マネージャーの集合のリスト中にエラーが発生しました。

説明: リソース・マネージャーの集合をこのライブラリー・サーバーにリストしようとしたときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・ログ・ファイルから戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL3916A リソース・マネージャーの集合の検索中にエラーが発生しました。

説明: リソース・マネージャーの集合をこのライブラリー・サーバーから検索しようとしたときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・ログ・ファイルから戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL3917A リソース・マネージャーの集合の削除中にエラーが発生しました。

説明: リソース・マネージャーの集合をこのライブラリー・サーバーから削除しようとしたときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・ログ・ファイルから戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL3918A キャッシュがオフの場合 get メソッドは使用できません。

説明: キャッシュがオフに設定されているため、get メソッドを使用できません。キャッシュは、データ・ストアを定義するときにオンまたはオフに設定可能なフラグです。キャッシュがオンに設定されている場合には、データ・ストアからオブジェクトを取得して、一時的にキャッシュに保管できます。キャッシュがオフに設定されている場合には、データ・ストアからオブジェクトを直接検索する必要があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: get メソッドの代わりに retrieve メソッドを使用してください。

DGL3919A ライブラリー・サーバーの制御パラメーターのリスト中にエラーが発生しました。

説明: データ・ストアの制御パラメーターをリストしようとしたときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・ログ・ファイルから戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL3920A ライブラリー・サーバーの制御パラメーターの更新中にエラーが発生しました。

説明: データ・ストアの制御パラメーターを更新しようとしたときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・ログ・ファイルから戻りコードを記録してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL3921A このコンポーネント・タイプは、子コンポーネント・タイプではなく、ルート・コンポーネント・タイプでなければなりません。

説明: 関数呼び出しによって渡すコンポーネントは、ルート・コンポーネントでなければなりません。コンポーネントがルート・コンポーネントかどうかを判別するには、そのコンポーネントの親 ID を検査してください。ルート・コンポーネントの親 ID は 0 です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 子コンポーネントの代わりにルート・コンポーネントを渡してください。

DGL3922A このコンポーネント・タイプは、ルート・コンポーネント・タイプであってはなりません。

説明: 関数呼び出しによって渡すコンポーネントは、子コンポーネントでなければなりません。コンポーネントが子コンポーネントかどうかを判別するには、そのコンポーネントの親 ID を検査してください。ルート・コンポーネントの親 ID は 0 であってはなりません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ルート・コンポーネントの代わりに子コンポーネントを渡してください。

DGL3923A キャッシュからオブジェクトを検出できません。

説明: get メソッドが使用されましたが、システムはキャッシュからオブジェクトを検出できませんでした。この場合には、キャッシュが古くなっているか、誤ったパスが指定されています。

キャッシュは、データ・ストアを定義するときにオンまたはオフに設定可能なフラグです。キャッシュがオンに設定されている場合には、データ・ストアからオブジェクトを取得して、一時的にキャッシュに保管できます。キャッシュがオフに設定されている場合には、データ・ストアからオブジェクトを直接検索する必要があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: get メソッドの代わりに retrieve メソッドを使用してください。

DGL3924A キャッシュが空の場合 get メソッドは使用できません。

説明: キャッシュが空であるため、get メソッドを使用できません。キャッシュは、データ・ストアを定義する

ときにオンまたはオフに設定可能なフラグです。キャッシュがオンに設定されている場合には、データ・ストアからオブジェクトを取得して、一時的にキャッシュに保管できます。キャッシュがオフに設定されているか空である場合には、データ・ストアからオブジェクトを直接検索する必要があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: get メソッドの代わりに retrieve メソッドを使用してください。

DGL3925A XDO 種別の追加中にエラーが発生しました。

説明: XDO 種別を追加しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3926A XDO 種別の削除中にエラーが発生しました。

説明: XDO 種別を削除しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3927A XDO 種別の更新中にエラーが発生しました。

説明: XDO 種別を更新しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3928A システム定義の XDO 種別を削除できません。

説明: システム定義の XDO 種別を削除しようとしてしました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム定義の XDO 種別は、削除しないようにしてください。

DGL3929A システム定義の XDO 種別を更新できません。

説明: システム定義の XDO 種別を更新しようとした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム定義の XDO 種別は、更新しないようにしてください。

DGL3930A XDO 種別 ID [nnn] が存在しません。

説明: システムに存在しない属性グループ ID を検索しようとした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 属性グループが存在しない場合は、必要な属性グループ用に新規属性グループ名と ID コードを作成するか、異なる属性グループ名またはコードを選択してください。

DGL3931A コンポーネント・タイプの索引の追加中にエラーが発生しました。

説明: コンポーネント・タイプの索引を追加しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3932A コンポーネント・タイプの索引の削除中にエラーが発生しました。

説明: コンポーネント・タイプの索引を削除しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3933A ソース項目タイプのオートリンクが使用可能になっていません。

説明: このソース項目タイプのオートリンクは使用できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム管理クライアントを使用して、ソース項目タイプのオートリンクを使用可能にしてください。

DGL3934A オートリンク循環リンク・エラーが発生しました。たとえば、ソースがターゲットにリンクされ、ターゲットがソースにリンクされています。

説明: ソース項目がターゲット項目にリンクされ、ターゲット項目がソース項目にリンクされているため、再帰的リンクになっています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: プログラムを訂正して、ソース項目とターゲット項目間のリンクを変更してください。

DGL3935A 不明なオートリンク・エラーです。

説明: オートリンク操作を行っているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: プログラミングを検査してください。

DGL3936A アクセス違反です。

説明: ユーザーの特権セットには、このアクションを実行する特権がありません。このアクションを実行するには、ユーザーの特権セット内に `privSetCode` が `SYSTEM_ADMIN_PRIVSET` または `ALL_PRIV_SET` である特権が必要です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このアクションを実行しないでください。

DGL3937A リソース以外の項目タイプのテキスト検索は、使用可能にできません。

説明: 項目タイプのテキスト検索を使用可能にしようとしたが、テキスト検索が使用できるのは、テキスト・リソース項目タイプだけです。たとえば、ビデオ項目タイプは、テキスト検索を使用できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 項目タイプをテキスト・リソース項目タイプに変更してください。項目タイプを作成するための情報については、「ワークステーション・アプリケーション・プログラミング・ガイド」または「オンライン API 解説書」を参照してください。

DGL3938A このコンポーネント・タイプ・ビュー構造 (親 / 子コンポーネント関係など) は、項目タイプの基礎階層構造に準拠していません。このコンポーネント・ビューの親ビューに対する関係を、このコンポーネントの親のレベルから位置指定できない可能性があります。

説明: 照会で指定した子コンポーネントは、その親の有効な子コンポーネントではありません。たとえば、`book_author` が `book` の子コンポーネントで、`journal_author` が `journal` の子コンポーネントの場合、『/journal/book_author』という照会を実行依頼すると、このエラー・メッセージが表示されます。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会を再度公式化し、有効な子コンポーネントが指定されていることを確認してください。

DGL3939A コンポーネント・タイプ・ビュー *[nnn]* はルート・コンポーネント・タイプ・ビューではありません。

説明: 子コンポーネントに対してアクションを実行しようとしたが、そのアクションはルート・コンポーネントに対してのみ有効なアクションです。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会を再度公式化し、ルート・コンポーネントに対するアクションを実行してください。

DGL3940A 名前の長さは 15 文字を超えてはいけません。

説明: 15 文字を超える長さの属性、コンポーネント、またはビューの名前を指定しようとした。ライブラリー・サーバーは、15 文字を超える長さの属性、コンポーネント、またはビューの名前をサポートしていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 属性、コンポーネント、またはビューの名前を 15 文字に制限してください。名前には、アルファベット文字、0 から 9 の数字、および下線 (`_`) のみを使用します。

DGL3941A 属性のシーケンス番号を設定する必要があります。

説明: 属性をコンポーネント・タイプに追加する場合は、そのシーケンス番号を設定する必要があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 属性のシーケンス番号を設定してください。

DGL3942A XDO 種別のリスト中にエラーが発生しました。

説明: XDO 種別をリストしているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3943A サード・パーティー・コンテンツのソースからのコンテンツの保管中にエラーが発生しました。コンテンツのソースのホスト名が設定されていません。

説明: ftp サーバー (サード・パーティー・コンテンツのソース) のホスト名が指定されていませんでした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ftp サーバーのホスト名を指定してください。

DGL3944A サード・パーティー・コンテンツのソースからのコンテンツの保管中にエラーが発生しました。コンテンツのソースにアクセスするためのユーザー ID が設定されていません。

説明: ftp サーバー (サード・パーティー・コンテンツのソース) で使用するユーザー ID が指定されていませんでした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ftp サーバーのホスト名のユーザー ID を指定してください。

DGL3945A サード・パーティー・コンテンツのソースからのコンテンツの保管中にエラーが発生しました。コンテンツのソースにアクセスするためのパスワードが設定されていません。

説明: ftp サーバー (サード・パーティー・コンテンツのソース) で使用するユーザー ID のパスワードが指定されていませんでした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ftp サーバーのパスワードを指定してください。

DGL3946A サード・パーティー・コンテンツのソースからのコンテンツの保管中にエラーが発生しました。コンテンツのソースにアクセスするためのファイル名が設定されていません。

説明: ftp サーバーから保管されるリソース・ファイルの名前が指定されていませんでした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ftp サーバー (サード・パーティー・コンテンツのソース) から保管されるリソース・ファイルの名前を指定してください。

DGL3947A サード・パーティー・コンテンツのソースからのコンテンツの保管中にエラーが発生しました。コンテンツのソースにアクセスするためのポート番号が設定されていません。

説明: ftp サーバー (サード・パーティー・コンテンツのソース) のポートが指定されていませんでした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ftp サーバーのポートを指定してください。デフォルトでは、このポートは 21 です。

DGL3948A サード・パーティー・コンテンツのソースからのコンテンツの保管中にエラーが発生しました。コンテンツのソースにアクセスするために指定するプロトコルが不明です。

説明: ftp サーバー (サード・パーティー・コンテンツのソース) に使用するプロトコルが指定されませんでした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: プロトコルを ftp または http として指定してください。

DGL3949A この属性を、1 次 / 外部キー制約において、1 次キーに対して (外部キーとして) 参照しようとしたときに、エラーが発生しました。エラーの原因は、この属性に対して 1 次 / 外部キー制約がすでに確立されていたためです。

説明: この属性を、1 次キーおよび外部キー制約における 1 次キーに対する外部キーとして参照しようとしたのですが、この属性に対する 1 次キーおよび外部キー制約はすでに確立されています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: なし。

DGL3951A ソース属性 (外部キーとして) が 1 次 / 外部キー制約の一部でないことが判明したため、エラーが発生しました。

説明: 指定したソース属性は、1 次キーおよび外部キー制約の一部ではありません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 1 次キーおよび外部キー制約の一部であるソース属性を指定してください。

DGL3952A ターゲット属性 (1 次キーとして) が 1 次 / 外部キー制約の一部でないことが判明したため、エラーが発生しました。

説明: 1 次キーとして指定したターゲット属性は、1 次キーおよび外部キー制約の一部ではありません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 1 次キーおよび外部キー制約の一部であるターゲット属性を指定してください。

DGL3953A 1 次 / 外部キー制約が項目タイプで検出されないため、1 次 / 外部キー制約の除去中にエラーが発生しました。

説明: 項目タイプで検出されない 1 次キーおよび外部キー制約を除去しようとした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: なし。

DGL3954A 1 次 / 外部キー制約が項目タイプにすでに存在するため、1 次 / 外部キー制約の追加中にエラーが発生しました。

説明: 項目タイプにすでに存在する 1 次キーおよび外部キー制約を追加しようとした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: なし。

DGL3955A 項目タイプ・ビューが存在しません。

説明: システムは、データ・ストアからの項目タイプ・ビュー・オブジェクトを認識しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3956A 項目タイプ・ビューの追加中にエラーが発生しました。

説明: 項目タイプ・ビューを追加しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3957A 項目タイプ・ビューの削除中にエラーが発生しました。

説明: 項目タイプ・ビューを削除しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3958A 項目タイプ・ビューの更新中にエラーが発生しました。

説明: 項目タイプ・ビューを更新しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3959A システム定義の項目タイプ・ビューを削除できません。

説明: システム定義の項目タイプ・ビューを削除しようとしてしました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム定義の項目タイプ・ビューは、削除しないようにしてください。

DGL3960A システム定義の項目タイプ・ビューを更新できません。

説明: システム定義の項目タイプ・ビューを更新しようとしてしました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム定義の項目タイプ・ビューは、更新しないようにしてください。

DGL3961A 項目タイプ・ビュー ID が存在しません。

説明: システムが、この項目タイプ・ビュー ID を検出できません。データベース内に項目タイプ・ビューが存在しない可能性があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この項目タイプ・ビューの ID を定義してください。

DGL3962A コンポーネント・タイプ・ビューが存在しません。

説明: システムが、このコンポーネント・タイプ・ビューを検出できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 新規コンポーネント・タイプ・ビューを定義してください。

DGL3963A コンポーネント・タイプ・ビューの追加中にエラーが発生しました。

説明: コンポーネント・タイプ・ビューを追加しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3964A コンポーネント・タイプ・ビューの削除中にエラーが発生しました。

説明: コンポーネント・タイプ・ビューを削除しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3965A コンポーネント・タイプ・ビューの更新中にエラーが発生しました。

説明: コンポーネント・タイプ・ビューを更新しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3966A システム定義のコンポーネント・タイプ・ビューを削除できません。

説明: システム定義のコンポーネント・タイプ・ビューを削除しようとした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム定義のコンポーネント・タイプ・ビューは、削除しないようにしてください。

DGL3967A システム定義のコンポーネント・タイプ・ビューを更新できません。

説明: システム定義のコンポーネント・タイプ・ビューを更新しようとした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム定義のコンポーネント・タイプ・ビューは、更新しないようにしてください。

DGL3968A コンポーネント・タイプ・ビュー ID が存在しません。

説明: システムが、このコンポーネント・タイプ・ビュー ID を検出できません。データベース内にコンポーネント・タイプ・ビューが存在しない可能性があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このコンポーネント・タイプの ID を定義してください。

DGL3969A コンポーネント・タイプ・ビューのビルド中にエラーが発生しました。

説明: コンポーネント・タイプ・ビューをビルドしているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3970A このコンポーネント・タイプ・ビューは、ルート・コンポーネント・タイプ・ビューでなければなりません。

説明: ルート・コンポーネント・タイプ・ビューが必要です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ルート・コンポーネント・タイプ・ビューを使用してください。

DGL3971 定義された長さが無効です。

説明: 254 バイトを超える文字長は、定義できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 文字長を 254 バイト以内に定義する必要があります。

DGL3972A オブジェクトの更新 / 削除中にエラーが発生しました。エラーの原因は、更新 / 削除操作がライブラリー・サーバーにより保守されるデータ参照制約に違反したためです。

説明: 削除規則に違反するため、このオブジェクトを削除できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 削除規則を別の値に設定してください。

DGL3973A 1 次キーまたは固有キーをヌルにすることはできません。

説明: 1 次キーまたは固有キーは、明確な値を持たなければなりません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 1 次キーまたは固有キーに値を定義してください。

DGL3974A Content Manager PID が無効です。

説明: Content Manager (ICM) PID は、項目 ID、コンポーネント ID、バージョン番号、およびオブジェクト・タイプから成ります。PID のこれらの部分のいずれかがヌルであったり、長さがゼロである場合、PID は無効になります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 有効な ICM PID を定義してください。

DGL3975A いくつかのリンクまたはすべてのリンクが、妥当性検査に失敗しました。操作はキャンセルされました。ソースのタイプは、指定されたリンクのタイプを使用して、ターゲットのタイプへリンクできません。失敗したリンクの要旨が後に続きます。

説明: 無効なリンクが 1 つまたは複数見つかりました。1 つまたは複数のリンクについての妥当性検査が失敗しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、および

エラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3976A データ・ソースから検索されるコンテンツの長さが設定されていません。

説明: サード・パーティー・コンテンツのソースから保管されるリソース・ファイルの全長が設定されていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: サード・パーティー・コンテンツのソースから保管されるリソース・ファイルの全長を設定してください。

DGL3977A 必須パラメーターが設定されていませんでした。

説明: この操作に必須のパラメーターが設定されていませんでした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 必須パラメーターに関する情報は、「オンライン API 解説書」を参照してください。必須パラメーターを指定して、プログラムを訂正してください。

DGL3980A リソース・マネージャーが無効な応答を返しました。

説明: リソース・マネージャーとの通信で、未認識の応答が戻されました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: リソース・マネージャーの構成を検査してください。

DGL3981A コンポーネント・タイプの索引のリスト中にエラーが発生しました。

説明: コンポーネント・タイプの索引をリストしているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3982A DKLink オブジェクトのソース DDO が永続ストアに追加されていないか、永続ストアから検索されていません。(DKLink の) ソース DDO に対してリンク操作を実行できるようにするには、それをあらかじめ永続オブジェクトにしておく必要があります。

説明: DKLink オブジェクト内のソース DDO が追加または検索されませんでした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このリンクのソース DDO は最初に追加または検索されなければなりません。

DGL3983A DKLink オブジェクトのターゲット DDO が永続ストアに追加されていないか、永続ストアから検索されていません。(DKLink の) ターゲット DDO に対してリンク操作を実行できるようにするには、それをあらかじめ永続オブジェクトにしておく必要があります。

説明: DKLink オブジェクト内のターゲット DDO が追加または検索されませんでした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このリンクのターゲット DDO は最初に追加または検索されなければなりません。

DGL3984A DKLink オブジェクト内の LinkItem DDO が追加または検索されていません。これは最初に追加または検索されなければなりません。

説明: DKLink オブジェクト内のリンク項目 DDO が追加または検索されませんでした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このリンクのリンク項目 DDO は最初に追加または検索されなければなりません。

DGL3986A イベント・タイプ・ビューの追加中にエラーが発生しました。

説明: イベント・タイプを追加しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3987A イベント・タイプ・ビューの削除中にエラーが発生しました。

説明: イベント・タイプ・ビューを削除しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3988A イベント・タイプ・ビューの更新中にエラーが発生しました。

説明: イベント・タイプを更新しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3989A システム定義のイベント・タイプ・ビューを削除できません。

説明: システム定義のイベント・タイプを削除しようとしてしました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム定義のイベント・タイプは、削除しないようにしてください。

DGL3990A システム定義のイベント・タイプ・ビューを更新できません。

説明: システム定義のイベント・タイプを更新しようとしてしました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム定義のイベント・タイプは、更新しないようにしてください。

DGL3991A イベント・タイプ ID が存在しません。

説明: システムに存在しないイベント・タイプ ID を検索しようとしてしました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: イベント・タイプが存在しない場合は、必要なイベント・タイプ用に新規イベント・タイプ名と ID コードを作成するか、異なるイベント・タイプ名またはコードを選択してください。

DGL3992A 最大短縮値を超えることはできません。

説明: 短縮データ・タイプに上限を超える最大値を定義しようとしてしました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このデータ・タイプに許可される範囲内の値を定義してください。

DGL3993A 最大整数値を超えることはできません。

説明: 整数データ・タイプに許可される上限を超える最大値を定義しようとしてしました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このデータ・タイプに許可される範囲内の値を定義してください。

DGL3994A 最小短縮値を下回ることはできません。

説明: 短縮データ・タイプに、このデータ・タイプに許可される下限を下回る最小値を定義しようとしてしました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このデータ・タイプに許可される範囲内の値を定義してください。

DGL3995A 最小整数値を下回ることはできません。

説明: 整数データ・タイプに、このデータ・タイプに許可される下限を下回る最小値を定義しようとしてしました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このデータ・タイプに許可される範囲内の値を定義してください。

DGL3996A 定義された最大値が最小値を下回ることはできません。

説明: この属性の最小値を下回るような、数値データ・タイプ属性の最大値を定義しようとしてしました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: より大きい値を最大値に定義してください。

DGL3997A 特権セットは使用中のため削除できません。

説明: この特権セットは、特定の特権グループで使用中です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この特権セットをシステムから削除しないでください。

DGL3998A **MIME** タイプのリスト中にエラーが発生しました。

説明: コンテンツ・タイプをリストしているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL3999A **MIME** タイプの追加中にエラーが発生しました。

説明: コンテンツ・タイプを追加しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

第 6 章 API メッセージ、DGL4000 ～ DGL5386

以下に挙げるのは、Enterprise Information Portal API から受け取る可能性のあるメッセージです。Content Management Information Center 検索ではフルワードを探します。検索したいワード全体を入力する必要があります。メッセージを検索するときは、接頭部を含む完全なメッセージ番号を入力してください。たとえば、DGL1234A についての情報を検索するには、DGL1234A と入力します。番号しかないメッセージについての情報を検索するには、その番号を入力します。

DGL4000A MIME タイプを更新中に、エラーが発生しました。

説明: MIME タイプの更新中にエラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL4001A MIME タイプを削除中に、エラーが発生しました。

説明: MIME タイプの削除中にエラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL4002A イベント・コードが無効です。

説明: システムに存在しないイベント・コードを検索しようとした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 別のイベント・コードを選択してください。

DGL4003A イベントの書き込み中に、エラーが発生しました。

説明: イベントの書き込み中にエラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL4004A イベントのリスト中に、エラーが発生しました。

説明: イベントのリスト中にエラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL4005A 項目タイプ関係のリスト中に、エラーが発生しました。

説明: 項目タイプ関係のリスト中にエラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL4006A 項目タイプ関係の追加中に、エラーが発生しました。

説明: 項目タイプ関係の追加中にエラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL4007A 項目タイプ関係の更新中に、エラーが発生しました。

説明: 項目タイプ関係の更新中にエラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意

して、問題の原因を判別してください。

DGL4008A 項目タイプ関係の削除中に、エラーが発生しました。

説明: 項目タイプ関係の削除中にエラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL4009A 属性グループの説明が必要です。

説明: この属性グループの説明を指定しなければなりません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 属性グループの説明を指定してください。

DGL4010A この名前 (大文字小文字を区別しない) の属性は、すでに存在します。

説明: すでに存在する属性、または大文字小文字の異なる同名の属性を追加しようとした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 属性に異なる名前を使用してください。

DGL4011A コンポーネント・タイプはすでに存在します。

説明: このライブラリー・サーバーに新規の項目タイプを定義しようとしたが、指定した項目タイプはこのライブラリー・サーバーにすでに定義されています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 項目タイプに異なる名前を使用してください。

DGL4012A 項目タイプはすでに存在します。

説明: このライブラリー・サーバーに新規のコンポーネント・タイプを定義しようとしたが、指定したコンポーネント・タイプはこのライブラリー・サーバーにすでに定義されています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: コンポーネント・タイプに異なる名前を使用してください。

DGL4013A オブジェクトが存在しません。

説明: このライブラリー・サーバーに存在しないオブジェクトを検索しようとした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 別のオブジェクトを検索してください。

DGL4015A 10 進数タイプでは、合計桁数が精度 (ピリオドに続く、負でない 10 進数の整数) よりも大きい必要があります。

説明: 精度より小さい合計桁数を 10 進データ・タイプで定義しようとした。たとえば、10 進データ・タイプ AAAA.BBB で、合計桁数が 8 で精度が 3 の場合などです。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: これより大きい値を合計桁数に定義してください。

DGL4016A 項目タイプ関係がエンティティー内に存在しません。

説明: このライブラリー・サーバーに存在しない項目タイプ関係を検索しようとした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 別の項目タイプ関係を検索してください。

DGL4017A 項目タイプ関係はすでにエンティティー内に存在します。

説明: このライブラリー・サーバーに新規の項目タイプ関係を定義しようとしたが、指定した項目タイプ関係はこのライブラリー・サーバーにすでに定義されています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 別の項目タイプ関係を使用してください。

DGL4018A コンポーネント ID が PID 内に設定されていません。

説明: この操作を行うには、PID 内にコンポーネント ID を設定する必要があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: PID 内にコンポーネント ID を設定して、操作をやり直してください。

DGL4019A コンポーネント・タイプ ID が PID 内に設定されていません。

説明: この操作を行うには、PID 内にコンポーネント・タイプ ID を設定する必要があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: PID 内にコンポーネント・タイプ ID を設定して、もう一度やり直してください。

DGL4020A ソースまたは宛先が基本項目タイプではありません。

説明: 操作 move object が移動できるのは、基本項目タイプのみです。ビューを移動することはできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 基本項目タイプを指定して、もう一度やり直してください。

DGL4021A ソースまたは宛先が項目のルートではありません。

説明: 操作 move object が移動できるのは、項目のルート・コンポーネントのみです。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 項目のルート・コンポーネントを指定して、もう一度やり直してください。

DGL4022A ソース項目タイプから宛先項目タイプに移動する属性がありません。

説明: ソース項目には、移動する属性がありません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: プログラムのソース項目の入力データを確認して、もう一度やり直してください。

DGL4023A ソース項目の項目タイプ種別は、種別文書モデルでなければなりません。

説明: ソースとして定義できるのは、文書モデル項目タイプのみです。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ソース項目タイプの種別が文書モデルに設定されていることを確認してください。

DGL4024A ターゲット項目の項目タイプ種別は、種別文書部分でなければなりません。

説明: ターゲットとして定義できるのは、部分項目タイプのみです。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ターゲット項目の種別が部分タイプに設定されていることを確認してください。

DGL4025A ターゲット項目タイプは、システムによって事前定義されていなければなりません。ユーザー定義のターゲット項目タイプは、このリリースではサポートされていません。

説明: 文書モデル項目タイプのターゲットにできるのは、システムによって事前定義されている項目タイプのみです。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ユーザー定義のターゲット項目タイプを作成しないでください。

DGL4026A 項目を異なる種別へ移動できません。

説明: ソースの項目タイプとターゲットの項目タイプの種別が異なっています。一方は文書項目で、他方はリソース項目です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 入力データを訂正して、再度実行してください。

DGL4027A 機能制限: リソース項目を除去して、新規のバージョンを作成することはできません。

説明: バージョン付けされたリソース項目を除去することはできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: なし。

DGL4031A 項目を同じ項目タイプへ移動できません。

説明: ソース項目タイプと宛先項目タイプを同じにすることはできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: プログラムを訂正して、もう一度やり直してください。

| **DGL4032A** 説明の長さは 254 文字を超えてはなりません。

| 説明: この説明の最大長は 254 文字です。

| コンポーネント: Java または C++ API

| アクション: 説明を 254 文字以下で定義します。

DGL4050A 文書ルーティング・プロセスを開始できません。

説明: Content Manager の文書ルーティング・プロセスの開始中に、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL4051A 文書ルーティング・プロセスを終了できません。

説明: Content Manager の文書ルーティング・プロセスの終了中に、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL4052A 文書ルーティング・プロセスを継続できません。

説明: Content Manager の文書ルーティング・プロセスを継続中に、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL4053A 作業パッケージを更新できません。

説明: 作業パッケージの更新中にエラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL4054A 文書ルーティング・プロセスを中断できません。

説明: Content Manager の文書ルーティング・プロセスを中断中に、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL4055A 文書ルーティング・プロセスを再開できません。

説明: Content Manager の文書ルーティング・プロセスを再開中に、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL4056A 作業パッケージを取得できません。

説明: 作業パッケージの検索中にエラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL4057A ワーク・リストを取得できません。

説明: ワーク・リストを検索しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL4058A ルーティングされている同じ文書またはフォルダーを参照する作業パッケージを取得できません。

説明: 作業パッケージの検索中にエラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL4059A これは通常の作業ノードです。再開リストは設定できません。

説明: これは、コレクション・ポイントではないので、この作業ノード上に再開リストを設定することはできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この作業ノードに再開リストを設定しないでください。

DGL4100A 指定された名前を持つ文書ルーティング・プロセスが見つかりません。

説明: この Content Manager 文書ルーティング・プロセスは、データベース内に存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この文書ルーティング・プロセスをデータベースに追加してください。

DGL4101A 指定された文書ルーティング・プロセス内に開始作業ノードが見つかりません。

説明: この Content Manager 文書ルーティング・プロセス内に、開始作業ノードが存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL4102A 要求された作業ノードが見つかりません。

説明: 要求された作業ノードが文書ルーティング・プロセス内に存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL4103A 要求された作業パッケージが見つかりません。

説明: 要求された作業パッケージがデータベース内に存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL4104A 作業ノード更新の試行に失敗しました。

説明: 作業ノードの更新中にエラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL4105A 中断される項目の再開時刻を設定できません。

説明: Content Manager 文書ルーティング・プロセス内で中断される項目の再開時刻を設定中に、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL4106A 指定されたアクション・コードが無効です。

説明: この文書ルーティング・プロセス内で無効なアクション・コードが指定されました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL4107A ルーティング・アクション・メニュー項目または作業ノードが無効なため、文書ルーティング・プロセスを継続中にエラーが発生しました。

説明: 文書ルーティング・メニュー・アクション項目または作業ノードで無効な選択が行われました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL4108A 現在中断されている項目 (文書またはフォルダー) に対する情報の更新中に、エラーが発生しました。

説明: 文書ルーティング・プロセス内の中断されている項目のチェックイン中に、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL4109A 項目 (文書) ID がサーバー内で見つからないため、文書ルーティング・プロセス情報の取得中に、エラーが発生しました。

説明: 項目 ID がデータベース内に存在しないため、システムが文書ルーティング・プロセスに関する情報を取得できませんでした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL4110A 項目 (文書) タイプ ID がサーバー内で見つからないため、文書ルーティング・プロセス情報を取得中に、エラーが発生しました。要求されたターゲット (文書) 項目タイプ ID が見つかりません。

説明: 項目タイプ ID がデータベース内に存在しないため、システムが文書ルーティング・プロセスに関する情報を取得できませんでした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL4111A 要求されたワーク・リストが見つかりません。

説明: 要求されたワーク・リストが存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL4112A 作業パッケージ内の最終変更時刻が、文書ルーティング・プロセス・テーブル内に記録されている時刻と一致しません。

説明: 作業パッケージと文書ルーティング・プロセス・テーブル内の最終変更時刻が一致しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL4113A 再開リスト・テーブル内のエントリーの削除を試行中にエラーが発生しました。

説明: Content Manager 文書ルーティング・プロセスの再開リスト・エントリーを削除中に、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL4114A 項目の再開を試行中にエラーが発生しました。

説明: Content Manager の文書ルーティング・プロセス内の項目を再開中に、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL4115A 作業項目の優先順位の変更を試行中にエラーが発生しました。

説明: Content Manager の文書ルーティング・プロセス内の作業パッケージの優先順位を更新中に、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL4116A 項目の中断を試行中にエラーが発生しました。

説明: Content Manager の文書ルーティング・プロセス内の項目を中断中に、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL4117A 前に接続されたコレクション・ポイントにそのポイント自身がループバックする経路が文書ルーティング・プロセス内に存在するため、エラーが発生しました。

説明: コレクション・ポイントがそのポイント自身にポイントバックしており、エンドレス・ループの原因となっているため、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: コレクション・ポイントのループを切断してください。

DGL4118A 項目ごとに中断の操作は、タイプ・フォルダーの項目に対してのみ実行することができます。

説明: フォルダー・タイプ以外のタイプの項目を中断中に、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL4119A ソース・ノードと宛先ノードを同じノードにすることはできません。

説明: Content Manager 文書ルーティング・プロセス内で、単一のノードがソース・ノードと宛先ノードの両方になるよう定義することはできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ソースと宛先には、異なるノードを使用してください。

DGL4120A 経路リストに重複したエントリーがありません。

説明: 経路リストに重複したエントリーがあります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 経路リスト内の重複したエントリーを除去してください。

DGL4121A 経路エントリーは、両端において文書ルーティング・プロセスの作業ノードへ接続されているわけではありません。

説明: この経路エントリーは、残りの経路エントリー・リストからは切断されています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この経路を文書ルーティング・プロセス内で接続してください。

DGL4122A 文書ルーティング・プロセス内に複数の開始ノードを保持することはできません。

説明: 文書ルーティング・プロセス内に 2 つの開始ノードがあります。保持できる開始ノードは 1 つだけです。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 開始ノードの 1 つを除去してください。

DGL4123A ルーティング・テーブルを空にすることはできません。

説明: 空の経路リストがあります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この文書ルーティング・プロセスに 1 つまたは複数の経路リスト・エントリーを追加してください。

DGL4124A このルーティング・テーブルには終了ノードがありません。

説明: 文書ルーティング・プロセス内に終了ノードがありません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このプロセス経路リストに終了ノードを追加してください。

DGL4125A この選択名はすでに存在しています。

説明: この選択名はこの文書ルーティング・プロセス内にすでに存在しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 別の選択名を選択してください。

DGL4126A ノード名の 1 つが空です。

説明: 作業ノードの 1 つに名前がありません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この作業ノードに名前を指定してください。

DGL4127A 選択名の 1 つが空です。

説明: 選択の 1 つに名前がありません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この選択に名前を指定してください。

DGL4128A コレクション・ポイントは、文書ルーティング・プロセス内に出口を 1 つしか持つことができません。

説明: コレクション・ポイントは、Content Manager 文書ルーティング・プロセス内に出口を 1 つしか持つことができません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: コレクション・ポイントの出口を 1 つに保持してください。

DGL4129A 懸垂作業ノードが、文書ルーティング・プロセス内に存在します。

説明: 文書ルーティング・プロセス内に、プロセス内の他のいずれのノードにも接続しない懸垂ノードが含まれています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このノードを残りの経路リストに接続してください。

DGL4130A コレクション・ポイントは、そのポイント自身にループバックすることはできません。

説明: コレクション・ポイントがそのポイント自身にポイントバックしており、エンドレス・ループの原因となっているため、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: コレクション・ポイントのループを切断してください。

DGL4131A 開始ノードと終了ノードの間に中間ノードがありません。

説明: 開始ノードと終了ノードの間に、中間ノードがありません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 少なくとも 1 つの中間ノードを指定してください。

DGL4132A ノード名に予約語を使用することはできません。

説明: このノードの名前に START または END を使用することはできません。これらは、システムの予約語です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このノードに別の名前を指定してください。

DGL4133A プロセスは使用中です。

説明: 作業パッケージを含んだプロセスを削除しようとしてしました。作業パッケージを含んだプロセスを削除することはできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このプロセスは削除しないでください。

DGL4134A 作業ノードは使用中です。

説明: 作業パッケージ、ルーティング・ステップ、あるいはワーク・リストが使用している作業ノードを削除しようとしてしました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この作業ノードは削除しないでください。

DGL4135A ワーク・リストは空です。

説明: このワーク・リストに作業ノードは含まれていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このワーク・リストに作業ノードを追加してください。

DGL4150A 名前に無効文字があります。

説明: 名前に使用できるのは、a - z、A - Z、0 - 9、_、@、#、または \$ のみです。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 名前には、有効な文字を指定してください。

DGL4151A 項目タイプ ID または項目タイプ名を設定する必要があります。

説明: このクラスには、項目タイプ ID または項目タイプ名が必要です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 項目タイプ ID または項目タイプ名を定義してください。

DGL4152A コンポーネント・タイプ ID またはコンポーネント・タイプ名を設定する必要があります。

説明: このクラスには、コンポーネント・タイプ ID またはコンポーネント・タイプ名が必要です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: コンポーネント・タイプ ID またはコンポーネント・タイプ名を定義してください。

DGL4153A ID の先頭は文字でなければなりません。

説明: 名前を 0 - 9、または下線 (_) で始めることはできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 名前には、有効な文字を指定してください。

DGL4154A 10 進数データ・タイプには、精度値が必要です。

説明: 10 進数データ・タイプには、精度値を設定する必要があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: setPrecision メソッドを使用して、精度の値を定義してください。

DGL4160A コンポーネント・タイプは、項目タイプ・ビューの中で固有のものでなければなりません。

説明: このコンポーネント・タイプと関連付けられたコンポーネント・タイプ・ビューは、すでに項目タイプ・ビューに存在しています。各コンポーネント・タイプ・ビューは項目タイプ・ビューの 1 つのコンポーネント・タイプと関連付けられ、そのコンポーネント・タイプは固有のものでなければなりません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: コンポーネント・タイプは、項目タイプ・ビューの中で固有のものになるようにしてください。

DGL4161A システム定義または予約済みのコンポーネント・タイプが、子コンポーネント・タイプの名前に使用されています。

説明: システム定義または予約済みのコンポーネント・タイプは、子コンポーネント・タイプの名前に使用できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この子コンポーネント・タイプに異なる名前を使用してください。

DGL4162A システム定義または予約済みの属性が、コンポーネント・タイプで使用されています。

説明: システム定義または予約済みの属性名は使用できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この属性に異なる名前を使用してください。

DGL4163A 基本ビューは削除できません。

説明: システムが定義した基本ビューは削除できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 定義できるのはユーザー定義のルート・コンポーネント・タイプ・ビューまたは子コンポーネント・タイプ・ビューのみで、基本ビューは削除できません。

DGL4164A システムで ICMROOT 変数を定義する必要があります。

説明: ライブラリー・サーバーをインストールした後は、システムで ICMROOT 変数を定義して、DB2 にすべての変数を収集させるようにする必要があります。ICMROOT は、ライブラリー・サーバー・ファイルを保持するディレクトリーの名前にもなります。デフォルトでは、ICMROOT = C:\Program Files\IBM\CM8 です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: Windows NT では、ICMROOT を環境変数で定義し、AIX では、/home/<DB2INSTANCE>/sqllib/profile.env を編集して、db2stop および db2start を実行したら DB2ENVLIST='LIBPATH ICMROOT ICMDDL ICMCOMP CMCOMMON' を組み込みます。

DGL4165A 文書パーツ項目タイプには子コンポーネントを定義できません。

説明: パーツ項目タイプには子コンポーネントを定義できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 種別が文書パーツに設定されたパーツ項目タイプに、子コンポーネントが定義されていないことを確認します。

DGL4169A ドメイン・ネームが存在しません。

説明: データベース内にこのドメインの名前がありません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: データベースにドメイン・ネームを追加してください。

DGL4170A ドメイン特権セットの追加に失敗しました。

説明: このドメインへの特権セットの追加中に、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL4171A ドメイン特権セットの除去に失敗しました。

説明: このドメインの特権セットの除去中に、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL4172A ドメイン・アクセス制御リストの追加に失敗しました。

説明: このドメインのアクセス制御リストの追加中に、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL4173A ドメイン・アクセス制御リストの除去に失敗しました。

説明: このドメインのアクセス制御リストの除去中に、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL4174A スーパーユーザー以外は、スーパーユーザー特権セットと関連付けることができません。

説明: DomainSuperDomainAdmin 特権が含まれている特権セットは、DomainSuperDomainAdmin 特権を自分の特権セットに保持しているユーザーにのみ関連付けることができ、これによってアクセス制御リストの規則が形成されています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: アクセス制御リストからこの規則を除去してください。

DGL5000A Sortby 式は、単一値を求める必要があります。

説明: 照会内の SORTBY 式は、単一値を求めません。たとえば、『/Journal SORTBY (Journal_Article/@Title)』というサンプル照会は、指定された 1 つのジャーナルに複数の記事が可能なため無効となります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会を正しい SORTBY 式に書き直してください。たとえば、『/Journal SORTBY (@Title)』です。

DGL5001A 照会結果はコンポーネントでなければなりません。

説明: 照会ストリングのパスにある最後のエレメントは、コンポーネントでなければなりません。たとえば、『/Journal/Journal_Article/@Title』という照会は、Title が属性で、これで照会パスを終了しているため無効になります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会ストリングを書き直してください。たとえば、『/Journal/Journal_Article』です。

DGL5002A 内部処理エラー。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・ログ・ファイルのエラー・コードを記録して、IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL5003A 論理式またはセット式でなければなりません。

説明: 照会ストリングの構造が間違っています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 論理式またはセット式の適切な使用法については、「*CM/EIP Workstation Application Programming Guide*」を参照してください。

DGL5004A 照会ストリング内の INTERSECT セット演算子または EXCEPT セット演算子の使用が無効です。

説明: INTERSECT または EXCEPT が取得した中間結果を算術演算子 (単項またはバイナリー) または比較演算子

と結合することはできません。これらは、セット演算子 (UNION/INTERSECT/EXCEPT) によって結合されるか、またはこれらだけで表示されます。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会ストリングを書き直してください。たとえば、『/Journal[(Journal_Editor/@LastName INTERSECT ./Journal_Author?@LastName) = ¥"Davis"¥]』という照会は、比較演算子 (=) を使用して INTERSECT 演算子の結果が結合されているため、無効になります。次に示すのは、これらの演算子の有効な使用例です。

『/Journal[Journal_Article[Journal_Section/@Title INTERSECT ./Journal_Figure/@Caption]/@Title = ¥"Content Management¥"]』この照会は、INTERSECT の結果の結合にいずれの演算子も使用されていないため、有効です。

DGL5005A セット演算子 (たとえば、UNION など) によって接続された照会ストリングのすべての部分は、セット式でなければなりません。

説明: たとえば、『/Journal UNION (/Book/@NumPages = 5)』という照会ストリングは、照会の右の部分が比較であるため、無効です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会ストリングを訂正してください。たとえば、『/Journal UNION /Book[@NumPages = 5]』です。

DGL5006A 照会ストリング内の算術演算に複数のセットを指定することはできません。

説明: たとえば、『/Journal[(@NumPages + [7,9]) = 5]』という照会は、属性 NumPages とセット [7, 9] の両方が複数の値を求めているため、無効になります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会内の算術式を変更してください。たとえば、『/Journal[(@NumPages + 7) = 5]』です。

DGL5007A 算術演算は、照会ストリング内の非算術オペランドに適用できません。

説明: たとえば、『/Journal[(@NumPages + (@Title = ¥"XML¥")) = 5]』という照会は、NumPages 属性が条件付きで追加されているため、無効になります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会ストリングを訂正してください。たとえば、『/Journal[(@NumPages + 2) = 5]』です。

DGL5008A 述部は、照会ストリング内のリテラルまたは関数の呼び出しの後に続けることはできません。

説明: たとえば、『/Journal[@NumPages = 5[@Title = ¥"XML¥"]]』という照会は、Title の条件がリテラル 5 の直後に続いているため、無効になります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会ストリングを訂正してください。たとえば、『/Journal[@NumPages = 5 AND @Title = ¥"XML¥"]』です。

DGL5009A コンポーネント・タイプ・ビューのみが、照会ストリングの照会対象コンテキストとして使用できます。

説明: 属性、リテラル、またはその他のプリミティブ値をコンテキストとして使用することはできません。たとえば、照会『/Journal[@Title/@Classification = ¥"Technology¥"]』は、属性『Title』が『Classification』属性のコンテキストとして使用されているため無効です。同様に、照会『(1)Journal_Article』は、リテラル『1』が『Journal_Article』のコンテキストとして使用されているため無効です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会ストリングを訂正してください。たとえば、『/Journal[Journal_Article/@Classification = 5]』です。

DGL5010A ルート・コンポーネント・タイプ・ビューには、親コンポーネント・タイプ・ビューはありません。

説明: たとえば、『/Journal/..』という照会は、照会がルート・コンポーネント・タイプ・ビューである Journal の親を検索しようとしているため、無効になります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: (..) 演算子を正しく使用するよう、照会ストリングを訂正してください。たとえば、『//Journal_Article/..』です。

DGL5011A 内部エラー。

説明: Enterprise Information Portal API の外側でエラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・コードを記録して、IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL5012A コンポーネント・タイプ・ビューまたはコンテキスト (たとえば、『/』または『//』) のない属性を参照できません。

説明: 照会ストリングは、コンポーネント・タイプ・ビューを参照する前に、適切なコンテキスト (たとえば、直接の子の関係を示す /、または 子孫の関係を示す //) を使用する必要があります。たとえば、以下の照会の Journal は無効になります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会ストリングにコンテキストを追加してください。たとえば、『/Journal』または『//Journal_Article』です。

DGL5013A 属性は、コンポーネント・タイプ・ビューのコンテキスト内に表示されなければなりません。

説明: たとえば、『/@Title』という照会は、Title 属性がどのコンポーネント・タイプ・ビューに属するかを指定していないため、無効になります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会ストリングを書き直してください。たとえば、『/Journal[@Title = ¥"IBM¥"]』または『/*[@Title = ¥"IBM¥"]』です。

DGL5014A 属性 [nnn] を照会ストリング内で参照解除演算子と共に使用することはできません。

説明: 照会言語は、参照解除演算子 (=>) をサポートします。ただし、リンク属性、参照属性、および逆参照全検索属性のみ参照解除可能です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会が、参照解除可能な属性を使用するように確認してください。

DGL5015A Text Information Extender (TIE) へ渡されたテキスト検索ストリングの構文変換エラーが発生しました。

説明: テキスト検索ストリングの構文が無効です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 詳しくは、「ワークステーション・アプリケーション・プログラミング・ガイド」および該当する TIE 文書を参照してください。

DGL5016A 照会ストリング内でストリング引き数が予期されました。

説明: たとえば、『/Journal[contains-text(@Title, 5)=1]』という照会は、テキスト検索機能が 2 番目の引き数がストリングになるよう予期するため、無効になります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会ストリングを訂正してください。たとえば、『/Journal[contains-text(@Title, ¥" '5' ¥")=1]』です。

DGL5017A 述部を照会ストリング内の演算式にすることはできません。

説明: たとえば、『/Journal[7 + 5]』という照会は、大括弧内の条件が予期されていますが、その一方で算術合計演算がリストされているため、無効になります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会ストリングを訂正してください。たとえば、『/Journal[@NumPages = 5]』です。

DGL5018A 照会ストリング内でのコンポーネントの比較は許可されていません。

説明: たとえば、『/Journal[Journal_Article = Journal_Editor]』という照会は、Journal_Article および Journal_Editor がコンポーネント・タイプ・ビューであるため、無効になります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会ストリングを訂正してください。たとえば、『/Journal[Journal_Article/@Title = @Title]』です。

DGL5019A 照会ストリング内での属性ワイルドカードは許可されていません。

説明: たとえば、『/Journal[@* = 5]』という照会は、特定の属性名ではなくワイルドカード (*) が使用されているため、無効になります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会ストリングを訂正してください。たとえば、『/Journal[@NumPages = 5]』です。

DGL5020A 照会ストリング内で、正しくないトークン [nnn] が検出されました。

説明: このトークンは、照会ストリング内の現在位置では無効です。たとえば、『/Journal[@NumPages IS NOT 5]』という照会ストリングでは、整数リテラル 5 は、

それ自体は有効ですが、IS NOT に続けることができるのは NULL のみです。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会ストリングを書き直してください。たとえば、『/Journal[@NumPages != 5]』です。

DGL5021A 要求されたハンドルは、このオブジェクトからはサポートされていません。

説明: ハンドルを要求しましたが、誤ったハンドル・タイプを渡しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 有効なハンドル・タイプを渡してください。

DGL5022A 指定されたユーザー用のコンパイル済みアクセス制御リスト・コードのリストの検索中に、エラーが発生しました。

説明: アクセス制御リストの中の指定されたユーザー用のリストを検索しようとして、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL5023A パーツの更新要求には、そのパーツのコンテンツが必要です。

説明: コンテンツを変更しないでパーツを更新しようとしました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: パーツを更新する前に、パーツのコンテンツを変更してください。

DGL5024A XML 応答の構文解析に失敗しました。

説明: XML 応答がないか、リソース・マネージャーからの無効な XML 応答があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 操作をやり直してください。問題が解決しない場合は、その戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL5025A リソース・マネージャーへのコンテンツの保管が失敗しました。

説明: システムがリソース・マネージャーにデータを保管できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: Web サーバーの構成を検査して、要求を再試行してください。問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。

DGL5026A HTTP 応答が無効です。

説明: リモート・サーバーへの無効な要求が発生しました。この HTTP 応答コードは、リモート・サーバーからのものです。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 詳しくは、エラー・ログ・ファイルを参照してください。

DGL5027A LDAP プロトコル・エラーです。

説明: LDAP サーバーが、使用中の通信プロトコルを認識しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: LDAP 通信に使用されているプロトコルは、標準の LDAP プロトコルです。ご使用の LDAP サーバーが、LDAP バージョン 3 を使用するよう構成されていることを確認してください。

DGL5028A LDAP 時間制限を超過しました。

説明: LDAP サーバーでの予期された通信が、指定された時間制限を超過しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ネットワーク遅延がある可能性があります。可能であれば、LDAP サーバーのタイムアウト値を増やしてください。

DGL5029A LDAP サイズ制限を超過しました。

説明: 結果がサイズ制限を超過しました。たとえば、結果に、ユーザーが要求したオブジェクトより多くのオブジェクトがあります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この例外がスローされる原因となっている操作を変更してください。

DGL5030A 指定された権限はサポートされていません。

説明: LDAP サーバーは、指定された許可機構を受け入れていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 正しい許可機構が指定されているかどうか

を調べて、LDAP サーバーがその許可をサポートしていることを確認してください。

DGL5031A 現在の認証メカニズムは、LDAP が予期している認証タイプではありません。

説明: LDAP サーバーには、指定されているものより強力な許可機構が必要です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: LDAP サーバーの構成を検査して、定義された許可機構がサポートされていることを確認してください。

DGL5032A 無効な属性名が指定されました。

説明: ユーザー ID 用に指定した属性が無効です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: LDAP サーバー内のユーザー ID に使用されている属性を調べて、LDAP 構成で指定されている属性と一致していることを確認してください。たとえば、LDAP のユーザー ID が cn=bob の場合、属性は cn です。LDAP のユーザー ID が uid=bob の場合、属性は uid です。

DGL5033A 構文が無効です。

説明: LDAP サーバーへ送信された照会に、認識されない構文がありました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: LDAP の構成時に指定されたすべての LDAP 構成パラメーターを検査してください。

DGL5034A そのようなオブジェクトはありません。無効な識別名が指定された可能性があります。

説明: LDAP サーバーが、認証されているユーザーに通常関連しているオブジェクトを見つけられませんでした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: LDAP サーバー構成で指定されている基本識別名 (DN) およびその他の LDAP サーバー・パラメーターを検査してください。

DGL5035A 識別名構文が無効です。

説明: LDAP サーバーは、このユーザーの識別名 (DN) を認識しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: LDAP サーバー構成に指定されている基本識別名を検査してください。

DGL5036A 不適切な認証です。

説明: 指定されている認証機構に関連する必要な情報が見つかりませんでした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: LDAP サーバー構成を検査してください。

DGL5037A 信任状が無効です。ユーザー名およびパスワードを検査してください。

説明: ユーザー名またはパスワードが、LDAP サーバー内のものと一致しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ユーザー名およびパスワードのスペルや大文字の使用を検査してください。

DGL5038A ユーザー ID が保持している、LDAP サーバーに対する特権が不足しています。

説明: ユーザー ID の LDAP サーバー内での権限が不足しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 指定したユーザー ID について、LDAP サーバー内のアクセス制御情報を検査してください。

DGL5039A LDAP サーバーがビジーです。

説明: LDAP サーバーは、この時点では要求を処理することはできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: LDAP サーバーの制限を検査してください。

DGL5040A LDAP サーバーが使用できません。

説明: LDAP サーバーに接続できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: LDAP サーバーが稼働中かどうかを検査してください。

DGL5041A LDAP サーバーがダウンしました。

説明: LDAP サーバーに接続できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: LDAP サーバーが稼働中かどうかを検査してください。

DGL5042A 不明な認証メソッドです。

説明: LDAP サーバーは、指定された認証メソッドまたは機構を認識しませんでした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: LDAP サーバー構成プロパティー内に指定されている認証メソッドを検査してください。また、LDAP サーバーがその認証メソッドをサポートしているかどうか確認してください。

DGL5043A このタイプまたは値はすでに存在しています。

説明: LDAP サーバーに追加中の情報は、既存値と重複しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 重複している可能性のある値について、情報を検査してください。

DGL5044A 不明な LDAP エラーです。

説明: LDAP サーバーとの通信中に予期しないエラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このエラーに関連する情報について、エラー・メッセージのテキストを調べてください。

DGL5045A LDAP: 不明なホスト・エラーです。

説明: 指定されている LDAP サーバー・ホスト名に接続できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 指定されている LDAP サーバー・ホスト名が有効でアクセス可能であるかどうかを検査してください。

DGL5046A Content Manager 文書モデルは、指定されたオプション (DK_CM_DOCUMENT、DK_CM_FOLDER など) をサポートしていません。

説明: 文書モデルに分類される項目タイプを使用しましたが、指定されたオプションは、この項目タイプの分類で 사용되는場合は有効なオプションではありません。この分類の有効なオプションには、DKConstant.DK_CM_DOCUMENT および DK_CM_FOLDER などが含まれます。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この項目タイプの分類で 사용되는場合に有効なオプション (DKConstant.DK_CM_DOCUMENT、DK_CM_FOLDER など) を使用してください。

DGL5047A フォルダーが、Content Manager 文書モデルの有効なフォルダーではありません。CM_DK_Folder 属性が見つかりません。これは、DDO 作成時に文書モデル・フォルダーを正しく指定しなかったことが原因だと考えられます。

説明: DK_CM_DKFolder 属性が DDO 内に見つかりません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: DK_CM_DKFOLDER 属性を含む有効なフォルダーを作成してください。これが DKFolder コレクションを保持します。

DGL5048A 実行しようとした操作は、トランザクションで許可されていません。トランザクションがコミット、またはロールバックされた後に、再びこのアクションを試行してください。

説明: トランザクションで許可されていない操作を実行しようとした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: トランザクションがコミットまたは、ロールバックされた後に、再びこのアクションを試行してください。

DGL5050A 照会を実行しているときに SQL エラーが発生しました。XQPE 照会: [nnn] 戻りコード: [nnn] 理由コード: [nnn] 拡張戻りコード: [nnn] 拡張理由コード: [nnn]

説明: 照会で、無効な照会ストリングが使用されました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会ストリング構文を検査し、構文を訂正してください。IBM サービス技術員に連絡するか、戻りコードについて該当するデータベース・マニュアルを参照してください。

DGL5051A 無効なアクセス制御リストが、システム制御テーブル内にバインドしています。
XQPE 照会: [nnn] 戻りコード: [nnn] 理由コード: [nnn] 拡張戻りコード: [nnn] 拡張理由コード: [nnn]

説明: アクセス制御リストをシステム制御テーブルへバインド中に、内部エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL5052A 照会ストリング内のオペランド・タイプの不マッチです。非互換タイプの 2 つのオペランド間で操作が試行されました。
XQPE 照会: [nnn] 戻りコード: [nnn] 理由コード: [nnn] 拡張戻りコード: [nnn] 拡張理由コード: [nnn]

説明: たとえば、『/Journal[@Title = 5]』という照会は、Title というストリング属性が数値と比較されているため、無効になります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 正しいタイプ・オペランドを使用するよう、照会ストリングを変更してください。たとえば、『/Journal[@Title = ¥"5¥"]』です。戻りコードを記録して、IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL5053A サーバーからの予期しない戻りコードです。**XQPE** 照会: [nnn] 戻りコード: [nnn] 理由コード: [nnn] 拡張戻りコード: [nnn] 拡張理由コード: [nnn]

説明: 照会ストリングの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会構文を検査して、エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL5054A 照会ストリング内の関数パラメーターのエラーです。引き数の数値が間違っているか、または誤ったタイプの引き数が、**contains-text()**、**contains-text-basic()** などの関数または **SQL** 関数の 1 つに渡されました。**XQPE** 照会: [nnn] 戻りコード: [nnn] 理由コード: [nnn] 拡張戻りコード: [nnn] 拡張理由コード: [nnn]

説明: たとえば、『/Journal[contains-text(5, ¥" 'XML' ¥")=1]』という照会は、テキスト検索関数への最初の引き数がリテラルではなく属性でなければならないため、無効になります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会ストリングを訂正してください。たとえば、『/Journal[contains-text(@Title, ¥" 'XML' ¥")=1]』です。戻りコードを記録して、IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL5055A テキスト検索が試行されましたが、テキスト検索サービス (TIE) は開始されていません。**XQPE** 照会: [nnn] 戻りコード: [nnn] 理由コード: [nnn] 拡張戻りコード: [nnn] 拡張理由コード: [nnn]

説明: システムが属性およびコンポーネント・タイプのテキスト検索を準備したり実行したりするためには、テキスト索引が必要です。テキスト検索を実行するには、DB2 Text Information Extender (TIE) を開始する必要があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: コマンド行に db2text start と入力することにより、TIE を開始することができます。戻りコードを記録して、IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL5056A テキスト検索が可能ではないデータベースに対してテキスト検索が試行されました。**XQPE** 照会: [nnn] 戻りコード: [nnn] 理由コード: [nnn] 拡張戻りコード: [nnn] 拡張理由コード: [nnn]

説明: テキスト検索用にデータベースを使用可能にしなければなりません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: コマンド行に db2text enable database for text connect to [database name] と入力することにより、TIE 用にデータベースを使用可能にすることができます。戻りコードを記録して、IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL5057A テキスト検索が使用可能になっていない属性または項目タイプに対してテキスト検索が試行されました。 **XQPE** 照会: [nnn]
戻りコード: [nnn] 理由コード: [nnn] 拡張
戻りコード: [nnn] 拡張理由コード: [nnn]

説明: この属性または項目タイプは、テキスト検索が使用可能になっていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 属性または項目タイプをテキスト検索用に使用可能にするか、または、照会ストリングを変更してください。戻りコードを記録して、IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL5058A アクセス・モジュールを再生成できません。

説明: 新しい項目タイプを作成しようとしたところ、この項目タイプをサポートするアクセス・コードおよび共用ライブラリーの生成中にエラーが発生しました。
%ICMROOT%¥%DBNAME%¥DLL 内の接尾部 .TX1、.TX2、および .TX3 を持つファイルに、アクセス・モジュールを構築しようとして起きたエラーが入ります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: Windows の場合、コンパイラーの PATH、LIBPATH、および INCLUDE 環境変数を適切にセットアップするようにしてください。AIX または Solaris の場合、これらの環境変数が、そのサーバーで稼働している DB2 インスタンスについてセットアップされていることを確認してください。

DGL5059A その項目 ID を持つ項目はサーバー上で検出されませんでした。

説明: システムが、指定された項目 ID を持つ項目を検出できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 別のサーバーで試行するか、または、正しい項目 ID が指定されていることを確認してください。

DGL5060A そのバージョン ID を持つ項目はサーバー上で検出されませんでした。

説明: システムが、指定されたバージョン ID を持つ項目を検出できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 別のサーバーまたはバージョンで試行するか、または、正しいバージョン ID が指定されていることを確認してください。

DGL5061A 項目 ID [nnn]、コンポーネント ID [nnn]、バージョン ID [nnn]、および項目タイプ [nnn] の項目の更新中に、エラーが発生しました。ライブラリー・サーバーから戻りコード [nnn]、理由コード [nnn]、拡張戻りコード [nnn]、および拡張理由コード [nnn] が戻されました。

説明: この項目を更新中に、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ライブラリー・サーバーからの戻りコードの詳細については、Content Manager 戻りコード・ユーティリティを使用してください。戻りコードを記録して、IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL5062A 項目 ID [nnn]、コンポーネント ID [nnn]、バージョン ID [nnn]、および項目タイプ [nnn] の項目の検索中に、エラーが発生しました。ライブラリー・サーバーから戻りコード [nnn]、理由コード [nnn]、拡張戻りコード [nnn]、および拡張理由コード [nnn] が戻されました。

説明: この項目を検索中に、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ライブラリー・サーバーからの戻りコードの詳細については、Content Manager 戻りコード・ユーティリティを使用してください。戻りコードを記録して、IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL5063A 項目 ID [nnn]、コンポーネント ID [nnn]、バージョン ID [nnn]、および項目タイプ [nnn] の項目の削除中に、エラーが発生しました。ライブラリー・サーバーから戻りコード [nnn]、理由コード [nnn]、拡張戻りコード [nnn]、および拡張理由コード [nnn] が戻されました。

説明: この項目を削除中に、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ライブラリー・サーバーからの戻りコードの詳細については、Content Manager 戻りコード・ユーティリティを使用してください。戻りコードを記録して、IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL5064A サーバー上で項目の作成を試行中にエラーが発生しました。ライブラリー・サーバーから戻りコード [nnn]、理由コード [nnn]、拡張戻りコード [nnn]、および拡張理由コード [nnn] が戻されました。

説明: なし。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ライブラリー・サーバーからの戻りコードの詳細については、Content Manager 戻りコード・ユーティリティを使用してください。戻りコードを記録して、IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL5065A 項目 ID [nnn]、コンポーネント ID [nnn]、バージョン ID [nnn]、および項目タイプ [nnn] の項目の更新中に、エラーが発生しました。ライブラリー・サーバーから戻りコード [nnn]、理由コード [nnn]、拡張戻りコード [nnn]、および拡張理由コード [nnn] が戻されました。

説明: 属性の作成中に定義された属性のデータ・タイプが、DDO 内のタイプと一致しませんでした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: インスタンス内の属性のデータ・タイプを定義内にあるデータ・タイプと同じになるように変更して、操作をやり直してください。

DGL5100A このワークフロー・ユーザーは存在しません。

説明: このワークフロー・ユーザーはデータベース内に存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このワークフロー・ユーザーをデータベースに追加してください。

DGL5101A このワークフロー・ユーザーは、すでに存在しています。

説明: このワークフロー・ユーザーはデータベース内にすでに存在するため、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL5102A このワークフローの役割は存在しません。

説明: このワークフローの役割はデータベース内に存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このワークフローの役割をデータベースに追加してください。

DGL5103A このワークフロー・ユーザーは、すでに存在しています。

説明: このワークフローの役割はデータベース内にすでに存在するため、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL5104A ワークフロー・サービスは利用できません。

説明: このワークフロー・サービスは利用できないため、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL5105A ワークフロー・サービスは接続されていません。

説明: このワークフロー・サービスは接続されていないため、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ワークフロー・サーバーが稼働中であることを確認し、IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL5106A 項目がロード保留状態のため、この項目に対して他のいかなるアクションも実行することはできません。

説明: システムがこのリソース項目のロードを完了していません。システムが、この項目のロードを完了するまで、このリソース項目に関するアクションをこれ以上行うことはできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 項目のロードが完了するまで待つてから、操作をやり直してください。

DGL5107A リソース・マネージャーへの接続のオープンに失敗しました。

説明: リソース・マネージャーに接続できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: リソース・マネージャーの構成が正確かどうか、また、リソース・マネージャーが稼働中かどうかを検査してください。

DGL5110A 更新できない項目タイプのプロパティを更新しようとした。

説明: このシステムは、この項目タイプのプロパティの更新を許可していません。特権が不足している可能性があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この項目タイプのプロパティの更新を行わないか、または、システム管理者に連絡してユーザーの特権を変更してもらってください。

DGL5111A 更新できない属性のプロパティを更新しようとした。

説明: このシステムは、この属性のプロパティの更新を許可していません。特権が不足している可能性があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この属性のプロパティの更新を行わないか、または、システム管理者に連絡してユーザーの特権を変更してもらってください。

DGL5115A コンポーネント・タイプ・ビューに、属性も属性グループも定義されていません。コンポーネント・タイプ・ビューが有効なものではありません。有効なコンポーネント・タイプ・ビューの定義には、属性または属性グループの情報を含める必要があります。

説明: このコンポーネント・タイプ・ビューには属性または属性グループが含まれていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このコンポーネント・タイプ・ビューの属性または属性グループを定義してください。

DGL5120A 浮動データ・タイプはライブラリー・サーバーでサポートされていません。

説明: Content Manager ライブラリー・サーバーは、浮動データ・タイプをサポートしていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 浮動データ・タイプを使用しないでください。

DGL5121A ユーザーが定義したデータ・タイプまたは属性タイプがライブラリー・サーバーによってサポートされていません。

説明: Content Manager ライブラリー・サーバーがサポートしていないデータ・タイプまたは属性タイプを定義しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 有効なデータ・タイプを定義してください。有効なデータ・タイプには次のものがあります。

- 文字 (Character)
- 変数文字 (Variable character)
- 短整数 (Short integer)
- 長整数 (Long integer)
- 10 進数 (Decimal)
- ダブル (Double)
- 日付 (Date)
- 時刻 (Time)
- タイム・スタンプ (Time stamp)
- BLOB
- CLOB

DGL5123A 特定ユーザーのユーザー・グループをリスト中に、エラーが発生しました。

説明: 特定ユーザーのユーザー・グループをリスト中に、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL5124A ユーザー・グループは使用中です。

説明: 指定したユーザー・グループは、他のオブジェクトが使用しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 他のオブジェクトがユーザー・グループを使用していないことを確認してください。

DGL5130A 親コンポーネントが射影された属性を持たないため、コンポーネント `[nnn]` 上に属性を射影できません。

説明: 射影での検索を実行しようとした。子コンポーネントを射影する場合は、コンポーネント検索のレベルまでさかのぼってその親の属性を射影しなければなりません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 子コンポーネントが上に親コンポーネントを持っており、これらのコンポーネントがコンポーネント検索のレベルまでさかのぼって属性を射影済みであることを確認してください。

DGL5131A 射影された属性 `[nnn]` はコンポーネント `[nnn]` に存在しません。

説明: このコンポーネント内に存在しない属性を射影しようとした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ライブラリー・サーバーのコンポーネント定義内にこの属性が存在することを確認してください。

DGL5132A リンクの追加または削除が失敗しました。ライブラリー・サーバーは、リンク操作で無効なパラメーターを検出します。

説明: ライブラリー・サーバーは、無効なパラメーターを検出したため、リンクの追加または削除の操作の実行に失敗しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。有効なリンクが使用されていることを確認してください。

DGL5133A リンクの追加または削除が失敗しました。ライブラリー・サーバーは、予期しない SQL エラーを検出しました。

説明: ライブラリー・サーバーは、予期しない SQL エラーを検出したため、リンクの追加または削除の操作の実行に失敗しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。有効なリンクが使用されていることを確認してください。戻りコードについての詳細は、該当するデータベース・マニュアルを参照してください。

DGL5134A リンクの追加または削除が失敗しました。ライブラリー・サーバーは、無効なリンク・タイプ・コードを検出しました。これは、無効なリンク・タイプ名が原因で発生した可能性があります。

説明: ライブラリー・サーバーは、無効なリンク・タイプ・コードを検出したため、リンクの追加または削除の操作の実行に失敗しました。これは、無効なリンク・タイプ名が原因の可能性があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。有効なリンクが使用されていることを確認してください。

DGL5135A リンクの追加または削除が失敗しました。ライブラリー・サーバーは、無効なアクション (リンク、リンク解除など) を検出します。

説明: ライブラリー・サーバーは、無効なアクション (リンク、リンク解除など) を検出したため、リンクの追加または削除の操作の実行に失敗しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。有効なリンクが使用されていることを確認してください。

DGL5136A リンクの検索が失敗しました。ライブラリー・サーバーは、リンク検索操作で無効なパラメーターを検出します。

説明: ライブラリー・サーバーは、リンク検索操作中に無効なパラメーターを検出したため、リンクの検索の操作の実行に失敗しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。有効なリンクが使用されていることを確認してください。

DGL5137A リンクの検索が失敗しました。ライブラリー・サーバーは、メモリー割り振りエラーを報告しました。

説明: ライブラリー・サーバーは、割り振りエラーを検出したため、リンクの検索の操作の実行に失敗しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。有効なリンクが使用されていることを確認してください。

DGL5138A リンクの検索が失敗しました。ライブラリー・サーバーは、予期しない SQL エラーを検出しました。

説明: ライブラリー・サーバーは、予期しない SQL エラーを検出したため、リンクの検索の操作の実行に失敗しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。有効なリンクが使用されていることを確認してください。戻りコードについての詳細は、該当するデータベース・マニュアルを参照してください。

DGL5139A リンク・ソース DDO は、ルート・コンポーネントではありません。リンクは、ルート・コンポーネント間にのみ存在します。

説明: リンク・ソース DDO は、ルート・コンポーネントではありません。リンクは、ルート・コンポーネント間にのみ存在します。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: リンクのソース DDO がルート・コンポーネントを指すように変更してください。

DGL5140A リンク・ターゲット DDO は、ルート・コンポーネントではありません。リンクは、ルート・コンポーネント間にのみ存在します。

説明: リンク・ターゲット DDO は、ルート・コンポーネントではありません。リンクは、ルート・コンポーネント間にのみ存在します。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: リンクのターゲット DDO がルート・コンポーネントを指すように変更してください。

DGL5141A リンク・ソース DDO が設定されていません。値がヌルです。有効なソース DDO が指定されなければなりません。

説明: リンク・ソース DDO の値がヌルです。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 有効なリンク・ソース DDO を指定してください。

DGL5142A リンク・ターゲット DDO が設定されていません。値がヌルです。有効なソース DDO が指定されなければなりません。

説明: リンク・ターゲット DDO の値がヌルです。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 有効なリンク・ターゲット DDO を指定してください。

DGL5143A リンクのソースとターゲットが同じ項目です。項目は自分自身にリンクすることはできません。また、フォルダーは自分自身を含むことはできません。

説明: リンクのソースとターゲットが同じ項目です。項目は自分自身にリンクすることはできません。また、フォルダーは自分自身を含むことはできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ソースまたはターゲット DDO を別の項目を参照するように変更してください。

DGL5144A リンク・タイプ名が指定されていませんでした。値がヌルまたは空ストリングでした。

説明: リンク・タイプ名が指定されていませんでした。値がヌルまたは空ストリングでした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: リンク・タイプ名を指定してください。

DGL5145A DKFolder 属性を含むオブジェクトは、セマンティック・タイプ・フォルダーに属さなければなりません。リンク・タイプ 'DKFolder' が検出されましたが、ソースがセマンティック・タイプ・フォルダーに属していません。DKFolder 属性およびリンク・タイプでは、ソースはフォルダーでなければなりません。

説明: DKFolder 属性を含むオブジェクトは、セマンティック・タイプ・フォルダーに属さなければなりません。

ん。リンク・タイプ DKFolder が検出されましたが、ソースがセマンティック・タイプ・フォルダーに属していません。DKFolder 属性およびリンク・タイプでは、ソースはフォルダーでなければなりません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: DKFolder 属性またはリンク・タイプを使用する場合は、ソースはセマンティック・タイプ・フォルダーに属していなければなりません。DKFolder 属性またはリンク・タイプを使用する場合は、ソースをセマンティック・タイプ・フォルダーにするか、あるいは、フォルダーでないソース項目を使用しないでください。

DGL5160A リソース・マネージャーへの接続のオープンが失敗しました。

説明: プロセスは、リソース・マネージャーへの HTTPS 接続をオープンできませんでした。クライアントのランタイム環境が、HTTPS セッションを確立するために正しくセットアップされていない可能性があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: クライアントの Java セキュリティー・ランタイム環境が、現在稼働中のバージョンの Enterprise Information Portal の要件を満たしていることを確認してください。

DGL5161A リソース・マネージャーへの接続のための出力ストリームの取得に失敗しました。

説明: リソース・マネージャーのホスト名または IP アドレスが、正しく指定されていないか、または、リソース・マネージャーが稼働していません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ターゲット・リソース・マネージャーのホスト名または IP アドレスが正しく指定されており、リソース・マネージャーが稼働中であることを確認してください。

**DGL5162A リソース・マネージャーへのシステム管理ストレージ (SMS) 要求が失敗しました。
[nnn]**

説明: リソース・マネージャーへの SMS 要求が失敗しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: メッセージに示されているすべてのエラーを訂正して、もう一度やり直してください。

DGL5163A 接続済みセッションからの応答コードの取得に失敗しました。

説明: SMS 要求がリソース・マネージャーに送信されましたが、リソース・マネージャーから戻されたメッセージの応答コードを検索できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: HTTP サーバーのエラー・ログ・ファイルを参照して、リソース・マネージャーからクライアントに送信された戻りコードを判別してください。問題の原因となっている可能性のあるすべてのエラーを訂正して、要求を再送してください。問題が解決しない場合は、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL5164A リソース・マネージャーからの応答にエラーが発生しました。[nnn]

説明: リソース・マネージャーに要求が送信された後にエラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: メッセージからの情報を記録して、障害の原因となる可能性のあるすべてのエラーを訂正してください。リソース・マネージャーが稼働中であることを確認してください。

DGL5165A リソース・マネージャーの管理ログオンまたは信任状のリフレッシュが必要です。

説明: リソース・マネージャーへの直前のログオンが失敗したか、あるいは、最後のログオンからの信任状が有効期限切れです。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 直前のログオンが発生しなかった場合は、リソース・マネージャーへログオンして、SMS セッションを持つ必要があります。そうでない場合は、リソース・マネージャーに再度ログオンして、SMS セッションを保持し続けるために新しい信任状を受信する必要があります。

DGL5166A 無効なサーバー・タイプ [nnn] が指定されました。

説明: サーバー・タイプ用に指定されたストリングが無効です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: SMS_SERVER_TYPE_ などの接頭部を持つサーバー・タイプを使用して、プログラムを訂正してください。これらのタイプの使用に関する情報については、

「オンライン API 解説書」を参照してください。 操作をやり直してください。

DGL5167A 無効なメディア・タイプ *[nnn]* が指定されました。

説明: ストレージ・システムのメディア・タイプ用に指定されたストリングが無効です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: SMS_MEDIA_TYPE_ などの接頭部を持つメディア・タイプを使用して、プログラムを訂正してください。これらのタイプの使用に関する情報については、「オンライン API 解説書」を参照してください。 操作をやり直してください。

DGL5168A 無効なサーバー・プロトコル *[nnn]* が指定されました。

説明: 通信プロトコル用に指定されたストリングが無効です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: SMS_SERVER_PROTOCOL_ などの接頭部を持つ通信プロトコルを使用して、プログラムを訂正してください。これらのタイプの使用に関する情報については、「オンライン API 解説書」を参照してください。 操作をやり直してください。

DGL5175A リソース・マネージャーへ要求を送信する前に、SMS オブジェクトの名前を指定する必要があります。

説明: 作成、検索、更新、削除などの要求には、名前を特定の SMS オブジェクトまたはエンティティ用にリソース・マネージャーに指定する必要があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: アクセス先のターゲット SMS オブジェクトまたはエンティティの有効な名前を指定してください。

DGL5176A 時刻または日の値が範囲外です。

説明: リソース・マネージャーのスケジュール設定またはサイクル設定の時刻または日に指定した値が、予期した範囲外である可能性があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 有効な値は、次のとおりです。

- 時間: 0 ~ 24
- 分: 0 ~ 59
- 日: 0 ~ 7

DGL5177A リソース・マネージャーにアクセス・データが指定されていません。

説明: ライブラリー・サーバー内に新規のリソース・マネージャーを定義するには、リソース・マネージャーのアクセス・データを指定する必要があります。この場合のアクセス・データとは、SMS プロセスを開始するためにリソース・マネージャー上に定義されたサブレット・パスを意味します。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 有効なアクセス・データを指定して、もう一度やり直してください。

DGL5178A ターゲットが指定されていないか、指定されたリソース・マネージャー・オブジェクトが無効です。

説明: リソース・マネージャーが指定されていないか、または、指定されたオブジェクトが無効です。ログオン・プロセスを進めることができません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ターゲット・リソース・マネージャー用に指定された名前が有効であり、ライブラリー・サーバー内に定義されていることを確認してください。ログオンを再試行してください。

DGL5179A リソース・マネージャーへのログオン用のユーザー ID が指定されていません。

説明: リソース・マネージャーにログオンするには、有効なユーザー ID を指定する必要があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: リソース・マネージャーにログオンする前に、有効なユーザー ID を指定してください。

DGL5180A リソース・マネージャーへのログイン用のパスワードが指定されていません。

説明: リソース・マネージャーにログオンするには、指定されたユーザー ID に対する有効なパスワードを指定する必要があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: リソース・マネージャーにログオンする前に、このユーザー ID 用の有効なパスワードを指定してください。

DGL5191A 属性グループが削除できません。

説明: この属性グループは、コンポーネント・タイプなどの他のオブジェクトに関連付けられているため、削除できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この属性グループの参照を除去してから、属性グループを削除してください。

DGL5192A 属性が更新できません。

説明: この属性は、他のオブジェクトに関連付けられているため、更新できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この属性を更新しないでください。

DGL5193A 属性が削除できません。

説明: この属性は、他のオブジェクトに関連付けられているため、削除できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この属性を削除しないでください。

DGL5194A get メソッドはサポートされていません。代わりに retrieve メソッドを使用してください。

説明: キャッシュがオフに設定されているため、get メソッドを使用できません。キャッシュは、データ・ストアを定義するときにオンまたはオフに設定可能なフラグです。キャッシュがオンに設定されている場合には、データ・ストアからオブジェクトを取得して、一時的にキャッシュに保管できます。キャッシュがオフに設定されている場合には、データ・ストアからオブジェクトを直接検索する必要があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: retrieve メソッドを使用してください。

DGL5195A テーブルの最大行サイズおよびレコード・サイズを超過しています。

説明: データベース内のテーブルの行の長さが長すぎます。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: データベース内では、テーブル・スペースに有効な以下の長さを使用してください。

- 4K ページ・サイズ: 4005 バイト
- 8K ページ・サイズ: 8101 バイト
- 16K ページ・サイズ: 16293 バイト

142 メッセージとコード

- 32K ページ・サイズ: 32677 バイト

行の長さは、列の内部の長さを加算することによって計算されます。

DGL5196A スtring・データ・タイプだけが検索可能テキストとして定義できます。

説明: 検索可能テキストとして定義できるのは、String・データ・タイプのみです。String・データ・タイプは char または varchar 属性データ・タイプです。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 検索可能テキストとして char または varchar 属性データ・タイプのみを定義します。

DGL5200A コンポーネント・タイプ [nnn] のテキスト索引を定義または変更中にエラーが発生しました。 TIE 戻りコード [nnn]

説明: コンポーネント・タイプ自身か、またはコンポーネント・タイプ内の属性のどちらかが、テキスト検索に使用可能になっており、テキスト索引の定義または更新を要求しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 戻りコードに関して詳しくは、該当する DB2 Text Information Extender (TIE) のマニュアルを参照するか、IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL5201A このパスワードは、テキスト索引の管理に使用するユーザー ID 用に設定されていませんでした。

説明: このユーザー ID に対し、設定されていないパスワードを入力しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: DB2 Text Information Extender (TIE) を使用してテキスト索引を管理する際に使用するユーザー ID のパスワードを設定してください。

DGL5202A テキスト索引の管理に使用するユーザー ID のパスワードの有効期限が切れています。

説明: このユーザー ID のパスワードの有効期限が切れています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: DB2 Text Information Extender (TIE) を使用してテキスト索引を管理する際に使用するユーザー ID のパスワードをリセットしてください。

DGL5203A テキスト索引の管理に使用するユーザー ID のパスワードが無効です。

説明: このユーザー ID に無効なパスワードを入力しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: パスワードのスペルまたは大文字の使用を検査してください。必要に応じて、DB2 Text Information Extender (TIE) を使用してテキスト索引を管理する際に使用するユーザー ID のパスワードをリセットしてください。

DGL5204A テキスト索引操作に対して指定したコンポーネント・タイプ ID [nnn] が無効です。

説明: システムが属性およびコンポーネント・タイプのテキスト検索を準備したり実行したりするためには、テキスト索引が必要です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 指定したコンポーネント・タイプがシステム内に存在するかどうかを確認してください。

DGL5205A コンポーネント・タイプ [nnn] のテキスト索引操作を実行中にエラーが発生しました。ライブラリー・サーバーの戻りコード [nnn]、拡張戻りコード [nnn]

説明: システムが属性およびコンポーネント・タイプのテキスト検索を準備したり実行したりするためには、テキスト索引が必要です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 戻りコードに関して詳しくは、該当する DB2 Text Information Extender (TIE) のマニュアルを参照するか、IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL5217A タイム・スタンプをヌルにすることはできません。

説明: ヌルのタイム・スタンプ値を指定しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 有効なタイム・スタンプの値を定義してください。

DGL5218A 属性データはヌルですが、定義済み属性はヌルにはできません。

説明: 属性の値は指定されませんでしたが、この属性の定義は、値の指定を必要とします。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 属性の値を指定してください。

DGL5219A 属性データが整数タイプではありません。

説明: 属性は整数タイプとして定義されていますが、属性の値またはデータは有効な整数オブジェクトではありません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この属性に有効な整数オブジェクトを定義してください。

DGL5220A 属性データがショート・タイプではありません。

説明: 属性はショート・タイプとして定義されていますが、属性の値またはデータは有効なショート・オブジェクトではありません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この属性に有効なショート・オブジェクトを定義してください。

DGL5221A 属性データが浮動タイプではありません。

説明: 属性は浮動タイプとして定義されていますが、属性の値またはデータは有効な浮動オブジェクトではありません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この属性に有効な浮動オブジェクトを定義してください。

DGL5222A 属性データが 10 進タイプではありません。

説明: 属性は 10 進タイプとして定義されていますが、属性の値またはデータは有効な 10 進オブジェクトではありません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この属性に有効な 10 進オブジェクトを定義してください。

DGL5223A 属性データがダブル・タイプではありません。

説明: 属性はダブル・タイプとして定義されていますが、属性の値またはデータは有効なダブル・オブジェクトではありません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この属性に有効なダブル・オブジェクトを定義してください。

DGL5224A 属性データが正しい日付タイプではありません。

説明: 属性は日付タイプとして定義されていますが、属性の値またはデータは有効な日付オブジェクトではありません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この属性に有効な日付オブジェクトを定義してください。

DGL5225A 属性データが正しい時刻タイプではありません。

説明: 属性は時刻タイプとして定義されていますが、属性の値またはデータは有効な時刻オブジェクトではありません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この属性に有効な時刻オブジェクトを定義してください。

DGL5226A 属性データが正しいタイム・スタンプ・タイプではありません。

説明: 属性はタイム・スタンプ・タイプとして定義されていますが、属性の値またはデータは有効なタイム・スタンプ・オブジェクトではありません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この属性に有効なタイム・スタンプ・オブジェクトを定義してください。

DGL5227A 属性データがバイナリー・タイプではありません。

説明: 属性はバイナリー・タイプとして定義されていますが、属性の値またはデータは有効なバイナリー・オブジェクトではありません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この属性に有効なバイナリー・オブジェクトを定義してください。

DGL5228A 属性データがストリング・タイプではありません。

説明: 属性はストリング・タイプとして定義されていますが、属性の値またはデータは有効なストリング・オブジェクトではありません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この属性に有効なストリング・オブジェクトを定義してください。

DGL5229A コンポーネント *[nnn]* は、コンポーネント *[nnn]* の **DKChildCollection** に存在しません。

説明: 子コレクションがヌルに等しいか、またはタイプ **DKChildCollection** に属していません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 子コレクションが非ヌルであり、タイプ **DKChildCollection** に属していることを確認してください。

DGL5230A 子コンポーネントの基数が、子コンポーネントの受け入れ可能な最小および最大数に指定された範囲を超えています。

説明: 子コンポーネントの数が、指定した子コンポーネントの最小数より小さいか、指定した子コンポーネントの最大数より大きいかのどちらかです。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 指定した子コンポーネントの最小数と最大数の間の範囲内に子コンポーネントの数を指定してください。

DGL5231A 基数とコンポーネント ID の数が、子コンポーネント・コレクション内で一致しません。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 戻りコードを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL5232A DDO 内のオブジェクト名 *[nnn]* が、項目タイプ内のオブジェクト名 *[nnn]* と一致しません。

説明: 子コレクション内に存在する DDO は、このコレクション内の他の DDO とは別のオブジェクト名を持っています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: すべての DDO が同じタイプに属していることを確認してください。

DGL5233A オブジェクト名 *[nnn]* は、コンポーネント・タイプ名ですが、項目タイプ名が求められています。

説明: オブジェクト名は、コンポーネント・タイプ名ではなく、項目タイプ名でなければなりません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このオブジェクトの項目タイプ名を指定してください。

DGL5234A オブジェクト名 *[nnn]* が、有効な項目タイプ名でもコンポーネント・タイプ名でもありません。有効な項目タイプ名が求められています。

説明: オブジェクト名は、有効な項目タイプ名でなければなりません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: オブジェクトの有効な項目タイプ名を指定してください。

DGL5235A 検索中のコンポーネント *[nnn]* は、射影リストにリストされていません。

説明: コンポーネントを射影で検索しようとしたましたが、検索中のコンポーネントを射影リストに組み込むことに失敗しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 検索中のコンポーネントが、他のすべての必要なコンポーネントと共に射影リストに組み込まれていることを確認してください。

DGL5236A 射影リストに、コンポーネント *[nnn]* への 2 つの異なるパスが含まれています。

説明: コンポーネントに複数の射影された属性がある射影リストに渡しました。同一のコンポーネントに 2 つの属性射影があり、この 2 つの射影がルートから特定のコンポーネントへの異なるパスを持ちます (たとえば、『Article/Section/Title』および『Journal/Section/Address, Journal != Article』)。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: すべての射影ストリングを検査してください。

DGL5237A *[nnn]* が指定された属性のサイズ *[nnn]* は、項目タイプ定義において *[nnn]* が指定されたサイズよりも大きくなります。

説明: 項目タイプを作成した時点で、属性のサイズを定義しましたが、インスタンスの作成中にそのサイズを超過しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 属性のサイズを削減して、操作をやり直してください。

DGL5238A コレクションのサイズがゼロのため、コレクション内の項目のコンポーネント ID を検索できません。

説明: 項目のないコレクション内のコンポーネント ID を検索しようとした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: コレクション内には少なくとも 1 つの項目が必要です。

DGL5239A 少なくとも **sysAttrs** オプションまたは **userAttrs** オプションのどちらかを設定しなければなりません。

説明: システム属性オプションとユーザー属性オプションのどちらも設定されていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム属性オプションまたはユーザー属性オプションを設定してください。

DGL5240A ヌルの **DDO** に対する検索操作を実行できません。

説明: DDO がヌルなので、検索操作が失敗しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 有効な DDO を検索するよう、プログラムを訂正してください。

DGL5241A オブジェクト・タイプが **PID** 内に設定されていません。

説明: 有効な永続 ID には、オブジェクト・タイプ名が含まれていなければなりません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: PID 内にオブジェクト・タイプを設定し、操作をやり直してください。

DGL5242A 内部エラーが発生しました。更新の際に、ライブラリー・サーバーが、コンポーネント・タイプ ID *[nnn]* の **DDO** はライブラリー・サーバー内に保管されることを報告しました。しかし、この更新操作のためにライブラリー・サーバーへ送信された **DDO** のコンポーネント・タイプ ID は、*[nnn]* ではなく *[nnn]* です。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・ログ・ファイルの情報を記録し

て、IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL5243A コンポーネント ID は、ヌルのため DDO 内で検索できません。

説明: DDO 内のコンポーネント ID がヌルなので、検索できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: プログラム内のコンポーネント ID を訂正してください。

DGL5244A 特権名をヌルにすることはできません。

説明: 特権名をヌルにすることはできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 特権名を定義してください。

DGL5245A プロパティ ID がヌルです。

説明: プロパティ ID をヌルにすることはできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: プロパティ ID を定義してください。

DGL5246A AttrGroup メンバー名をヌルにすることはできません。

説明: 属性グループ・メンバー名をヌルにすることはできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 属性グループ・メンバー名を定義してください。

DGL5247A 子コレクション基数が、コンポーネント・タイプ定義に指定された最小基数および最大基数の範囲内にありません。

説明: 子コンポーネントの数が、指定した子コンポーネントの最小数より小さいか、指定した子コンポーネントの最大数より大きいかのどちらかです。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 指定した子コンポーネントの最小数と最大数の間の範囲内に子コンポーネントの数を指定してください。

DGL5248A 既存の 1 次キー / 外部キーの制約は、ターゲット外部テーブルへの参照をすでに保持しています。新規のターゲット外部テーブル (1 次キーとしての) を、このすでに確立された 1 次キー / 外部キーの制約に追加することはできません。

説明: 各外部キーは、ターゲット外部テーブルを 1 つだけ保持することができますが、この外部キーに別のターゲット外部テーブルを追加しようとしてしました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この外部キーに別のターゲット外部テーブルを追加しないでください。

DGL5249A 既存の 1 次キー / 外部キーの制約は、ターゲット・コンポーネント・タイプへの参照をすでに保持しています。新規のターゲット・コンポーネント・タイプ (1 次キーとしての) を、このすでに確立された 1 次キー / 外部キーの制約に追加することはできません。

説明: 各外部キーは、ターゲット・コンポーネント・タイプを 1 つだけ保持することができますが、この外部キーに別のターゲット・コンポーネント・タイプを追加しようとしてしました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この外部キーに別のターゲット・コンポーネント・タイプを追加しないでください。

DGL5250A SMS コレクションが無効です。

説明: このコレクションはライブラリー・サーバーに存在しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ライブラリー・サーバー内に存在する有効なコレクションを設定してください。

DGL5252A 入出力エラー。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL5253A テキスト検索ストリングが空です。

説明: テキスト検索を目的とした空ストリングが、照会に指定されました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: テキスト検索ストリングの中に 1 つ以上のテキスト検索用語を指定してください。

DGL5254A このドメインは、1 つ以上のオブジェクトを含んでいるため削除できません。オブジェクトを他のドメインへ移動してください。

説明: 少なくとも 1 つのオブジェクトが含まれているドメインを削除しようとしていました。オブジェクトを 1 つも含んでいないドメインしか削除できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: オブジェクトを他のドメインへ移動して、操作を再試行してください。

DGL5255A ユーザー名が指定されていません。

説明: ユーザー名を指定する必要があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ユーザー名を指定してください。

DGL5256A リンク項目用の **PLinkCRUDICM** リンク検索では、リンク項目ごとに行うライブラリー・サーバーへの照会で検出される **DDO** は 1 つのみのはずです。検索結果の数 **[nnn]** 照会されたリンク項目の数 **[nnn]**

説明: リンク項目でのリンクの検索により、ライブラリー・サーバーから戻された数と比較して、照会を使用している項目の数の矛盾があることがわかりました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL5257A オートリンクの更新が失敗しました。
[nnn]

説明: システムがオートリンクの更新に失敗しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・メッセージ、エラー状態、およびエラー・コードなどの戻された追加のエラー情報に注意して、問題の原因を判別してください。

DGL5259A サーバー・データベースへの接続に使用されたユーザー ID **[nnn]** に、要求されたデータベース操作を実行する権限がありません。

説明: データベースへの接続に使用されたユーザー ID は、要求されたアクションに対して正しく構成されていないため、操作を実行する権限を持っていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム管理者に連絡して、データベースへの接続に使用するユーザー ID が正しく構成されているようにしてください。このエラーは、`cmbicmenv.ini` ファイルが破壊されることによって発生することがあります。詳細は、サーバーのトレース・ログを参照してください。

DGL5260A サーバーに送信されたユーザー・トークン **[nnn]** が無効です。

説明: ログオン時に生成されたユーザー・トークンが破壊されています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エラー・ログでエラーおよびトレース情報を確認し、戻りコードを記録してシステム管理者に連絡してください。

DGL5261A テキスト検索操作を実行するためには、**DB2 Text Information Extender** がインストールされていなければなりません。

説明: テキスト索引を作成しようとしていましたが、サーバーに TIE がインストールされていませんでした。テキスト検索を実行するには、TIE が必要です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ライブラリー・サーバーに TIE をインストールしてください。ライブラリー・サーバーへの TIE のインストール方法については、「*Enterprise Information Portal* の計画とインストール」を参照してください。

DGL5262A **callbackExecute()** スレッドで、無許可のアクションが実行されました。
callbackExecute スレッドからの **OO API** 呼び出しは許可されていません。

説明: コールバック・オブジェクトの `dataCallback()` メソッドを使用して、データ・ストア・メソッドを呼び出そうとしました。コールバック・オブジェクトからのデータ・ストア呼び出しは許可されていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: コールバック・オブジェクトをインプリメントするアプリケーション・コードを、データ・ストアへの呼び出しを実行しないように変更してください。

DGL5263A 照会ストリング [nnn] の構文が無効です。

説明: 示された照会ストリングの構文が、サポートされる仕様に準拠していません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会言語の文法、構文、適切な使用法、および例については、「ワークステーション・アプリケーション・プログラミング・ガイド バージョン 8 リリース 1」を参照してください。

DGL5264A 照会ストリング [nnn] の構文解析中にエラーが発生しました。

説明: 示された照会ストリングの処理が失敗しました。多くの場合、照会ストリングの構文が誤っていることが原因です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会言語の照会文法、構文、適切な使用法、および例については、「ワークステーション・アプリケーション・プログラミング・ガイド バージョン 8 リリース 1」を参照してください。

DGL5265A 照会ストリングを、空または NULL にすることはできません。

説明: 空または NULL の照会ストリングは無効です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 実行する照会ストリングを有効なものにしてください。たとえば、『/Journal[@NumPages > 50]』です。

DGL5266A ESCAPE 文節 %1 における演算子 %2 の指定は無効です。

説明: ESCAPE 式には、LIKE 演算子のみを指定できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会ストリングを訂正してください。照会文法、構文、適切な使用法、および例については、「ワークステーション・アプリケーション・プログラミング・ガイド バージョン 8 リリース 1」を参照してください。

DGL5267A ESCAPE 文節の値 %1 が無効です。

説明: ESCAPE 文節は、長さ 2 バイト未満の単一文字でなければならない、後ろにエスケープ文字自身、パーセント記号、または下線が続く場合に、パターン・ストリングの中で使用することができます。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会ストリングを訂正してください。照会文法、構文、適切な使用法、および例については、「ワークステーション・アプリケーション・プログラミング・ガイド バージョン 8 リリース 1」を参照してください。

DGL5268A DKCQExpr 複合照会式が NULL です。

説明: 統合照会とともに使用される複合照会式全体が設定されていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 複合照会式が正しく構成されて渡されているか検査してください。

DGL5269A 無効な DKQTerm: テキスト検索式におけるテキスト検索値が NULL です。

説明: 検索対象値が NULL の場合、テキスト検索を実行することはできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この照会用語にテキスト検索条件が含まれるようにストリングの用語を設定してください。

DGL5270A 照会における参照の逆方向全検索処理に関連した内部エラーです。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL5271A 照会における参照の逆方向全検索の使用法が不適切です。

説明: たとえば、『Book/REFERENCEDBY/@REFERENCER => Conference_Note』は、ブックを指し示す参照属性を持ったすべての会議メモを検索する有効な例です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会文法、構文、適切な使用法、および例については、「ワークステーション・アプリケーション・プログラミング・ガイド バージョン 8 リリース 1」を参照してください。

DGL5272A 照会における参照の順方向全検索処理に関連した内部エラーです。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL5273A 照会における参照の順方向全検索の使用法が不適切です。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会文法、構文、適切な使用法、および例については、「ワークステーション・アプリケーション・プログラミング・ガイド バージョン 8 リリース 1」を参照してください。

DGL5300A ユーザーが行ったシステム呼び出しは、**Windows** ソケットの **WSACancelBlockingCall** 呼び出しによって割り込まれました。

説明: システム呼び出しが通信に割り込みました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 接続を再試行してください。

DGL5301A ファイル記述子が無効です。このファイル記述子は現在有効ではありません。

説明: 無効なファイル記述子を使用しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ファイル記述子を有効なものに訂正してください。通信状況を検査してください。

DGL5302A ブロードキャスト・アドレスの使用を試行しましたが、**SO_BROADCAST** は使用できません。 **SO_BROADCAST** が使用可能なソケットを作成しなければなりません。

説明: **SO_BROADCAST** パラメーターを使用可能にせずに、ソケットを使用してブロードキャストを試行しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: **SO_BROADCAST** パラメーターが使用可能なソケットを作成してください。

DGL5303A アドレスが無効です。

説明: リモート・アドレスが使用できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: アドレス (inetaddr) が有効であることを確認してください。

DGL5304A 引き数が無効です。

説明: ソケット呼び出し用に指定されている引き数が無効です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 設定が正しいことを確認してください。

DGL5305A 使用できるソケット記述子は、これ以上ありません。システムが限界に達しており、これ以上ソケットを要求できません。未使用のソケットおよびサービスをクローズしてください。

説明: システムが、使用可能なソケットを使い尽くしました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 未使用のソケットをすべてクローズして、使用可能なソケットを増やしてください。

DGL5306A ソケットを非ブロック化ソケットからブロック化ソケットへ変更する操作が、即時に完了できません。

説明: 別のソケットが通信の試行をブロックしているため、通信を完了できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 現在の操作が完了するまで待ってから、操作をやり直してください。

DGL5307A ソケットのブロック化機能が進行中です。

説明: ソケットがブロックしているため、通信を完了できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 操作をやり直してください。

DGL5308A 操作が進行中です。

説明: コミットされているソケットに対する操作が試行されました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 現在の操作が完了するまで待ってから、操作をやり直してください。

DGL5309A ソケットが無効です。

説明: 無効なソケットに対するアクションを試行しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 接続が有効であることを確認してから、アクションをやり直してください。

DGL5310A 宛先アドレスが必要です。

説明: ホスト・アドレスが設定されていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 宛先ホスト名のアドレスを設定してください。

DGL5311A メッセージが大きすぎます。

説明: 情報を保持するためのソケット・バッファが、小さすぎます。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: バッファ・サイズを大きくしてください。

DGL5312A このソケット・タイプに無効なプロトコルです。

説明: ソケット・タイプごとにすべてのプロトコルがサポートされているわけではありません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 正しいソケット・タイプを使用してください。

DGL5313A このシステムでは使用できないプロトコルです。

説明: このプロトコルは、ネットワーク・サブシステムでは使用できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 有効なプロトコルを使用してください。

DGL5314A プロトコルがサポートされていません。

説明: このプロトコルは、ネットワーク・サブシステムではサポートされていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ネットワーク・サブシステム用にサポート

されているプロトコルを確認してください。

DGL5315A ソケット・タイプがサポートされていません。

説明: このソケット・タイプは、ネットワーク・サブシステムではサポートされていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 代わりのソケット・タイプを使用してください。

DGL5316A 操作がソケットに対してサポートされていません。

説明: 指定した操作をこのタイプのソケットに実行することはできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この操作をサポートしているソケットを使用してください。

DGL5317A プロトコル・ファミリーがサポートされていません。

説明: このプロトコル・ファミリーは、ネットワーク・サブシステムではサポートされていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ネットワーク・サブシステムがサポートしているプロトコル・ファミリーを確認してください。

DGL5318A アドレス・ファミリーはプロトコル・ファミリーでサポートされていません。

説明: ファミリーとアドレスの無効な組み合わせを使用しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ネットワーク・サブシステムがサポートしているファミリーとアドレスのペアを確認してください。

DGL5319A ローカル・アドレスはすでに使用中です。

説明: アドレスは使用中のため、この時点では使用できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 誰もポートを使用していないことを確認して、接続を再試行してください。

DGL5320A リモート・アドレスまたはポートが利用できません。

説明: 指定したアドレスおよびポートで使用可能なリスナーはありません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ホストが機能していることを確認してください。

DGL5321A TCP/IP サブシステムで障害が起こりました。

説明: TCP/IP サブシステムにアクセスできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: サブシステムが開始済みで、機能していることを確認してください。

DGL5322A ネットワークに到達できません。ネットワークへのパスが見つかりませんでした。

説明: ネットワークへのパスが見つかりませんでした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ネットワーク接続を検査してください。

DGL5323A リセットで接続が解除されました。

説明: リセット操作により、ソケットがクローズしました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 新規の接続を確立してください。

DGL5324A 伝送障害が原因で、ローカル・アドレスによりセッションが終了しました。

説明: セッションが確認通知なしに終了しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 接続を再試行してください。

DGL5325A セッションがリモート・ホストによって強制的にクローズされました。

説明: ホストが、予期しないときに接続をクローズしました。サーバーが停止した可能性があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 接続を再試行してください。

DGL5326A リモート・アドレスが接続要求を強制的に拒否しました。ポートにリスナーがありません。

説明: ポートに使用可能なリスナーがありませんでした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ホストが指定のポートを listen していることを確認してください。

DGL5327A 使用できるバッファ・スペースはこれ以上ありません。

説明: ソケット・バッファがフルです。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: バッファ・サイズを大きくしてください。

DGL5328A ソケットはすでに接続されています。

説明: このソケットはすでに接続されています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: なし。

DGL5329A ソケットが接続されていません。

説明: 接続されていないソケットを使用しようとした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ソケットは、使用する前に接続してください。

DGL5330A ソケットのシャットダウン後はデータを送信できません。

説明: ソケットに対してシャットダウン呼び出しが行われました。データは送信されませんでした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ホストがオンラインに戻ってからデータの送信を再試行してください。

DGL5331A ソース・ノードから宛先ノードまでの経路内のホップが多すぎるため、継続できません。

説明: カーネル・オブジェクトに対する参照が多すぎます。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 参照を処理するリソースを増やしてください。

DGL5332A リモート障害のため、接続がタイムアウトになったか、セッションが除去されました。

説明: サーバーが、指定されたタイムアウト期間内に応答しませんでした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: タイムアウト期間の値を増やすか、またはホストが機能していることを確認してください。接続を再試行してください。

DGL5333A このネットワーク・パスはネットワーク・ホップ (ネットワーク・シンボリック・リンク) のレベルが多すぎます。継続できません。

説明: パス名に含まれているネットワーク・シンボリック・リンクが多すぎるため、システムがネットワーク・パス名を変換できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ネットワーク・シンボリック・リンクを減らしたパスを定義してください。

DGL5334A ファイル名が長すぎます。

説明: システムは、長すぎるファイル名を使用することはできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: これより短いファイル名を使用してください。

DGL5335A ホストがダウンしています。

説明: ホストが応答していません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ホスト名を検査し、しばらくしてから接続を再試行してください。

DGL5336A ホストへのネットワーク経路がありません。

説明: ホストが別のネットワーク上にあり、パスを見つけることができません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ホスト・ネットワークへのアクセスを検査してください。

DGL5337A セッションが切断されています。

説明: ソケットが正常に切断されています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: なし。

DGL5338A ホスト (キー) が検出されませんでした。そのようなホストは不明です。

説明: そのようなホストは不明です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ホスト名ではなく inetaddr アドレスを試してください。

DGL5339A 権限のないホストが見つかりません。ネーム・サービスが機能していない可能性があります。これは、通常、ホスト名の解決中に一時的に発生するエラーで、ローカル・サーバーが権限を持っているサーバーからの応答を受信しなかったことを意味します。

説明: ローカル・サーバーが権限を持っているサーバーからの応答を受信しませんでした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ドメイン・ネーム・サーバー (DNS) が機能しており、ホスト名が有効であることを確認してください。

DGL5340A 回復不能エラー。ネーム・サービスが機能していない可能性があります。

説明: ネーム・レゾリューション中に回復不能なエラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ドメイン・ネーム・システム (DNS) が正しく機能していることを確認してください。

DGL5341A クライアントがドメイン・ネーム・システム (DNS) サーバーに問い合わせたホスト名の IP アドレスを確認しようとすると、DNS サーバーはそのホスト名がサーバーのデータベース内で検出されたと応答しますが、検出されたホスト名に対する IP アドレスの有効な関連付けがありません。

説明: ドメイン・ネーム・システム (DNS) 内のメタデータが誤っています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ドット表記アドレスを使用してください。

DGL5348A WSAStartup (Windows ソケット) が失敗しました。ネットワーク・サブシステムが使用できません。

説明: ネットワーク・サブシステムの開始中に、リカバリ不能エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ネットワーク・サブシステムが正しくインストールされているかを確認してください。

DGL5349A WSAStartup (Windows ソケット) が失敗しました。Socks のバージョンがサポートされていないバージョンです。

説明: 使用している Windows Socket ソフトウェアのバージョンがサポートされていないバージョンです。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: Windows Socket ソフトウェアの新しいバージョンにアップグレードする必要があります。

DGL5350A WSAStartup (Windows ソケット) が正常に呼び出されませんでした。

説明: Socks サーバーの始動が割り込まれました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: Windows Socket ソフトウェアのレベルをチェックしてください。

DGL5351A アクセスが否認されました。

説明: システムはこのオブジェクトにアクセスできません。このオブジェクトはファイルまたは装置である可能性があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 操作を再試行し、問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。

DGL5352A ファイルがすでに存在する場合は、それを作成することはできません。

説明: システム内にすでに存在するファイルを作成しようとしてしました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ファイル作成フラグを変更してください。

DGL5353A 指定した装置名が無効です。

説明: 装置用に指定した名前が正しくありません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 装置名を検査してください。

DGL5354A システムが、指定された装置を検出できません。

説明: 装置が利用できなくなっているか、または正しく機能していません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 装置の状況を検査してください。

DGL5355A ファイル名が長すぎます。

説明: システムは、長すぎるファイル名を使用することはできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ファイル名を短くしてください。

DGL5356A 要求されたリソースは使用中です。

説明: このファイルまたはリソースは使用中です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: リソース状況を検査し、リソースが正しくクローズされたことを確認してください。

DGL5357A ディレクトリーまたはファイルを作成できません。

説明: ディスクがフルであるか、またはユーザーがそのディスクに対する許可を持っていない可能性があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ディスクの使用量を検査してディスクがフルでないことを確認してください。ユーザーがディスクに対する許可を持っているかどうかを確認してください。

DGL5358A システムがファイルにアクセスできません。

説明: 要求されたリソースは使用中です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ファイルが破壊されていないことを確認してください。

DGL5359A ディレクトリー名が無効です。

説明: 指定されたディレクトリー名が見つかりません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このディレクトリーが存在することを確認してください。

DGL5360A ディスクに十分なスペースがありません。

説明: ファイルが、使用可能なスペースより大きいです。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 未使用のスペースを解放するか、または追加のストレージを提供してください。

DGL5361A ファイルまたはディレクトリーが壊れているため到達できません。

説明: ファイルまたはディレクトリーが壊れて使用できなくなる原因となるイベントが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: なし。

DGL5362A ファイルはすでに存在しています。

説明: 同じ名前のファイルが見つかりました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ファイル作成フラグを変更するか、別の名前でファイルを保管してください。

DGL5363A 第三者またはプログラムによって、ファイルの属性 (サイズ、日付など) が気付かぬままに変更されています。

説明: このファイルは、属性が変更されているため無効です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ファイルのサイズを検査してください。

DGL5364A システムが、指定されたファイルを検出できません。

説明: パス、ファイル名、または完全ファイル名が正しくありません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ディレクトリー・パスおよびファイル名を検査してください。

DGL5365A ファイル名または拡張子が長すぎます。

説明: システムは、長すぎるファイル名または拡張子を使用することはできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ファイル名または拡張子を短くしてください。

DGL5366A ディスクがフルです。

説明: ファイルが、使用可能なスペースを超えています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 未使用のスペースを解放するか、または追加のストレージを提供してください。

DGL5367A ファイルの終わりに到達しました。

説明: 予期したよりも前にファイルの終わり (EOF) に到達しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ファイル作成を検査し、正しく作成されたことを確認してください。

DGL5368A システムが、指定されたドライブを検出できません。

説明: ドライブが、機能していないか、または無効です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ドライブが正しく機能していることを確認してください。

DGL5369A 入出力装置エラーにより要求が失敗しました。

説明: 装置が正しく機能していません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: メディアを検査してください。

DGL5370A メモリー・アクセスが無効です。

説明: メモリー内のオブジェクトへの参照が無効です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: オブジェクトが正しくインスタンス化されていることを検査してください。

DGL5371A 指定されたディスクにアクセスできません。

説明: ディスクが壊れているか無効の可能性があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ディスクを検査して、指定されたパスを検査してください。

DGL5372A このコマンドの処理に使用できる十分なストレージがありません。

説明: システムがメモリ不足です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 未使用のメモリを解放してください。

DGL5373A 装置が作動不能です。

説明: 装置は機能していますが、指定されたアクションについては作動不能です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 読み取り操作を実行しようとしているメディアを検査するか、または現在の操作が完了するまで待機してください。

DGL5374A システムが、指定された装置またはファイルをオープンできません。

説明: 別のプロセスで装置またはファイルを使用しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 現在の操作が完了するまで待機してください。

DGL5376A システム・リソースが不十分です。

説明: この操作には、追加のリソースが必要です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 追加のリソースを提供するか、または既存のリソースを解放してください。

DGL5377A システムが、指定されたパスを検出できません。

説明: パスが無効です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: パスを検査してください。

DGL5378A システムが、指定された装置から読み取りを行えません。

説明: 装置が正しく機能していません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 装置が作動可能であることを確認してください。

DGL5379A ドライブが、ディスク上のトラックを見つけれません。

説明: ディスクが壊れている可能性があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: メディアを検査してください。

DGL5380A ファイル・ポインターを、指定された装置またはファイルに設定できません。

説明: 装置またはファイルが無効です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 新規のファイル名または装置を使用してください。

DGL5381A 多すぎる命令がスタックにプッシュされたため、オーバーフローの原因となっています。

説明: 多すぎる呼び出しがスタックにプッシュされているか、または再帰的ループに陥っています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: スタック・サイズを増やしてください。

DGL5382A ページ内操作を実行しているときにエラーが発生しました。

説明: ページ内操作が失敗しました。システム・メモリが少なくなっている可能性があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム・メモリを増やしてください。

DGL5383A システムはファイルをこれ以上オープンすることができません。

説明: ファイル・ポインターはこれ以上使用できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム・メモリを増やしてください。

DGL5384A ファイル操作が無効です。ユーザー・マップ・セクションがオープンされています。

説明: ユーザー・マップ・ファイルがオープンしており、使用できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ファイルをクローズするか、または共用フラグを変更してください。

DGL5385A システムは指定された装置に書き込むことができません。

説明: 装置が利用できなくなっているか、または正しく機能していません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 装置の状況を確認してください。

DGL5386A メディアは書き込み保護されています。

説明: 装置が書き込みをロックされています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: メディアの保護レベルを変更してください。

DGL5387A '%1' という名前の属性に、属性定義で指定された最大値の '%3' を超える値 '%2' が含まれています。

説明: この属性には、特定の項目タイプまたはコンポーネント・タイプの属性定義で指定された最大値が定義されています。最小値、最大値のいずれかが指定されている場合、どちらの値も実行されます。指定されていない値にはデフォルト値が割り当てられます。このケースでは、最大値を超えています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この属性に、項目タイプまたはコンポーネント・タイプの属性定義に指定された許容範囲にある、異なる値を選択します。上記に代わる方法として、属性定義の最大値を、指定された値と同じかそれ以上になるように変更します。

DGL5388A '%1' という名前の属性に、属性定義で指定された最小値の '%3' に違反する値 '%2' が含まれています。

説明: この属性には、特定の項目タイプまたはコンポーネント・タイプの属性定義で指定された最小値が定義されています。最小値、最大値のいずれかが指定されている場合、どちらの値も実行されます。指定されていない値にはデフォルト値が割り当てられます。このケースで

は、最小値に違反しています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この属性に、項目タイプまたはコンポーネント・タイプの属性定義に指定された許容範囲にある、別の値を選択します。上記に代わる方法として、属性定義の最大値を、指定された値と同じかそれ以下になるように変更します。

DGL5389A '%1' という名前の属性に、属性定義で指定された最大長の '%3' を超えるストリング長 '%2' が含まれています。

説明: この属性には、特定の項目タイプまたはコンポーネント・タイプの属性定義で指定された最大ストリング長が定義されています。最小長、最大長のいずれかが指定されている場合、どちらの値も実行されます。指定されていない長さにはデフォルト値が割り当てられます。このケースでは、最大長を超えています。ストリング長には、ユーザーのアプリケーションによって明示的にトリムされていない限り、開始空白と終了空白が組み込まれている可能性があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この属性に、項目タイプまたはコンポーネント・タイプの属性定義に指定されたサイズの許容範囲内に収まる、短いストリングを選択します。上記に代わる方法として、属性定義の最大長を、指定されたストリング長と同じかそれ以上になるように変更します。開始空白と終了空白がユーザーのアプリケーションによって明示的にトリムされていない場合、これらを両方ともまたは一方だけをトリムすると、ストリングのサイズが短くできます。

DGL5390A '%1' という名前の属性に、属性定義で指定された必要最小長の '%3' に違反するストリング長 '%2' が含まれています。

説明: この属性には、特定の項目タイプまたはコンポーネント・タイプの属性定義で指定された最小ストリング長が定義されています。最小値、最大値のいずれかが指定されている場合、どちらの値も実行されます。指定されていない長さにはデフォルト値が割り当てられます。このケースでは、最小長に違反しています。ストリング長には、ユーザーのアプリケーションによって明示的にトリムされていない限り、開始空白と終了空白が組み込まれている可能性があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この属性に、項目タイプまたはコンポーネント・タイプの属性定義に指定された許容範囲にある、長いストリングを選択します。上記に代わる方法として、属性定義の最大長を、指定されたストリング長と

| 同じかそれ以下になるように変更します。ユーザーのアプリケーションによって明示的にトリムされていない場合は、空白を埋め込む方法も有効です。

| **DGL5400A** 検索するリソース項目に無効なコンテンツ範囲が指定されました。

| **説明:** コンテンツ範囲とは、セグメント、またはリソース項目の範囲をバイト・ストリーム形式で表したものです。コンテンツ範囲は、オフセット (リソース・バイト・ストリームの範囲の開始位置)、長さ (検索する部分のバイト・ストリームの長さ)、およびリソース長 (リソース項目の完全なバイト・ストリーム長) という 3 つのパラメーターから計算します。このエラーは、検索用に設定した長さがゼロであるか、オフセット (開始位置) がリソース・バイト・ストリームの終了位置になるように設定されたために発生しました。

| **コンポーネント:** Java または C++ API

| **アクション:** リソース検索操作の入力パラメーターをチェックしてください。

| **DGL5410A** リソース・マネージャーが応答していません。リソース・マネージャーが稼働中であることを確認してください。

| **説明:** Web サーバー (IBM HTTP サーバーなど) との接続が確立されましたが、リソース・マネージャーが応答していません。1 つの可能性として、Web アプリケーション・サーバー (WebSphere など) は開始されても、Web アプリケーション (リソース・マネージャー) が開始されていないことが挙げられます。このエラーは、Web アプリケーション・サーバー・ノードの内部エラーが原因で起こった可能性もあります。

| **コンポーネント:** Java または C++ API

| **アクション:** Web サーバー、Web アプリケーション・サーバーおよびリソース・マネージャーの状況とログを確認してください。

第 7 章 API メッセージ、DGL7087 ～ DGL7188

以下に挙げるのは、Enterprise Information Portal API から受け取る可能性のあるメッセージです。Content Management Information Center 検索ではフルワードを探します。検索したいワード全体を入力する必要があります。メッセージを検索するときは、接頭部を含む完全なメッセージ番号を入力してください。たとえば、DGL1234A についての情報を検索するには、DGL1234A と入力します。番号しかないメッセージについての情報を検索するには、その番号を入力します。

DGL7087A 不明なコンポーネント・タイプ・ビュー名 [nnn] です。

説明: システムはこのコンポーネント・ビュー名を認識しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: コンポーネント・タイプ・ビュー名のスペルを検査するか、このコンポーネント・タイプ・ビューがシステムに存在していることを確認してください。

DGL7088A 不明なコンポーネント・タイプ・ビュー ID [nnn] です。

説明: このコンポーネント・タイプ・ビュー ID は、システムに対して不明です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このコンポーネント・タイプ・ビュー ID がシステムに存在していることを確認してください。

DGL7089A 不明な属性名 [nnn] です。

説明: この属性名は、システムに対して不明です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 属性名のスペルを検査するか、あるいはこの属性名がシステム内に存在していることを確認してください。

DGL7090A 不明な参照属性名 [nnn] です。

説明: 参照される属性名は、システムに対して不明です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 属性名のスペルを検査するか、あるいは参照される属性名がシステム内に存在していることを確認してください。

DGL7091A 不明な参照属性 ID [nnn] です。

説明: 参照属性 ID は、システムに対して不明です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 参照属性 ID がシステム内に存在していることを確認してください。

DGL7092A ID [nnn] を持つコンポーネント・タイプ・ビューと、ID [nnn] を持つコンポーネント・タイプ・ビューを結合できません。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL7093A 内部定義照会コンポーネント・タイプ・ビューはどれも、順方向参照全検索用に BEFORE_REFERENCE_STATUS 内に存在することはできません。左方の ID は [nnn] で、右方の ID は [nnn] です。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL7094A 左方のコンポーネント・タイプ・ビューを、順方向参照全検索用に AFTER_REFERENCE_STATUS で内部定義することができます。左方の ID は [nnn] です。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL7095A 参照の順方向全検索用に ID [nnn] を持つ無効な右方内部参照コンポーネント・タイプ・ビューです。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL7096A ID [nnn] を持つ属性は無効で、REFERENCEDBY コンポーネント・タイプ・ビューの後では表示できません。

説明: REFERENCER 属性のみ、参照の逆方向全検索用に、REFERENCEDBY と宛先コンポーネントとの間の結合内で表示できます。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 属性が誤って使用されていないか、照会を検査してください。

DGL7097A 参照の逆方向全検索用に ID [nnn] を持つ無効な右方内部参照コンポーネント・タイプ・ビューです。

説明: 参照の逆方向全検索は、すべてのコンポーネント(*)、ルート・コンポーネント、または子コンポーネントに対してのみ許可されています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 参照が誤って使用されていないか、照会を検査してください。

DGL7098A 内部照会属性 ID [nnn] から、データ・ストアで定義されたシステム属性 ID へ変換できません。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL7099A 内部照会コンポーネント・タイプ・ビュー [nnn] は、参照の順方向全検索と関連付けられたコンテキストにはなりません。

説明: たとえば、内部照会コンポーネント・タイプ・ビュー OUTBOUNDLINK は、順方向参照全検索用の参照属性と一緒に使用できないので、照会

『/Conference/OUTBOUNDLINK/@SYSREFERENCEATTRS => Book』などは無効になります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会ストリングを変更して、参照の順方向全検索のソースとして、適切なコンポーネント・タイプ・ビューを使用してください。たとえば、

『/Conference/Conference_Note/@SYSREFERENCEATTRS => Book』とします。

DGL7100A 内部照会コンポーネント・タイプ・ビュー [nnn] は、参照の順方向全検索用の参照解除のターゲットにはなりません。 * またはユーザー定義のコンポーネント・タイプ・ビューのみが使用できます。

説明: たとえば、照会

『/Conference/Conference_Note/@SYSREFERENCEATTRS => ..』などは、(..)を参照のターゲットにすることができないため無効になります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会ストリングを変更して、参照の順方向全検索のターゲットとして、適切なコンポーネント・タイプ・ビューを使用してください。たとえば、

『/Conference/Conference_Note/@SYSREFERENCEATTRS => Book』とします。

DGL7101A [nnn] 以外の内部照会コンポーネント・タイプ・ビューを保持できません。 [nnn] の ID を持つ内部照会コンポーネント・タイプ・ビューを検出しました。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL7102A 内部照会コンポーネント・タイプ・ビュー [nnn] は、参照の逆方向全検索用の参照解除のターゲットにはなりません。

説明: たとえば、照会

『/Book/REFERENCEDBY/@REFERENCER => OUTBOUNDLINK』などは、OUTBOUNDLINK を参照全検索のソースにすることができないため無効になります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会ストリングを変更して、参照全検索のソースとして、適切なコンポーネント・タイプ・ビューを使用してください。たとえば、

『/Book/REFERENCEDBY/@REFERENCER => *』とします。

DGL7103A 属性は、
BEFORE_REFERENCE_STATUS (属性
ID: [nnn]; コンポーネント・タイプ・ビュー
ID [nnn]) にあるコンポーネント・タイ
プ・ビューのコンテキスト内に表示できま
せん。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: IBM サービス技術員に連絡してくださ
い。

DGL7104A 参照属性を PID 属性 (属性 ID [nnn]) に
することはできません。

説明: 内部エラーが発生しました。参照属性の例として
は、システム定義の SYSREFERENCEATTRS またはユーザ
ー定義の PublicationRef があります。永続 ID (PID)
属性の例としては、ITEMID、COMPONENTID、または
VERSIONID があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: IBM サービス技術員に連絡してくださ
い。

DGL7105A ID [nnn] を持った不明な PID 属性です。

説明: 内部エラーが発生しました。永続 ID (PID) 属性
の例としては、ITEMID、COMPONENTID、および
VERSIONID があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: IBM サービス技術員に連絡してくださ
い。

DGL7106A コンポーネント・タイプ・ビュー [nnn]
は、種別 **Document** の項目タイプに属さ
ないため、**ICMPARTS** の親になることは
できません。

説明: たとえば、Journal が Document の種別によって
定義されていない場合は、照会

『/Journal[contains-text(../ICMPARTS/@TIERef, ¥"
'XML' ¥")=1]』などは無効になります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この例の場合、Journal を Document 種別
に属するように定義するか、または照会を Document 項目
タイプ・ビューに属するように書き直してください。たと
えば、『/Doc[contains-text(../ICMPARTS/@TIERef, ¥"
'XML' ¥")=1]』とします。

DGL7107A 種別 **Document** のコンポーネント・タイ
プ・ビュー [nnn] は、**ICMPARTS** を表す
子を持つことができません。

説明: Document 種別の項目タイプの定義を作成中に、
問題が発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この Document 項目タイプを再作成する
か、IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL7108A **DKQExpr** 式がヌルです。

説明: 照会式の 1 つが結合照会オブジェクト内に設定
されませんでした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会オブジェクトの構造を検査してくださ
い。

DGL7109A **DKQExpr** が無効です。子式の 1 つが必
要ですが、演算子 [nnn] にはヌルが設定
されています。

説明: たとえば、2 つの照会式が OR 演算子によって
接続されている場合、これらの式のどちらもヌルにする
ことはできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会オブジェクトの構造を検査してくださ
い。

DGL7110A **DKQExpr** 式の間の演算子 [nnn] は無効
です。AND および OR のみが許可され
ています。

説明: リストされた演算子だけが、照会オブジェクト内
の照会式を結合できます。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: サポートされている演算子 AND または
OR のどちらかを使用してください。

DGL7111A **DKQExpr** 式はリーフ条件でなければなり
ません。

説明: 結合照会オブジェクトを処理中に、照会式の 1
つに他の式が含まれていることが検出されました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会オブジェクトの構造を検査してくださ
い。

DGL7112A 照会用に副次式が指定されていないか、または複数の副次式が指定されました。

説明: 照会式用にサポートされる副次式は 1 つだけです。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会式に複数の副次式が含まれないように、照会オブジェクトを変更してください。

DGL7113A 照会の副次式がヌルです。

説明: 照会式の副次式が設定されていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会式が適切な副次式を含むように、照会オブジェクトを変更してください。

DGL7114A エンティティー名が、DKQExpr 照会式で検出されませんでした。

説明: エンティティー名が設定されていないか、エンティティー名に対して適切なマッピングがないかのどちらかです。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 必要に応じて、照会オブジェクト内の個々の照会式がエンティティー名を設定されていること、およびそれぞれのエンティティー名に対してマッピングが存在していることを確認してください。

DGL7115A テキスト検索式の照会条件 DKQTerm がヌルです。

説明: テキスト検索用の照会式の条件が適切に設定されていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会オブジェクトの構造が適切かどうかを検査してください。

DGL7116A 照会条件は、テキスト検索用にリーフ条件でなければなりません。

説明: フラットで非階層構造のテキスト検索照会条件だけがサポートされています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会オブジェクトを変更して、単純なリーフ・テキスト検索条件を含めてください。

DGL7117A DKQTerm が無効です。演算子 [nnn] を使用したリーフ条件内で属性名をヌルにすることはできません。

説明: この演算子は、属性名を必要としますが、属性名が設定されていないか、この属性用に適切なマッピングがないかのどちらかです。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 必要に応じて、照会オブジェクト内の該当する照会式の属性名が設定されていること、およびそれぞれの属性名に対してマッピングが存在していることを検査してください。

DGL7118A DKQTerm が無効です。属性値が指定されていません。

説明: この照会条件は、1 つ以上の属性値の指定を必要とします。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 適切な数の属性値を照会条件に追加して、照会オブジェクトを変更してください。

DGL7119A DKQTerm が無効です。複数値演算子 [nnn] の属性値リストが無効です。

説明: 複数値演算子 (たとえば、BETWEEN、IN) は、複数の属性値の指定を必要とします。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この演算子に合った適切な数の属性値を指定してください。

DGL7120A DKQTerm が無効です。子を持つ条件内で属性名または値はヌルでなければなりません。

説明: この照会条件の構造が間違っています。条件がその子とは異なる他の条件を持っている場合、その条件に属性名または属性値を設定するべきではありません。 1) 子を設定、と 2) 属性名または属性値のいずれかを設定、の両方を持つ条件は定義できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会条件を変更して、他の条件の親を表すか、属性条件を持ったリーフ条件にするかのどちらかにします。

DGL7121A **DKQTerm** が無効です。演算子 `[nnn]` の子条件の 1 つをヌルにすることはできません。

説明: この演算子 (たとえば、AND、OR) は、両方の子照会条件の指定を必要とします。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この照会条件内に両方の子条件を設定するか、別の演算子を選択してください。

DGL7122A **DKQTerm** が無効です。演算子 `[nnn]` の子条件はどちらもヌル以外にすることはできません。

説明: NOT などの演算子の場合、子照会条件は 1 つだけが設定可能です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この照会条件内で子条件を 1 つだけ指定するか、別の演算子を使用してください。

DGL7123A **DKQTerm** が無効です。演算子 `[nnn]` の子条件はどちらもヌルにすることはできません。

説明: NOT などの演算子の場合、子照会条件の 1 つを設定する必要があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この照会条件内で子条件を 1 つ指定するか、別の演算子を使用してください。

DGL7124A 結果として表示されるコンポーネント・タイプ・ビュー `[nnn]` は、**BEFORE_REFERENCE_STATUS** 内に存在できません。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL7125A **ComponentTableAlias** に、無効な **referenceStatus** `[nnn]` は設定できません。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL7126A **ComponentTableAlias** に、無効な **referenceAttrID** = `[nnn]` は設定できません。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL7127A **DOTDOT** 演算子は、参照の順方向全検索用の参照解除のターゲットとして表示することはできません。たとえば、
`"/Conference/Conference_Note/@SYSREFERENCEATTRS => .."` のような照会は、`"/.."` を参照のターゲットにすることができないため無効になります。
`"**"` またはユーザー定義のコンポーネント・タイプ・ビューのみが使用できます。

説明: DOTDOT (..) 演算子を、参照の順方向全検索用の参照解除のターゲットとして使用できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会ストリングを変更して、参照の順方向全検索のターゲットとして、適切なコンポーネント・タイプ・ビューを使用してください。たとえば、
『`/Conference/Conference_Note/@SYSREFERENCEATTRS => Book`』とします。

DGL7128A **DOTDOT** 演算子は、ルート・コンポーネントより上には行けないため、参照の順方向検索用の参照解除のターゲットに続くことはできません。たとえば、
`"/Journal/Journal_Article/@SYSREFERENCEATTRS => Book/.."` です。

説明: DOTDOT (..) 演算子を使用して、参照の順方向全検索用の参照解除のターゲットに続けることはできません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会ストリングから (..) を除去してください。

DGL7129A 内部照会コンポーネント・タイプ・ビュー `[nnn]` は、ルート・コンポーネント・タイプ・ビューとして使用できません。

説明: リストされたコンポーネント・タイプ・ビューの 1 つが、あたかもルート・コンポーネント・タイプ・ビューであるかのように、間違って使用されました。たと

えば、照会ストリング『/REFERENCEDBY/@REFERENCER => Conference_Note』内では、REFERENCEDBY は親コンポーネント・タイプ・ビューを持ちません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 親コンポーネント・タイプ・ビューを照会に追加してください。たとえば、

『Book/REFERENCEDBY/@REFERENCER => Conference_Note』とします。

DGL7130A 現行バージョンの機能がサポートされていません。代わりに最新バージョンの機能を使用してください。

説明: 照会言語は、latest-version 関数だけを認識して、コンポーネントの最新版を検索します。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会 "/Journal[@VERSIONID = current-version(.)]" などは、『/Journal[@VERSIONID = latest-version(.)]』に書き込みする必要があります。

DGL7131A 最新バージョンの機能は、述部のない DOT 演算子のみをサポートします。

説明: latest-version 関数の適切な使用の一例は、『/Journal[@VERSIONID = latest-version(.)]』です。関数パラメーターとしてのドット (.) は、現行コンテキスト (この例では Journal) 内のコンポーネント・タイプ・ビューを指します。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会を再書き込みして、latest-version 関数に対する引き数としてドット (.) を使用してください。

DGL7132A 最新バージョンの機能は、相対コンテキストを使用する場合にのみ使用できます。

説明: latest-version 関数の適切な使用の一例は、『/Journal[@VERSIONID = latest-version(.)]』です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この関数が 1 つ以上のコンポーネント・タイプ・ビューのコンテキストで適用されることを確認して、照会を再書き込みしてください。

DGL7133A 最新バージョンの機能は、**BEFORE_REFERENCE_STATUS** のコンテキストとともに使用することはできません。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL7134A この射影リストに関連付けられた項目タイプ [nnn] は、ライブラリー・サーバー内の有効な項目タイプではありません。

説明: この射影リストに関連付けられたこの項目タイプは、ライブラリー・サーバー内で検出できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ライブラリー・サーバー内の項目タイプ定義を検査して、それに応じて射影リストを変更してください。

DGL7135A 検索の DKNVPair[] オプションで、**DK_CM_PARM_RETRIEVE** が、整数タイプの値にマップしません。

説明: 整数値でない検索オプション値で渡してしまいました。検索の DKNVPair[] オプションで、DK_CM_PARM_RETRIEVE が、整数タイプの値にマップしません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 検索オプション値が整数タイプであることを確認してください。

DGL7136A 検索されているコンポーネントは、与えられた射影リストに関連付けられた項目タイプ [nnn] と同じではない項目タイプ [nnn] です。

説明: 射影によってコンポーネントを検索しようとしたが、射影リストはコンポーネントと同じ項目タイプを持っていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この検索に合った正しい射影リストで渡そうとしていることを確認してください。

DGL7137A 各項目タイプごとに射影リストを処理中に、項目タイプ *[nnn]* の名前を含んだ **DKNVPair** を検出しました。 **DKNVPair** の値は、**dkCollection** タイプでなければなりません。 **dkCollection** は、その項目タイプに合った射影リストであることを前提とされています。

説明: この項目タイプのために射影リストを作成しましたが、**dkCollection** の値にマップしていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 値が **dkCollection** タイプであることを確認してください。

DGL7138A 検索の **DKNVPair[]** オプションで、**DK_CM_PARM_RETRIEVE** が指定されましたが、検索整数値は指定されませんでした。

説明: 検索オプションを指定しましたが、整数値が指定されませんでした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 整数検索オプションを指定したことを確認してください。

DGL7139A 検索の **DKNVPair[]** オプションで、**DK_CM_PARM_PROJECTION_LIST** が指定されましたが、タイプ **DKNVPair[]** の射影は指定されませんでした。

説明: 射影リストで渡すことを指定しましたが、射影リストの値が指定されませんでした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: タイプ **DKNVPair[]** の射影リストを指定したことを確認してください。

DGL7140A 検索の **DKNVPair[]** オプションで、**DK_CM_PARM_PROJECTION_LIST** が、**DKNVPair[]** タイプの値にマップしていません。

説明: 射影リストで、**DKNVPair[]** タイプではない値を渡しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 射影リスト値が **DKNVPair[]** タイプであることを確認してください。

DGL7141A *[nnn]* の親コンポーネントをライブラリー・サーバー内で検出できません。

説明: 射影リスト内で子と親のコンポーネント関係を検査中に、この子の親コンポーネントをライブラリー・サーバー内で検出できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: この子コンポーネントの親を検査して、それに応じて射影リストを変更してください。

DGL7142A 照会ストリング内の、無効なエスケープ・シーケンスです。

説明: 有効なエスケープ・シーケンスの例は、`¥t` または `¥n` ですが、`¥23` は無効な例です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: エスケープ・シーケンスの無効な使用を変更または除去して、照会ストリングを変更してください。

DGL7143A 照会ストリング内の行の末尾の未終了のストリングです。

説明: 照会ストリングに改行が含まれている可能性があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会ストリング全体が 1 行となるように、照会ストリングを変更してください。

DGL7144A 照会ストリング内に無効な文字 *[nnn]* が含まれています。

説明: この文字は、照会言語によってサポートされていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会ストリングから無効文字を変更または除去してください。

DGL7145A 関数 *[nnn]* は、パラメーターとしてのノード (たとえば、コンポーネント・タイプ・ビュー) をサポートしないので、引き数 *[nnn]* は、関数 *[nnn]* に対する有効な引き数ではありません。

説明: たとえば、照会ストリング

『/Journal[contains-text(Journal_Article, ¥" 'XML' ¥")=1]』では、テキスト検索関数は、最初の引き数として属性を必要とします。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 照会ストリングを書き直してください。たとえば、
『/Journal[contains-text(Journal_Article/@Title,
¥" 'XML' ¥")]]』とします。

DGL7150A 関連タイプは、パーツに対してのみ設定できます。

説明: 関連タイプをリソース項目に設定しようとした。これは、パーツにしか関連しません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 関連タイプをパーツに対して設定してください。

DGL7151A 関連タイプが無効です。

説明: 関連タイプは、DKConstant.java で定義された事前定義済み関連タイプの 1 つでなければなりません。以下に示すのは、事前定義済み関連タイプです。

- public final static int DK_CM_ANNOTATION = 8;
- public final static int DK_CM_HISTORY = 16;
- public final static int DK_CM_EVENT = 16;
// same as history
- public final static int DK_CM_NOTE = 64;
- public final static int DK_CM_BASE = 128;
// normal object
- public final static int DK_CM_MGDS = 2048;

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 新規の関連タイプは、定義しないでください。DKConstant.java で定義された事前定義済み関連タイプを使用してください。

DGL7154A この項目のコンテンツがリソース・マネージャーに設定されていません。

説明: コンテンツがこの項目に対して設定されていません。したがってメタデータのみが検索されます。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 項目にコンテンツを設定して更新してください。それから DK_CM_CONTENT_ONLY または DK_CM_CONTENT_YES を使用して検索を呼び出します。

DGL7157A ユーザー出口が、DLL 名を持っているが関数名を持っていないか、関数名を持っているが DLL 名を持っていません。

説明: ユーザー出口は、DLL 名と関数名をすべて持つか、まったく持たないかのいずれかでなければなりません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: DLL 名と関数名を組み込むようにユーザー出口を訂正してください。

DGL7158A ICM のワークフロー構成が正しくないため、ワークフロー ICM コンテナが見つかりません。

説明: ワークフロー ICM コンテナ・データが正しくありません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システムに正しいコンテナ・データをインポートしてください。

DGL7159A 属性 [nnn] を使用してコンポーネント [nnn] を射影するために、[nnn] であるべき無効な射影ストリング [nnn] を渡しました。

説明: ユーザーが渡した射影リストに、属性 [nnn] の射影について無効なストリングが含まれていました。射影リストは、完全修飾名であるストリングのコレクションです。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ストリングのコレクションに含まれる完全修飾名が、射影リストとして渡されることを確認してください。

DGL7160A リソース・マネージャーでのデータの置換に失敗しました。

説明: システムがリソース・マネージャーでのコンテンツまたはデータの置換に失敗しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 要求を再試行し、問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。

DGL7161A リソース・マネージャーからのデータの検索に失敗しました。

説明: リソース・マネージャーからのコンテンツまたはデータの検索に失敗しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 要求を再試行し、問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。

DGL7162A リソース・マネージャーで、文書の一部のコンテンツの保管に失敗しました。

説明: リソース・マネージャーに対する、文書の一部のコンテンツの保管に失敗しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 要求を再試行し、問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。

DGL7163A リソース・マネージャーで、文書の一部のコンテンツの置換に失敗しました。

説明: リソース・マネージャーで、文書の一部のコンテンツの置換に失敗しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 要求を再試行し、問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。

DGL7164A リソース・マネージャーからの、文書の一部のコンテンツの検索に失敗しました。

説明: リソース・マネージャーからの、文書の一部のコンテンツの検索に失敗しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 要求を再試行し、問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。

DGL7165A リソース・マネージャーで、パス [nnn] を使用してのファイル [nnn] のカタログに失敗しました。

説明: リソース・マネージャーでの指定されたファイルのカタログに失敗しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 要求を再試行し、問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。

DGL7166A リソース・マネージャーで、SMS コレクション [nnn] から [nnn] への、オブジェクトのストレージの変更に失敗しました。

説明: あるコレクションから別のコレクションへの、指定されたオブジェクトのストレージの変更に失敗しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 要求を再試行し、問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。

DGL7167A SMS コレクション [nnn] からのオブジェクトのストレージ情報の照会に失敗しました。

説明: リソース・マネージャーからの指定されたオブジェクトのストレージの照会に失敗しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 操作を再試行し、問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。

DGL7168A オブジェクトの部分検索のために提供されるパラメーターが無効です。

説明: オブジェクトを部分的に検索するために提供されるパラメーターが無効です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: パラメーターの妥当性について「オンライン API 解説書」を参照し、有効なパラメーターを使用して要求を再試行してください。

DGL7169A リソース・マネージャーの LAN キャッシュからの検索に失敗しました。

説明: リソース・マネージャーの LAN キャッシュからのデータの検索に失敗しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 要求を再試行し、問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。

DGL7170A リソース・マネージャーからコンテンツを検索するための、コンテンツ URL の取得に失敗しました。

説明: リソース・マネージャーからコンテンツを検索するための、コンテンツ URL の取得に失敗しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 要求を再試行し、問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。

DGL7171A リソース・マネージャーにコンテンツを保管するための、コンテンツ URL の取得に失敗しました。

説明: リソース・マネージャーにコンテンツを保管するための、コンテンツ URL の取得に失敗しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 要求を再試行し、問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。

DGL7172A リソース・マネージャーからコンテンツを検索するための、**InputStream** オブジェクトの取得に失敗しました。

説明: リソース・マネージャーからコンテンツを検索するための、**InputStream** オブジェクトの取得に失敗しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 要求を再試行し、問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。

DGL7173A リソース・マネージャーへの接続に失敗しました。

説明: リソース・マネージャーへの接続が確立できませんでした。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 要求を再試行し、問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。

DGL7174A ストレージ要求の変更について、無効な **SMS** コレクション名が提供されました。

説明: この DKLOBICM に追加された DKStorageManageInfoICM 拡張オブジェクトは、有効なコレクション名セットを持っていません。このコレクション名がサーバー上に存在しない可能性があります。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: DKStorageManageInfICM 拡張オブジェクトに有効なコレクションを指定して、要求を再試行してください。

DGL7175A ユーザー ID がシステム・ユーザー ID と **Content Manager** ユーザー ID の両方であるため、このユーザーのパスワードは手動でしか変更できません。

説明: ユーザー ID がシステム・ユーザー ID と Content Manager ユーザー ID の両方であるため、このユーザーのパスワードは手動でしか変更できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: このデータベースのユーザー ID のパスワードを手動で変更してください (たとえば、Windows ではユーザー マネージャ、AIX では SMIT)。

DGL7176A 検索オプション

DK_CMCONTENT_CHILDREN が指定されましたが、コレクション内にある **DDO** で検索される子を持つものではありません。

説明: **DDO** の現行レベルの子を検索する **DK_CM_CONTENT_CHILDREN** オプションが指定されましたが、コレクション内にある **DDO** で検索される子を持つものではありません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: これは、**DDO** のこのコレクションで有効なオプションではありません。子を持つ **DDO** コレクションを使用して、オプションをやり直してください。

DGL7177A 指定の **MIME** タイプ **%1** がコンテンツ・マネージメント・データ・ストアで検出されませんでした。

説明: 指定の **MIME** タイプがコンテンツ・マネージメント・データ・ストアに登録されていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: データ・ストアに **MIME** タイプを登録するか、システム管理者に連絡してください。

DGL7178A 実行可能ハンドラー・プログラム名が無効です。実行可能ハンドラー・プログラムは、任意のアプリケーションまたは **.exe** ファイルにすることができます。

説明: 実行可能ハンドラー・プログラム名が設定されていないか無効です。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 有効な実行可能ハンドラー・プログラム名を設定して、再度要求を出してください。

DGL7179A 実行可能ハンドラー・プログラム名 **%1** を検出できません。

説明: 現行環境において実行可能ハンドラー・プログラム名を検出できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: 実行可能ハンドラー・プログラムを絶対パスで指定して、再度要求を出してください。

DGL7180A パーツのコンテキストでは、次の操作をサポートしていません。パーツをデータ・ストアに直接追加することはできません。

説明: パーツをデータ・ストアに直接追加することはできません。パーツを文書に追加して、その文書をデータ・ストアに追加します。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: パーツを文書に追加して、その文書をデータ・ストアに追加するか、データ・ストアに対して更新します。

DGL7181A パーツのコンテキストでは、次の操作をサポートしていません。パーツをデータ・ストアに対して直接更新することはできません。

説明: パーツをデータ・ストアに対して直接更新することはできません。更新済みのパーツを文書に追加して、その文書をデータ・ストアに対して更新します。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: パーツを文書に追加して、その文書をデータ・ストアに追加するか、データ・ストアに対して更新します。

DGL7182A リソース・マネージャーで **RC = %1** が戻されました。メッセージは **%2** です。

説明: このメッセージには、リソース・マネージャーの戻りコードおよびメッセージが記録されています。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

DGL7183A MQSWF サーバーのエラーのために、グループを **CM** または **EIP** に追加できませんでした。

説明: MQSeries ワークフロー・サーバーのエラーのために、グループを Content Manager または Enterprise Information Portal に追加できません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: グループ内のユーザー全員が MQSeries ワークフローのユーザーであるかどうかを確認してください。

DGL7184A レプリカ規則のリソース・マネージャーまたは **SMS** のコレクションは同じドメイン内になければなりません。

説明: レプリカ規則のリソース・マネージャーまたはストレージ管理サブシステム (SMS) のコレクションは、同じドメイン内になければなりません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: レプリカ規則のリソース・マネージャーまたは SMS のコレクションがすべて同じドメイン内にあることを確認してください。

DGL7185A **Content Manager 8.1** クライアントは複製が使用可能な **Content Manager 8.2** サーバーを使用しています。

説明: 複製は Content Manager バージョン 8.1 クライアントではサポートされません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: Content Manager 8.2 サーバーで複製を使用不可にするか、Content Manager 8.2 クライアントを使用します。

DGL7186A リソース・マネージャー [%1] がオンラインになっていないか使用可能になっていません。

説明: リソース・マネージャーが使用可能でないかオンラインになっていません。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: システム管理者に連絡するか、使用可能でオンラインになっている異なるリソース・マネージャーを指定してください。

DGL7187A レプリカ規則を更新中にエラーが発生しました。

説明: リソース・マネージャーのコレクションの既存の複製規則を更新中に、エラーが発生しました。

コンポーネント: Java または C++ API

アクション: ライブラリー・サーバー・ログと共に、エラー・メッセージ、エラー状態、エラー・コードなどの戻された追加エラー情報をすべて使用して、問題の原因を判断してください。

-
- | **DGL7188A** リソース・マネージャー [%1, %2] がオ
 - | ンラインになっていないか使用可能になっ
 - | ていません。

 - | **説明:** デフォルトのリソース・マネージャーまたは最適
 - | レプリカ・リソース・マネージャーが使用可能でないか
 - | オンラインではありません。

 - | **コンポーネント:** Java または C++ API

 - | **アクション:** システム管理者に連絡するか、使用可能で
 - | オンラインになっている異なるリソース・マネージャー
 - | を指定してください。

第 8 章 EIP ワークフロー・ビルダー・メッセージ、EHLE045 ～ EHLE081

以下に挙げるのは、システム管理クライアントの Enterprise Information Portal ワークフロー・ビルダーを使用中に表示される可能性のあるメッセージです。Content Management Information Center 検索ではフルワードを探します。検索したいワード全体を入力する必要があります。メッセージを検索するときは、接頭部を含む完全なメッセージ番号を入力してください。たとえば、DGL1234A についての情報を検索するには、DGL1234A と入力します。番号しかないメッセージについての情報を検索するには、その番号を入力します。

EHLE045A ダイアグラムに複数の開始ノードがあります。

説明: ダイアグラムに含むことのできる開始ノードは 1 つだけです。グラフィック・プロセス・データ・ファイルが破壊されている可能性があります。

コンポーネント: ワークフロー・ビルダー

アクション: 余分の開始ノードをダイアグラムから削除してください。

EHLE046A ダイアグラムにノードがありません。

説明: ワークフロー・プロセス・ダイアグラムを有効にするには、開始ノードと停止ノードが必要です。

コンポーネント: ワークフロー・ビルダー

アクション: この問題は、開始ノードまたは停止ノードを追加することにより訂正できます。

EHLE047A ノード [nnn] からノード [nnn] へのパスが見つかりませんでした。

説明: 指定されたノード間のパスが欠落しています。

コンポーネント: ワークフロー・ビルダー

アクション: エラー状態にあるノードは、ワークフロー・プロセス・ダイアグラムおよび要約テーブルで、強調表示されます。識別されたノードがワークフロー・プロセス・ダイアグラムのそれ以外の部分と結合されるように、そのノードにコネクタを付加してください。

EHLE048A このノード [nnn] 用のアウトバウンド・コネクタが存在しません。

説明: アウトバウンド・コネクタを持たないノードが見つかりました。ノードの中でアウトバウンド・コネクタを必要としないのは、停止ノードだけです。それ以

外のノードにはすべて、アウトバウンド・コネクタがなければなりません。

コンポーネント: ワークフロー・ビルダー

アクション: エラー状態にあるノードは、ワークフロー・プロセス・ダイアグラムおよび要約テーブルで、強調表示されます。識別されたノードにアウトバウンド・コネクタを付加してください。

EHLE049A このノード [nnn] 用のインバウンド・コネクタが存在しません。

説明: インバウンド・コネクタを持たないノードが見つかりません。ノードの中でインバウンド・コネクタを必要としないのは、開始ノード、作業ノード、およびユーザー定義ノードのみです。停止ノードにはインバウンド・コネクタがなければなりません。

コンポーネント: ワークフロー・ビルダー

アクション: エラー状態にあるノードは、ワークフロー・プロセス・ダイアグラムおよび要約テーブルで、強調表示されます。識別されたノードにインバウンド・コネクタを付加してください。

EHLE051A ノード [nnn] からノード [nnn] への一定のパスが見つかりませんでした。

説明: すべてのノードは、直接または間接に、停止ノードに接続されていなければなりません。いずれの方法でも停止ノードに接続されていないノードが見つかりました。あるいは、停止ノードにつながるパスが連続ループの一部になっています。

コンポーネント: ワークフロー・ビルダー

アクション: エラー状態にあるノードは、ワークフロー・プロセス・ダイアグラムおよび要約テーブルで、強調表示されます。直接または間接に、停止ノードへのパ

スが存在するように、識別されたノードにコネクタを付加してください。

EHLE052A このノード [nnn] に名前が指定されていません。

説明: 識別されたノードには名前が必要です。そのノードに名前を指定しなければなりません。

コンポーネント: ワークフロー・ビルダー

アクション: エラー状態にあるノードは、ワークフロー・プロセス・ダイアグラムおよび要約テーブルで、強調表示されます。そのノードをダブルクリックするか、あるいは、要約テーブルの該当するエントリを編集してください。ノードのプロパティ・ウィンドウが表示されるので、そこで、そのノードの名前と説明を指定することができます。

EHLE057A このノード [nnn] に関連付けられているアクション・リストは、今では存在していません。

説明: この作業ノードに関連付けられているアクション・リストは削除されました。

コンポーネント: ワークフロー・ビルダー

アクション: エラー状態にあるノードは、ワークフロー・プロセス・ダイアグラムおよび要約テーブルで、強調表示されます。そのノードをダブルクリックするか、あるいは、要約テーブルの該当するエントリを編集してください。「作業ノード (Work Node)」ウィンドウが表示されるので、そこで、有効なアクション・リストを選択することができます。

EHLE063W このノード [nnn] に関連付けられる新規アクション・リストを、ホストにチェックインする必要があります。

説明: Enterprise Information Portal サーバーにチェックインする必要のある新規アクション・リストが参照されました。

コンポーネント: ワークフロー・ビルダー

アクション: 新規アクション・リストを確認してください。「ワークフロー定義 (Workflow Definition)」ウィンドウから、「アクション・リスト (Action Lists)」を選択してください。この作業ノードで使用する新規アクション・リストを探します。そのリストをホストにチェックインしてください。

EHLE065W このノード [nnn] に関連付けられるアクション・リストが変更されたので、ホストにチェックインする必要があります。

説明: Enterprise Information Portal サーバーにチェックインする必要のある変更済みアクション・リストが参照されました。

コンポーネント: ワークフロー・ビルダー

アクション: 変更済みアクション・リストを確認してください。「ワークフロー定義 (Workflow Definition)」ウィンドウから、「アクション・リスト (Action Lists)」を選択してください。この作業ノードで使用する変更済みアクション・リストを探し、そのリストを Enterprise Information Portal サーバーにチェックインします。

EHLE077A ノード [nnn] で使用されるワークバスケット用のアクション・リストが指定されていません。

説明: アクション・リストが割り当てられていない作業ノードが識別されました。グラフィック・プロセス・データ・ファイルが破壊されている可能性があります。

コンポーネント: ワークフロー・ビルダー

アクション: エラー状態にあるノードは、ワークフロー・プロセス・ダイアグラムおよび要約テーブルで、強調表示されます。このノードをダブルクリックするか、あるいは、要約テーブルの該当するエントリを編集してください。「作業ノード (Work Node)」ウィンドウが表示されるので、そこで、有効なアクション・リストを選択することができます。

EHLE077E 値による処理は無効になりました。

説明: このユーザー ID またはグループは、使用できなくなりました。

コンポーネント: ワークフロー・ビルダー

アクション: エラー状態にあるノードは、ワークフロー・プロセス・ダイアグラムおよび要約テーブルで、強調表示されます。そのノードをダブルクリックして、新規ユーザー ID またはグループを選択してください。

EHLE078E 値による通知は無効になりました。

説明: このユーザー ID は使用できなくなりました。

コンポーネント: ワークフロー・ビルダー

アクション: エラー状態にあるノードは、ワークフロー・プロセス・ダイアグラムおよび要約テーブルで、強調表示されます。そのノードをダブルクリックして、新しいユーザー ID を選択してください。

EHLE079E ユーザー出口が無効であるか、あるいは DLL ディレクトリーに存在しません。

説明: このエラーは、notify after 値が無効である場合に起こります。

コンポーネント: ワークフロー・ビルダー

アクション: エラー状態にあるノードは、ワークフロー・プロセス・ダイアグラムおよび要約テーブルで、強調表示されます。そのノードをダブルクリックして、正しい notify after 値を入力します。有効な値の例は、5 日、1 週間、2 時間、5 秒などです。

EHLE079W 同じノードが続けて使用されました。

説明: ワークフロー・プロセス・ダイアグラムに、同一の作業ノードが 2 つ、連続して見つかりました。どちらか 1 つのノードで指定した情報を変更することも、余分の作業ノードを削除することもできます。

コンポーネント: ワークフロー・ビルダー

アクション: 該当するノードは、ワークフロー・プロセス・ダイアグラムおよび要約テーブルで、強調表示されます。その重複ノードをダブルクリックするか、あるいは、要約テーブルの該当するエントリーを編集してそのノードのプロパティを変更してください。重複しているノードの 1 つを削除することもできます。**注:** ワークフロー・プロセス・ダイアグラムを正常に検証するためには、この問題を修正する必要はありません。

EHLE082E サブワークフロー・ノードが表示されていません。テンプレートを検証する前にデータを検証するには、個々のサブワークフローを編集しなければなりません。

説明: このエラーが発生するのは、パレット上のサブワークフロー・ノードを除去し、それをワークフローに接続して、ノードをオープンしてサブワークフローを選択することなく、検証を実行する場合です。

コンポーネント: ワークフロー・ビルダー

アクション: ワークフロー・プロセス・ダイアグラムを検証する前に、すべてのサブワークフロー・ノードをオープンして、2 番目のタブでサブワークフローを選択しなければなりません。

EHLE084A 同じノード上でアウトバウンド・コネクタが検出されました。

説明: 停止ノードは、アウトバウンド・コネクタを持つことはできません。グラフィック・プロセス・データ・ファイルが破壊されている可能性があります。

コンポーネント: ワークフロー・ビルダー

アクション: エラー状態にあるコネクタは、ワークフロー・プロセス・ダイアグラムおよび要約テーブルで、強調表示されます。このコネクタを削除してください。

EHLE085W このノード [nnn] は、無限ループの一部である可能性があります。

説明: すべてのノードは、直接または間接に、停止ノードに接続されていなければなりません。連続ループの一部である可能性のある分岐ノードが位置指定されました。

コンポーネント: ワークフロー・ビルダー

アクション: 該当するノードは、ワークフロー・プロセス・ダイアグラムおよび要約テーブルで、強調表示されます。このノードからのアウトバウンド・コネクタを綿密に調べて、必ず停止ノードへのパスがあることを確認してください。**注:** ワークフロー・プロセス・ダイアグラムを正常に検証するためには、この問題を修正する必要はありません。

EHLE086A コネクタに説明が指定されていません。

説明: 説明のないコレクション・ポイント・コネクタが見つかりました。

コンポーネント: ワークフロー・ビルダー

アクション: 識別されたコネクタに説明を指定しなければなりません。エラー状態にあるコネクタは、ワークフロー・プロセス・ダイアグラムおよび要約テーブルで、強調表示されます。そのノードをダブルクリックするか、あるいは、要約テーブルの該当するエントリーを編集してください。「コレクション・ポイント・イベント・リスト (Collection Point Event List)」ウィンドウが表示されるので、そこで説明を指定することができます。

EHLE080W アプリケーション名のタイプは .EXE または .DLL でなければなりません。

説明: このエラーは、アプリケーション名が .exe でも .dll でもない場合に発生します。

コンポーネント: ワークフロー・ビルダー

アクション: .exe または .dll を含むアプリケーション名を入力してください。

EHLE081W DLL のエントリー・ポイントが指定されていません。

説明: EIP システム管理クライアントで、「PC DLL」ボックスをチェックしていますが、エントリー・ポイント名が指定されていません。

コンポーネント: ワークフロー・ビルダー

アクション: 「PC DLL」ボックスをチェックした場合は、エントリー・ポイント名を指定しなければなりません。

EHLE080E 値ノードが表示されていません。 テンプレートを検証する前にデータを検証するには、個々の値ノードを編集しなければなりません。

説明: ドロー・パレット上に値ノードが配置されていて、そのノードが編集されていません。

コンポーネント: ワークフロー・ビルダー

アクション: パレット上に配置した個々の値ノードを編集して、そのノード用に定義したデータが正しいことを確認してください。

EHLE081E 次の文字はワークフロー値タブの編集フィールドでは使用できません。右向きおよび左向きのブラケット、二重引用符、ティルド、単一引用符。ワークフロー値タブを更新して、無効文字を除去してください。

説明: 値ノードで定義したユーザー変数に無効文字が含まれています。無効文字とは、右向きおよび左向きのブラケット ([])、二重引用符 (")、ティルド (~)、単一引用符 (') です。

コンポーネント: ワークフロー・ビルダー

アクション: ワークフロー値フィールドから無効文字をすべて除去してください。

第 9 章 EIP 情報マイニング・メッセージ、9001 ～ 9976

以下に挙げるのは、Enterprise Information Portal 情報マイニング・コンポーネントを使用中に表示される可能性のあるメッセージです。Content Management Information Center 検索ではフルワードを探します。検索したいワード全体を入力する必要があります。メッセージを検索するときは、接頭部を含む完全なメッセージ番号を入力してください。たとえば、DGL1234A についての情報を検索するには、DGL1234A と入力します。番号しかないメッセージについての情報を検索するには、その番号を入力します。

9001 テキスト文書オブジェクトに名前がありません。

説明: 要求されたアクションを実行するには、テキスト文書オブジェクトに名前が指定されている必要があります。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: テキスト文書オブジェクトの `setName` メソッドを使用して、名前を指定してください。

9002 テキスト文書オブジェクト `[nnn]` に言語がありません。

説明: 要求されたアクションを実行するには、テキスト文書オブジェクトに言語が指定されている必要があります。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: テキスト文書オブジェクトの `setLanguage` メソッドを使用して、言語を指定してください。

9003 指定されたテキスト文書の名前が、以前にアナライズした文書 `[nnn]` の名前と同じです。

説明: 複数の文書が同じ名前を共用することはできません。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: テキスト文書オブジェクトの `setName` メソッドを使用して、別の名前を指定してください。

9004 トレーニング文書 `[nnn]` に、カテゴリが指定されていません。

説明: 要求されたアクションにはカテゴリが必要です。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 少なくとも 1 つはカテゴリを指定してください。

9005 指定されたキー `[nnn]` が、このスキーマには存在していません。

説明: 存在しないキーを持つスキーマ・メソッドが使用されました。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: スキーマ・オブジェクトの `keySet` メソッドを使用して、そのスキーマに含まれるキーのセット・ビューを取得してください。

9006 指定されたキー `[nnn]` のタイプが、予想される `java.lang.String` ではなく、`[nnn]` です。

説明: 要求されたアクションに必要なキーに関連付けられているタイプは、`java.lang.String` です。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: スキーマ・オブジェクトの `keySet` メソッドおよび `getType` メソッドを使用して、関連付けられているタイプを判別してください。

9007 指定されたキー `[nnn]` が、このレコード `[nnn]` に存在していません。

説明: 存在しないキーを持つレコード・メソッドが使用されました。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: レコード・オブジェクトの `keySet` メソッドを使用して、そのレコードに含まれるキーのセット・ビューを取得してください。

9008 レコード *[nnn]* に、カテゴリが指定されていません。

説明: 要求されたアクションにはカテゴリが必要です。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 少なくとも 1 つはカテゴリを指定してください。

9009 この分類法にはカテゴリ *[nnn]* が含まれていません。

説明: 分類法にはこのようなカテゴリはありません。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 最新の分類法を使用し、その分類法オブジェクトの `categoryExists` メソッドを用いて、カテゴリを確認してください。

9010 言語コード *[nnn]* が無効です。

説明: 指定された言語コードが無効です。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 有効な言語コード (たとえば、`en_US`、`fr_CA` など) を指定してください。

9011 照会でカテゴリが使用されているにもかかわらず、検索構成で分類法が指定されていません。

説明: 照会にカテゴリ部分がある場合は、検索構成で分類法を設定しなければなりません。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 検索構成の `setTaxonomy` メソッドを使用して、分類法オブジェクトを設定してください。

9100 カタログ *[nnn]* が存在しません。

説明: 必要なカタログがライブラリーに存在しないため、要求されたカタログ・アクションを実行できません。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: ライブラリー・オブジェクトの `catalogExists` メソッドを使用して、カタログが存在するかどうかを確認してください。

9101 指定されたカタログ名 *[nnn]* はすでに存在しています。

説明: カタログ名はライブラリー内で固有のものです。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: ライブラリー・オブジェクトの `catalogExists` メソッドを使用して、カタログ名を確認してください。

9102 このカテゴリには、*[nnn]* という名前の兄弟がすでにあります。

説明: 同じ親カテゴリを持つカテゴリの名前は、それぞれ固有でなければなりません。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 親カテゴリ・オブジェクトの `getChildren` メソッドを使用して、既存の子カテゴリをすべて取得します。新しいカテゴリ名を指定してください。

9103 指定されたカテゴリ *[nnn]* は存在しません。

説明: 指定されたカテゴリがカタログに存在しません。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 最新の分類法オブジェクトを使用していることを確認し、`categoryExists` メソッドを使用してカテゴリを確認してください。

9104 指定されたカテゴリ *[nnn]* は空いていません。これは、そのカテゴリにまだレコード、トレーニング文書、または子カテゴリが入っているためです。

説明: 要求されたアクションには、空のカテゴリ (レコード、トレーニング文書、子カテゴリが入っていないもの) が必要です。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: レコードおよびトレーニング文書はすべて除去し、該当するカテゴリの子カテゴリをすべて削除してください。

9105 指定されたテキスト文書の名前 *[nnn]* が、以前に作成したトレーニング文書の名前と同じです。

説明: トレーニング文書名は、カタログ内で固有のものです。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: カタログ・オブジェクトの `trainingDocumentExists` メソッドを使用して、トレーニング文書名を確認してください。新しい名前を指定するか、または既存の文書を更新してください。

9106 **トレーニング文書 [nnn] は存在しません。**

説明: カタログ内で未知のトレーニング文書が指定されました。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: カタログ・オブジェクトの `trainingDocumentExists` メソッドを使用して、文書名を確認してください。

9107 **カタログ [nnn] はトレーニングされていません。**

説明: 要求されたアクションを実行するには、カタログがトレーニングされている必要があります。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: カタログ・トレーニングを開始してください。

9108 **カタログ [nnn] のトレーニング・セットが、評価されていません。**

説明: 要求されたアクションを実行するには、カタログのトレーニング・セットが評価されている必要があります。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: トレーニング・セットの評価を開始してください。

9109 **指定されたレコードの PID が、以前に作成したレコード [nnn] の PID と同じです。**

説明: レコード永続 ID は、カタログ内で固有のものです。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: カタログ・オブジェクトの `recordExists` メソッドを使用して、レコード PID を確認してください。新しい PID を指定するか、または既存のレコードを更新してください。

9110 **PID が [nnn] のレコードはありません。**

説明: 指定された永続 ID を持つレコードがありません。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: カタログ・オブジェクトの `recordExists` メソッドを使用して、PID を確認してください。

9111 **指定されたレコード値の少なくとも 1 つのタイプが間違っています。**

説明: レコード・キーの値のタイプは、カタログ・スキーマ内のキーに関連付けられていなければなりません。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: スキーマ・オブジェクトの `getType` メソッドを使用して、そのキーの予想されるタイプを判別してください。

9112 **言語がサポートされていません。 [nnn]**

説明: 要求された機能は、指定の言語では利用できません。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 別の言語を選択してください。サポートされている言語のリストについては、Enterprise Information Portal システム管理のオンライン・ヘルプを参照してください。

9113 **このサービスにはサーバー・タスクが設定されていません。**

説明: 要求されたアクションを実行するには、サービスにサーバー・タスク・オブジェクトを設定する必要があります。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: サービス・オブジェクトの `setServerTask` メソッドを使用して、サーバー・タスク・オブジェクトを設定してください。

9114 **指定値のいずれかが、データベース列のサイズの限度を超えています。**

説明: 指定値の少なくとも 1 つが、サイズの限度を超えているために保管できません。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 該当するカタログ・スキーマを参照して、システム管理者に連絡してください。

9115 指定されたカタログ名が、データベース列のサイズの限度を超えています。

説明: カatalog名の値が、サイズの限度を超えているために保管できません。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 該当するカタログ・スキーマを参照して、システム管理者に連絡してください。

9116 指定されたカタログの説明が、データベース列のサイズの限度を超えています。

説明: カatalogの説明が、サイズの限度を超えているために保管できません。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 該当するカタログ・スキーマを参照して、システム管理者に連絡してください。

9117 指定されたカテゴリー名が、データベース列のサイズの限度を超えています。

説明: カテゴリー名が、サイズの限度を超えているために保管できません。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 該当するカタログ・スキーマを参照して、システム管理者に連絡してください。

9118 指定されたトレーニング文書の内容が、データベース列のサイズの限度を超えています。

説明: 文書の内容が、サイズの限度を超えているために保管できません。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 該当するカタログ・スキーマを参照して、システム管理者に連絡してください。

9119 指定されたトレーニング文書の言語が、データベース列のサイズの限度を超えています。

説明: 文書の言語が、サイズの限度を超えているために保管できません。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 該当するカタログ・スキーマを参照して、システム管理者に連絡してください。

9120 トレーニングの結果が、データベース列のサイズの限度を超えています。

説明: トレーニング結果のオブジェクトが、サイズの限度を超えているために保管できません。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 該当するカタログ・スキーマを参照して、システム管理者に連絡してください。

9121 トレーニング・セットの評価の結果が、データベース列のサイズの限度を超えています。

説明: 評価結果のオブジェクトが、サイズの限度を超えているために保管できません。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 該当するカタログ・スキーマを参照して、システム管理者に連絡してください。

9122 スキーマが、データベース行のサイズの限度を超えています。

説明: スキーマ・オブジェクトが、サイズの限度を超えているために保管できません。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: システム管理者に連絡してください。

9201 入力ファイルが定義または作成されていません。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: クラスター化をやり直してください。問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。

9202 メソッド `execute()` が、クラスターの終了を待機中に割り込まれました。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: クラスター化をやり直してください。問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。

9203 実行可能なクラスターが、戻りコード
[nnn] を表示して終了しました。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: クラスター化をやり直してください。問題
が解決しない場合は、システム管理者に連絡してくださ
い。

9204 クラスターの結果ファイルが存在しま
せん。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: クラスター化をやり直してください。問題
が解決しない場合は、システム管理者に連絡してくださ
い。

9205 クラスターのラベル・ファイルが存在し
ません。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: クラスター化をやり直してください。問題
が解決しない場合は、システム管理者に連絡してくださ
い。

9206 プロパティ [nnn] が設定されていま
せん。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 指定された (Java システムの) プロパティ
ーが、Java 仮想マシンで設定されていることを確認して
ください。

9207 システム一時ディレクトリー [nnn] に、
作業ディレクトリー [nnn] を作成するこ
とができません。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: Java プロセスに、指定したシステム一時
ディレクトリーでディレクトリーを作成する権限 (アク
セス権) があること、および、対応するファイル・シス
テムに十分な使用可能スペースがあることを確認してく
ださい。

9208 クラスターの結果ファイルの 1 つで、
予期しないファイル終わりに遭遇しまし
た。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: クラスター化をやり直してください。問題
が解決しない場合は、システム管理者に連絡してくださ
い。

9218 クラスター化は正常に実行されました。

説明: クラスター化の操作が正常に実行されました。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9219 クラスター化の際に未知のエラーに遭遇し
ました。[]

説明: クラスター化操作中に内部エラーが発生しまし
た。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: システム管理者に連絡してください。

9220 クラスター化の際に、数値問題 [nnn] に
遭遇しました。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: システム管理者に連絡してください。

9221 クラスター化の際に、数値問題 [nnn] に
遭遇しました。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: システム管理者に連絡してください。

9222 クラスター化の際に、数値問題 [nnn] に
遭遇しました。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: システム管理者に連絡してください。

9223 クラスター化の際に、数値問題 [nnn] に遭遇しました。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: システム管理者に連絡してください。

9224 メモリーの割り振り失敗 [nnn] です。

説明: メモリー不足の可能性があります。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9225 ファイル入出力問題 [nnn] です。

説明: 一時スペースが不足している可能性があります。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9226 ファイル入出力問題 [nnn] です。

説明: 一時スペースが不足している可能性があります。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9227 内部クラスター化エラー [nnn] が発生しました。

説明: データ・ファイルが不整合です。非ゼロ値が多すぎます。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: システム管理者に連絡してください。

9228 クラスターの最大数は 0 より大きくなければなりません。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9229 クラスターの最小数は 0 より大きくなければなりません。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9230 内部クラスター化エラー [nnn] が発生しました。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: システム管理者に連絡してください。

9231 内部クラスター化エラー [nnn] が発生しました。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: システム管理者に連絡してください。

9232 内部クラスター化エラー [nnn] が発生しました。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: システム管理者に連絡してください。

9233 内部クラスター化エラー [nnn] が発生しました。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: システム管理者に連絡してください。

9234 内部クラスター化エラー [nnn] が発生しました。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: システム管理者に連絡してください。

9235 内部クラスター化エラー [nnn] が発生しました。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: システム管理者に連絡してください。

9236 クラスターの最小数は、クラスターの最大数以下でなければなりません。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9241 ラベルの数は 0 以上でなければなりません。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9250 無効な言語コードです。[*nnn*]

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 有効な Java 言語コード (たとえば、en_US、fr_CA など) を指定してください。

9251 トレーニング文書の名前が重複しています。[*nnn*]

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: トレーニング文書ごとに固有の名前を指定してください。

9252 内部 TAF エラーです。[*nnn*]

説明: 内部テキスト分析エラーが発生しました。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: システム管理者に連絡してください。

9253 文書に言語が設定されていません。

説明: 正しい処理を行うには言語情報が必要です。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 文書に有効な言語を指定してください。

9254 言語がサポートされていません。[*nnn*]

説明: 要求された機能は、指定の言語では利用できません。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9255 [*nnn*] という名前の文書は、処理できませんでした (内部テキスト分析エラー: [*nnn*])。

説明: このメッセージが内部 TAF エラー・コード 37 と共に表示された場合、許可されていない制御シーケンス (Unicode コード・ポイント 0001 など) を含む文書を処理しようとしたことを示します。この文書は、ほと

んどの場合、JPG や .ZIP などのバイナリー・ファイルです。このような文書は情報マイニングでは処理できません。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 情報マイニングでは、許可されていない制御シーケンスを含む文書を処理しないでください。

9500 接続されていません。

説明: サーバーへの接続が利用できないか、接続が失われています。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: サーバーが適切にセットアップされていることを確認して、やり直してください。

9501 アーカイブが作成できませんでした。

説明: クロールされる文書を保持するディレクトリーを作成できません。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: アクセス許可と使用可能なディスク・スペースを確認してください。

9502 [*nnn*] はディレクトリーではありません。

説明: クロールされる文書が入っているディレクトリーが利用できません。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: WebSpace ディレクトリーおよび RootDirectory の設定を確認してください。

9503 ディレクトリーを作成できませんでした。
[*nnn*]

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9504 ディレクトリーが無効です。

説明: クロールされる文書が入っているディレクトリーが利用できません。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: WebSpace ディレクトリーおよび RootDirectory の設定を確認してください。

9505 **ファイルの名前変更ができませんでした。**

説明: アーカイブに対して WebSpace ディレクトリーの名前を変えることができません。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 削除できなかったアーカイブが存在するかどうか確認してください。

9506 **アクセスが許可されていません。 [nnn]**

説明: 文書进行处理するためには、情報マイニング・サービスに、CMB_PRIV_VIEW_CONTENT 特権がある必要があります。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 特権の設定を確認し、更新してください。

9507 **クラスター化を行うものがありません。**

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9520 **サーブレット [nnn] を初期化しています...**

説明: 指定したサーブレットは初期化中です。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9521 **サーブレット [nnn] は正常に初期化されました。**

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9522 **リソース・バンドルに、メッセージ [nnn] のキーが見つかりません。**

説明: セットアップ問題が発生しました。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: システム管理者に連絡してください。

9523 **トレーニング文書のアクションの名前が、リソース・バンドルのキー [nnn] では見つかりませんでした。**

説明: セットアップ問題が発生しました。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: システム管理者に連絡してください。

9524 **デフォルト・ロケール [nnn] の HTML ページが見つかりません。 そのページは [nnn] の下にあるはずでした。**

説明: セットアップ問題が発生しました。 Web アプリケーションのファイルの一部が削除された可能性があります。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: Web アプリケーションを再試行してください。

9525 **パラメーター [nnn] が、構成ファイル web.xml から欠落しています。**

説明: セットアップ問題が発生しました。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: ファイル web.xml を、Enterprise Information Portal のインストール・システムの一部である IST.war ファイルで検出されるものと比較してください。

9526 **構成パラメーター [nnn]。ディレクトリー [nnn] が存在しません。**

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: Web アプリケーションのファイル web.xml を確認してください。 既存のディレクトリーを指定してください。

9527 **構成パラメーター [nnn]。ディレクトリー [nnn] に書き込むことができません。**

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: Web アプリケーションのファイル web.xml を確認してください。 ディレクトリーに関するアクセス権を変更してください。

9528 **構成パラメーター [nnn]。 [nnn] が long 値ではありません。**

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: Web アプリケーションのファイル web.xml で指定した値を変更してください。

9529 構成パラメーター `[nnn]`。`[nnn]` が整数値ではありません。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: Web アプリケーションのファイル `web.xml` で指定した値を変更してください。

9530 `[nnn]` で指定したロケールに、リソース・バンドルまたは **HTML** ページが見つかりませんでした。代わりに、クライアントのデフォルト・ロケール `[nnn]` を使用してください。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9531 デフォルトのクライアント・リソース・バンドル `[nnn]` に、リソース・バンドルまたは **HTML** ページが見つかりませんでした。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: Web アプリケーションのファイル `web.xml` で指定した値を変更してください。

9532 クライアントのデフォルト・バンドルのリソース・バンドルが失われています。

説明: セットアップ問題が発生しました。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: システム管理者に連絡してください。

9533 内部エラー: 前提条件が満たされていないのに、コマンド `[nnn]` を実行しようとしてしました。

説明: セットアップ問題が発生しました。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: システム管理者に連絡してください。

9550 タイプ **Command** のオブジェクトが予想されましたが、クラス `[nnn]` のオブジェクトが取得されました。

説明: セットアップ問題が発生しました。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: システム管理者に連絡してください。

9551 新規インスタンスが失敗しました。

説明: セットアップ問題が発生しました。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: システム管理者に連絡してください。

9552 `[nnn]` で、ファイル **commands.jar** を検出することができませんでした。

説明: セットアップ問題が発生しました。Web アプリケーションのファイルの一部が削除された可能性があります。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: Web アプリケーションを再試行してください。

9553 **commands.jar** の検査中に例外が発生しました。

説明: セットアップ問題が発生しました。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: システム管理者に連絡してください。

9554 **IKF** クラスが見つかりませんでした。

説明: セットアップ問題が発生しました。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: システム管理者に連絡してください。

9555 受信したオブジェクトのクラス `[nnn]` が、サーバー上で見つかりませんでした。

説明: セットアップ問題が発生しました。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: システム管理者に連絡してください。

9556 コマンド `[nnn]` を実行したため、エラーが発生しました。このエラーのメッセージ・キーは `[nnn]`、メッセージは以下のとおりです。 `[nnn]`

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9602 アップロードのキャンセル時に、トレーニング文書 [nnn] を削除することができませんでした。 理由: [nnn]、[nnn]

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9610 [nnn] サブレット。保管ディレクトリーは [nnn] です。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9611 [nnn] サブレット。 POST データの最大サイズは [nnn] バイトです。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9612 [nnn] サブレット。アップロードしたファイル [nnn] は削除できませんでした。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: ファイルを手動で削除してください。

9613 [nnn] サブレット。空の形式を受信しました。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9614 [nnn] サブレット。トレーニング文書 [nnn] 用のファイルが検出されませんでした。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9615 [nnn] サブレット。ファイルのアップロード中に例外が発生しました。[nnn] スタック・トレースです。[nnn]

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9616 [nnn] サブレット。ファイル [nnn] はフォーマットのフィルター操作後は空になり、ライブラリーに追加されませんでした。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9650 トレーニングの実行中にカタログが削除されました。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9651 評価の実行中にカタログが削除されました。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9652 トレーニングの実行中にカテゴリーが削除されました。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9653 評価の実行中にカテゴリーが削除されました。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9654 トレーニングの実行中にトレーニング文書
 が削除されました。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9655 評価の実行中にトレーニング文書が削除さ
 れました。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9656 トレーニング中に処理できないトレーニング
 文書に遭遇しました。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9657 評価中に処理できないトレーニング文書に
 遭遇しました。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9600 カテゴリ [nnn] が存在しません。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9601 カタログ [nnn] が存在しません。 ファイル
 が追加できなくなりました。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9700 内部エラーが発生しました。アクションは
 実行されませんでした。詳しくはサーバー
 のログ・ファイルを調べてください。管理
 者に連絡してください。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: サーバーのエラー・ログ・ファイルからの
エラー情報を記録して、システム管理者に連絡してくだ
さい。

9701 **IST セッションがないか、セッションの
有効期限が切れています。 IST にもう一
度ログインしてください。**

説明: ユーザーが情報マイニング構造化ツール (IST)
を使用中に、Web サーバーが再始動されました。ある
いは、ユーザーが非アクティブである時間が長すぎまし
た。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: ブラウザーで IST のログイン・ページに
アクセスします。システム管理者に連絡して、IST のタ
イムアウト設定を変更してもらってください。

9702 **IST セッションがないか、セッションの
有効期限が切れています。 ログイン・ペ
ージへの宛先変更が行われます。**

説明: ユーザーが情報マイニング構造化ツール (IST)
を使用中に、Web サーバーが再始動されました。ある
いは、ユーザーが非アクティブである時間が長すぎまし
た。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: ブラウザーで IST のログイン・ページに
アクセスします。システム管理者に連絡して、IST のタ
イムアウト設定を変更してもらってください。

9703 **必要なパラメーター値が指定されていま
せん。値を指定して、やり直してください。**

説明: 必要なパラメーター値が提供されていません。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 必要なパラメーターを指定して、操作をや
り直してください。

9710 **ユーザー [nnn] がログインできませんで
した。ユーザー名とパスワードのスペルを
確認して、やり直してください。**

説明: 無効なユーザー ID とパスワードを試みまし
た。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: ユーザー ID とパスワードのスペルおよ
び大文字の使用について調べてください。

9711 サーバーへの接続が切断されているようです (ログインする前に、ログオフを試みました)。ブラウザをクローズしてから再始動し、やり直してください。

説明: サーバーへの接続に失敗しました。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: ブラウザーをクローズして、接続をやり直してください。

9712 ユーザー `[nnn]` は、すでにログインしています。

説明: 同じ名前のユーザーが、すでに、有効な情報マイニング構造化ツール (IST) セッションを持っています。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 別のユーザーが同じ名前で IST を使用していないことを確認してください。これが行われている場合は、カタログ・ロック機構が予想どおりに働きません。

9730 カatalog名が、サイズの限度を超えています。違う名前を選択してください。

説明: カatalog名が長すぎます。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 別の名前を選択してください。

9731 カatalog名、カテゴリー名、説明のいずれかが、サイズの限度を超えています。それぞれ、違う名前または説明を選択してください。

説明: カatalog名、カテゴリー名、または説明が長すぎました。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: カatalog、カテゴリー、または説明に、違う名前を選択してください。

9732 作成しようとしたカatalog `[nnn]` は、すでに存在しています。違う名前を選択してください。

説明: この名前のカatalogはすでに存在しています。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: カatalogに、違う名前を選択してください。

9733 内部エラーのため、カatalogの作成に失敗しました。「ライブラリー (Library)」をクリックして、カatalog・リストを最新表示してください。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: サーバーのエラー・ログ・ファイルからのエラー情報を記録して、システム管理者に連絡してください。

9734 カatalog `[nnn]` の名前を、`[nnn]` に変更しようとした。この名前はすでに存在しています。違う名前を選択してください。

説明: この名前のカatalogはすでに存在しています。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 違う名前を選択してください。

9735 カatalog `[nnn]` を作成しようとした。カatalogの名前には、引用符は使用できません。違う名前を選択してください。

説明: カatalogの名前には、引用符は使用できません。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 別の名前を選択してください。

9736 カatalog `[nnn]` の名前を、`[nnn]` に変更しようとした。カatalogの名前には、引用符は使用できません。違う名前を選択してください。

説明: カatalogの名前には、引用符は使用できません。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 違う名前を選択してください。

9737 選択したカatalogはもはや存在していません。別のユーザーによって、名前が変更されたか、削除されました。「ライブラリー (Library)」をクリックして、ツリー・ビューを最新表示してください。

説明: 存在しないカatalogが選択されました。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 情報マイニング・システムの管理クライアントを使用して、カatalogのリストを最新表示し、別のカatalogを選択してください。

9738 選択したカタログはもはや存在していません。別のユーザーによって、名前が変更されたか、削除されました。ツリー・ビューが更新されました。

説明: 利用できないカタログが選択されました。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9739 変更しようとしたカタログ [nnn] は、現在ユーザー [nnn] によってロックされています。変更は適用されませんでした。

説明: 別のユーザーがこのカタログを使用しています。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: そのユーザーにカタログをアンロックするよう依頼して、やり直してください。

9740 変更しようとしたカタログ [nnn] は、現在トレーニング中です。変更は適用されませんでした。

説明: トレーニング中のカタログは変更できません。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: ツリーでカタログ・ノードを選択してトレーニングをキャンセルするか、トレーニングが終了するまで待ってください。カタログの変更をやり直してください。

9741 アンロックしようとしたカタログ [nnn] は、現在ロックされていません。アクションは実行されませんでした。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9742 カatalogの説明が、サイズの限度を超えています。違う説明を選択してください。

説明: カatalogの説明が長すぎます。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 違う説明を選択してください。

9743 カatalogが、サイズの限度を超えています。トレーニングができません。

説明: カatalogが大きすぎてトレーニングできません。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: このカatalogのレコード、トレーニング文書、またはカテゴリーを削除して、やり直してください。

9744 カatalogが、サイズの限度を超えています。評価ができません。

説明: カatalogが大きすぎます。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: このカatalogのレコード、トレーニング文書、またはカテゴリーを削除してから、やり直してください。

9760 作成しようとしたカテゴリー [nnn] は、すでに存在しています。別の名前を選択してください。

説明: このカテゴリーはすでに存在しています。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 違う名前を選択してください。

9761 カテゴリー [nnn] の名前を、[nnn] に変更しようとした。この名前はすでに存在しています。別の名前を選択してください。

説明: このカテゴリー名はすでに存在しています。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 違う名前を選択してください。

9762 作成しようとしたカテゴリー [nnn] は、有効な名前ではありません。有効な名前には、以下のストリングは使用できません。[nnn] 有効な名前を選択して、やり直してください。

説明: 無効な名前を使用しました。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 有効な名前を選択してください。

9763 カテゴリー [nnn] の名前を、[nnn] に変更しようとしたが、この名前は無効です。有効な名前には、以下のストリングは使用できません。[nnn] 有効な名前を選択して、やり直してください。

説明: 無効な名前を使用しました。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 有効な名前を選択してください。

9764 作成しようとしたカテゴリー [nnn] には、分類法の区切り文字 [nnn] が含まれています。この名前は無効です。有効な名前を選択して、やり直してください。

説明: 無効な名前を使用しました。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 有効な名前を選択してください。

9765 カテゴリー [nnn] の名前を、[nnn] に変更しようとしたのですが、この名前には、分類法の区切り文字 [nnn] が含まれています。この名前は無効です。有効な名前を選択して、やり直してください。

説明: 無効な名前を使用しました。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 有効な名前を選択してください。

9766 カテゴリー名が、サイズの限度を超えています。違う名前を選択してください。

説明: カテゴリー名が長すぎます。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 違う名前を選択してください。

9767 選択したカテゴリーはもはや存在していません。このカテゴリー (または親カテゴリー) は、別のユーザーによって、名前が変更されたか、削除されました。別のカテゴリーをクリックして、ツリー・ビューを更新してください。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9768 選択したカテゴリーはもはや存在していません。このカテゴリー (または親カテゴリー) は、別のユーザーによって、名前が変更されたか、削除されました。ツリー・ビューが更新されました。

説明: 存在しないカテゴリーが選択されました。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9769 親カテゴリーとして指定したカテゴリーは、このカタログには存在しません。別のカテゴリーを選択してください。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9770 カatalogのルート・カテゴリーを削除しようとした。ルート・カテゴリーは名前変更ができません。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9775 カatalog [nnn] 上で、トレーニング・プロセスを停止しようとした。このカatalogは現在トレーニング中ではありません。あるいは、トレーニングはすでに終了しています。アクションは実行されませんでした。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9776 カatalog [nnn] のトレーニングを開始しようとしたが、その文書セットは最後にトレーニングされてから変更されていません。トレーニングの効果がありません。アクションは実行されませんでした。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9780 トレーニング文書 [nnn] を表示しようとしたが、この文書はもはや存在しません。別のユーザーによって削除されました。トレーニング文書リストを最新表示してください。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 文書リストを含むフレームを再ロードするか、別のタブに変更してやり直してください。

9781 トレーニング文書 [nnn] を削除しようとしたが、この文書はもはや存在しません。別のユーザーによって削除されました。文書リストが更新されています。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9782 名前を指定せずにトレーニング文書を削除しようとした。名前を指定して、やり直してください。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9783 トレーニング文書 [nnn] はサイズの限度を超えています。トレーニング文書は追加できません。

説明: トレーニング文書が大きすぎます。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 文書をいくつかの部分に分け、このカテゴリに最も適合する内容を含む部分をアップロードしてください。

9784 文書 [nnn] を、カテゴリ [nnn] に追加しようとした。カテゴリ [nnn] には、この名前のトレーニング文書がすでに存在しています。これらが同じ文書の場合は、その文書をこのカテゴリからコピーしてください。同じ文書でない場合は、別の名前を選択してやり直してください。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9785 文書 [nnn] を、カテゴリ [nnn] に追加しようとした。カテゴリ [nnn] には、この名前のトレーニング文書がすでに存在しています。これらが同じ文書の場合は、その文書をこれらのカテゴリのいずれかからコピーしてください。同じ文書でない場合は、違う名前を選択してやり直してください。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9786 文書 [nnn] を、カテゴリ [nnn] に追加しようとした。カテゴリ [nnn] には、この名前のトレーニング文書がすでに存在しています。その文書が [nnn] にコピーされました。これらが別々の文書である場合は、[nnn] から文書を削除して、別の名前で再度 [nnn] をアップロードしてください。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9787 文書 [nnn] を、カテゴリ [nnn] に追加しようとした。カテゴリ [nnn] には、この名前のトレーニング文書がすでに存在しています。その文書が [nnn] にコピーされました。これらが別々の文書である場合は、[nnn] から文書を削除して、別の名前で再度 [nnn] をアップロードしてください。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9788 文書 [nnn] を追加しようとした。トレーニング文書の名前には、引用符は使用できません。違う名前を選択して、やり直してください。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9789 文書 [nnn] を追加しようとした。トレーニング文書の名前には、[nnn] を含むことはできません。違う名前を選択して、やり直してください。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9790 文書名を指定せずにトレーニング文書を追加しようとしてしました。名前を指定してください。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9791 場所を指定せずにトレーニング文書を追加しようとしてしました。場所を指定してください。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9792 トレーニング文書 [nnn] の言語 [nnn] が無効です。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9793 内容のない文書を追加しようとしてしました。この文書はカテゴリに追加されませんでした。文書を URL から直接アップロードしようとした場合は、まずその文書をディスクに保管して、ディスク・ロケーションを使用してそれを追加してください。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9794 このファイル・タイプのフィルターが欠落しているため、文書内容の構文解析に失敗しました。管理者に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: システム管理者に連絡してください。

9795 ファイルのアップロード・プロセスに失敗しました。ファイルが現在のサイズの限度 [nnn] バイトを超えていないことを確認してください。XML ファイルをアップロードしようとした場合は、外部の DTD への参照をすべて除去して、ファイルのアップロードをやり直してください。詳しい情報は、サーバー・ログ・ファイルにあります。管理者に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: ファイルが大きすぎる場合は、管理者に連絡して、サイズの限度を変更してもらってください。文書をいくつかの部分に分け、このカテゴリに最も適合する内容を含む部分をアップロードするという方法もあります。エラー・ログ・ファイルのエラー情報を記録して、システム管理者に連絡してください。

9796 カテゴリ [nnn] の分類法の区切り文字が変更されています。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9797 アップロード・プロセスはキャンセルされました。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9800 ファイル [nnn] には、フィルター操作後は内容がありませんでした。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9801 トレーニング文書のサイズは [nnn] バイトです。これは、最大サイズ [nnn] バイトを超えています。最大サイズを変更する必要がある場合は、管理者に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: サイズの限度を変更したくない場合は、文

書をいくつかの部分に分け、このカテゴリーに最も適合する内容を含む部分をアップロードしてください。エラー・ログ・ファイルのエラー情報を記録して、システム管理者に連絡してください。

9802 トレーニング文書 [nnn] のサイズが、最大サイズ [nnn] バイトを超えています。最大サイズを変更する必要がある場合は、管理者に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: サイズの限度を変更したくない場合は、文書をいくつかの部分に分け、このカテゴリーに最も適合する内容を含む部分をアップロードしてください。エラー・ログ・ファイルのエラー情報を記録して、システム管理者に連絡してください。

9803 カタログがトレーニング中であるため、ファイルは追加されませんでした。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: トレーニングを停止するか、トレーニングが終了するまで待つてやり直してください。

9804 カタログが評価中であるため、ファイルは追加されませんでした。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 評価を停止するか、評価が終了するまで待つてやり直してください。

9805 トレーニング文書が追加されている限り、このアクションを行うことはできません。すべてのアップロードをキャンセルしてやり直すか、実行中のアップロード・プロセスが終了するまで待つてください。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9806 カテゴリー [nnn] のカタログ [nnn] のアップロード・プロセスが、指定の時刻に開始されませんでした。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9807 カタログがユーザー [nnn] によってロックされているため、ファイルは追加されませんでした。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9808 トレーニング文書は、カテゴリーに追加できるだけです。このカタログ内のカテゴリーを選択して、やり直してください。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9810 指定されたカテゴリーの 1 つがもはや存在していません。トレーニング文書リストに戻って、やり直してください。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9811 トレーニング文書をコピーする必要があるカテゴリーを、少なくとも 1 つ指定してください。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9812 指定されたトレーニング文書は、このカテゴリーから削除されています。アクションは実行されませんでした。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9813 `[nnn]` 個のトレーニング文書のうち `[nnn]` 個が、正常にコピーされました。 それ以外の文書はすでにこのカテゴリーから削除されているので、コピーできませんでした。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9820 評価を `[nnn]` 回反復して実行しようとして、許可されている反復の最大数は `[nnn]` 回です。 新しい値を指定して、やり直してください。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 評価の反復に新しい値を指定して、評価をやり直してください。

9821 カタログ `[nnn]` の評価を停止しようとして、このカタログは現在評価中ではありません。 おそらく、評価はすでに終了しています。 アクションは実行されませんでした。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9822 評価の実行中は、カタログ `[nnn]` のアンロックを行うことはできません。 評価を停止してやり直すか、評価が終了するまで待ってください。

説明: 評価中のカタログをアンロックすることはできません。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 評価プロセスを停止するか、評価プロセスが終了するまで待ってください。

9823 カタログ `[nnn]` 上での評価の実行中は、ログオフすることはできません。 評価を停止してやり直すか、評価が終了するまで待ってください。

説明: 評価中のカタログをログオフすることはできません。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 評価プロセスを停止するか、評価プロセスが終了するまで待ってください。

9824 カタログ `[nnn]` 上での評価プロセスの実行中は、ログオフすることはできません。 すべての評価プロセスを停止してやり直すか、すべての評価プロセスが終了するまで待ってください。

説明: 評価中のカタログからログオフすることはできません。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 評価プロセスを停止するか、評価プロセスが終了するまで待ってください。

9825 変更しようとしたカタログ `[nnn]` は、現在評価中です。 評価を停止してやり直すか、評価が終了するまで待ってください。 変更は適用されませんでした。

説明: 評価中のカタログを変更することはできません。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 評価プロセスを停止するか、評価プロセスが終了するまで待ってください。

9830 ファイル `[nnn]` は追加できませんでした。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9831 ファイルの内容を検索しようとしているときに、以下のエラーが発生しました。
`[nnn]`

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9832 トレーニング文書を追加できませんでした。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9833 詳細は、アップロード状況のページを参照してください。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9834 以下のファイルを、サーバーにアップロードできませんでした。[*nnn*] このカテゴリのアップロード状況情報が見つかりませんでした。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9840 このカタログのアップロード状況情報が見つかりませんでした。名前が変更されたか、削除された可能性があります。カタログ・ツリーで別のカタログを選択してください。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9841 このカテゴリのアップロード状況情報が見つかりませんでした。名前が変更されたか、削除された可能性があります。カタログ・ツリーで別のカテゴリを選択してください。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9851 内部エラーが発生しました。アクションは実行されませんでした。おそらく、サーバーが使用中で要求を処理できなかったものと思われます。詳しい情報は、サーバー・ログ・ファイルにあります。管理者に連絡してください。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: サーバーのエラー・ログ・ファイルからのエラー情報を記録して、システム管理者に連絡してください。

9852 ディレクトリーを指定するか、アップロードするファイルを 1 つ以上指定して、やり直してください。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9853 ファイルかディレクトリーのどちらかを選択することができますが、両方は選択できません。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: ファイルまたはディレクトリーのどちらかを選択して、操作をやり直してください。

9854 ディレクトリーは 1 つしか選択できません。

説明: 複数のディレクトリーが選択されました。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: ディレクトリーを 1 つ選択して、操作をやり直してください。

9855 選択を取得しようとしているときに、例外が発生しました。やり直してください。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9856 アップロードがすべて終了するまで待つてから、「OK」をクリックしてください。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9857 少なくとも 1 つのカテゴリを選択して、やり直してください。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9858 カタログまたはカテゴリーの名前を入力してください。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9859 **IST** にログインしていません。まず **IST** にログインしてください。

説明: ログイン・パネルを使用せずに、情報マイニング構造化ツール (IST) にログインしようとしてしました。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: ブラウザーでログイン・パネルにアクセスしてください。

9860 セットアップ問題があります。ロケール・キーが見つかりませんでした。管理者に連絡してください。

説明: セットアップ問題が発生しました。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: システム管理者に連絡してください。

9861 選択したカタログまたはカテゴリーはもはや存在していません。別のユーザーによって、名前が変更されたか、削除されました。ツリー・ビューが更新されました。

説明: 存在しないカタログまたはカテゴリーが選択されました。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9862 カタログまたはカテゴリーの名前を指定してください。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9874 リソース・マネージャーの管理機能には、**SSL** を使用してログオンしなければなりません。

説明: ログオン情報を送信するのにセキュアでない接続を使用しました。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: secure socket layer 接続を介してログオン要求を再送してください。

9880 環境変数 **CMBROOT** が設定されていません。 **IST** の構成が失敗しました。 変数をユーザーの **EIP** ホーム・ディレクトリーに設定して、やり直してください。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9881 以下のファイル、**applets.jar**、**clientUpload.jar** および **clientTree.jar** のうち、1 つまたはすべてが **[nnn]** で検出できませんでした。 **IST** の構成が失敗しました。 **CMBROOT** 環境変数を正しく設定して、やり直してください。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9882 以下のファイル、**applets.jar**、**clientUpload.jar** および **clientTree.jar** のうち、1 つまたはすべてが **[nnn]** で検出できませんでした。 **IST** の構成が失敗しました。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9883 以下のファイル、**[nnn]/applets.jar**、**[nnn] clientUpload.jar** および **clientTree.jar** のうち、1 つまたはすべてが **[nnn]** で検出できませんでした。 **IST** の構成が失敗しました。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9884 IST が [nnn] で検出できませんでした。IST の構成が失敗しました。IST がすでに配置されていることを確認してください。IST を [nnn] とは別のディレクトリに配置した場合は、ISTconfig IST-Deploy-Dir として ISTconfig を再度呼び出します。IST-Deploy-Dir は IST が配置されたディレクトリで、たとえば、ISTconfig d:¥WebSphere¥AppServer¥InstalledApps となります。このディレクトリには 'IST.ear' という名前のディレクトリが存在していなければなりません。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9885 [nnn] に書き込めません。IST の構成が失敗しました。アクセス許可を変更して、やり直してください。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9886 以下のファイル、applets.jar、clientUpload.jar および clientTree.jar のうち、1 つまたはすべてが [nnn] から [nnn] へコピーできませんでした。IST の構成が失敗しました。問題を解決して、やり直してください。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 処置については前述のファイル・システムやオペレーティング・システムのメッセージを参照してください。

9887 [nnn] をコピーできませんでした。戻りコード [nnn]。IST の構成が失敗しました。問題を解決して、やり直してください。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 処置については前述のファイル・システムやオペレーティング・システムのメッセージを参照してください。

9950 使用法: IkfReorg [userID] [password] [database]。

説明: 初期化のためにデータベースにアクセスするには、管理者のユーザー ID とパスワードおよびデータベースの名前が必要です。cmbroot インストール・ディレクトリも指定する必要があります。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 管理者のユーザー ID とパスワードおよびデータベースの名前を指定してください。

9951 指定されなかったパラメーターがあります。以下のデフォルトが使用されます。
user ID=[nnn]、password=[nnn]、
database=[nnn]。

説明: パラメーターが 1 つも指定されていないか、一部のパラメーターが指定されていないため、デフォルトが使用されます。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: デフォルトが不適切な場合は、正しい値を指定してください。

9952 情報マイニングのモデルが初期化できませんでした。

説明: システムが情報マイニングのインストールに失敗しました。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

9953 この操作は、指定されたデータベースから情報マイニング・データをすべて削除します。この操作をやり直すことはできません。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 継続する前に本当にこの情報を削除するか確認してください。

9970 使用法: IkfReorg [userID] [password] [database]。

説明: 再編成のためにデータベースにアクセスするには、管理者のユーザー ID とパスワードおよびデータベースの名前が必要です。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: 管理者のユーザー ID とパスワードおよびデータベースの名前を指定してください。

9971 指定されなかったパラメーターがあります。以下のデフォルトが使用されます。
**user ID=[nnn]、password=[nnn]、
database=[nnn]。**

説明: パラメーターが 1 つも指定されていないか、一部のパラメーターが指定されていないため、デフォルトが使用されます。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: デフォルトが不適切な場合は、正しい値を指定してください。

9972 データ・ストアに接続中です...

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9973 データ・ストア [nnn] に接続しました。

説明: オペレーターがコンテンツ・サーバーに正常に接続しました。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9974 ID [nnn] および名前 [nnn] を使用してテキスト索引が再編成されました。

説明: 指定されたユーザー ID と名前を使用して、テキスト索引が正常に認識されました。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9975 ID [nnn] および名前 [nnn] を使用するテキスト索引にアクセスできません。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

9976 データ・ストアが切断されています。

説明: なし。

コンポーネント: 情報マイニング

アクション: なし。

第 10 章 Content Manager ライブラリー・サーバーの戻りコード、ICM4751 ～ ICM8012

Enterprise Information Portal API のメッセージには戻りコードを含むものがあります。通常、戻りコードは IBM サービス技術員がシステム問題の診断のために使用します。ユーザー単独では処置を実行しないでください。戻りコードはライブラリー・サーバーのログ ICMSERVER.LOG に記録されます。ICMSERVER.LOG で戻りコードを見つけるには、戻りコードの番号 (たとえば、ICM4751) またはエラー ID を使用してください。ICMSERVER.LOG の Windows、AIX、および Sun Solaris での位置については、1 ページの『第 1 章 ログインおよびトレース』を参照してください。

ICM4751 **警告: 最大ログオン・ユーザー数に達しました。システム制御パラメーター MAXUSERS は、システム管理者が構成ダイアログで設定します。**

説明: これはただの警告メッセージです。引き続きログオンは可能です。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_LOGON_MAX_USER_WARNING

アクション: 最大同時ユーザー数を増やし、IBM サービス技術員に連絡して追加ライセンスを購入してください。代替策として、最大数に達した場合のシステム・アクションを「警告」に設定し、最大ユーザー数に達してもログオンを許可するようにする方法があります。

ICM7000 **メモリー割り振りエラー。エラーの記録されたサーバー・ログを取得して、IBM サービス技術員に連絡してください。**

説明: ライブラリー・サーバーが、ユーザーが実行した操作に対してメモリーを割り振れません。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_ALLOC_ERROR

アクション: サーバー・ログで詳細を確認して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7001 **変更しようとした属性は、すでにコンポーネント・タイプで使用されています。**

説明: 属性を変更しようとしたが、その属性はすでにコンポーネント・タイプで使用されていました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_ATTRDEF_INUSE

アクション: すでに使用されている属性は、変更しようとししないでください。

ICM7003 **これは内部エラーです。IBM サービス技術員に連絡してください。**

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_COMPILEACL_ERROR

アクション: IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7004 **クライアントとサーバー間の通信のためのデータ・ストリームの作成中に内部エラーが発生しました。テーブル ICMSTSYSCONTROL の TRACELEVEL を -63 に設定してアプリケーションを再実行し、サーバー・ログを保管してから、IBM サービス技術員に連絡してください。**

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_DATASTREAM_BUILD_ERROR

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

| **ICM7005** クライアントとサーバー間の通信のための
| データ・ストリームの構文解析中に内部エ
| ラーが発生しました。テーブル
| **ICMSTSYSCONTROL** の **TRACELEVEL**
| を **-63** に設定してアプリケーションを再
| 実行し、サーバー・ログを保管してから、
| **IBM** サービス技術員に連絡してくださ
| い。

| 説明: なし。

| コンポーネント: ライブラリー・サーバー

| エラー ID: RC_DATASTREAM_PARSE_ERROR

| アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従
| ってください。

ICM7006 コンポーネント・テーブルへのアクセスに
必要なアクセス・モジュールをロードでき
ません。サーバー・ログに、アクセス・モ
ジュールの名前と、作成されるはずのコン
ポーネント・タイプが記録されています。
項目タイプを削除後、再作成し、アクセ
ス・モジュールが正しく作成されているか
確認してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_DLL_LOAD_ERROR

アクション: サーバー・ログでアクセス・モジュールの
名前と作成されるはずのコンポーネント・タイプを確認
し、これらが正しく作成されているか確認してくださ
い。

ICM7007 コンポーネント・テーブルへのアクセスに
必要なアクセス・モジュールが正しく作成
されていません。サーバー・ログに、アク
セス・モジュールの名前と、
blhaWhWuilt であるはずのコンポーネン
ト・タイプが記録されています。項目タイ
プを削除後、再作成し、アクセス・モジ
ュールが正しく作成されているか確認してく
ださい。

説明: コンポーネント・テーブルへのアクセスに必要な
アクセス・モジュールが正しく作成されていません。ア
クセス・モジュールや項目タイプが誤っていると、この
エラーが発生する可能性があります。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_DLL_NOT_READY

アクション: サーバー・ログでアクセス・モジュールの

名前と作成されるはずのコンポーネント・タイプを確認
し、これらが正しく作成されているか確認してくださ
い。

ICM7008 「アクセス・モジュール」の実行中にエラ
ーが発生しました。サーバー・ログを保管
して、**IBM** サービス技術員に連絡してく
ださい。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_DLL_UNEXPECTED_ERROR

アクション: サーバー・ログでアクセス・モジュールの
名前と作成されるはずのコンポーネント・タイプを確認
し、これらが正しく作成されているか確認してくださ
い。

ICM7009 定義しようとしている属性はすでに存在し
ています。

説明: ライブラリー・サーバーにすでに存在する属性を
定義しようとしてしました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_DUPLICATE_ATTRDEF

アクション: なし。

ICM7010 定義しようとしている属性名はすでに存在
しています。これは内部エラーです。
IBM サービス技術員に連絡してくださ
い。

説明: 属性名を定義しようとしてしましたが、その属性名は
すでに存在しています。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_DUPLICATE_NLSKEYWORDDEF

アクション: **IBM** サービス技術員に連絡してくださ
い。

ICM7011 アクセス・モジュールまたは出口に、必要な関数名が含まれていません。サーバー・ログを確認して、アクセス・モジュールをロード中であったことが判明した場合は、項目タイプを削除して再作成し、再度実行してください。問題が解決しない場合は、**IBM** サービス技術員に連絡してください。出口をロード中のエラーであった場合は、出口のドキュメンテーションを見直して、適切な関数名およびパラメーターを判別してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_GET_PROC_ADDRESS_ERROR

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7013 **SQL** タイプは **AutoFolding** ではサポートされません。トレース・レベルを **Detailed** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID:

RC_UNEXPECTED_AUTO_FOLDER_ERROR

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7015 ライブラリー・サーバーでの **SQL** 操作中に、予期しないエラーが発生しました。エラーの詳細を確認するには、**DB2** のコマンド・プロンプトから、**DB2 ? SQLnnnn** と入力してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_UNEXPECTED_SQL_ERROR

アクション: 詳しくは、「**IBM DB2** ユニバーサル・データベース バージョン 7.1 メッセージ解説書」を参照してください。

ICM7016 項目またはコンポーネントのレコードの作成または更新要求が出されましたが、**NOT NULL** と定義された属性に値が指定されていません。 **NOT NULL** 属性に対しては値を要求するようにアプリケーションに変更を行ってください。

説明: 項目またはコンポーネントのレコードの作成または更新を要求しましたが、 **NOT NULL** と定義された属性に値を指定していませんでした。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_ATTRIBUTE_VALUE_REQUIRED

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7017 **Reference** リソース・コンポーネント・タイプは、項目を取得するときには必ずフィルター操作で除外する必要があります。

説明: **Reference** リソース・コンポーネント・タイプは、項目を取得するときには必ずフィルター操作で除外する必要があります。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_REF_RESOURCE_INPUT_ERROR

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7019 環境変数「**ICMROOT**」が定義されていません。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_ICMROOT_VAR_NOT_FOUND

アクション: 環境変数 **ICMROOT** を定義してください。

ICM7020 テーブル **ICMSTSYSCONTROL** へのアクセス中にエラーが発生しました。詳細についてはサーバー・ログを参照してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_ICMSYSCONTROL_ACCESS_ERROR

アクション: サーバー・ログで詳細を確認して、 **IBM** サービス技術員に連絡してください。

ICM7022 ディレクトリーを作成できません。ライブラリー・サーバーのログ・ファイルに、ディレクトリー名その他の諸情報が記録されています。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_MAKE_DIR_ERROR

アクション: サーバー・ログで詳細を確認して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7023 このキーワードはすでに定義されています。これは内部検査の結果起こるもので、(たとえば、) システム管理 API から定義しようとしたオブジェクトの名前が、そのタイプのオブジェクトにすでに存在している場合などを表しています。そのオブジェクトに対して異なる名前を入力するか、アプリケーションを修正してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_KEYWORD_INUSE

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7024 ユーザー定義のリンク・タイプを作成する際、指定された名前がすでに使用されていました。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_LINKTYPE_INUSE

アクション: このリンク・タイプに異なる名前を指定してください。

ICM7025 これは内部エラーです。IBM サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_DUPLICATE_PRIVDEFCODE

アクション: IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7027 定義しようとしている名前はすでに存在しています。別の名前を入力するか、アプリケーションを修正してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_DUPLICATE_NAME

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7028 内部テスト専用です。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_SQL_PREPARE_BIND_ERROR

アクション: IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7030 内部テスト専用です。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_CHILD_TYPE_VALIDATION_ERROR

アクション: IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7037 内部テスト専用です。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_COMPONENT_STRUCT_POINTER_ERROR

アクション: IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7038 内部テスト専用です。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_ITEM_VALIDATION_FAILED

アクション: IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7039 内部テスト専用です。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_CHILDTYPE_STRUCT_SIZE

アクション: IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7040 内部テスト専用です。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID:

RC_CHILD_TYPE_STRUCT_POINTER_ERROR

アクション: IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7043 内部エラー - 無効な **AutoLinkSMS** コードです。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_GET_RM_DEFAULT_ERROR

アクション: IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7044 これは内部エラーです。サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_RM_DEFAULT_VALUE_NOT_FOUND

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7046 構文解析されるエレメント ID が指定のエレメント ID と一致しません。
ICMSTSYSCONTROL の **TRACELEVEL** を **-63** に更新してアプリケーションを再実行し、サーバー・ログを保管してから、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID:

RC_PARM_ELEMENTID_CONFLICT_ERROR

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7047 構文解析されるデータ・タイプが指定のデータ・タイプと一致しません。
ICMSTSYSCONTROL の **TRACELEVEL** を **-63** に更新してアプリケーションを再実行し、サーバー・ログを保管してから、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID:

RC_PARM_DATATYPE_CONFLICT_ERROR

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7048 指定のデータ・タイプが不明です。
ICMSTSYSCONTROL の **TRACELEVEL** を **-63** に更新してアプリケーションを再実行し、サーバー・ログを保管してから、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_PARM_UNKNOWN_TYPE_ERROR

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7049 構文解析される値の長さが、構文解析で指定された長さを超えています。
ICMSTSYSCONTROL の **TRACELEVEL** を **-63** に更新してアプリケーションを再実行し、サーバー・ログを保管してから、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_PARM_BUFFER_TOO_SMALL_ERROR

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7050 指定のエレメント ID が無効です。
ICMSTSYSCONTROL の **TRACELEVEL** を **-63** に更新してアプリケーションを再実行し、サーバー・ログを保管してから、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_PARM_INVALID_ELEMENTID_ERROR

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7051 削除しようとした **Keywordcode** および **KeywordClass** はシステム定義です。

説明: システム定義の定義は削除できません。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_KEYWORD_DELETE_ERROR

アクション: システム定義の定義は削除しないでください。

ICM7052 更新しようとした **Keywordcode** および **KeywordClass** はシステム定義です。

説明: システム定義の定義は更新できません。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_KEYWORD_UPDATE_ERROR

アクション: システム定義の定義は更新しないでください。

ICM7053 特権セット・コードの作成中に内部エラーが発生しました。サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_DUPLICATE_PRIVSETCODE

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7054 特権グループ・コードの作成中に内部エラーが発生しました。サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_DUPLICATE_PRIVGROUPCODE

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7055 **NULL** 標識を指定せずに **NULL** 値が指定されました。これは内部エラーです。サーバー・トレースを **Basic** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_PARM_NULL_INDICATOR_ERROR

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7056 **NULL** 不可の値に **NULL** 値が指定されました。これは内部エラーです。サーバー・トレースを **Basic** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID:
RC_PARM_NULL_INDICATOR_TYPE_ERROR

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7057 これは内部エラーです。サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID:

RC_INVALID_ATTRIBUTE_STRUCT_POINTER

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7058 内部テスト専用です。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_GET_COMPTYPE_INFO_ERROR

アクション: IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7059 指定されたリソース・マネージャーおよびコレクション・コードが定義されていません。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_COLLECTION_NAME_NOT_FOUND

アクション: リソース・マネージャーおよびコレクション・コードを定義してください。

ICM7064 **Text Information Extender Text Information Extender** ライブラリー・サーバーが **Text Information Extender (TIE)** に **TIE** 索引の作成、更新、または削除を要求した際に、予期しないエラーが発生しました。詳細は、ライブラリー・サーバーのログを参照してください。ライブラリー・サーバーからの外部戻りコードを参照して、**DB2 UDB TIE** の資料で **TIE** エラー・メッセージを確認してください。問題を訂正して、やり直してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_TS_INDEX_ERROR

アクション: 詳しくは、DB2 UDB Text Information Extender の資料を参照してください。

ICM7065 内部テスト専用です。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_TRANSACTION_PENDING

アクション: IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7066 **NLS** 言語テーブルに定義しようとした言語コードはすでに存在します。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_DUPLICATE_LANGUAGECODE

アクション: なし。

ICM7067 追加しようとしたユーザー **ID** はすでに存在します。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_DUPLICATE_USERID

アクション: なし。

ICM7068 変更不可のシステム属性を変更しようとしてしました。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_SYSTEM_ATTR_NOT_CHANGEABLE

アクション: このシステム属性は変更しないでください。

ICM7069 指定された **MimeTypeID** は存在しません。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_MIMETYPEID_NOT_FOUND

アクション: ライブラリー・サーバーに存在する **MimeTypeID** を指定してください。

ICM7070 内部テスト専用です。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_EVENT_RECORD_NOT_FOUND

アクション: IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7071 指定されたコンポーネント・ビューは項目タイプ・ビューの定義で使用されているため、削除することはできません。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_COMPVIEW_INUSE

アクション: このコンポーネント・ビューは削除しないでください。

ICM7072 作業パッケージは、優先順位 (Priority (0)) または最終アクセス時間 (Last Accesstime (1 または 2)) によって順序付けることができます。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_ORDERBY

アクション: 優先順位または最終アクセス時間によって作業パッケージを順序付けてください。

ICM7074 生成する SQL が許容最大長を超えています。アプリケーションを変更するか、照会を単純化してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_MAX_SQL_LEN_ERROR

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7075 指定のリソース・マネージャーがこのドメインの関連付けされたコレクションによって使用されているため、このドメイン ID の更新が拒否されました。

説明: ドメイン ID を更新しようとしたますが、指定のリソース・マネージャーがこのドメインの関連付けされたコレクションによって使用されています。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_RM_INUSE

アクション: このドメイン ID は更新しないでください。

ICM7076 指定されたドメインは、他のオブジェクトによって使用されているため削除できません。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_DOMAIN_INUSE

アクション: 指定のドメインは削除しないでください。

ICM7077 ドメインの指定の ACL は、他のユーザーまたはグループによって使用されているため削除できません。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_DOMAIN_ACL_INUSE

アクション: ドメインの指定のアクセス制御リストは削除しないでください。

ICM7078 ドメインの指定の特権セットは、他のユーザーまたはグループによって使用されているため削除できません。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_DOMAIN_PRIVSET_INUSE

アクション: ドメインの指定の特権セットは削除しないでください。

ICM7079 TIE ユーザーのパスワードが NULL です。システム管理者に連絡して、システム管理クライアントから TIE のパスワードを更新してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_PASSWORD_COLUMN_NULL

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7080 他のトランザクションが使用しているテーブルに対して **SQL** コマンドが実行されました。 **SQL** の戻りコード **-911** が戻されます。詳細については、**DB2** コマンド・ウィンドウで **DB2 ? SQL0911N** と入力してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_LOCKTIMEOUT_ERROR

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7081 **XDO** クラスは、項目タイプに対してすでに定義されています。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_XDO_CLASS_IN_USE

アクション: **XDO** クラスを重複定義しないでください。

ICM7082 **ICMSTCOMPDEFS**
(**ICMSTCOMPVIEWDEFS** と結合) で
ComponentTypeClass が見つかりません。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_COMPTYPECLASS_NOT_FOUND

アクション: サーバー・ログを確認して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7084 **Text Information Extender (TIE)** の索引の作成、更新または削除要求が出されましたが、**ICMSTSYSCONTROL** テーブルの **TIEUSERID** 列が **NULL** であるため、ライブラリー・サーバーが **TIE** に接続できません。資料を参照してライブラリー・サーバーでテキスト検索を可能にする方法を確認し、再度実行してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_TIEUSERID_NULL

アクション: 詳しくは、「*Content Manager* システム管理の手引き」を参照してください。

ICM7085 項目タイプの関係を定義する際、ソースは文書または **ItemTypeClass=2** の項目タイプでなければなりません。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_SOURCE_ITEM_TYPE_NOT_DOC

アクション: メッセージ・テキストにある指示に従ってください。

ICM7086 項目タイプの関係を定義する際、ターゲットはパーツまたは **ItemTypeClass=3** の項目タイプでなければなりません。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_TARGET_ITEM_TYPE_NOT_PART

アクション: メッセージ・テキストにある指示に従ってください。

ICM7087 一時ポインターが配列サイズ (2500) を超えています。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_TEMP_PTRS_OUT_OF_BOUNDARY

アクション: 一時ポインターは配列サイズ (2500) を超えてはいけません。

ICM7088 システム定義属性の **TestSearch** ビットがオンになっていますが、これは許可されていません。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_SYSATTR_CANT_BE_TXTSRCH

アクション: **TestSearch** ビットをオフにしてください。

ICM7094 このユーザー ID はすでにログオンしています。

説明: この戻りコードは、出口のみが使用します。
Content Manager がこれを理由としてログオンを拒否することはありません。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_ALREADY_LOGGED_ON

アクション: なし。

ICM7096 指定された項目 ID が存在しません。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_TARGET_ITEMID_NOT_FOUND

アクション: 有効な項目 ID を指定してください。

ICM7097 作成しようとした文書には、項目タイプ関係が定義されていません。

説明: システム管理者が文書項目タイプを定義しましたが、システム管理クライアントの「文書管理 (Document Management)」タブにパーツ・タイプを指定しませんでした。あるいは、項目タイプを作成したアプリケーションが ItemTypeRelations を定義しなかったことも考えられます。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_ITEM_TYPE_RELATION_NOT_FOUND

アクション: 作成する文書に有効な項目タイプ関係を定義するようにしてください。

ICM7098 指定された新規パスワードが、サーバーのログイン出口によって拒否されました。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_NEWPASSWORD

アクション: サーバー・ログを確認して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7099 これは内部エラーです。サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_USERINFO

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7100 指定された ACL コードが無効です。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_ACTION

アクション: 有効なアクセス制御リスト・コードを指定してください。

ICM7102 これは内部エラーです。サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_ACTION

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7103 これは内部エラーです。サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_ATTRIBUTE_TYPE

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7104 これは内部エラーです。サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_ATTRIBUTE_ID

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7105 属性のサイズが無効です。

説明: これは内部エラーです。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_BLOB_ATTRDEF

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7106 属性のサイズが無効です。

説明: これは内部エラーです。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_CHAR_ATTRDEF

アクション: サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7107 属性のサイズが無効です。

説明: これは内部エラーです。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_CLOB_ATTRDEF

アクション: サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7108 これは内部エラーです。サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_COMP_TYPE_ID

アクション: サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7110 属性のサイズが無効です。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_DBCLOB_ATTRDEF

アクション: サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7111 属性のサイズが無効です。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_DECIMAL_ATTRDEF

アクション: サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7112 デフォルト属性値のデータ・タイプが無効です。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_DEFAULT_VALUE

アクション: サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7119 指定された項目 ID が存在しません。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_ITEMID

アクション: サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7120 これは内部エラーです。サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_ITEM_TYPE_ID

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7121 これは内部エラーです。サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_LINK_TYPE_CODE

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7123 これは内部エラーです。サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_PARAMETER

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7124 これは内部エラーです。サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_PARENT_COMP_TYPE_ID

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7125 **Asynch Recovery** 名に指定されたリソース・マネージャー名が無効です。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_RMNAME

アクション: サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

ICM7127 ユーザー ID が定義されていないか、パスワードが無効です。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_USERID

アクション: サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

ICM7130 新規に指定するユーザー特権セットは、定義者のユーザー特権セット以下のものでなければなりません。

説明: システム管理者の汎用特権セットが、ある操作(たとえば、文書の保管)を許可していない場合、管理者はその操作を許可する特権セットをユーザー定義の定義または変更を使用することはできません。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_USER_PRIVSET

アクション: 定義者のユーザー特権セット以下の新規ユーザー特権セットを指定してください。

ICM7131 これは内部エラーです。サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_VARCHAR_ATTRDEF

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7137 指定された言語コードが定義されていません。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_LANGUAGECODE

アクション: サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

ICM7138 属性タイプが正しく指定されていません。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_SYSTEM_ATTRIBUTE

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7141 キーワード・コードが正しく指定されていません。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_KEYWORDCODE

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7143 キーワードの更新記述にキーワード・クラスが指定されていません。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_KEYWORDCLASS

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7148 指定された ACL バインディング・レベルがシステムに定義されていません。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_ACLBINDING

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7151 内部テスト専用です。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_RCSTRUCT

アクション: なし。

ICM7152 内部テスト専用です。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_CONNECT_STRUCTPTR

アクション: なし。

ICM7153 内部テスト専用です。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_CONNECT_STRUCT

アクション: なし。

ICM7154 内部テスト専用です。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_SESSION_STRUCTPRTR

アクション: なし。

ICM7155 内部テスト専用です。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_SESSION_STRUCT

アクション: なし。

ICM7156 内部テスト専用です。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_PRIVCODE

アクション: なし。

ICM7158 内部テスト専用です。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_PRIVSET

アクション: なし。

ICM7159 内部テスト専用です。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_PASSWORD_CHANGE_ERROR

アクション: なし。

ICM7160 最大同時ユーザー数に達しました。

説明: 最大同時ユーザー数に達したため、ログオンが拒否されました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_LOGON_MAX_USER_ERROR

アクション: 最大同時ユーザー数を増やし、IBM サービス技術員に連絡して追加ライセンスを購入してください。代替策として、最大数に達した場合のシステム・アクションを『警告』に設定し、最大ユーザー数に達してもログオンを許可するようにする方法があります。

ICM7161 内部テスト専用です。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_PRIVGP

アクション: なし。

ICM7162 ICMLogon によって作成された UserToken が変更されています。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_USERTOKEN

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7164 使用されるイベント・コードが定義されていません。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_EVENTCODE

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7165 内部テスト専用です。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_DATABASE_NOT_STARTED

アクション: なし。

ICM7166 属性名の長さが 15 を超えています。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_ATTRIBUTE_NAME

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7167 これは内部エラーです。サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_MISSING_INPUT_DATA

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7168 これは内部エラーです。サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_TRANID_NOT_FOUND

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7169 sLinkOption > 2 または sLinkOption < 0 が指定されました。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_LINK_OPTION

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7170 内部エラーが発生しました。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_TRANID_NOT_PROVIDED

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7171 **Content Manager** にログオンする際に、新規のパスワードを指定する必要があります。

説明: 指定されたパスワードの有効期限が切れています。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_PASSWORD_EXPIRED

アクション: 新規のパスワードを指定してください。

ICM7172 指定されたパスワードがこのユーザー ID に対して無効であるか、NULL です。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_PASSWORD

アクション: このユーザー ID に対して有効なパスワードを指定してください。

ICM7173 **Content Manager** への最大ログオン失敗回数に達しました。システム管理者に、新規のパスワードを問い合わせてください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_MAX_LOGON_PASSWORD_ENTRY

アクション: システム管理者に、新規のパスワードを問い合わせてください。

ICM7174 使用されている複合属性名が正しく指定されていません。

説明: 複合属性名の長さが 32 文字を超えているか、記述の長さが 254 文字を超えています。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_COMPOSITEATTR_NAME

アクション: 複合属性名は 32 文字を、記述は 254 文字を超えないようにしてください。

ICM7175 使用されている複合属性記述が正しく指定されていません。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_COMPOSITEATTR_DESC

アクション: IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7176 内部テスト専用です。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_CONNECTION_CLOSED

アクション: なし。

ICM7178 内部テスト専用です。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_TARGET_NOT_AUTOLINK_ENABLED

アクション: なし。

ICM7179 自動リンクを定義中に、一連のフォルダーが循環またはループになりました。たとえば、フォルダー **A** が **B** を含み、**B** が **C** を含み、**C** が **A** を含む場合などです。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_CYCLIC_LINK_ERROR

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7180 内部エラーが発生しました。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_INDICATOR_LISTALL

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7181 これは内部エラーです。サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_LIMIT_MALLOC_PTR_ERROR

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7182 これは内部エラーです。サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_LIMIT_NUM_INPUT_IDS

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7183 これは内部エラーです。サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_LIMIT_CHILD_COMPONENT

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7184 これは内部エラーです。サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_LIMIT_HIERARCH_LEVEL

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7185 これは内部エラーです。サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_LIMIT_TABLE_PERLEVEL

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7186 これは内部エラーです。サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_LIMIT_COMPONENTIDS

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7187 コンポーネント・タイプを更新できません。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_UPDATE_NOT_ALLOWED

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7188 項目タイプの種別および XDO クラス ID に対してすでにコンポーネント・タイプが定義されている場合、これらの種別および ID を更新することはできません。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_COMP_TYPE_ALREADY_DEFINED

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7189 このワークフロー・ダイアグラムは、他のユーザーによってチェックアウトされています。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_DIAGRAM_CHECKOUT

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7190 このワークフロー・ダイアグラムはチェックアウトされていません。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_DIAGRAM_NOT_CHECKEDOUT

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7191 この DB2 ユーザー ID に、異なる Content Manager ユーザー ID を使用してログオンする特権がありません。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID:
RC_PRIV_ALLOWCONNECT_TOLOGON_ERROR

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7193 環境変数 **ICMDLL** が定義されていません。この **ICMDLL** 環境変数は、出口で使用する **DLL** またはコンポーネント・テーブルへのアクセスで使用する **DLL** を探す際に使用します。ライブラリー・サーバー・データベースのインスタンスは、この環境変数がすでにエクスポートされているセッションから開始しておくようにしてください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_ICMDLL_VAR_NOT_FOUND

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7194 環境変数 **ICMCOMP** が定義されていません。この変数は、コンパイラーがインストールされているパスに設定しなければなりません。ライブラリー・サーバー・データベースのインスタンスは、この環境変数がすでにエクスポートされているセッションから開始しておくようにしてください。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_ICMCOMP_VAR_NOT_FOUND

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7195 属性の最小値が無効です。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID:
RC_INVALID_MIN_VALUE_FOR_INTEGER

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7196 属性の最小値が無効です。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID:
RC_INVALID_MIN_VALUE_FOR_SMALLINT

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data

に設定して、アプリケーションを再実行してください。
サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7198 データベースへの接続に使用されたユーザー ID に、パスワードを使用せずにログオンする特権がありません。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_PRIV_TRUSTEDLOGON_ERROR

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。
サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7199 これは内部エラーです。サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_ATTRIBUTE_NOT_FOUND

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7200 データベースの XDOClassID の値が無効です。有効な値は 1 ～ 5 です。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_XDOCLASSID

アクション: 有効な値を持つ XDOClassID を指定してください。

ICM7201 ユーザーに項目をチェックアウトする特権がありません。

説明: ユーザーにこれらの項目をチェックアウトする特権がありません。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_PRIV_CHECKOUTITEM_ERROR

アクション: これらの項目はチェックアウトしないでください。

ICM7205 ユーザーに項目を削除する特権がありません。

説明: ユーザーにこれらの項目を削除する特権がありません。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_PRIV_DELETEITEM_ERROR

アクション: これらの項目は削除しないでください。

ICM7207 ユーザーに項目タイプをリストする特権がありません。

説明: ユーザーにこれらの項目タイプをリストする特権がありません。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_PRIV_ITEMTYPE_ERROR

アクション: これらの項目タイプはリストしないでください。

ICM7211 ユーザーに項目を照会する特権がありません。

説明: ユーザーにこれらの項目を照会する特権がありません。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_PRIV_QUERYITEM_ERROR

アクション: これらの項目は照会しないでください。

ICM7215 ユーザーには、要求した操作を実行するための特権がありません。ライブラリー・サーバーから戻される理由コードに、特権コードが示されています。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_PRIV_GENERAL_ERROR

アクション: サーバー・ログで詳細を確認して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7220 接続されたユーザー ID は、項目の更新を許可されていません。

説明: ユーザーにこの項目を更新する特権がありません。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_PRIV_UPDATE_ITEM_ERROR

アクション: この項目は更新しないでください。

ICM7221 内部エラーが発生しました。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_PRIV_SELECT_ERROR

アクション: サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7231 ユーザーには、項目に対して要求した操作を実行するための特権がありません。

説明: ユーザーには、項目に対して要求した操作を実行するための特権がありません。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_PRIV_ITEM_ACL_ERROR

アクション: 要求した操作は実行しないでください。

ICM7232 ユーザーには、項目タイプ・ビューに対して要求した操作を実行するための特権がありません。

説明: ユーザーには、項目タイプ・ビューに対して要求した操作を実行するための特権がありません。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_PRIV_ITEMVIEW_ERROR

アクション: 要求した操作を実行しないか、この項目タイプ・ビューのアクセス制御リストで、このユーザーと関連付けられた特権セットに項目ビューの特権を定義してください。

ICM7233 ユーザーに項目を作成する特権がありません。

説明: ユーザーにこの項目を作成する特権がありません。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_PRIV_CREATE_ITEM_ERROR

アクション: なし。

ICM7236 ユーザーに文書を削除する特権がありません。

説明: ユーザーにこの文書を削除する特権がありません。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_PRIV_DELETE_DOC_ERROR

アクション: この文書は削除しないでください。

ICM7250 コンポーネント・タイプの最大コンポーネント・レコード数を超過しました。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_COMPONENT_CARDINALITY_ERROR

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7251 指定のコンポーネント・タイプと関連付けられた属性がありません。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_COMPONENT_ATTRS_NOT_FOUND

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7254 これは内部エラーです。サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID:

RC_COMPONENT_VIEW_NAME_NOT_FOUND

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7302 内部エラーが発生しました。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_COMPTYPE_CREATE_INDEX_ERROR

アクション: サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7304 コンポーネント・テーブルのビューを作成中にエラーが発生しました。サーバー・ログで **DB2** のエラーを確認してください。必要に応じて、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_COMPTYPE_CREATE_VIEW_ERROR

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7305 コンポーネント・テーブルにアクセスするための **DLL** を作成中にエラーが発生しました。サーバー・ログでアクセス・モジュールの名前を確認し、対応する **ICMxxxx.TX** ファイル (たとえば、**ICMVxxxx.tx1**) で詳細を確認してください。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_COMPTYPE_PREP_ERROR

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7306 コンポーネント・テーブルにアクセスするための **DLL** を作成中にエラーが発生しました。サーバー・ログでアクセス・モジュールの名前を確認し、対応する **ICMxxxx.TX** ファイル (たとえば、**ICMVxxxx.tx2**) で詳細を確認してください。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_COMPTYPE_BIND_ERROR

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7307 コンポーネント・テーブルにアクセスするための **DLL** を作成中にエラーが発生しました。サーバー・ログでアクセス・モジュールの名前を確認し、対応する **ICMxxxx.TX** ファイル (たとえば、**ICMVxxxx.tx3**) で詳細を確認してください。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_COMPTYPE_COMPILE_ERROR

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7308 コンポーネント・テーブルにアクセスするための **DLL** を作成中にエラーが発生しました。サーバー・ログでアクセス・モジュールの名前を確認し、対応する **ICMxxxx.TX** ファイル (たとえば、**ICMVxxxx.tx4**) で詳細を確認してください。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_COMPTYPE_LINK_ERROR

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7309 コンポーネント・テーブルにアクセスするための **DLL** を作成中にエラーが発生しました。サーバー・ログでアクセス・モジュールの名前を確認し、対応する **ICMxxxx.TX** ファイル (たとえば、**ICMVxxxx.tx4**) で詳細を確認してください。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_COMPTYPE_SELECT_ERROR

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7310 コンポーネント・タイプに指定された属性の数が多すぎます (最大 250 個)。

説明: このコンポーネント・タイプに 250 個より多くの属性を指定することはできません。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID:

RC_COMPTYPE_TOO_MANY_ATTRIBUTE_ERROR

アクション: このコンポーネント・タイプには、250 個以下の属性を指定してください。

ICM7311 これは内部エラーです。サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_COMPTYPE_CURSOR_ERROR

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7313 コンポーネント・テーブルにアクセスするための **DLL** を作成中にエラーが発生しました。サーバー・ログでアクセス・モジュールの名前を確認し、対応する **ICMxxxx.TX** ファイルで詳細を確認してください。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_GENERATE_FILE_ERROR

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7314 これは内部エラーです。サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_DOC_COMPTYPE_NOT_FOUND

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7315 これは内部エラーです。サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_COMPONENTTYPEID_NOT_FOUND

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7316 指定されたすべての属性の合計データ量が最大許容量を超えました。より少ないデータを指定するようにアプリケーションを変更してください。

説明: 指定されたすべての属性の合計データ量が最大許容量を超えました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID:
RC_COMPTYPE_TOO_MUCH_DATA_ERROR

アクション: より少ないデータを指定するようにアプリケーションを変更してください。

ICM7317 **ICMSTSYSCONTROL** のレコードにアクセスできません。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_SYS_CONTROL_DATA_NOT_FOUND

アクション: サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

ICM7318 このコンポーネント・タイプの古い **DLL** がすでに存在するため、削除できません。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_COMPTYPE_DLL_ALREADY_EXISTS

アクション: サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

ICM7350 システム定義の項目タイプは削除できません。

説明: システム定義の項目タイプを削除しようとした。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_ITEMTYPE_DELETE_ERROR

アクション: システム定義の項目タイプは削除しないでください。

ICM7351 この項目タイプ名はすでに存在します。

説明: ライブラリー・サーバーにすでに存在する名前の新規項目タイプを作成しようとしてしました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_ITEMTYPE_DUPLICATE_NAME

アクション: 新規の項目タイプ名は固有のものにしてください。

ICM7358 コンポーネントと関連付けられた項目タイプ情報が見つかりません。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_ITEMTYPE_UPDATE_ERROR

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7359 システム定義の項目タイプは更新できません。

説明: システム定義の項目タイプを更新しようとしてしました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_ITEMTYPE_UPDATE_ERROR

アクション: システム定義の項目タイプは更新しないでください。

ICM7360 ICMSTITEMTYPEDEFS で項目タイプ・クラスが見つかりません。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_ITEMTYPECLASS_NOT_FOUND

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7400 要求された項目は、他のユーザーによってすでにチェックアウトされています。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_ITEM_CHECKEDOUT_BYOTHER

アクション: 項目を要求する際には、その項目が他のユーザーによってチェックアウトされていないことを確認してください。

ICM7401 項目レコードの削除中にエラーが発生しました。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_ITEM_DELETE_ERROR

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7402 指定された項目 ID が存在しません。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_ITEM_ID_NOT_FOUND

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7403 固有の項目 ID を作成中にエラーが発生しました。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_ITEM_INSERT_ERROR

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7404 指定された項目は、他の項目にリンクされているため削除できません。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_ITEM_MULTIPLE_PARENTS

アクション: 指定の項目を削除する際には、その項目が他の項目にリンクされていないことを確認してください。

ICM7405 項目をチェックインするには、その項目がチェックアウトされていなければなりません。

説明: 項目をチェックインしようとしたのですが、その項目はチェックアウトされていませんでした。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_ITEM_NOT_CHECKEDOUT

アクション: 項目は、チェックアウトしてからチェックインしてください。

ICM7408 コンポーネント・テーブルのビューを作成中にエラーが発生しました。サーバー・ログで **DB2** のエラーを確認してください。必要に応じて、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_ITEM_SELECT_ERROR

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7409 コンポーネント・テーブルのビューを作成中にエラーが発生しました。サーバー・ログで **DB2** のエラーを確認してください。必要に応じて、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_ITEM_UPDATE_ERROR

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7413 これは内部エラーです。サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_ITEMID_NOT_IN_COMPTYPEID

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7414 これは内部エラーです。サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_LINK_ITEM_EXCEEDS_MAX

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7417 文書項目テーブルのカーソル取り出しで存在しなかった (文書が見つからなかった) 場合に、内部の **ICMgetDOC_TOC** 呼び出しから戻されます。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_GET_ITEMID_FAILED

アクション: サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

ICM7418 これは内部エラーです。サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_VERSIONID_NOT_FOUND

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7419 他のユーザーによってチェックアウトされているため、この項目の項目タイプを変更することはできません。

説明: 項目の項目タイプを変更しようとしたのですが、その項目は他のユーザーによってチェックアウトされていました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_SOURCE_ITEM_CHECKED_OUT

アクション: 項目タイプを変更する際には、その項目が

他のユーザーによってチェックアウトされていないことを確認してください。

ICM7420 要求された新規の項目タイプが、現行の項目タイプと同じです。

説明: 新規の項目タイプを要求しましたが、その新規の項目タイプが現行の項目タイプと同じです。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_REINDX_SAME_ITEM_TYPE

アクション: 異なる項目タイプを要求してください。

ICM7421 リソース項目タイプから非リソース項目タイプ (または非リソース項目タイプからリソース項目タイプ) へ再索引付けすることはできません。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_REINDX_WRONG_ITEM_TYPE_CLASS

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7422 パーツの項目タイプを変更できません。

説明: パーツの項目タイプを変更できません。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_REINDX_FROM_ITEM_TYPE_PART

アクション: パーツの項目タイプは変更しないでください。

ICM7423 項目タイプをパーツに変更できません。

説明: 項目タイプをパーツに変更できません。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_REINDX_TO_ITEM_TYPE_PART

アクション: 項目タイプはパーツに変更しないでください。

ICM7500 ライブラリー・サーバーが、指定の文書ルーティング・プロセス名を見つけられませんか。プロセス名がまだ定義されていないか、すでに削除されています。名前を確認して再度実行してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_DR_PROCESS_NAME_NOT_FOUND

アクション: 文書ルーティング・プロセス名を確認して再度実行してください。

ICM7501 ライブラリー・サーバーが、指定の文書ルーティング・プロセス名にある開始作業ノードを見つけられません。指定のプロセスが有効であるか確認してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID:

RC_DR_START_WORKNODE_NOT_FOUND

アクション: 指定の文書ルーティング・プロセスが有効であるか確認してください。

ICM7502 ライブラリー・サーバーが、指定の作業ノード項目 ID で識別される作業ノード、または現行作業ノードの次の作業ノードを見つけられません。入力を確認し、入力があるようになるようにしてください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_DR_WORKNODE_NOT_FOUND

アクション: 入力を有効なものにしてください。

ICM7503 ライブラリー・サーバーが、指定の作業パッケージ・コンポーネント ID で識別される作業パッケージ、およびその作業ノード項目 ID を見つけれられません。入力を確認し、入力が有効になるようにしてください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_DR_WORKPACKAGE_NOT_FOUND

アクション: 入力を有効なものにしてください。

ICM7506 中断される項目の再開時刻を設定できません。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_DR_SET_RESUMETIME_FAILED

アクション: suspended になる項目の再開時刻は設定しないでください。

ICM7507 指定されたアクション・コードが無効です。

説明: 指定したアクション・コードが無効です。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_DR_INVALID_ACTION_CODE

アクション: 有効なアクション・コードを指定してください。

ICM7508 メニューまたは作業ノードが無効です。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID:
RC_DR_INVALID_MENU_OR_WORKNODE

アクション: メニューまたは作業ノードを有効なものにしてください。

ICM7509 作業ノードの削除に失敗しました。

説明: 作業ノードの削除に失敗しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_DR_DELETE_WORKNODE_ERROR

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7510 要求されたターゲット (文書) 項目 ID が見つかりません。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_DR_DOCITEMID_NOT_FOUND

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7511 要求されたターゲット (文書) 項目タイプ ID を位置指定できません。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_DR_DOCITEMTYPEID_NOT_FOUND

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7512 要求されたワーク・リストが見つかりません。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_DR_WORKLIST_NOT_FOUND

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7513 作業パッケージ内の最終変更時刻が、文書ルーティング・プロセス・テーブル内に記録されている時刻と一致しません。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID:
RC_DR_NO_MATCH_LAST_CHANGED_TIME

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7514 再開リスト・テーブルの項目の削除に失敗しました。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_DR_RESUMELIST_CLEANUP_FAILED

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7515 項目の再開に失敗しました。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_DR_RESUME_ITEM_FAILED

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7516 無効な中断単位が指定されました (1 = 時間、2 = 日)。

説明: 無効な中断単位が指定されました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_DR_INVALID_PARM_SUSPENDUNIT

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7517 無効な中断期間が指定されました (>= 0 でなければなりません)。

説明: 無効な中断期間が指定されました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_DR_INVALID_PARM_SUSPENDTIME

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7518 再開リストの構造体が予期されていましたが、構造体 ID が一致しませんでした。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID:
RC_DR_RESUMELIST_STRUCTID_MISMATCH

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7519 再開リストの構造体に指定された項目タイプが範囲外です。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID:
RC_DR_RESUMELIST_INVALID_ITEMTYPE

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7520 再開リストの構造体に指定された項目タイプが見つかりません。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID:
RC_DR_RESUMELIST_ITEMTYPE_NOT_FOUND

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7521 再開リストの項目タイプの必須数量が無効です (>= 0 でなければなりません)。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID:
RC_DR_RESUMELIST_INVALID_QUANTITY

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7522 作業項目の優先順位の変更に失敗しました。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_DR_CHANGEPRIORITY_FAILED

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7523 項目の中断に失敗しました。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_DR_SUSPEND_ITEM_FAILED

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7524 ライブラリー・サーバーが、文書ルーティング・プロセスで再帰的にループするコレクション・ポイントを検出しました。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_DR_CP_SELF_LOOP_ERROR

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7525 項目による中断には、フォルダーの文書タイプが必要です。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_DR_SUSBYITEM_REQUIRES_FOLDER

アクション: サーバー・トレースを Detail および Data に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7526 項目による中断の再開リストの要件はすでに満たされています。アクションは実行されませんでした。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID:
RC_DR_SUSBYITEM_REQUIREMENTS_MET

アクション: なし。

ICM7600 内部エラーが発生しました。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_MI_ERR_START_USING_DB_FAILURE

アクション: サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7601 内部エラーが発生しました。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_MI_ERR_BINDING

アクション: サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7602 内部エラーが発生しました。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_MI_EXPORTING_TABLE

アクション: サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7604 内部エラーが発生しました。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_ATTR_NOT_SHARED

アクション: サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

| **ICM7651** 複製規則のソースとターゲットは異なるドメインにあります。

| 説明: 複製規則のソースとターゲットは異なるドメインにあります。

| コンポーネント: ライブラリー・サーバー

| エラー ID: RC_REPL_INSERT_RULE_WITH_DIFF_DOMAIN_ERROR

| アクション: サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

| **ICM7652** 8.1 OOAPI は複製が使用可能な項目タイプの項目を作成または更新しようとしました。8.2 OOAPI 以上が必要です。

| 説明: 8.1 OOAPI は複製が使用可能な項目タイプの項目を作成または更新しようとしました。8.2 OOAPI 以上が必要です。

| コンポーネント: ライブラリー・サーバー

| エラー ID:
| RC_REPL_REPLICATION_ENABLED_ERROR

| **アクション:** サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7701 内部エラーが発生しました。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID:

RC_ASYNCRC_FETCH_TRANSTATUS_ERROR

アクション: サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7702 内部エラーが発生しました。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID:

RC_ASYNCRC_TRANID_NOTINLIST_ERROR

アクション: サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7703 内部エラーが発生しました。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_ASYNCRC_GET_EXPIRETIME_FAILED

アクション: サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7704 内部エラーが発生しました。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_ASYNCRC_DELETE_TRANS_FAILED

アクション: サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7705 内部エラーが発生しました。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_ASYNCRC_INVALID_ACTION_CODE

アクション: サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7706 内部エラーが発生しました。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_ASYNCRC_RELEASE_RM_ROW_ERROR

アクション: サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7707 内部エラーが発生しました。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_ASYNCRC_GET_RMLOCK_ERROR

アクション: サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7708 内部エラーが発生しました。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_ASYNCRC_INVALID_TXLIST_SIZE

アクション: サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7709 内部エラーが発生しました。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_ASYNCRC_DECL_RMLOCK_ERROR

アクション: サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7710 内部エラーが発生しました。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_ASYNCRC_FREE_RMLOCK_ERROR

アクション: サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7711 内部エラーが発生しました。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_ASYNCRC_DECL_TOBEDEL_ERROR

アクション: サーバー・ログを保管して、IBM サービス

ス技術員に連絡してください。

ICM7712 内部エラーが発生しました。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_ASYNCRC_OPEN_TOBEDEL_ERROR

アクション: サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7713 内部エラーが発生しました。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID:
RC_ASYNCRC_EXEC_CLEANTBDTAB_ERROR

アクション: サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7750 長時間トランザクションが進行中です。進行中のトランザクションのユーザー ID については **ICMSERVER.LOG** を参照してください。バックアップを開始する前にすべてのトランザクションが完了したか確認してください。

説明: 長時間トランザクションが進行中です。進行中のトランザクションのユーザー ID については **ICMSERVER.LOG** を参照してください。バックアップを開始する前にすべてのトランザクションが完了したか確認してください。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID:
RC_QUIESCE_TRANSACTION_IN_PROGRESS

アクション: サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7751 サーバーがバックアップのために一時停止しています。後でやり直してください。

説明: サーバーがバックアップのために一時停止しています。後でやり直してください。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_QUIESCE_SERVER_PAUSED

アクション: サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7752 トランザクションは最大許容時間を超え、サーバー休止要求が出されたために終了します。

説明: トランザクションは最大許容時間を超え、サーバー休止要求が出されたために終了します。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID:
RC_QUIESCE_TX_MAXDURATION_EXCEEDED

アクション: サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7914 定義しようとしている項目タイプはすでに存在しています。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_ITEM_TYPE_ALREADY_EXISTS

アクション: サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7915 **updateObjData()** の呼び出し中に内部エラーが発生しました。IBM サービス技術員に連絡し、トレース・レベル **15** で実行したサーバー・ログを提出してください。

説明: 関数 **updateObjData()** の呼び出し中に内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_TIEREF_DATA_NOT_PROVIDED

アクション: IBM サービス技術員に連絡し、トレース・レベル **15** で実行したサーバー・ログを提出してください。トレース・レベルが **15** でない場合は、**15** に設定して、アプリケーションを再実行してください。

ICM7916 これは内部エラーです。サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_CONSTRAINT_NAME

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7917 アプリケーションが **ICMget_ItemType** を呼び出す際、ユーザーが 1 つ以上の特権コード (または指定なし、つまりデフォルトの「項目タイプの特権の照会 (**Query Item Type Privilege**)」)、および 1 つ以上の項目タイプ (または指定なし、つまりすべて) を指定する場合があります。ユーザーに、要求された項目タイプの表示を許可する **ACL** コードがない場合、この戻りコードが戻されます。また、カーソルはオープンされません。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_NOT_AUTH_FOR_ANY_ITEMTYPE

アクション: サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7918 このコンポーネントと関連付けられた項目タイプの「ルート」コンポーネントが存在しません。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_PARENT_COMP_TYPE_NOT_FOUND

アクション: サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7920 これは内部エラーです。サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_UNEXP_SQL_PREP_SEL_QUERY

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7921 これは内部エラーです。サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_UNEXP_SQL_OPEN_CUR_QUERY

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7922 これは内部エラーです。サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_UNEXP_SQL_GET_ACL_ERROR

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7932 これは内部エラーです。サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_UNEXP_SQL_CHILD_CHK

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7933 これは内部エラーです。サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_UNEXP_SQL_ROW_CHK

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7934 これは内部エラーです。サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_UNEXP_SQL_SEL_PREP_CUR

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7935 これは内部エラーです。サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_UNEXP_SQL_COMPNT_FETCH

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7944 これは内部エラーです。サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_UNEXP_SQL_COUNT_ATTRIDS

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7947 これは内部エラーです。サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_UNEXP_SQL_PREP_SEL_ITEMTYPES

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7967 これは内部エラーです。サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_PARM_VALIDATION_FAILURE

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7968 削除しようとしているコンポーネント・タイプが、テーブル中に行を含んでいるか、**1000** より小さいものである場合 (つまり、システム定義)、**ICMdefine_CompType** ストアード・プロシージャにより、これが戻されます。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_DEL_NOT_ALLOWED

アクション: サーバー・ログを保管して、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

ICM7969 削除しようとしているコンポーネント・タイプが、テーブル中に行を含んでいるか、**1000** より小さいものである場合 (つまり、システム定義)、**ICMdefine_CompType** ストアード・プロシージャにより、これが戻されます。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_CREATE_NOT_ALLOWED

アクション: サーバー・ログを保管して、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

ICM7971 指定されたコンポーネント数がゼロよりも小さい値です。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID:
RC_NUM_COMPONENTS_LESS_THAN_ZERO

アクション: サーバー・ログを保管して、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

ICM7972 これは内部エラーです。サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_PROCESS_COMPONENT_ERROR

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7973 これは内部エラーです。サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID:
RC_NUM_ATTRIBUTES_LESS_THAN_ZERO

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7975 これは内部エラーです。サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID:
RC_NUM_CHILD_TYPES_LESS_THAN_ZERO

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7978 これは内部エラーです。サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_GET_SYS_CONTROL_INFO_ERROR

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7980 これは内部エラーです。サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_GET_COMP_TYPE_INFO_FAILED

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7981 指定された子コンポーネントの行数が、このコンポーネント・タイプの定義で必須とされる最小行数よりも少なくなっています。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID:
RC_CARDINALITY_LESS_THAN_MINIMUM

アクション: サーバー・ログを保管して、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

ICM7986 これは内部エラーです。サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_NUM_ATTRIBUTES_IS_ZERO

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7987 これは内部エラーです。サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、**IBM** サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_ACTION_CODE

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7988 子コンポーネント項目を作成しようとしたが、指定された親コンポーネント ID の長さが誤っています。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_PARENT_COMPONENT_ID

アクション: サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7989 これは内部エラーです。サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_NUM_OF_COMPATTRS_IS_ZERO

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7990 これは内部エラーです。サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_UNEXP_SQL_COMPTTYPE_FETCH

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7991 指定されたコンポーネント・タイプが見つかりません。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_COMPONENT_TYPE

アクション: サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7993 指定されたアクション・レコードが見つかりません。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_ACTION_RECORD_NOT_FOUND

アクション: サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7994 指定されたコンポーネント ID が見つかりません。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_COMPONENT_ID

アクション: サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7995 指定されたワークフロー・イベントが見つかりません。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_WORKFLOW_EVENT_NOT_FOUND

アクション: サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7996 定義しようとしている XDO オブジェクト・ファクトリーはすでに存在しています。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_DUPLICATE_XDOFACTORY

アクション: サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7997 定義しようとしている XDO オブジェクトはすでに存在しています。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_DUPLICATE_XDOOBJECT

アクション: サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM7998 これは内部エラーです。サーバー・トレースを **Detail** および **Data** に設定して、アプリケーションを再実行してください。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_ATTRIBUTE

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM7999 定義済み **CONSTRAINT** のテーブル **ICMSTCOMPATTRSFK** にアクセス中に、**DB2** エラーが発生しました。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RC_INVALID_FK_CONSTRAINT

アクション: サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM8000 **RC_DEL_NOT_ALLOWED** 戻りコードの補足です。子コンポーネント・タイプがあるため、そのコンポーネント・タイプを削除できないことを示しています。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RSN_COMPNT_HAS_CHILD

アクション: サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM8001 **RC_DEL_NOT_ALLOWED** 戻りコードの補足です。テーブルに行があるため、そのコンポーネント・タイプを削除できないことを示しています。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RSN_COMPNT_TBL_HAS_ROWS

アクション: サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM8002 **RC_CREATE_NOT_ALLOWED** 戻りコードの補足です。属性グループが指定されたが、そのグループのすべての属性が入力として送られたわけではないため、そのコンポーネント・タイプを作成できないことを示しています。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RSN_ATTR_PAIRS_COUNT_ERROR

アクション: サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM8003 **RC_CREATE_NOT_ALLOWED** 戻りコードの補足です。属性グループが指定されたが、いずれかの属性 / グループの **ID** のペアが **ICMSTATTRGROUP** テーブルで見つからないため、そのコンポーネント・タイプを作成できないことを示しています。ストアド・プロシージャは内部使用専用です。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RSN_ATTR_PAIR_NOT_FOUND

アクション: サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM8004 **RC_INVALID_PARAMETER** 戻りコードの補足です。属性グループが指定されたが、いずれかの属性 / グループの **ID** のペアが **ICMSTATTRGROUP** テーブルで見つからないため、そのコンポーネント・タイプを作成できないことを示しています。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RSN_INVALID_COMP_ATTR_PAIR

アクション: サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM8005 内部エラーが発生しました。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RSN_USER_AUTH_FAILED

アクション: サーバー・ログを保管して、IBM サービス

ス技術員に連絡してください。

ICM8006 内部エラーが発生しました。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RSN_UPDATE_NOT_SUPPORTED

アクション: サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM8007 **RC_INVALID_PARAMETER** 戻りコードの補足です。指定された項目タイプにすでにルート・コンポーネント・タイプが存在したか、この子コンポーネントの項目タイプがルート・コンポーネントの項目タイプと一致しないため、そのコンポーネント・タイプを作成できないことを示しています。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RSN_ITEM_TYPE_ERROR

アクション: サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM8008 汎用構文解析ルーチンからの戻りコードの補足です。 **ICMget_ItemType** ストアード・プロシージャに渡された項目タイプ ID の配列に、無効なデータが含まれていたことを示しています。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RSN_PARSE_FAILED

アクション: サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM8009 内部エラーが発生しました。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RSN_NOT_AUTHOR_GETITEMTYPE

アクション: サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM8011 **RC_PARM_VALIDATION_FAILURE** 戻りコードの補足です。 **ICMget_ItemType** ストアード・プロシージャでメモリー破壊が発生したことを示しています。サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

説明: 内部エラーが発生しました。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RSN_NUM_ITEM_TYPES_INVALID

アクション: メッセージ・テキストにある推奨処置に従ってください。

ICM8012 内部エラーが発生しました。

説明: なし。

コンポーネント: ライブラリー・サーバー

エラー ID: RSN_FOREIGN_KEY_ERROR

アクション: サーバー・ログを保管して、IBM サービス技術員に連絡してください。

第 11 章 Content Manager リソース・マネージャーのメッセージ、ICM9701 ～ ICM9936

以下に挙げるのは、Content Manager リソース・マネージャーのコンポーネントが生成する可能性のあるメッセージです。Content Management Information Center 検索ではフルワードを探します。検索したいワード全体を入力する必要があります。メッセージを検索するときは、接頭部を含む完全なメッセージ番号を入力してください。たとえば、DGL1234A についての情報を検索するには、DGL1234A と入力します。番号しかないメッセージについての情報を検索するには、その番号を入力します。

ICM9701 コレクション [nnn] が無効です。

説明: このコレクションをここで使用するのは無効です。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: システム管理クライアントを使用して、コレクションの定義を検査し、必要に応じて定義を訂正してください。

ICM9702 ログオンに失敗しました。

説明: サーバーへのログオンに失敗しました。サーバーが停止しているか、あるいは、無効なユーザー ID またはパスワードを使用した可能性があります。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: サーバーが稼働中であることと、有効なユーザー ID およびパスワードを使用したことを確認してください。

ICM9703 デバイス・マネージャー [nnn] でエラー [nnn] が発生しました。

説明: デバイス・マネージャーを使用しているときにエラーが発生しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: デバイス・アクセスを調べて、デバイスを使用可能にする適切な処置をしてください。また、詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9704 必須パラメーター [nnn] が検出されませんでした。

説明: 着信オーダーに必須パラメーターが含まれていませんでした。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: オーダーにパラメーターを追加して、オーダーを再発信してください。

ICM9705 パラメーター [nnn] が無効です。値は [nnn] です。

説明: 着信オーダーに無効なパラメーターが含まれていました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: オーダーから無効なパラメーターを除去してください。

ICM9706 オブジェクトを更新できません。オブジェクトが存在しない可能性があります。

説明: 現時点でオブジェクトを更新できません。オブジェクトが存在しないか、または現在別のトランザクションによって使用されている可能性があります。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: オブジェクトが存在するかどうか判別してください。保持しているトランザクションが完了するまで待機してください。

ICM9707 オブジェクトのボリューム用にサーバーが検出されませんでした。

説明: データベース内でボリューム用のサーバーを検出できません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: システム管理クライアントを使用して、どのボリュームとサーバーが定義されているか検査してください。

ICM9708 項目 ID [nnn]、サーバー [nnn]、バージョン [nnn] のオブジェクトがデータベース内で検出されません。

説明: 項目がデータベース内で検出されませんでした。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 着信オーダーの入力データを調べて、探しているオブジェクトが有効なことを確認してください。

ICM9709 検索要求が失敗しました。

説明: 検索オーダーで障害が発生しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9710 検索に失敗しました。更新日付が無効です。

説明: 着信オーダー上の更新日付が無効でした。オーダーには更新日付が必要で、しかも正しい形式でなければなりません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 更新日付の形式を訂正してください。

ICM9711 保管に失敗しました。データベース・エラーです。

説明: 保管トランザクションでデータベース・エラーが発生しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: エラー情報については、該当するデータベース・マニュアルを参照してください。

ICM9712 保管要求が失敗しました。エラー: [nnn]

説明: ハード・ディスクまたはビデオヘファイルを保管しようとしたが、失敗しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 詳しくは、リソースのエラー・ログ・ファイルを調べてください。エラー情報については、該当するデータベース・マニュアルを参照してください。

ICM9713 保管要求が失敗しました。トラッキングの障害です。

説明: 保管トランザクションのトランザクション管理でエラーが発生しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9714 削除要求が失敗しました。

説明: 削除トランザクションでエラーが発生しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9715 再生要求が失敗しました。

説明: 再生トランザクション中に、エラーが発生しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 詳しくは、リソースのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9716 処理するオーダーが見つかりません。

説明: リソース・マネージャーが、着信トランザクション情報内でオーダーを見つけられません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 入力データまたは Web アプリケーション・サーバーに問題がある可能性があります。詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9717 オーダー [nnn] が無効です。

説明: リソース・マネージャーは、着信トランザクション内のオーダーを認識しません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 有効なオーダーをトランザクションに使用してください。

ICM9718 キー・フラッシュ要求が失敗しました。

説明: キー・フラッシュ・オーダーで障害が発生しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9719 オブジェクトの更新要求が失敗しました。

説明: 置換オーダーで障害が発生しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 詳しくは、エラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9720 複数パーツ・データのコンテンツ・タイプ [nnn] が無効です。

説明: オーダー内のコンテンツ・タイプが無効です。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 有効なコンテンツ・タイプを使用してください。

ICM9721 コンテンツの範囲が無効です。 [nnn] ～ [nnn]

説明: コンテンツの範囲が、オブジェクトの範囲外です。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: オブジェクト・サイズを検査して、コンテンツの範囲がそのサイズ内であることを確認してください。

ICM9722 予期しない例外が発生しました。 [nnn]

説明: 予期しないエラーが発生しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。戻りコードについてのエラー情報は、該当するデータベース・マニュアルを参照してください。

ICM9723 サーバー [nnn] 上でユーザー ID が検出されません。

説明: サーバー用のデータベース内でユーザーを検出できません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: システム管理クライアントを使用して、このリソース・マネージャー用にどのサーバーとユーザーが定義されているか検査してください。

ICM9724 キー・フラッシュ要求が成功しました。

説明: キー・フラッシュ要求が成功しました。キーがライブラリー・サーバーから取得されました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: なし。

ICM9725 キー・フラッシュ要求 SQL エラー: [nnn]

説明: キー・フラッシュ要求でデータベース・エラーが発生しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: エラー情報については、該当するデータベース・マニュアルを参照してください。

ICM9726 キー・フラッシュ要求エラー: [nnn]

説明: キー・フラッシュ要求で例外が発生しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 詳しくは、例外メッセージを記録して、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。エラー情報については、該当するデータベース・マニュアルを参照してください。

ICM9727 ユーザー ID [nnn] が検出されませんでした。

説明: 指定された ID のユーザーをデータベース内で検出できません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: システム管理クライアントを使用して、このリソース・マネージャー用にどのサーバーとユーザーが定義されているか検査してください。

ICM9728 ユーザー [nnn] がサーバー [nnn] への接続に失敗しました。

説明: ユーザーがサーバーに接続できません。サーバーが停止しているか、あるいは、ユーザー ID またはパスワードが無効である可能性があります。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: サーバーが稼働中であることと、ユーザー ID とパスワードが有効なことを確認してください。

ICM9729 プロトコル [nnn] はオーダー [nnn] でサポートされません。

説明: オーダー内のプロトコルはサポートされません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: このオーダーでサポートされるプロトコルを使用してください。

ICM9730 メソッド *[nnn]* はデバイス・マネージャー *[nnn]* でサポートされません。

説明: サポートされないデバイスを操作しようとしています。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。 処理しようとしているオーダーまたは実行しようとしているアクションを見直して、正しいデバイス・タイプを使用していることを確認してください。

ICM9731 カタログ要求が成功しました。

説明: カタログ要求が成功しました。リソース・マネージャー上のファイルは、リソース・マネージャーに適切にカタログ化されました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: なし。

ICM9732 ファイル *[nnn]* を検出できません。

説明: ファイルを検出できません。ファイルが存在しない可能性があります。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: ファイルが存在することを確認してください。詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9733 カタログ要求が失敗しました。

説明: カタログ要求が失敗しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9734 デバイス・マネージャー *[nnn]* が検出されません。

説明: デバイス・マネージャーをデータベース内で検出できません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: システム管理クライアントを使用して、どのデバイス・マネージャーが定義されているか検査してください。

ICM9735 データベース接続が失敗しました。

説明: データベースに接続できません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: プロパティ・ファイル内で、データベース名、ユーザー ID、およびパスワードが正しいことを確認してください。パスワードの暗号化で問題がある可能性もあります。プロパティ・ファイルとデータベースの両方で、パスワードをクリア・テキストにリセットする必要もあるかもしれません。

ICM9736 データベース内でライブラリー・サーバー *[nnn]* が検出されません。

説明: ライブラリー・サーバーをデータベース内で検出できません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: システム管理クライアントを使用して、どのサーバーが定義されているか検査してください。

ICM9737 コレクション *[nnn]* 用のデータベース内でデバイス・マネージャー・サーバーが検出されません。

説明: コレクション用のデバイス・マネージャーをデータベース内で検出できません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: システム管理クライアントを使用して、どのコレクションとデバイス・マネージャーが定義されているか検査してください。

ICM9738 コレクション *[nnn]* 用のデータベース内でストレージ・グループが検出されません。

説明: コレクション用のストレージ・グループをデータベース内で検出できません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: システム管理クライアントを使用して、どのコレクションとストレージ・グループが定義されているか検査してください。

ICM9739 コレクション *[nnn]* 用のデータベース内で管理クラスが検出されません。

説明: コレクション用の管理クラスをデータベース内で検出できません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: システム管理クライアントを使用して、ど

のコレクションと管理クラスが定義されているか検査してください。

ICM9740 コレクション [nnn] 用のデータベース内でストレージ・クラスが検出されません。

説明: コレクション用のストレージ・クラスをデータベース内で検出できません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: システム管理クライアントを使用して、どのコレクションとストレージ・クラスが定義されているか検査してください。

ICM9741 コレクション [nnn] はカタログ・オーダーをサポートしません。

説明: 指定されたコレクションに、オブジェクトをカタログ化することはできません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: カatalog・コレクションとして定義されたコレクションにのみ、オブジェクトをカタログ化することができます。システム管理クライアントを使用して、コレクションをカタログ・コレクションとして定義してください。

ICM9742 リソース・マネージャーの管理ログオンが、SMS ログオン・オーダーで失敗しました。

説明: リソース・マネージャー管理機能へのログオンに失敗しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: ユーザー名またはパスワードのどちらかが正しくありませんでした。ユーザー名およびパスワードのスペルや大文字の使用を検査してください。

ICM9743 ハード・ディスク・オーダー [nnn] では、複数ファイルはサポートされていません。

説明: 複数ファイルをハード・ディスクに一度に保管することはできません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: ファイルをハード・ディスクに 1 つずつ保管してください。

ICM9744 トランザクション管理が失敗しました。トラッキング・テーブルが更新されていません。

説明: トラッキング情報を保管できません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9745 ファイル [nnn] [nnn] を保管できません。

説明: ファイルを保管できません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9746 データベース [nnn] 内のオブジェクト・サイズを更新できません。

説明: データベース内のオブジェクト・サイズを更新しようとしたときに、例外が発生しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9747 ファイル [nnn] に書き込めません。

説明: ファイルに書き込めません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9748 ファイル [nnn] を検出できません。

説明: 指定されたファイルを検出できません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: ファイルが存在することを確認してください。詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9749 ユーザー ID [nnn] を使用して、ホスト [nnn] にファイルを転送できません。

説明: 指定された ユーザー ID を使用して、ファイルをサーバーに転送できません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: ユーザー ID とパスワードがサーバー・データベース内で正しいことと、サーバーが稼働中であることを確認してください。詳しくは、リソース・マネ

ージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9750 SMS 管理パスワードの変更は正常に行われました。

説明: SMS 管理者のパスワードの変更は正常に行われました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: なし。

ICM9751 SMS 照会エンティティ・オーダーが失敗しました。

説明: 照会 SMS エンティティ・オーダーで完了に失敗しました。あるいは、照会 SMS エンティティ・オーダーがリソース・マネージャーに行を戻しませんでした。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。SQL エラーはエラー・レベルで表示され、SQL ステートメント全体はデバッグ・レベルで表示されます。続いて、エラー情報について、該当するデータベース・マニュアルを参照してください。

ICM9752 SMS XML の構文解析に失敗しました。

説明: SMS 要求は XML 文書です。文書の構文解析が失敗しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 追加情報については、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。デバッグ・レベルのトレースにより、詳細な構文解析情報が得られます。おそらく、文字データが必要な場所でバイナリー・データを使用したことがこの失敗の原因です。

ICM9753 リソース・マネージャーの管理ログオンまたは信任状のリフレッシュが必要です。

説明: ある期間リソース・マネージャーが非アクティブである場合、リソース・マネージャーへの管理ログオンが有効期限切れになることがあります。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: システム管理クライアントを使用して、SMS ログオン XML をリソース・マネージャーに再送し、この管理ログオンの信任状をリフレッシュします。

**ICM9754 SQL エラー。SQL メッセージ: [nnn]
SQL ステートメント: [nnn]**

説明: データベース SQL エラーが発生しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: エラー情報については、「IBM DB2 ユニバーサル・データベース メッセージ解説書」を参照してください。また、詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9755 リソース・マネージャーの管理ログオフが、SMS ログオフ・オーダーで失敗しました。

説明: リソース・マネージャーの管理ログオフが失敗しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: なし。非アクティブだったために、サーバーがユーザーをログオフした可能性があります。

ICM9756 SMS の変更要求が失敗しました。

説明: オブジェクト・コレクションの変更要求が失敗しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: この操作を再試行してください。あるいは、詳細について、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9757 SMS 作成エンティティ・オーダーで失敗しました。

説明: データベースの SMS テーブルで、指定された行 (1 行または複数行) の挿入に失敗しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。SQL エラーはエラー・レベルで表示され、SQL ステートメント全体はデバッグ・レベルで表示されます。エラー情報については、「IBM DB2 ユニバーサル・データベース メッセージ解説書」を参照してください。

ICM9758 SMS 削除エンティティ・オーダーで失敗しました。

説明: データベースの SMS テーブルで、行 (1 行または複数行) の削除が失敗しました。この行が検出されなかったか、またはこれを参照中のエンティティが存在する可能性があります。参照中のエンティティは、別のテーブル内の行である可能性があります。これは外部

キー、先行する照会、またはチェック・ステートメントによって制御されている可能性があります。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。SQL エラーはエラー・レベルで表示され、SQL ステートメント全体はデバッグ・レベルで表示されます。続いて、エラー情報について、該当するデータベース・マニュアルを参照してください。

ICM9760 SMS 更新エンティティ・オーダーで失敗しました。

説明: データベースの SMS 行 (1 行または複数行) の更新が失敗しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。SQL エラーはエラー・レベルで表示され、SQL ステートメント全体はデバッグ・レベルで表示されます。続いて、エラー情報について、該当するデータベース・マニュアルを参照してください。

ICM9761 SMS 情報の変更ToObjectを使用できません。Objectが存在しない可能性があります。

説明: 現時点で、Objectは SMS 情報の変更で使用できません。Objectが存在しないか、または現在別のトランザクションによって使用されている可能性があります。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: Objectが存在するかどうか判断してください。保持しているトランザクションが完了するまで待機してください。

ICM9762 SMS 情報の照会ToObjectを使用できません。Objectが存在しない可能性があります。

説明: Objectは SMS 情報の照会で使用できません。Objectが存在しないか、または現在別のトランザクションによって使用されている可能性があります。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: Objectが存在するかどうか判断してください。保持しているトランザクションが完了するまで待機してください。

ICM9763 デバイス・マネージャー・クラス [nnn] では再生をサポートしていません。

説明: 再生をサポートしていないデバイスに保管されているObjectを再生しようとしています。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: Objectの再生をサポートしているデバイスに保管されているObjectのみ再生してください。

ICM9764 ボリューム ID [nnn] 用のデータベース内でボリュームのフリー・スペースを更新できません。

説明: ボリュームのフリー・スペースはデータベースに保持されています。デバイス・マネージャーがデバイスのフリー・スペースを取得できない場合、またはデータベース・エラーがある場合、フリー・スペースはデータベース内で更新されません。

デバイス上の実際のフリー・スペースより小さいフリー・スペース値がデータベースに含まれている場合、Objectを保管できない可能性があります。

データベースに含まれている値が大き過ぎる場合、リソース・マネージャーは、Objectの保管をするべきでないときに保管しようとする可能性があります。Tivoli® Storage Manager (TSM) デバイスが無限であると見なされるため、TSM ボリュームのフリー・スペース値が不適切であることに注意してください。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: システム管理クライアントを使用して、ボリューム上のフリー・スペースを検査してください。

ICM9765 URL [nnn] が無効です。

説明: VideoCharger またはメディア・アーカイバーの問題です。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: VideoCharger またはメディア・アーカイバーがアクティブであることを確認してください。

ICM9766 マイグレーション・プログラムが始動しました。

説明: マイグレーション・プログラムが始動しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: なし。

ICM9767 **マイグレーション・プログラムが停止しました。**

説明: マイグレーション・プログラムはオブジェクトのマイグレーションを完了しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: なし。

ICM9768 **パージャーが始動しました。**

説明: パージャーのサイクルが、構成されたしきい値に対して、ステージング域の使用の検査を開始しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: なし。

ICM9769 **パージャーが停止しました。**

説明: パージャーのサイクルがステージング域の処理を終了しました。ステージング域は構成されたしきい値内である必要があります。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: なし。

ICM9770 **ステージャーが始動しました。**

説明: ステージャーのサイクルが、VideoCharger の使用に対して構成されたしきい値の検査を開始しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: なし。

ICM9771 **ステージャーが停止しました。**

説明: ステージャーのサイクルが処理を終了しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: なし。

ICM9772 **アセット・メタデータのデータベースへの挿入に失敗しました。**

説明: オブジェクトのデータをデータベースに保管できません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9773 **トランザクション管理が失敗しました。トラッキング・テーブルが、SMS オーダー更新用に更新されていません。**

説明: トラッキング情報を SMS オーダーの更新用に保管できません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: オーダーが正しく処理されていない可能性があります。詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9774 **入出力例外が発生しました。[nnn]**

説明: 入出力操作で例外が発生しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 詳しくは、例外メッセージを記録して、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9775 **トラッキング情報をカタログ・オーダー用に保管できません。**

説明: トラッキング情報をカタログ・オーダー用に保管できません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: オーダーが正しく処理されていない可能性があります。詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9776 **トランザクション管理が失敗しました。トラッキング・テーブルが、置換オーダー用に更新されていません。**

説明: トラッキング情報を置換オーダー用に保管できません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: オーダーが正しく処理されていない可能性があります。詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9777 **データベース内のオブジェクト状況を更新できません。**

説明: データベース内のオブジェクト状況を更新しようとしたときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9778 ロールバックが失敗しました。

説明: データベース操作をロールバックしようとしたときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9779 コミットが失敗しました。

説明: データベース操作をコミットしようとしたときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9780 データベース内のステージング・スペースを更新できません。

説明: データベース内のステージング・スペースを更新しようとしたときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9781 ストリームをクローズすることができません。

説明: データ・ストリームをクローズしようとしたときに、例外が発生しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 詳しくは、例外メッセージを記録して、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9782 コピーされたファイルの長さがファイル・サイズと一致しません。

説明: ファイルをコピーしているときにエラーが発生しました。コピーされたファイルの長さが予期した長さではありません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9783 オブジェクトのマイグレーションを完了できません。

説明: オブジェクトのマイグレーションを完了できません。オブジェクトはすでに使用中か、または現時点でマイグレーションできません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 詳しくは、マイグレーション・プログラムのログを参照してください。

ICM9784 リモートのマイグレーションに失敗しました。応答コード: [nnn]

説明: オブジェクトを別のリソース・マネージャーにマイグレーションしようとしたときに、エラーが発生しました。応答コードは、リモートのリソース・マネージャーからの HTTP 応答コードです。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: リモート・サーバーの状況を検査してください。詳しくは、ソースおよびターゲットのそれぞれのリソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9785 応答コードの構文解析が失敗しました。コード・ストリング: [nnn]

説明: オブジェクトを別のリソース・マネージャーに移動しようとしたときに、エラーが発生しました。応答コードは、リモートのリソース・マネージャーからの HTTP 応答コードです。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: リモート・サーバーの状況を検査してください。詳しくは、ソースおよびターゲットのそれぞれのリソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。メッセージおよびコード・ストリングを記録して、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM9786 ソケットをクローズすることができません。

説明: ソケットをクローズしようとしたときに、例外が発生しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 詳しくは、例外メッセージを記録して、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9787 SQL エラー: [nnn]

説明: データベース・エラーが発生しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 通知されたエラー・コードについての詳細は、該当するデータベースのエラー・メッセージ・マニュアルを参照してください。また、詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9788 使用可能なデータベース接続がありません。

説明: リソース・マネージャー・データベースに接続できません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 許可される接続の数を増やしてください。詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9789 ストレージ・クラス ID [nnn] がデータベース内で検出されません。

説明: ストレージ・クラスをデータベース内で検出できません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9790 デバイス・マネージャー ID [nnn] がデータベース内で検出されません。

説明: デバイス・マネージャーをデータベース内で検出できません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9791 データベースへの接続が失われました。

説明: データベースへの接続が失われました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 操作をやり直してください。

ICM9792 データベース照会エラー: [nnn]

説明: 指定されたデータベース照会でエラーが発生しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 詳しくは、照会およびリソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを検討してください。通知されたエラー・コードについての詳細は、該当するデータベースのエラー・メッセージ・マニュアルを参照してください。

ICM9793 サーバー ID [nnn] がデータベース内で検出されません。

説明: 指定されたサーバー ID のサーバーをデータベース内で検出できません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: データベース内のサーバーの構成に誤りがあるか、または内部処理エラーが発生しました。システム管理クライアントを使用して、データベース内でどのサーバーが定義されているか調べてください。詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9794 バッチ・サイズが無効です。デフォルトのサイズが使用されます。

説明: この処理に使用されるバッチ・サイズが無効です。デフォルトのバッチ・サイズが使用されます。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: システム管理クライアントを使用して、バッチ・サイズを訂正してください。

ICM9795 ファイル [nnn] を作成できません。

説明: ファイルを作成できません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログを参照してください。

ICM9796 接続に失敗しました。戻りコード: [nnn]

説明: データベースに接続できません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: プロパティ・ファイル内で、データベース名、ユーザー ID、およびパスワードが正しいことを確認してください。パスワードの暗号化で問題がある可能性もあります。プロパティ・ファイルとデータベースの両方で、パスワードをクリア・テキストにリセットする必要があるかもしれません。通知されたエラー・コードについての詳細は、該当するデータベース・マニュアルを参照してください。

ICM9797 サーバー [nnn]、ポート [nnn] への接続に失敗しました。

説明: 指定されたサーバーおよびポートへの接続に失敗しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 操作をやり直してください。サーバーが稼動中であることを確認してください。詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9798 ライブラリー・サーバーのストアード・プロシージャー呼び出しでエラーが発生しました。戻りコード: [nnn]、理由コード: [nnn]、拡張戻りコード: [nnn]、拡張理由コード: [nnn]

説明: ライブラリー・サーバーのストアード・プロシージャーを呼び出しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。通知されたエラー・コードについての詳細は、該当するデータベース・マニュアルを参照してください。

ICM9799 サーバー [nnn]、ポート [nnn] で問題が発生しました。保管は失敗しました。

説明: 指定されたサーバーへの保管トランザクションの試行が失敗しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9800 リソース・マネージャーのコード [nnn] とコレクションのコード [nnn] を検出できません。

説明: 指定されたリソース・マネージャーとコレクションで、ライブラリー・サーバーからのリソース・マネージャー・コードとコレクション・コードを検出できません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: システム管理クライアントを使用して、リソース・マネージャーとコレクションの定義を訂正してください。

ICM9801 再生の開始時刻または停止時刻 [nnn] が無効です。

説明: ビデオ・アセットの再生開始時刻または再生停止時刻が無効です。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 開始時刻および停止時刻に正しい形式を使用していることを確認してください。

ICM9802 非同期リカバリーが失敗しました。

説明: 非同期リカバリー操作を実行しようとしたときに、予期しない例外が発生しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9803 保管に失敗しました。データベース [nnn] 内で重複しています。

説明: 同一の項目 ID、ライブラリー・サーバー、バージョン、およびコレクションを持つエントリーがデータベースにすでにあるため、オブジェクトを保管できません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 異なる項目 ID、バージョン、ライブラリー・サーバー、またはコレクションを持つオブジェクトを保管するか、既存のオブジェクトを置き換えてください。

ICM9804 オーダーで指定されたセキュリティー・トークンが無効でした。

説明: 指定されたオーダーとともに提供されたトークンが無効です。トークンが無効である可能性があります。あるいはキー・フラッシュ操作を実行する必要があるかもしれません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: システム管理クライアントを使用して、有効なトークンを使用するか、またはキー・フラッシュ操作を実行してください。

ICM9805 ファイル名 [nnn] が無効です。

説明: ファイル名が使用されたコンテキスト内で無効です。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9806 **[nnn] から戻されたデータが無効です。
[nnn] [nnn]**

説明: 指定されたライブラリー・サーバーから無効なデータを受け取りました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9807 **更新された [nnn] の行は、1 でなければ
なりません。**

説明: パスワードを更新しているときに、内部処理エラーが発生しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM9808 **サポートされていないエンコードです。
[nnn]**

説明: ライブラリー・サーバーへのパスワードが無効です。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 有効なパスワードを定義してください。

ICM9809 **ライブラリー・サーバーへのログオンに失
敗しました。戻りコード: [nnn]、理由コー
ド: [nnn]、拡張戻りコード: [nnn]、拡張理
由コード: [nnn]**

説明: ライブラリー・サーバーへのログオンに失敗しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。戻りコードの詳細についてライブラリー・サーバーの戻りコード・ユーティリティを実行し、該当するデータベース・マニュアルを参照してください。

ICM9810 **ライブラリー ID [nnn] のライブラリー・
サーバー接続が失敗しました。**

説明: 指定されたライブラリー ID を使用するライブラリー・サーバーへの接続です。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: ライブラリー ID が有効であることを確認してください。ライブラリー・サーバーが稼働中であることを確認してください。詳しくは、リソース・マネ

ージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9811 **ストレージ・クラス [nnn] のデータベー
ス内でストレージ・グループが検出されま
せん。**

説明: 指定されたストレージ・クラスのデータベース内で、ストレージ・グループを検出できません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: システム管理クライアントを使用して、どのストレージ・グループとストレージ・クラスが定義されているか検査してください。

ICM9813 **キャッシュ検索要求が失敗しました。**

説明: 要求オブジェクトを検索できません。無効なオブジェクト・バージョン番号または無効なオブジェクト更新日付が、要求に含まれていることが原因となっている可能性があります。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 要求されたオブジェクトについての正確な情報がキャッシュ検索要求に含まれていることを確認し、詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9814 **オブジェクト自体が所有するリソース・マ
ネージャーからオブジェクトを検索できま
せん。**

説明: 要求時に、オブジェクトはローカルでキャッシュに入れられておらず、オブジェクト自体が所有するリソース・マネージャーからオブジェクトを検索しようとして失敗しました。原因は以下のようにいくつか考えられます。要求されたオブジェクトが、それ自体が所有するリソース・マネージャーに保管されていない。所有するリソース・マネージャーが要求時に稼働していない。無効なオブジェクト・バージョン番号またはオブジェクト更新日付が要求に含まれている。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 所有するリソース・マネージャーが稼働していることと、キャッシュ検索要求に、要求されたオブジェクトについての正確な情報が含まれていることを確認してください。

ICM9815 **トランザクション調整が開始されました。**

説明: 失敗した、または不完全なトランザクションを調べるプロセスが開始しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: なし。

ICM9816 トランザクション調整が戻りコード: [nnn] を戻して終了しました。

説明: 失敗した、または不完全なトランザクションを調べるプロシージャが、報告された戻りコードを戻して終了しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: ゼロ以外の戻りコードは、1 つのトランザクションを調整できないことを示します。トランザクションを再実行してください。この問題が持続すると、ライブラリー・サーバー上のトランザクション・ログが大きくなり過ぎる可能性があります。トランザクション調整中にエラー・ログ情報を記録し、修正アクションを決定してください。戻りコードの詳細については、ライブラリー・サーバーの戻りコード・ユーティリティーを実行し、「IBM DB2 ユニバーサル・データベース メッセージ解説書」を参照してください。この処置で問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM9817 削除調整が開始されました。

説明: 削除されたオブジェクトを調べるプロシージャが開始しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: なし。

ICM9818 削除調整が終了しました。

説明: 削除されたオブジェクトを調べるプロシージャが終了しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: なし。

ICM9819 削除のマークが付けられたオブジェクトの数は [nnn] です。

説明: 削除調整プロシージャは、ライブラリー・サーバー・データベースが表示する、上記の数のオブジェクトが削除されたことを検出しました。リソース・マネージャーはこれらのオブジェクトに削除のマークを付けました。マイグレーション・プログラム処理の実行時に、オブジェクトは物理的に削除されます。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: マイグレーション・プログラムを実行して、オブジェクトを物理的に削除してください。

ICM9820 トランザクションがロールバックされました。

説明: トランザクション調整プロシージャは、打ち切られたトランザクション、またはライブラリー・サーバー・データベース内でロールバックされたトランザクションを検出しました。ライブラリー・サーバーとリソース・マネージャーとの間の整合性を確保するために、トランザクションはリソース・マネージャーでもロールバックされます。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: なし。この時点で、ライブラリー・サーバーのデータとリソース・マネージャーのデータは、このトランザクションについて整合しています。

ICM9821 トランザクションがコミットされました。

説明: トランザクション調整プロシージャは、ライブラリー・サーバー・データベース内で完了したトランザクションを検出しました。ライブラリー・サーバーとリソース・マネージャーとの間の整合性を確保するために、トランザクションはリソース・マネージャーでも完了されます。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: なし。この時点で、ライブラリー・サーバーのデータとリソース・マネージャーのデータは、このトランザクションについて整合しています。

ICM9822 トランザクションのコミットに失敗しました。

説明: トランザクション調整プロシージャは、ライブラリー・サーバー・データベース内で完了したトランザクションを検出しました。ただし、リソース・マネージャーでこのトランザクションを完了しようとして失敗しました。この時点で、ライブラリー・サーバーのデータとリソース・マネージャーのデータが矛盾している可能性があります。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: トランザクションを再実行してください。この問題が持続すると、ライブラリー・サーバー上のトランザクション・ログが大きくなり過ぎる可能性があります。トランザクション調整中にエラー・ログ情報を記録し、修正アクションを決定してください。この処置で問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM9823 ステージング [nnn] 構成サイズ: [nnn] しきい値パーセンテージの最小: [nnn] 最大: [nnn]

説明: これは現在のステージング構成についての情報です。パージャーはこれらの値を使用して、ステージング域をクリアする必要性の有無を判断します。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: なし。

ICM9824 ステージング [nnn] 現在のサイズ: [nnn] しきい値パーセンテージ: [nnn]

説明: これはステージング域の使用についての情報です。これらの値を使用して、ステージング域をパージする必要性の有無を判断します。ステージングしきい値のパーセンテージは、パージャーのサイクル完了後、構成されたしきい値より小さくなるはずです。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: なし。

ICM9825 デバイス・マネージャー [nnn] は使用できません。このデバイス上のオブジェクトにはアクセスできません。

説明: デバイス・マネージャーは使用できません。このデバイス・マネージャーが制御するデバイスに保管されたオブジェクトにはアクセスできません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: システム管理クライアントを使用して、デバイス・マネージャーを使用可能にしてください。

ICM9826 初期コンテキスト [nnn] がありません。

説明: 初期コンテキストが検出されません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: CLASSPATH に正しい jndi.jar があることを確認してください。

ICM9827 命名例外 [nnn] です。

説明: LDAP サーバー用の識別名を解決できません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: LDAP_ROOT_DN と LDAP_SECURITY_PRINCIPAL の値が正しいことを確認してください。

ICM9828 [nnn] をロードできません。

説明: ライブラリーをロードできません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: ファイルが正しいパスに存在することと、そのファイルがアクセス可能であることを確認してください。

ICM9829 コピーできないデータがあります。[nnn] バイトがまだコピーされていません。

説明: データの一部がコピーされませんでした。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。データの長さがオーダー内のコンテンツの長さとも一致することを確認してください。

ICM9830 JDBC ドライバー [nnn] を検出できません。

説明: JDBC ドライバーを検出できません。データベースに接続できません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: icrmr.properties ファイルで DBJDBCDriver パラメーターの JDBC ドライバー名を調べて、このファイルが存在するか検査してください。

ICM9831 データベース接続がクローズされました。関数 [nnn] を実行できません。

説明: データベース接続が、指示された関数が実行される前にクローズされました。データベース接続で問題が発生しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9832 SQL エラー: [nnn]、SQLMsg: [nnn] SQLState: [nnn]

説明: データベース SQL エラーが発生しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 戻りコードの説明については、該当するデータベース・マニュアルを参照してください。また、詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9833 トランザクションが失敗しました。

説明: トランザクションが失敗しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9834 **JCE** プロバイダー *[nnn]* を検出できません。

説明: 指定された暗号プロバイダーを検出できません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 表示された暗号プロバイダーがインストール済みであることを確認してください。

ICM9835 鍵ストア・タイプ *[nnn]* を検出できません。

説明: 鍵ストア・タイプがプロバイダーから提供されません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: Content Manager に同梱されるバージョンの Java Development Kit (JDK) を使用してください。

ICM9836 アルゴリズム *[nnn]* をプロバイダー *[nnn]* で検出できません。

説明: アルゴリズムを検出できません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: Content Manager に同梱されるバージョンの Java Development Kit (JDK) を使用してください。

ICM9837 そのような埋め込み例外はありません。

説明: 使用された埋め込みアルゴリズムは、プロバイダーによってサポートされません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: Content Manager に同梱されるバージョンの Java Development Kit (JDK) を使用してください。

ICM9838 既存の鍵は、JDK の異なるバージョンを使用して生成されています。

説明: 既存の鍵は、現在使用しているものとは異なるバージョンの Java Development Kit (JDK) を使用して生成されました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 鍵を生成した JDK バージョンにパスを設定してください。現行の JDK バージョンを使用しないでください。

ICM9839 暗号化エラーです。 *[nnn]*

説明: パスワードを暗号化しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: なし。

ICM9840 暗号化解除エラーです。 *[nnn]*

説明: パスワードを暗号化解除しているときに、エラーが発生しました。保管されたパスワードは、異なる鍵を使用して暗号化されます。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: サーバーを停止してください。
icmrm.properties ファイル内のパスワード、およびデータベースの RMACCESS 内のすべての acc_password をクリア・テキストのパスワードで更新してください。
サーバーを再始動します。

ICM9841 鍵の生成が失敗しました。

説明: 鍵の生成が失敗しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: なし。

ICM9842 再生用のアセット *[nnn]* が **VideoCharger** で検出されません。

説明: 再生用のアセットを VideoCharger で検出できません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: ファイルが存在することを確認してください。詳しくは、リソース・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを参照してください。

ICM9843 **VideoCharger** アセット *[nnn]* のステージングに失敗しました。ステージ先: *[nnn]*

説明: VideoCharger のアセットを別のサーバーにステージングできません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 両方のサーバーが稼動中であることを確認してください。

ICM9844 VideoCharger アセット [nnn] のステージングに失敗しました。ステージ元: [nnn]

説明: VideoCharger のアセットを別のサーバーからステージングできません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 両方のサーバーが稼働中であることを確認してください。

ICM9848 VideoCharger またはメディア・アーカイバーの FTP サーバー情報の取得に失敗しました。

説明: VideoCharger またはメディア・アーカイバー用の FTP サーバーから情報を取得しようとして失敗しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: VideoCharger またはメディア・アーカイバー用の FTP サーバーが稼働中であることを確認してください。

ICM9850 dsmlInit が失敗しました。戻りコード: [nnn]

説明: Tivoli Storage Manager サーバーへの接続中にエラーが発生しました。おそらく、アプリケーションが必須のオプション・ファイルを検出できないことが原因です。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: icmrm.properties の DSML_CONFIG で指定されたオプション・ファイルが存在することを確認してください。このオプション・ファイルが機能していない場合、戻りコードを「*Tivoli Storage Manager アプリケーション・プログラム・インターフェースの使用*」で確認し、一致する戻りコードに対するユーザー応答セクションの推奨処置を実行してください。

ICM9851 API のバージョンに TSM のバージョンとの互換性がありません。

説明: API のこのバージョンには、Tivoli Storage Manager (TSM) のバージョンとの互換性がありません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: TSM API のバージョンまたは TSM のバージョンをアップデートしてください。

ICM9852 dsmTerminate が失敗しました。

説明: Tivoli Storage Manager (TSM) サーバーとのセッションを終了しようとしたときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: なし。

ICM9853 dsmRegisterFS がファイル・スペース [nnn] で失敗しました。戻りコード: [nnn]

説明: ファイル・スペースを Tivoli Storage Manager (TSM) サーバーに登録しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: リソース管理

アクション: 戻りコードを「*Tivoli Storage Manager アプリケーション・プログラム・インターフェースの使用*」で確認し、一致する戻りコードに対するユーザー応答セクションの推奨処置を実行してください。

ICM9854 dsmBindMC が失敗しました。戻りコード: [nnn]

説明: 管理クラスを Tivoli Storage Manager (TSM) サーバーにバインディングしているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 戻りコードを「*Tivoli Storage Manager アプリケーション・プログラム・インターフェースの使用*」で確認し、一致する戻りコードに対するユーザー応答セクションの推奨処置を実行してください。

ICM9855 dsmBeginTxn が失敗しました。戻りコード: [nnn]

説明: Tivoli Storage Manager (TSM) サーバーでトランザクションを開始しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 戻りコードを「*Tivoli Storage Manager アプリケーション・プログラム・インターフェースの使用*」で確認し、一致する戻りコードに対するユーザー応答セクションの推奨処置を実行してください。

ICM9856 dSMSendObj が失敗しました。戻りコード: [nnn]

説明: Tivoli Storage Manager (TSM) サーバーにオブジェクトを送信しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 戻りコードを「*Tivoli Storage Manager* アプリケーション・プログラム・インターフェースの使用」で確認し、一致する戻りコードに対するユーザー応答セクションの推奨処置を実行してください。

ICM9857 dsmSendData が失敗しました。戻りコード: [nnn]

説明: Tivoli Storage Manager (TSM) サーバーにデータを送信しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 戻りコードを「*Tivoli Storage Manager* アプリケーション・プログラム・インターフェースの使用」で確認し、一致する戻りコードに対するユーザー応答セクションの推奨処置を実行してください。

ICM9858 dsmEndSendObj が失敗しました。戻りコード: [nnn]

説明: リソース・マネージャーがオブジェクトを Tivoli Storage Manager (TSM) サーバーに送信するのを停止しようとしたときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 戻りコードを「*Tivoli Storage Manager* アプリケーション・プログラム・インターフェースの使用」で確認し、一致する戻りコードに対するユーザー応答セクションの推奨処置を実行してください。

ICM9859 dsmEndTxn が失敗しました。戻りコード: [nnn]、理由コード: [nnn]

説明: Tivoli Storage Manager (TSM) サーバーでトランザクションを終了しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 戻りコードを「*Tivoli Storage Manager* アプリケーション・プログラム・インターフェースの使用」で確認し、一致する戻りコードに対するユーザー応答セクションの推奨処置を実行してください。

ICM9860 dsmUpdateFS がファイル・スペース [nnn] で失敗しました。戻りコード: [nnn]

説明: ファイル・スペースを Tivoli Storage Manager (TSM) サーバーで更新しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 戻りコードを「*Tivoli Storage Manager* アプリケーション・プログラム・インターフェースの使用」で確認し、一致する戻りコードに対するユーザー応

答セクションの推奨処置を実行してください。

ICM9861 dsmBeginGetData が失敗しました。戻りコード: [nnn]

説明: Tivoli Storage Manager (TSM) サーバーからデータを取得しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 戻りコードを「*Tivoli Storage Manager* アプリケーション・プログラム・インターフェースの使用」で確認し、一致する戻りコードに対するユーザー応答セクションの推奨処置を実行してください。

ICM9862 dsmGetObj が失敗しました。戻りコード: [nnn]

説明: Tivoli Storage Manager (TSM) サーバーからオブジェクトを取得しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 戻りコードを「*Tivoli Storage Manager* アプリケーション・プログラム・インターフェースの使用」で確認し、一致する戻りコードに対するユーザー応答セクションの推奨処置を実行してください。

ICM9863 dsmEndGetObj が失敗しました。戻りコード: [nnn]

説明: リソース・マネージャーが Tivoli Storage Manager (TSM) サーバーからのオブジェクトの取得を終了しようとしたときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 戻りコードを「*Tivoli Storage Manager* アプリケーション・プログラム・インターフェースの使用」で確認し、一致する戻りコードに対するユーザー応答セクションの推奨処置を実行してください。

ICM9864 dsmEndGetData が失敗しました。戻りコード: [nnn]

説明: リソース・マネージャーが Tivoli Storage Manager (TSM) サーバーからのデータの取得を終了しようとしたときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 戻りコードを「*Tivoli Storage Manager* アプリケーション・プログラム・インターフェースの使用」で確認し、一致する戻りコードに対するユーザー応答セクションの推奨処置を実行してください。

ICM9865 **dsmDeleteObj** が失敗しました。戻りコード: [nnn]

説明: Tivoli Storage Manager (TSM) サーバーでオブジェクトを削除しているときに、エラーが発生しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 戻りコードを「*Tivoli Storage Manager* アプリケーション・プログラム・インターフェースの使用」で確認し、一致する戻りコードに対するユーザー応答セクションの推奨処置を実行してください。

ICM9866 キャッシュ・リソース・マネージャーと所有するリソース・マネージャーを同じにできません。

説明: キャッシュ・リソース・マネージャーがその所有するリソース・マネージャーでもあることを要求が示しているため、キャッシュ検索オーダーは拒否されました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: キャッシュ検索要求に、所有するリソース・マネージャーの正しい名前が含まれていることを確認するか、または正規の検索オーダーを使用してオブジェクトを検索してください。

ICM9867 **WAS_HOME** 環境変数は必須です。この環境変数を **WebSphere** ホーム・ディレクトリに設定してください。

説明: WAS_HOME 環境変数は、リソース・マネージャーの一部のユーティリティを実行するときに必要です。この環境変数が現在設定されていません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: システム・プロパティまたはプロファイルのどちらかを更新し、環境変数を **WebSphere** ホーム・ディレクトリに設定してください。

ICM9868 環境変数 **\$WAS_HOME** と **\$rmwebpath** を調べてください。

説明: WAS_HOME 環境変数が正しい場所を指していないか、あるいは **rmwebpath** 環境変数が誤りです。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: これらの変数が **/etc/rc.cmrmproc** スクリプトで適切に設定されていることを確認してください。

ICM9869 アプリケーションが適切に配置されたかどうか調べてください。

説明: リソース・マネージャーの Web アプリケーションが適切に配置されていない可能性があります。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: **WebSphere** に配置されているリソース・マネージャーの Web アプリケーションを調べて、配置エラーが発生していないかどうかを確認してください。発生していた場合は、アプリケーションを再配置する必要があります。

ICM9870 **\$WAS_HOME/installedApps/rmwebpath.ear/icrmr.war/WEB-INF/classes** ディレクトリが存在しません。終了しています..

説明: リソース・マネージャーの Web アプリケーションが、配置されていないか、または適切に配置されなかったかのどちらかです。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: **WebSphere** に配置されているリソース・マネージャーの Web アプリケーションを調べて、配置エラーが発生していないかどうかを確認してください。発生していた場合は、アプリケーションを再配置する必要があります。

ICM9873 指定された **DB2INSTANCE** が誤りであるか、存在しないかのどちらかです。

説明: データベースが存在しないため、リソース・マネージャーはデータベースに接続できません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: リソース・マネージャーのデータベースが存在していることと、**/etc/rc.cmrmproc** 内の **DB2INSTANCE** 環境変数が正しい **DB2** インスタンスを指していることを確認してください。

ICM9874 リソース・マネージャーの管理機能には、**SSL** を使用してログオンしなければなりません。

説明: ログオン情報を送信するのにセキュアでない接続を使用しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: **SSL** 接続を介してログオン要求を再送してください。

| **ICM9875** ボリュームに十分なスペースがありません。

|

| **説明:** ボリューム・スペースが足りないためにオブジェクトを保管できません。

|

| **コンポーネント:** リソース・マネージャー

|

| **アクション:** 別のボリュームを使用するか、ボリューム・スペースを増やしてください。

ICM9876 ストレージ管理サブシステム (SMS) のエラーが発生しました。 SMSMsg: {0}

説明: データベースに適用する SQL ステートメントの作成中にエラーが発生しました。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: SMSMsg でエラーの詳細を調べてください。必須パラメーターがないか、指定された入力を行っても値が見つからない可能性があります。追加情報については、リソース・マネージャーのログを参照してください。

ICM9877 ストレージ管理サブシステム (SMS) 管理者のログオンは正常に行われましたが、LDAP サーバーにおけるパスワード変更要求はサポートされていません。

説明: LDAP サーバーのパスワード変更は、このリリースではサポートされていません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: パスワードを変更するときは、LDAP サーバー管理コンソールを使用します。

ICM9878 データベース {1} の {0} プロセスはすでに実行されています。

説明: プロセスを開始しようとしたが、そのプロセスはすでに実行中です。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: アクションは不要です。これは通知メッセージです。## 同じプロセスを 2 回以上開始することはできません。

ICM9879 トランザクション ID {0} でトランザクションの終わり処理を実行できません。

説明: トランザクション・オーダーの終わりを受け取ったか、特定のトランザクション ID で非同期リカバリーが実行されていますが、このトランザクションを完了できません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 非同期リカバリー・プロセスを再実行してください。問題が解決しない場合は、サーバーのログで詳細を調べ、IBM サービス技術員に連絡してください。

ICM9900 日付形式が無効: {0}。有効な日付形式は YYYY-MM-DD-hh.mm.ss (2002-12-31-00.00.00) です。

説明: 入力された日付が認識されません。YYYY-MM-DD:HH.MM.SS の形式にする必要があります。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 日付情報を変更して、再発信してください。

ICM9901 入力パラメーター {0} が無効です。

説明: 入力パラメーターが認識されません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: パラメーターを変更して、再発信してください。

ICM9902 出力パスは必須パラメーターです。

説明: 必要な出力パスが入力されていません。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 出力パスを指定して、要求を再発信してください。

ICM9903 出力パスは必須パラメーターです。

説明: 必要な出力パスが無効です。

コンポーネント: リソース・マネージャー

アクション: 有効な出力パスを指定して、要求を再発信してください。

| **ICM9904 出力パス {0} に書き込めません。**

| **説明:** システムが出力パスに書き込むことができません。

| **コンポーネント:** リソース・マネージャー

| **アクション:** 有効な出力パスを指定して、要求を再発信してください。

| **ICM9905** 入力パラメーター: **-h help** | **-f path** [**-b begin-date**] [**-e end-date**] [**-v volume**].
| 有効な日付形式は
| **YYYY-MM-DD-hh.mm.ss**
| **(2002-12-31-00.00.00)** です。

| **説明:** RMVolValidation 使用形式は以下のとおりです。
| **使用法:** icrmvolval -h

| **コンポーネント:** リソース・マネージャー
| **アクション:** このコマンドを使用するには、示された形式に従ってください。

| **ICM9906** レポートに書き込もうとしているときに、
| 回復不能エラーが発生しました。妥当性検査は終了しました。戻りコード **{0}**。

| **説明:** 妥当性検査ユーティリティでレポートに書き込むことができません。

| **コンポーネント:** リソース・マネージャー
| **アクション:** 詳しくは、エラー・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

| **ICM9907** リソース・マネージャーの妥当性検査が完了し、エラーまたはレポート・タイプ **{0}** の矛盾は検出されませんでした。

| **説明:** 妥当性検査ユーティリティが完了し、問題は検出されませんでした。

| **コンポーネント:** リソース・マネージャー
| **アクション:** アクションは不要です。

| **ICM9908** リソース・マネージャーの妥当性検査で、
| **{0}** タイプの同期問題が検出されました。

| **説明:** 妥当性検査ユーティリティで、示されているタイプの同期問題が検出されました。

| **コンポーネント:** リソース・マネージャー
| **アクション:** トレース・ログで詳細を確認し、訂正アクションを実行してください。問題が解決しない場合は、システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

| **ICM9909** リソース・マネージャーの妥当性検査ユーティリティを実行しているときに、プロセスの問題が発生しました。

| **説明:** リソース・マネージャーの妥当性検査ユーティリティを実行しているときに、プロセスの問題が発生しました。

| **コンポーネント:** リソース・マネージャー

| **アクション:** 妥当性検査ログでエラーの詳細を確認してください。

| **ICM9910** リソース・マネージャーの妥当性検査の
| **XML** 出力をフォーマットしているときに、エラーが発生しました。

| **説明:** XML レポートが正しく解析されていない可能性があります。

| **コンポーネント:** リソース・マネージャー
| **アクション:** エラー・ログ・ファイルで詳細を確認してください。システム管理者または IBM サービス技術員に連絡してください。

| **ICM9911** ボリューム **{0}** を検出しようとしてエラーが発生しました。

| **説明:** ボリュームを検出しようとして例外が発生しました。

| **コンポーネント:** リソース・マネージャー
| **アクション:** 指定したボリューム名が正しいことを確認してください。

| **ICM9912** キャッシュ値を初期化するためにデータベースにアクセスしているときに、エラーが発生しました。

| **説明:** データベースがアクセス不能だったか、サーバー・テーブルまたはコレクション・テーブルが正しくありませんでした。

| **コンポーネント:** リソース・マネージャー
| **アクション:** 詳しくは、エラー・ログ・ファイルを参照してください。

| **ICM9913** 開始日として指定された日付の前には、終了日として指定された日付が必要です。

| **説明:** -B スイッチによって指定された日付の前には、-E スイッチによって指定された日付が必要です。

| **コンポーネント:** リソース・マネージャー
| **アクション:** 開始日を訂正してください。

| **ICM9914** **RMLSITEMS** テーブルに記入しているときにエラーが発生しました。

| **説明:** LS ストアード・プロシージャ呼び出しから **RMLSITEMS** に記入しているときに、エラーが発生しました。

| コンポーネント: リソース・マネージャー
| アクション: ストアード・プロシージャーを検査してく
| ださい。

| **ICM9915** 入力パラメーター: **-h help | -f path [-b**
| **begin-date] [-e end-date].** 有効な日付形
| 式は **YYYY-MM-DD-hh.mm.ss**
| **(2002-12-31-00.00.00)** です。

| 説明: RMLSVValidation 使用形式は以下のとおりです。
| 使用法: icmrmlsval - h

| コンポーネント: リソース・マネージャー

| アクション: このコマンドを使用するには、示された形
| 式に従ってください。

| **ICM9916** ライブラリー・サーバーとリソース・マネ
| ジャーの項目を比較しているときに、エ
| ラーが発生しました。

| 説明: リソース・マネージャーとライブラリー・サーバ
| ーの項目を比較しているときに、エラーが発生しまし
| ました。

| コンポーネント: リソース・マネージャー

| アクション: 詳しくはエラー・ログを調べてください。

| **ICM9917** ライブラリー・サーバーでストアード・プ
| ロシージャーを呼び出しているときにエラ
| ーが発生しました。

| 説明: ライブラリー・サーバーでストアード・プロシー
| ジャーを呼び出しているときにエラーが発生しました。

| コンポーネント: リソース・マネージャー

| アクション: 詳しくはエラー・ログを調べてください。

| **ICM9918** 妥当性検査時に処理されたオブジェクトの
| 総数:{0}。

| 説明: 妥当性検査ユーティリティで、示された数のオブ
| ジェクトがチェックされました。

| コンポーネント: リソース・マネージャー

| アクション: アクションは不要です。

| **ICM9919** ファイルが検出されなかったオブジェクト
| の総数: {0}。

| 説明: 妥当性検査ユーティリティで、示された数のオブ
| ジェクトのファイルが検出できません。

| コンポーネント: リソース・マネージャー

| アクション: 詳しくはサーバーのログを調べてくださ
| い。

| **ICM9920** サイズが一致しないオブジェクトの総数:
| {0}。

| 説明: 妥当性検査ユーティリティで、示された数のオブ
| ジェクトに関してサイズの矛盾が検出されました。

| コンポーネント: リソース・マネージャー

| アクション: 詳しくはサーバーのログを調べてくださ
| い。

| **ICM9921** 入出力例外が発生しました: {0}

| 説明: 妥当性検査ユーティリティで入出力例外が発生
| しました。

| コンポーネント: リソース・マネージャー

| アクション: 詳しくはサーバーのログを調べてくださ
| い。

| **ICM9922** レポートのエラー。このレポートはすでに
| 開かれています。

| 説明: レポートを開こうとしましたが、そのレポートは
| すでに開かれています。

| コンポーネント: リソース・マネージャー

| アクション: 詳しくはサーバーのログを調べてくださ
| い。

| **ICM9923** レポートのエラー。レポートはすでに閉じ
| られています。

| 説明: レポートを閉じようとしたが、そのレポートは
| すでに閉じられています。

| コンポーネント: リソース・マネージャー

| アクション: 詳しくはサーバーのログを調べてくださ
| い。

| **ICM9924** ライブラリー・サーバーにエントリーがな
| いオブジェクトの総数: {0}。

| 説明: 妥当性検査ユーティリティで、示された数のオブ
| ジェクトに関して、エントリーがないという矛盾が検
| 出されました。

| コンポーネント: リソース・マネージャー

| アクション: 詳しくはサーバーのログを調べてくださ
| い。

| **ICM9925** ライブラリー・サーバーに項目がないオブジェクトの総数: {0}。

|

| **説明:** 妥当性検査ユーティリティで、示された数のオブジェクトに関して、リソース・マネージャー内で見つからないという矛盾が検出されました。

|

| **コンポーネント:** リソース・マネージャー

|

| **アクション:** 詳しくはサーバーのログを調べてください。

| **ICM9926** 日付が一致しないオブジェクトの総数: {0}。

|

| **説明:** 妥当性検査ユーティリティで、示された数のオブジェクトに関して日付の矛盾が検出されました。

|

| **コンポーネント:** リソース・マネージャー

|

| **アクション:** 詳しくはサーバーのログを調べてください。

| **ICM9927** コレクションが一致しないオブジェクトの総数: {0}。

|

| **説明:** 妥当性検査ユーティリティで、示された数のオブジェクトに関して日付の矛盾が検出されました。

|

| **コンポーネント:** リソース・マネージャー

|

| **アクション:** 詳しくはサーバーのログを調べてください。

| **ICM9928** ライブラリー・サーバーのコレクションが、リソース・マネージャーで定義されていません。

|

| **説明:** ライブラリー・サーバーによって戻されたコレクションが、リソース・マネージャーで定義されていません。

|

| **コンポーネント:** リソース・マネージャー

|

| **アクション:** 詳しくはサーバーのログを調べてください。

| **ICM9929** ボリューム ID: {0} の論理名が検出されません。

|

| **説明:** このボリューム ID に対する論理名が定義されていません。

|

| **コンポーネント:** リソース・マネージャー

|

| **アクション:** システム管理クライアントを通じてファイル・システムの論理名を検証してください。

| **ICM9930** 論理名: {0} のボリューム ID が検出されません。

|

| **説明:** この論理名に対するボリューム ID が定義されていません。

|

| **コンポーネント:** リソース・マネージャー

|

| **アクション:** システム管理クライアントを通じてファイル・システムの論理名を検証してください。

| **ICM9931** 無効なサーバー名 {0}。

|

| **説明:** データベースでサーバー名を検出できません。

|

| **コンポーネント:** リソース・マネージャー

|

| **アクション:** システム管理クライアントを通じてサーバー名を検証してください。

| **ICM9932** 更新日 {0} は無効です。

|

| **説明:** 着信オーダーの更新日が、既存オブジェクトの更新日と矛盾しています。

|

| **コンポーネント:** リソース・マネージャー

|

| **アクション:** リソース・マネージャーとライブラリー・サーバーのすべてのマシンのクロックと時間帯を調べ、それらが正しいことを確認してください。また、サーバーのログで追加情報を調べてください。

| **ICM9933** 複製のソース・サーバー {0} かコレクション {1} が無効です。

|

| **説明:** レプリケーターが指定されたソース・サーバーまたはコレクションを検出できませんでした。

|

| **コンポーネント:** リソース・マネージャー

|

| **アクション:** 詳しくはログを調べてください。

| **ICM9934** 複製のターゲット・サーバー {0} かコレクション {1} が無効です。

|

| **説明:** レプリケーターが指定されたターゲット・サーバーまたはコレクションを検出できませんでした。

|

| **コンポーネント:** リソース・マネージャー

|

| **アクション:** 詳しくはログを調べてください。

| **ICM9935** ID {0} の項目は他のユーザーによってすでにチェックアウトされています。

|

| **説明:** 指定された項目をチェックアウトしようとしたが、その項目は現在、他のユーザーによってチェックアウトされています。

|

| **コンポーネント:** リソース・マネージャー

| **アクション:** 詳しくはログを調べてください。

| **ICM9936** **ID {0}** の項目は、現在チェックアウトさ
| れていないためにチェックインできませ
| ん。

| **説明:** 指定された項目をチェックインしようとした
| が、その項目は現在、チェックアウトされていません。

| **コンポーネント:** リソース・マネージャー

| **アクション:** 詳しくはログを調べてください。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものであり、米国以外の国においては本書で述べる製品、サービス、またはプログラムを提供しない場合があります。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。IBM 製品、プログラム、またはサービスに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等のプログラムまたは製品を使用することができます。ただし、IBM 以外の製品、プログラムまたはサービスの操作性の評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権の許諾については、下記の宛先に書面にてご照会ください。

〒106-0032
東京都港区六本木 3-2-31
IBM World Trade Asia Corporation
Licensing

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において、IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation
J46A/G4
555 Bailey Avenue
San Jose, CA 95141-1003
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができませんが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM所定のプログラム契約の契約条項、IBMプログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBMより提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性がありますが、その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBMは、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実効性、互換性、またはその他の要求については確証できません。IBM以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBMの将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、さまざまなオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においてもIBMに対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従ってIBMは、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、

利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。お客様は、IBMのアプリケーション・プログラミング・インに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBMに対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。

商標

以下は、IBM Corporation の商標です。

IBM	DisplayWrite	PowerPC
400	e-business	PTX
Advanced Peer-to-Peer Networking	HotMedia	QBIC
AIX	Hummingbird	RS/6000
AIXwindows	ImagePlus	SecureWay
APPN	IMS	SP
AS/400	Micro Channel	VideoCharger
C Set ++	MQSeries	Visual Warehouse
CICS	MVS/ESA	VisualAge
DATABASE 2	NetView	VisualInfo
DataJoiner	OS/2	WebSphere
DB2	OS/390	
DB2 Universal Database	PAL	

Approach、Domino、Lotus、Lotus 1-2-3、Lotus Notes および SmartSuite は、Lotus Development Corporation の商標です。

Intel、および Pentium は、Intel Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

UNIX は、The Open Group がライセンスしている米国およびその他の国における登録商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

参考文献

IBM DB2 ユニバーサル・データベース バージョン 7.1

- メッセージ解説書 第 1 巻 (GC88-8543-01)
- メッセージ解説書 第 2 巻 (GC88-8544-01)

IBM DB2 ユニバーサル・データベース バージョン 7.2

- *DB2 UDB テキスト情報エクステンダー 管理およびユーザズ・ガイド* (SH88-8520-00)

IBM Content Manager バージョン 7.1

- メッセージおよびコード (SC88-8747)
- *Content Manager* の計画およびインストール (GC88-8742-00)

IBM Enterprise Information Portal バージョン 7.1

- テキスト検索エンジン アプリケーション・プログラミング・リファレンス (SC88-8710-01)

| IBM Enterprise Information Portal バージョン 8.2

- | • ワークステーション・アプリケーション・プログラミング・ガイド (SC88-9205-01)

IBM ImagePlus VisualInfo™

- *ImagePlus FAF MVS/ESA WRAPI Application Programmer's Guide* (SC34-3113-02)
- *ImagePlus FAF MVS/ESA, API System Programmer's Guide* (SC34-3120-02)

Tivoli Storage Manager

- *Tivoli Storage Manager アプリケーション・プログラム・インターフェースの使用* (SH88-8514-01)

索引

日本語、数字、英字、特殊文字の順に配列されています。なお、濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

[数字]

9001	175	9219	179	9554	183
9002	175	9220	179	9555	183
9003	175	9221	179	9556	183
9004	175	9222	179	9600	185
9005	175	9223	180	9601	185
9006	175	9224	180	9602	184
9007	175	9225	180	9610	184
9008	176	9226	180	9611	184
9009	176	9227	180	9612	184
9010	176	9228	180	9613	184
9011	176	9229	180	9614	184
9100	176	9230	180	9615	184
9101	176	9231	180	9616	184
9102	176	9232	180	9650	184
9103	176	9233	180	9651	184
9104	176	9234	180	9652	184
9105	176	9235	180	9653	184
9106	177	9236	180	9654	185
9107	177	9241	181	9655	185
9108	177	9250	181	9656	185
9109	177	9251	181	9657	185
9110	177	9252	181	9700	185
9111	177	9253	181	9701	185
9112	177	9254	181	9702	185
9113	177	9255	181	9703	185
9114	177	9500	181	9710	185
9115	178	9501	181	9711	186
9116	178	9502	181	9712	186
9117	178	9503	181	9730	186
9118	178	9504	181	9731	186
9119	178	9505	182	9732	186
9120	178	9506	182	9733	186
9121	178	9507	182	9734	186
9122	178	9520	182	9735	186
9201	178	9521	182	9736	186
9202	178	9522	182	9737	186
9203	179	9523	182	9738	187
9204	179	9524	182	9739	187
9205	179	9525	182	9740	187
9206	179	9526	182	9741	187
9207	179	9527	182	9742	187
9208	179	9528	182	9743	187
9218	179	9529	183	9744	187
		9530	183	9760	187
		9531	183	9761	187
		9532	183	9762	187
		9533	183	9763	187
		9550	183	9764	188
		9551	183	9765	188
		9552	183	9766	188
		9553	183	9767	188

D

DGL0386A	27	DGL0442A	33	DGL0502A	38
DGL0387A	27	DGL0443A	33	DGL0503A	38
DGL0388A	27	DGL0444A	33	DGL0504A	39
DGL0389A	27	DGL0445A	33	DGL0505A	39
DGL0390A	27	DGL0446A	33	DGL0506A	39
DGL0391A	27	DGL0447A	33	DGL0507A	39
DGL0392A	27	DGL0448A	33	DGL0508A	39
DGL0393A	27	DGL0449A	34	DGL0511A	39
DGL0394A	27	DGL0450A	34	DGL0512A	39
DGL0395A	28	DGL0451A	34	DGL0513A	39
DGL0396A	28	DGL0452A	34	DGL0514A	39
DGL0397A	28	DGL0453A	34	DGL0515A	40
DGL0398A	28	DGL0454A	34	DGL0516A	40
DGL0399A	28	DGL0455A	34	DGL0517A	40
DGL0400A	28	DGL0456A	34	DGL0518A	40
DGL0401A	28	DGL0457A	35	DGL0521A	40
DGL0402A	28	DGL0458A	35	DGL0522A	40
DGL0403A	28	DGL0459A	35	DGL0523A	40
DGL0404A	28	DGL0460A	35	DGL0524A	40
DGL0405A	29	DGL0461A	35	DGL0525A	40
DGL0406A	29	DGL0462A	35	DGL0526A	41
DGL0407A	29	DGL0463A	35	DGL0527A	41
DGL0408A	29	DGL0464A	35	DGL0531A	41
DGL0409A	29	DGL0465A	35	DGL0532A	41
DGL0410A	29	DGL0466A	35	DGL0533A	41
DGL0411A	29	DGL0467A	35	DGL0534A	41
DGL0412A	29	DGL0468A	36	DGL0535A	41
DGL0413A	29	DGL0469A	36	DGL0536A	41
DGL0414A	29	DGL0470A	36	DGL0537A	42
DGL0415A	30	DGL0471A	36	DGL0538A	42
DGL0416A	30	DGL0472A	36	DGL0540A	42
DGL0417A	30	DGL0473A	36	DGL0541A	42
DGL0418A	30	DGL0474A	36	DGL0542A	42
DGL0419A	30	DGL0475A	36	DGL0543A	42
DGL0420A	30	DGL0476A	36	DGL0544A	42
DGL0421A	30	DGL0477A	36	DGL0545A	42
DGL0422A	30	DGL0478A	36	DGL0546A	42
DGL0423A	30	DGL0479A	37	DGL0547A	42
DGL0424A	30	DGL0480A	37	DGL0548A	43
DGL0425A	31	DGL0481A	37	DGL0549A	43
DGL0426A	31	DGL0482A	37	DGL0550A	43
DGL0427A	31	DGL0483A	37	DGL0551A	43
DGL0428A	31	DGL0484A	37	DGL0552A	43
DGL0429A	31	DGL0485A	37	DGL0553A	43
DGL0430A	31	DGL0486A	37	DGL0554A	43
DGL0431A	31	DGL0487A	37	DGL0555A	43
DGL0432A	31	DGL0488A	37	DGL0556A	43
DGL0433A	32	DGL0489A	37	DGL0557A	43
DGL0434A	32	DGL0490A	38	DGL0558A	43
DGL0435A	32	DGL0491A	38	DGL0559A	44
DGL0436A	32	DGL0492A	38	DGL0560A	44
DGL0437A	32	DGL0493A	38	DGL0561A	44
DGL0438A	32	DGL0494A	38	DGL0562A	44
DGL0439A	32	DGL0495A	38	DGL0563A	44
DGL0440A	32	DGL0496A	38	DGL0564A	44
DGL0441A	33	DGL0501A	38	DGL0565A	44

DGL0566A	44	DGL2409A	52	DGL2465A	57
DGL0567A	44	DGL2410A	52	DGL2466A	57
DGL0568A	44	DGL2411A	52	DGL2467A	57
DGL0569A	45	DGL2412A	52	DGL2468A	57
DGL0570A	45	DGL2413A	52	DGL2469A	58
DGL0571A	45	DGL2414A	52	DGL2470A	58
DGL0572A	45	DGL2415A	52	DGL2471A	58
DGL0573A	45	DGL2416A	52	DGL2472A	58
DGL0574A	45	DGL2417A	52	DGL2473A	58
DGL0575A	45	DGL2418A	52	DGL2474A	58
DGL0576A	45	DGL2419A	53	DGL2475A	58
DGL0577A	45	DGL2420A	53	DGL2476A	58
DGL0578A	45	DGL2421A	53	DGL2483A	59
DGL0579A	45	DGL2422A	53	DGL2484A	59
DGL0580A	46	DGL2423A	53	DGL2485A	59
DGL0581A	46	DGL2424A	53	DGL2486A	59
DGL0584A	46	DGL2425A	53	DGL2487A	59
DGL0586A	46	DGL2426A	53	DGL2488A	59
DGL0587A	46	DGL2427A	53	DGL2489A	59
DGL0588A	46	DGL2428A	53	DGL2490A	59
DGL0589A	46	DGL2429A	53	DGL2491A	59
DGL0590A	46	DGL2430A	53	DGL2492A	60
DGL0591A	46	DGL2431A	54	DGL2493A	60
DGL0592A	46	DGL2432A	54	DGL2494A	60
DGL0593A	47	DGL2433A	54	DGL2495A	60
DGL0594A	47	DGL2434A	54	DGL2496A	60
DGL0595A	47	DGL2435A	54	DGL2497A	60
DGL1000A	47	DGL2436A	54	DGL2498A	60
DGL1006A	47	DGL2437A	54	DGL2499A	60
DGL1602A	47	DGL2438A	54	DGL2500A	60
DGL1603A	47	DGL2439A	54	DGL2501A	61
DGL1604A	47	DGL2440A	54	DGL2502A	61
DGL1605A	47	DGL2441A	54	DGL2503A	61
DGL1606A	48	DGL2442A	55	DGL2504A	61
DGL1607A	48	DGL2443A	55	DGL2505A	61
DGL1608A	48	DGL2444A	55	DGL2506A	61
DGL1609A	48	DGL2445A	55	DGL2507A	61
DGL1610A	48	DGL2446A	55	DGL2508A	61
DGL1611A	49	DGL2447A	55	DGL2509A	61
DGL1612A	49	DGL2448A	55	DGL2510A	62
DGL1613A	49	DGL2449A	55	DGL2511A	62
DGL1614A	49	DGL2450A	55	DGL2512A	62
DGL1615A	49	DGL2451A	56	DGL2513A	62
DGL1616A	50	DGL2452A	56	DGL2514A	62
DGL1617A	50	DGL2453A	56	DGL2515A	62
DGL1618A	50	DGL2454A	56	DGL2516A	62
DGL1619A	50	DGL2455A	56	DGL2517A	62
DGL1620A	50	DGL2456A	56	DGL2518A	62
DGL2401A	51	DGL2457A	56	DGL2519A	63
DGL2402A	51	DGL2458A	56	DGL2520A	63
DGL2403A	51	DGL2459A	56	DGL2521A	63
DGL2404A	51	DGL2460A	57	DGL2522A	63
DGL2405A	51	DGL2461A	57	DGL2523A	63
DGL2406A	51	DGL2462A	57	DGL2524A	63
DGL2407A	51	DGL2463A	57	DGL2525A	63
DGL2408A	51	DGL2464A	57	DGL2526A	63

DGL2527A	63	DGL2583A	69	DGL2642A	74
DGL2528A	64	DGL2584A	69	DGL2643A	74
DGL2529A	64	DGL2585A	69	DGL2644A	75
DGL2530A	64	DGL2586A	69	DGL2645A	75
DGL2531A	64	DGL2587A	69	DGL2646A	75
DGL2532A	64	DGL2588A	69	DGL2647A	75
DGL2533A	64	DGL2589A	69	DGL2648A	75
DGL2534A	64	DGL2590A	69	DGL2649A	75
DGL2535A	64	DGL2591A	69	DGL2650A	75
DGL2536A	64	DGL2592A	70	DGL2651A	75
DGL2537A	65	DGL2593A	70	DGL2652A	75
DGL2538A	65	DGL2594A	70	DGL2653A	76
DGL2539A	65	DGL2595A	70	DGL2654A	76
DGL2540A	65	DGL2596A	70	DGL2655A	76
DGL2541A	65	DGL2597A	70	DGL2656A	76
DGL2542A	65	DGL2598A	70	DGL2657A	76
DGL2543A	65	DGL2599A	70	DGL2658A	76
DGL2544A	65	DGL2600A	70	DGL2659A	76
DGL2545A	65	DGL2601A	70	DGL2660A	76
DGL2546A	65	DGL2602A	70	DGL2661A	76
DGL2547A	65	DGL2603A	71	DGL2662A	76
DGL2548A	66	DGL2604A	71	DGL2664A	77
DGL2549A	66	DGL2605A	71	DGL2666A	77
DGL2550A	66	DGL2606A	71	DGL2667A	77
DGL2551A	66	DGL2609A	71	DGL2668A	77
DGL2552A	66	DGL2610A	71	DGL2669A	77
DGL2553A	66	DGL2611A	71	DGL2670A	77
DGL2554A	66	DGL2612A	71	DGL2671A	77
DGL2555A	66	DGL2613A	71	DGL2672A	77
DGL2556A	66	DGL2614A	71	DGL2673A	77
DGL2557A	66	DGL2616A	72	DGL2674A	78
DGL2558A	67	DGL2617A	72	DGL2675A	78
DGL2559A	67	DGL2618A	72	DGL2676A	78
DGL2560A	67	DGL2619A	72	DGL2677A	78
DGL2561A	67	DGL2620A	72	DGL2678A	78
DGL2562A	67	DGL2621A	72	DGL2679A	78
DGL2563A	67	DGL2622A	72	DGL2680A	78
DGL2564A	67	DGL2623A	72	DGL2681A	78
DGL2565A	67	DGL2624A	72	DGL2682A	78
DGL2566A	67	DGL2625A	72	DGL2683A	79
DGL2567A	67	DGL2626A	73	DGL2684A	79
DGL2568A	67	DGL2627A	73	DGL2685A	79
DGL2569A	68	DGL2628A	73	DGL2686A	79
DGL2570A	68	DGL2629A	73	DGL2687A	79
DGL2571A	68	DGL2630A	73	DGL2688A	79
DGL2572A	68	DGL2631A	73	DGL2689A	79
DGL2573A	68	DGL2632A	73	DGL2690A	79
DGL2574A	68	DGL2633A	73	DGL2801A	79
DGL2575A	68	DGL2634A	73	DGL3600A	81
DGL2576A	68	DGL2635A	74	DGL3602A	81
DGL2577A	68	DGL2636A	74	DGL3603A	81
DGL2578A	68	DGL2637A	74	DGL3605A	81
DGL2579A	68	DGL2638A	74	DGL3606A	81
DGL2580A	69	DGL2639A	74	DGL3607A	81
DGL2581A	69	DGL2640A	74	DGL3608A	81
DGL2582A	69	DGL2641A	74	DGL3609A	81

DGL3610A	82	DGL3692A	87	DGL3752A	93
DGL3611A	82	DGL3693A	87	DGL3753A	93
DGL3612A	82	DGL3695A	87	DGL3754A	93
DGL3613A	82	DGL3696A	87	DGL3755A	93
DGL3615A	82	DGL3697A	88	DGL3756A	93
DGL3616A	82	DGL3698A	88	DGL3757A	93
DGL3617A	82	DGL3699A	88	DGL3758A	93
DGL3618A	82	DGL3700A	88	DGL3759A	93
DGL3619A	82	DGL3701A	88	DGL3760A	94
DGL3620A	82	DGL3704A	88	DGL3761A	94
DGL3621A	83	DGL3705A	88	DGL3762A	94
DGL3624A	83	DGL3706A	88	DGL3763A	94
DGL3625A	83	DGL3707A	88	DGL3764A	94
DGL3626A	83	DGL3708A	88	DGL3765A	94
DGL3627A	83	DGL3709A	89	DGL3766A	94
DGL3629A	83	DGL3710A	89	DGL3767A	94
DGL3632A	83	DGL3711A	89	DGL3768A	94
DGL3635A	83	DGL3712A	89	DGL3769A	94
DGL3636A	83	DGL3713A	89	DGL3770A	94
DGL3637A	83	DGL3714A	89	DGL3771A	95
DGL3638A	83	DGL3715A	89	DGL3772A	95
DGL3639A	84	DGL3716A	89	DGL3773A	95
DGL3640A	84	DGL3717A	89	DGL3774A	95
DGL3641A	84	DGL3718A	89	DGL3775A	95
DGL3642A	84	DGL3719A	90	DGL3776A	95
DGL3644A	84	DGL3721A	90	DGL3777A	95
DGL3645A	84	DGL3722A	90	DGL3778A	95
DGL3650A	84	DGL3723A	90	DGL3779A	95
DGL3651A	84	DGL3724A	90	DGL3780A	95
DGL3652A	84	DGL3725A	90	DGL3781A	95
DGL3653A	84	DGL3726A	90	DGL3782A	95
DGL3654A	84	DGL3727A	90	DGL3783A	96
DGL3655A	85	DGL3728A	90	DGL3784A	96
DGL3656A	85	DGL3729A	90	DGL3785A	96
DGL3657A	85	DGL3730A	91	DGL3786A	96
DGL3658A	85	DGL3731A	91	DGL3787A	96
DGL3665A	85	DGL3732A	91	DGL3788A	96
DGL3673A	85	DGL3733A	91	DGL3789A	96
DGL3674A	85	DGL3734A	91	DGL3790A	96
DGL3675A	85	DGL3735A	91	DGL3791A	96
DGL3676A	86	DGL3736A	91	DGL3792A	96
DGL3677A	86	DGL3737A	91	DGL3793A	96
DGL3678A	86	DGL3738A	91	DGL3794A	96
DGL3679A	86	DGL3739A	91	DGL3795A	97
DGL3680A	86	DGL3740A	92	DGL3796A	97
DGL3681A	86	DGL3741A	92	DGL3797A	97
DGL3682A	86	DGL3742A	92	DGL3798A	97
DGL3683A	86	DGL3743A	92	DGL3799A	97
DGL3684A	86	DGL3744A	92	DGL3800A	97
DGL3685A	86	DGL3745A	92	DGL3801A	97
DGL3686A	87	DGL3746A	92	DGL3802A	97
DGL3687A	87	DGL3747A	92	DGL3803A	97
DGL3688A	87	DGL3748A	92	DGL3804A	97
DGL3689A	87	DGL3749A	92	DGL3805A	98
DGL3690A	87	DGL3750A	93	DGL3806A	98
DGL3691A	87	DGL3751A	93	DGL3807A	98

DGL3808A	98	DGL3867A	104	DGL3926A	110
DGL3809A	98	DGL3868A	104	DGL3927A	110
DGL3810A	98	DGL3869A	104	DGL3928A	110
DGL3811A	98	DGL3870A	104	DGL3929A	111
DGL3812A	98	DGL3871A	104	DGL3930A	111
DGL3813A	98	DGL3872A	104	DGL3931A	111
DGL3814A	98	DGL3873A	105	DGL3932A	111
DGL3815A	99	DGL3874A	105	DGL3933A	111
DGL3816A	99	DGL3875A	105	DGL3934A	111
DGL3817A	99	DGL3876A	105	DGL3935A	111
DGL3818A	99	DGL3877A	105	DGL3936A	111
DGL3819A	99	DGL3878A	105	DGL3937A	111
DGL3820A	99	DGL3879A	105	DGL3938A	112
DGL3821A	99	DGL3880A	105	DGL3939A	112
DGL3822A	99	DGL3881A	105	DGL3940A	112
DGL3823A	99	DGL3882A	105	DGL3941A	112
DGL3824A	99	DGL3883A	106	DGL3942A	112
DGL3825A	100	DGL3884A	106	DGL3943A	112
DGL3826A	100	DGL3885A	106	DGL3944A	112
DGL3827A	100	DGL3886A	106	DGL3945A	112
DGL3828A	100	DGL3887A	106	DGL3946A	113
DGL3829A	100	DGL3888A	106	DGL3947A	113
DGL3830A	100	DGL3889A	106	DGL3948A	113
DGL3831A	100	DGL3890A	106	DGL3949A	113
DGL3832A	100	DGL3891A	106	DGL3951A	113
DGL3833A	100	DGL3892A	107	DGL3952A	113
DGL3834A	100	DGL3893A	107	DGL3953A	113
DGL3835A	101	DGL3894A	107	DGL3954A	113
DGL3836A	101	DGL3895A	107	DGL3955A	113
DGL3837A	101	DGL3896A	107	DGL3956A	114
DGL3838A	101	DGL3897A	107	DGL3957A	114
DGL3839A	101	DGL3898A	107	DGL3958A	114
DGL3840A	101	DGL3900A	107	DGL3959A	114
DGL3841A	101	DGL3901A	108	DGL3960A	114
DGL3842A	101	DGL3902A	108	DGL3961A	114
DGL3843A	101	DGL3903A	108	DGL3962A	114
DGL3844A	101	DGL3904A	108	DGL3963A	114
DGL3845A	102	DGL3905A	108	DGL3964A	114
DGL3846A	102	DGL3906A	108	DGL3965A	114
DGL3849A	102	DGL3907A	108	DGL3966A	115
DGL3851A	102	DGL3910A	108	DGL3967A	115
DGL3852A	102	DGL3911A	108	DGL3968A	115
DGL3853A	102	DGL3912A	109	DGL3969A	115
DGL3854A	103	DGL3913A	109	DGL3970A	115
DGL3855A	103	DGL3914A	109	DGL3971A	115
DGL3856A	103	DGL3915A	109	DGL3972A	115
DGL3857A	103	DGL3916A	109	DGL3973A	115
DGL3858A	103	DGL3917A	109	DGL3974A	115
DGL3859A	103	DGL3918A	109	DGL3975A	115
DGL3860A	103	DGL3919A	109	DGL3976A	116
DGL3861A	103	DGL3920A	109	DGL3977A	116
DGL3862A	103	DGL3921A	110	DGL3980A	116
DGL3863A	103	DGL3922A	110	DGL3981A	116
DGL3864A	104	DGL3923A	110	DGL3982A	116
DGL3865A	104	DGL3924A	110	DGL3983A	116
DGL3866A	104	DGL3925A	110	DGL3984A	116

DGL3986A	116	DGL4103A	123	DGL5006A	129
DGL3987A	117	DGL4104A	123	DGL5007A	129
DGL3988A	117	DGL4105A	123	DGL5008A	129
DGL3989A	117	DGL4106A	123	DGL5009A	129
DGL3990A	117	DGL4107A	123	DGL5010A	129
DGL3991A	117	DGL4108A	123	DGL5011A	129
DGL3992A	117	DGL4109A	124	DGL5012A	130
DGL3993A	117	DGL4110A	124	DGL5013A	130
DGL3994A	117	DGL4111A	124	DGL5014A	130
DGL3995A	117	DGL4112A	124	DGL5015A	130
DGL3996A	117	DGL4113A	124	DGL5016A	130
DGL3997A	117	DGL4114A	124	DGL5017A	130
DGL3998A	118	DGL4115A	124	DGL5018A	130
DGL3999A	118	DGL4116A	124	DGL5019A	130
DGL4000A	119	DGL4117A	124	DGL5020A	130
DGL4001A	119	DGL4118A	125	DGL5021A	131
DGL4002A	119	DGL4119A	125	DGL5022A	131
DGL4003A	119	DGL4120A	125	DGL5023A	131
DGL4004A	119	DGL4121A	125	DGL5024A	131
DGL4005A	119	DGL4122A	125	DGL5025A	131
DGL4006A	119	DGL4123A	125	DGL5026A	131
DGL4007A	119	DGL4124A	125	DGL5027A	131
DGL4008A	120	DGL4125A	125	DGL5028A	131
DGL4009A	120	DGL4126A	125	DGL5029A	131
DGL4010A	120	DGL4127A	125	DGL5030A	131
DGL4011A	120	DGL4128A	125	DGL5031A	132
DGL4012A	120	DGL4129A	126	DGL5032A	132
DGL4013A	120	DGL4130A	126	DGL5033A	132
DGL4015A	120	DGL4131A	126	DGL5034A	132
DGL4016A	120	DGL4132A	126	DGL5035A	132
DGL4017A	120	DGL4133A	126	DGL5036A	132
DGL4018A	120	DGL4134A	126	DGL5037A	132
DGL4019A	121	DGL4135A	126	DGL5038A	132
DGL4020A	121	DGL4150A	126	DGL5039A	132
DGL4021A	121	DGL4151A	126	DGL5040A	132
DGL4022A	121	DGL4152A	126	DGL5041A	132
DGL4023A	121	DGL4153A	127	DGL5042A	133
DGL4024A	121	DGL4154A	127	DGL5043A	133
DGL4025A	121	DGL4160A	127	DGL5044A	133
DGL4026A	121	DGL4161A	127	DGL5045A	133
DGL4027A	121	DGL4162A	127	DGL5046A	133
DGL4031A	121	DGL4163A	127	DGL5047A	133
DGL4032A	121	DGL4164A	127	DGL5048A	133
DGL4050A	122	DGL4165A	127	DGL5050A	133
DGL4051A	122	DGL4169A	127	DGL5051A	134
DGL4052A	122	DGL4170A	128	DGL5052A	134
DGL4053A	122	DGL4171A	128	DGL5053A	134
DGL4054A	122	DGL4172A	128	DGL5054A	134
DGL4055A	122	DGL4173A	128	DGL5055A	134
DGL4056A	122	DGL4174A	128	DGL5056A	134
DGL4057A	122	DGL5000A	128	DGL5057A	135
DGL4058A	122	DGL5001A	128	DGL5058A	135
DGL4059A	122	DGL5002A	128	DGL5059A	135
DGL4100A	123	DGL5003A	128	DGL5060A	135
DGL4101A	123	DGL5004A	128	DGL5061A	135
DGL4102A	123	DGL5005A	129	DGL5062A	135

DGL5063A	135	DGL5201A	142	DGL5270A	148
DGL5064A	136	DGL5202A	142	DGL5271A	148
DGL5065A	136	DGL5203A	143	DGL5272A	149
DGL5100A	136	DGL5204A	143	DGL5273A	149
DGL5101A	136	DGL5205A	143	DGL5300A	149
DGL5102A	136	DGL5217A	143	DGL5301A	149
DGL5103A	136	DGL5218A	143	DGL5302A	149
DGL5104A	136	DGL5219A	143	DGL5303A	149
DGL5105A	136	DGL5220A	143	DGL5304A	149
DGL5106A	136	DGL5221A	143	DGL5305A	149
DGL5107A	137	DGL5222A	143	DGL5306A	149
DGL5110A	137	DGL5223A	143	DGL5307A	149
DGL5111A	137	DGL5224A	144	DGL5308A	149
DGL5115A	137	DGL5225A	144	DGL5309A	150
DGL5120A	137	DGL5226A	144	DGL5310A	150
DGL5121A	137	DGL5227A	144	DGL5311A	150
DGL5123A	137	DGL5228A	144	DGL5312A	150
DGL5124A	137	DGL5229A	144	DGL5313A	150
DGL5130A	138	DGL5230A	144	DGL5314A	150
DGL5131A	138	DGL5231A	144	DGL5315A	150
DGL5132A	138	DGL5232A	144	DGL5316A	150
DGL5133A	138	DGL5233A	144	DGL5317A	150
DGL5134A	138	DGL5234A	145	DGL5318A	150
DGL5135A	138	DGL5235A	145	DGL5319A	150
DGL5136A	138	DGL5236A	145	DGL5320A	151
DGL5137A	138	DGL5237A	145	DGL5321A	151
DGL5138A	139	DGL5238A	145	DGL5322A	151
DGL5139A	139	DGL5239A	145	DGL5323A	151
DGL5140A	139	DGL5240A	145	DGL5324A	151
DGL5141A	139	DGL5241A	145	DGL5325A	151
DGL5142A	139	DGL5242A	145	DGL5326A	151
DGL5143A	139	DGL5243A	146	DGL5327A	151
DGL5144A	139	DGL5244A	146	DGL5328A	151
DGL5145A	139	DGL5245A	146	DGL5329A	151
DGL5160A	140	DGL5246A	146	DGL5330A	151
DGL5161A	140	DGL5247A	146	DGL5331A	151
DGL5162A	140	DGL5248A	146	DGL5332A	152
DGL5163A	140	DGL5249A	146	DGL5333A	152
DGL5164A	140	DGL5250A	146	DGL5334A	152
DGL5165A	140	DGL5252A	146	DGL5335A	152
DGL5166A	140	DGL5253A	146	DGL5336A	152
DGL5167A	141	DGL5254A	147	DGL5337A	152
DGL5168A	141	DGL5255A	147	DGL5338A	152
DGL5175A	141	DGL5256A	147	DGL5339A	152
DGL5176A	141	DGL5257A	147	DGL5340A	152
DGL5177A	141	DGL5259A	147	DGL5341A	152
DGL5178A	141	DGL5260A	147	DGL5348A	153
DGL5179A	141	DGL5261A	147	DGL5349A	153
DGL5180A	141	DGL5262A	147	DGL5350A	153
DGL5191A	142	DGL5263A	148	DGL5351A	153
DGL5192A	142	DGL5264A	148	DGL5352A	153
DGL5193A	142	DGL5265A	148	DGL5353A	153
DGL5194A	142	DGL5266A	148	DGL5354A	153
DGL5195A	142	DGL5267A	148	DGL5355A	153
DGL5196A	142	DGL5268A	148	DGL5356A	153
DGL5200A	142	DGL5269A	148	DGL5357A	153

DGL5358A	153	DGL7109A	161	DGL7173A	168
DGL5359A	154	DGL7110A	161	DGL7174A	168
DGL5360A	154	DGL7111A	161	DGL7175A	168
DGL5361A	154	DGL7112A	162	DGL7176A	168
DGL5362A	154	DGL7113A	162	DGL7177A	168
DGL5363A	154	DGL7114A	162	DGL7178A	168
DGL5364A	154	DGL7115A	162	DGL7179A	168
DGL5365A	154	DGL7116A	162	DGL7180A	169
DGL5366A	154	DGL7117A	162	DGL7181A	169
DGL5367A	154	DGL7118A	162	DGL7182A	169
DGL5368A	154	DGL7119A	162	DGL7183A	169
DGL5369A	154	DGL7120A	162	DGL7184A	169
DGL5370A	154	DGL7121A	163	DGL7185A	169
DGL5371A	155	DGL7122A	163	DGL7186A	169
DGL5372A	155	DGL7123A	163	DGL7187A	169
DGL5373A	155	DGL7124A	163	DGL7188A	170
DGL5374A	155	DGL7125A	163		
DGL5376A	155	DGL7126A	163	E	
DGL5377A	155	DGL7127A	163	EHLE045A	171
DGL5378A	155	DGL7128A	163	EHLE046A	171
DGL5379A	155	DGL7129A	163	EHLE047A	171
DGL5380A	155	DGL7130A	164	EHLE048A	171
DGL5381A	155	DGL7131A	164	EHLE049A	171
DGL5382A	155	DGL7132A	164	EHLE051A	171
DGL5383A	155	DGL7133A	164	EHLE052A	172
DGL5384A	156	DGL7134A	164	EHLE057A	172
DGL5385A	156	DGL7135A	164	EHLE063W	172
DGL5386A	156	DGL7136A	164	EHLE065W	172
DGL5387A	156	DGL7137A	165	EHLE077A	172
DGL5388A	156	DGL7138A	165	EHLE077E	172
DGL5389A	156	DGL7139A	165	EHLE078E	172
DGL5390A	156	DGL7140A	165	EHLE079E	173
DGL5400A	157	DGL7141A	165	EHLE079W	173
DGL5410A	157	DGL7142A	165	EHLE080E	174
DGL7087A	159	DGL7143A	165	EHLE080W	173
DGL7088A	159	DGL7144A	165	EHLE081E	174
DGL7089A	159	DGL7145A	165	EHLE081W	173
DGL7090A	159	DGL7150A	166	EHLE082E	173
DGL7091A	159	DGL7151A	166	EHLE084A	173
DGL7092A	159	DGL7154A	166	EHLE085W	173
DGL7093A	159	DGL7157A	166	EHLE086A	173
DGL7094A	159	DGL7158A	166		
DGL7095A	160	DGL7159A	166	I	
DGL7096A	160	DGL7160A	166	ICM4751	197
DGL7097A	160	DGL7161A	166	ICM7000	197
DGL7098A	160	DGL7162A	167	ICM7001	197
DGL7099A	160	DGL7163A	167	ICM7003	197
DGL7100A	160	DGL7164A	167	ICM7004	197
DGL7101A	160	DGL7165A	167	ICM7005	198
DGL7102A	160	DGL7166A	167	ICM7006	198
DGL7103A	161	DGL7167A	167	ICM7007	198
DGL7104A	161	DGL7168A	167	ICM7008	198
DGL7105A	161	DGL7169A	167	ICM7009	198
DGL7106A	161	DGL7170A	167		
DGL7107A	161	DGL7171A	167		
DGL7108A	161	DGL7172A	168		

ICM7010	198	ICM7087	205	ICM7178	211
ICM7011	199	ICM7088	205	ICM7179	211
ICM7013	199	ICM7094	205	ICM7180	212
ICM7015	199	ICM7096	206	ICM7181	212
ICM7016	199	ICM7097	206	ICM7182	212
ICM7017	199	ICM7098	206	ICM7183	212
ICM7019	199	ICM7099	206	ICM7184	212
ICM7020	199	ICM7100	206	ICM7185	212
ICM7022	200	ICM7102	206	ICM7186	212
ICM7023	200	ICM7103	206	ICM7187	212
ICM7024	200	ICM7104	206	ICM7188	213
ICM7025	200	ICM7105	206	ICM7189	213
ICM7027	200	ICM7106	207	ICM7190	213
ICM7028	200	ICM7107	207	ICM7191	213
ICM7030	200	ICM7108	207	ICM7193	213
ICM7037	200	ICM7110	207	ICM7194	213
ICM7038	200	ICM7111	207	ICM7195	213
ICM7039	201	ICM7112	207	ICM7196	213
ICM7040	201	ICM7119	207	ICM7198	214
ICM7043	201	ICM7120	207	ICM7199	214
ICM7044	201	ICM7121	208	ICM7200	214
ICM7046	201	ICM7123	208	ICM7201	214
ICM7047	201	ICM7124	208	ICM7205	214
ICM7048	201	ICM7125	208	ICM7207	214
ICM7049	201	ICM7127	208	ICM7211	214
ICM7050	202	ICM7130	208	ICM7215	214
ICM7051	202	ICM7131	208	ICM7220	214
ICM7052	202	ICM7137	208	ICM7221	215
ICM7053	202	ICM7138	209	ICM7231	215
ICM7054	202	ICM7141	209	ICM7232	215
ICM7055	202	ICM7143	209	ICM7233	215
ICM7056	202	ICM7148	209	ICM7236	215
ICM7057	202	ICM7151	209	ICM7250	215
ICM7058	203	ICM7152	209	ICM7251	215
ICM7059	203	ICM7153	209	ICM7254	215
ICM7064	203	ICM7154	209	ICM7302	215
ICM7065	203	ICM7155	209	ICM7304	216
ICM7066	203	ICM7156	209	ICM7305	216
ICM7067	203	ICM7158	209	ICM7306	216
ICM7068	203	ICM7159	210	ICM7307	216
ICM7069	203	ICM7160	210	ICM7308	216
ICM7070	203	ICM7161	210	ICM7309	216
ICM7071	204	ICM7162	210	ICM7310	216
ICM7072	204	ICM7164	210	ICM7311	217
ICM7074	204	ICM7165	210	ICM7313	217
ICM7075	204	ICM7166	210	ICM7314	217
ICM7076	204	ICM7167	210	ICM7315	217
ICM7077	204	ICM7168	210	ICM7316	217
ICM7078	204	ICM7169	210	ICM7317	217
ICM7079	204	ICM7170	211	ICM7318	217
ICM7080	205	ICM7171	211	ICM7350	217
ICM7081	205	ICM7172	211	ICM7351	218
ICM7082	205	ICM7173	211	ICM7358	218
ICM7084	205	ICM7174	211	ICM7359	218
ICM7085	205	ICM7175	211	ICM7360	218
ICM7086	205	ICM7176	211	ICM7400	218

ICM7401	218	ICM7710	224	ICM9701	233
ICM7402	218	ICM7711	224	ICM9702	233
ICM7403	218	ICM7712	225	ICM9703	233
ICM7404	218	ICM7713	225	ICM9704	233
ICM7405	219	ICM7750	225	ICM9705	233
ICM7408	219	ICM7751	225	ICM9706	233
ICM7409	219	ICM7752	225	ICM9707	233
ICM7413	219	ICM7914	225	ICM9708	234
ICM7414	219	ICM7915	225	ICM9709	234
ICM7417	219	ICM7916	225	ICM9710	234
ICM7418	219	ICM7917	226	ICM9711	234
ICM7419	219	ICM7918	226	ICM9712	234
ICM7420	220	ICM7920	226	ICM9713	234
ICM7421	220	ICM7921	226	ICM9714	234
ICM7422	220	ICM7922	226	ICM9715	234
ICM7423	220	ICM7932	226	ICM9716	234
ICM7500	220	ICM7933	226	ICM9717	234
ICM7501	220	ICM7934	227	ICM9718	234
ICM7502	220	ICM7935	227	ICM9719	234
ICM7503	220	ICM7944	227	ICM9720	235
ICM7506	221	ICM7947	227	ICM9721	235
ICM7507	221	ICM7967	227	ICM9722	235
ICM7508	221	ICM7968	227	ICM9723	235
ICM7509	221	ICM7969	227	ICM9724	235
ICM7510	221	ICM7971	227	ICM9725	235
ICM7511	221	ICM7972	228	ICM9726	235
ICM7512	221	ICM7973	228	ICM9727	235
ICM7513	221	ICM7975	228	ICM9728	235
ICM7514	221	ICM7978	228	ICM9729	235
ICM7515	222	ICM7980	228	ICM9730	236
ICM7516	222	ICM7981	228	ICM9731	236
ICM7517	222	ICM7986	228	ICM9732	236
ICM7518	222	ICM7987	228	ICM9733	236
ICM7519	222	ICM7988	229	ICM9734	236
ICM7520	222	ICM7989	229	ICM9735	236
ICM7521	222	ICM7990	229	ICM9736	236
ICM7522	222	ICM7991	229	ICM9737	236
ICM7523	223	ICM7993	229	ICM9738	236
ICM7524	223	ICM7994	229	ICM9739	236
ICM7525	223	ICM7995	229	ICM9740	237
ICM7526	223	ICM7996	229	ICM9741	237
ICM7600	223	ICM7997	229	ICM9742	237
ICM7601	223	ICM7998	230	ICM9743	237
ICM7602	223	ICM7999	230	ICM9744	237
ICM7604	223	ICM8000	230	ICM9745	237
ICM7651	223	ICM8001	230	ICM9746	237
ICM7652	223	ICM8002	230	ICM9747	237
ICM7701	224	ICM8003	230	ICM9748	237
ICM7702	224	ICM8004	230	ICM9749	237
ICM7703	224	ICM8005	230	ICM9750	238
ICM7704	224	ICM8006	231	ICM9751	238
ICM7705	224	ICM8007	231	ICM9752	238
ICM7706	224	ICM8008	231	ICM9753	238
ICM7707	224	ICM8009	231	ICM9754	238
ICM7708	224	ICM8011	231	ICM9755	238
ICM7709	224	ICM8012	231	ICM9756	238

ICM9757	238	ICM9815	244	ICM9877	251
ICM9758	238	ICM9816	245	ICM9878	251
ICM9760	239	ICM9817	245	ICM9879	251
ICM9761	239	ICM9818	245	ICM9900	251
ICM9762	239	ICM9819	245	ICM9901	251
ICM9763	239	ICM9820	245	ICM9902	251
ICM9764	239	ICM9821	245	ICM9903	251
ICM9765	239	ICM9822	245	ICM9904	251
ICM9766	239	ICM9823	246	ICM9905	252
ICM9767	240	ICM9824	246	ICM9906	252
ICM9768	240	ICM9825	246	ICM9907	252
ICM9769	240	ICM9826	246	ICM9908	252
ICM9770	240	ICM9827	246	ICM9909	252
ICM9771	240	ICM9828	246	ICM9910	252
ICM9772	240	ICM9829	246	ICM9911	252
ICM9773	240	ICM9830	246	ICM9912	252
ICM9774	240	ICM9831	246	ICM9913	252
ICM9775	240	ICM9832	246	ICM9914	252
ICM9776	240	ICM9833	247	ICM9915	253
ICM9777	240	ICM9834	247	ICM9916	253
ICM9778	241	ICM9835	247	ICM9917	253
ICM9779	241	ICM9836	247	ICM9918	253
ICM9780	241	ICM9837	247	ICM9919	253
ICM9781	241	ICM9838	247	ICM9920	253
ICM9782	241	ICM9839	247	ICM9921	253
ICM9783	241	ICM9840	247	ICM9922	253
ICM9784	241	ICM9841	247	ICM9923	253
ICM9785	241	ICM9842	247	ICM9924	253
ICM9786	241	ICM9843	247	ICM9925	254
ICM9787	242	ICM9844	248	ICM9926	254
ICM9788	242	ICM9848	248	ICM9927	254
ICM9789	242	ICM9850	248	ICM9928	254
ICM9790	242	ICM9851	248	ICM9929	254
ICM9791	242	ICM9852	248	ICM9930	254
ICM9792	242	ICM9853	248	ICM9931	254
ICM9793	242	ICM9854	248	ICM9932	254
ICM9794	242	ICM9855	248	ICM9933	254
ICM9795	242	ICM9856	248	ICM9934	254
ICM9796	242	ICM9857	249	ICM9935	254
ICM9797	243	ICM9858	249	ICM9936	255
ICM9798	243	ICM9859	249		
ICM9799	243	ICM9860	249		
ICM9800	243	ICM9861	249		
ICM9801	243	ICM9862	249		
ICM9802	243	ICM9863	249		
ICM9803	243	ICM9864	249		
ICM9804	243	ICM9865	250		
ICM9805	243	ICM9866	250		
ICM9806	244	ICM9867	250		
ICM9807	244	ICM9868	250		
ICM9808	244	ICM9869	250		
ICM9809	244	ICM9870	250		
ICM9810	244	ICM9873	250		
ICM9811	244	ICM9874	250		
ICM9813	244	ICM9875	251		
ICM9814	244	ICM9876	251		



プログラム番号: 5724-B19
5724-B43

Printed in Japan

SC88-9206-01



日本アイ・ビー・エム株式会社
〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12